

桑田遺跡

二本杉遺跡

元巣塚

上江地区体育馆・美化センター建設・史跡整備事業に伴う発掘調査報告書

元二桑
本田
巣杉
遺
塚跡跡

2019

2019

宮崎県えびの市教育委員会

くわ た 遺 跡
桑 田 遺 跡
に ほん すぎ
二 本 杉
げん そう づか
元 巢 塚

上江地区体育館・美化センター建設・史跡整備事業に伴う発掘調査報告書

2019

宮崎県えびの市教育委員会

序

えびの市は、宮崎県の南西部に位置し、日向・肥後・薩摩・大隅の分岐点にある、南九州の要であります。北の九州山地と南の霧島山系に挟まれた狭長な盆地は河岸段丘が発達し、豊富な降雨や湧水、肥沃な氾濫原の存在により、段丘面の殆どが周知の遺跡となっております。古代の官道も通り、古くから交通や物流の要所として栄え、必然的に様々な文化や文物が混合した独特の地域であります。

本書は、平成2年度に調査した桑田遺跡のほか、平成6・7年度に調査した二本杉遺跡、平成7年度に調査した元巣塚の発掘調査報告書であります。桑田遺跡は、縄文時代晚期の稻作関連遺跡として全国紙にも掲載され、南九州の稻作を語るには不可欠の遺跡です。二本杉遺跡では縄文時代早期の集石遺構20基あまりと弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴住居19軒を調査しています。元巣塚は、市内中心部に位置する木崎原古戦場跡史跡整備に伴う事前調査により、明瞭な溝による区画や石積の規格が判明しております。

発掘調査後、長い年月が経過してしまいましたが、ここに報告し、責務を果たすものであります。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯学習や学校教育の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

本遺跡の調査にあたり、ご指導・ご協力頂いた諸先生方、調査に対してご理解・ご協力頂いた地権者・耕作者の諸氏、発掘作業・整理作業に従事して頂いた作業員の方々に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成31年2月

えびの市教育委員会

教育長 萩原和範

例　　言

1. 本書は、平成2年7・8月に調査した、上江地区体育館建設に伴う桑田遺跡と、平成6年4～7月および平成7年7・8月に調査した美化センター建設に伴う二本杉遺跡、平成7年10月に調査した木崎原古戦場跡史跡整備に伴う元巣塚3遺跡の報告書である。
2. 上記3遺跡は全て単独市費で調査し、遺憾ながら未報告のままであった。ここに、責務を果たすものである。
3. 整理作業は、主に平成23年度に実施した。
4. 桑田遺跡の溝状遺構覆土については、当時、宮崎大学 藤原宏志教授に8月24日に土壤採取をして頂き、9月1日に分析結果を、同月13日に解析結果を頂いているのでここに公開し、かつ、公開の大変な遅れに対し、お詫び申し上げます。なお、近年では刻目突帯文土器を弥生時代早期として扱い、本書においても同様であるため、「縄文時代晩期」を全て「弥生時代早期」に置き換えて読んで頂きたい。
5. 二本杉遺跡10号住居出土炭化堅果類については、えびの市歴史民俗資料館嘱託員の上谷川則男氏の分類選択を見本とし、小畠弘己・坂元紀乃・大坪志子「考古学者のためのドングリ識別法」『先史学・考古学論究IV』龍田考古会2003を参考に、平成22年11月4・5日の宮崎県立小林高等学校1年生5名と翌週11・12日えびの市立真幸中学校2年生4名の職場体験で分類して頂いた成果も含んでいる。残った8割ほどを、黒肱真子・土器光代の2名が分類した。
6. 本書の執筆と編集は、中野が担当した。
7. 調査の関連資料や出土遺物は、えびの市歴史民俗資料館に保管・一部展示している。

凡　　例

1. 本書掲載の遺構は、SA：堅穴住居、SB：掘立柱建物跡、SD：溝状遺構、SK：土坑・土壙墓、SS：集石遺構、SZ：用途不明として略している。
2. 遺構実測図記載の方位は、国土座標軸（日本測地系）の北を示す。
3. 堅穴建物の土層において、覆土は住居廃絶後の流入土（第1層）とし、貼床（人為埋め土；第2層）とは明確に区別して報告するが、調査当時は貼床の認識が甘く、硬化の弱い貼床も覆土として扱ったと思われる住居もあり、完璧な調査ではなかったことを反省している。
4. 剥片石器は、片面に自然面もしくは主要剥離面を残す遺物は両面実測とし、左をA面、右をB面とする。また両面とも同一調整である場合は片面実測としている。自然面は、平面内には不規則配置のドットで、断面には列点で示している。黒曜石原産地の桑ノ木津留は旧石器時代の遺跡でもあるが、自然もしくは人為剥離後に風化し、稜と面が磨滅しているものも原石として分類し、リングとフィッシューに加えて不規則ドットを打っている。石鏃未製品に多い折断面には、長N字形を表記している。
5. 石器の石材は肉眼観察による分類であり、特に黒曜石については判別困難なものもあるが、以下のように分類した。

A : 桑ノ木津留系 桑ノ木津留地区は熊本県人吉市に属し、谷や小川の数地点で円礫が採取できる。黒曜石の本体は、県境から2km東の本市に入った所に位置する滝下山と推定され、一般的に原産地として周知されているのは本市における北西へ延びる支脈を切断する林道の法面と下に集積された1.5~3cm大の原石や剥片が多い。長さ5cmを超えるものは稀であるが、すでに後期旧石器時代から利用された石材で、一帯は旧石器時代からの遺跡もある。当地から1.2km西の鹿児島県伊佐市上青木地区と4km北西に位置する間根ヶ平産のものも酷似するため、桑ノ木津留系とする。縄文時代に入ると南九州の広範囲に流通しており、量的に見積ると、採掘の可能性まで留意すべきと思われる。ただし、ローム層内にある原石の一部の自然面は微細な凹凸で鮫肌を呈するが、遺跡からの出土遺物の自然面は磨滅しているものが殆どであることから、現段階では主として転石採取と考えられる。

A 1 : 不純物が殆ど無く、暗茶褐色（鉛色）や淡黄白色との縞模様を呈するもので、特に風化面にはぬめり感がある。透過性が高く、光沢もある。量的には少ない。

A 2 : 光に当てると厚さ2mm位まで淡茶褐色（鉛色）の半透明で厚さ4mm位までは暗茶褐色、厚くなると黒色を呈し、縞状になったものもある。光をさえぎると、茶褐色～黒色に見える。ぬめり感と光沢のある良質な石材である。

B : 日東系（伊佐市日東ほか） 黒色で透過性・光沢あり。半透明と黒色の縞状の部分もある。石英を多く含み、微細剥離加工には適さない。4km北の五女木産と酷似することから、日東系と呼ぶ。

C : 上牛鼻系（薩摩川内市樋脇町上牛鼻） 黒（墨）色を呈し、透過性は無い。ローム層内の自然面は凹凸著しく、転石は鮫肌である。風化すると暗灰色になり、ぬめり感がある。5km南西の平木場産と酷似することから、上牛鼻系と呼ぶ。

D : 白浜（熊本県球磨郡球磨村） 長石を多く含む黒色に褐色が混じり、僅かに光を透す。主として転石が流通するが、小型石器の微細剥離には適ないことから、量的には僅かである。

E : 佐賀県伊万里市腰岳産 原産地には不純物を含むものも点在しているが、殆ど流通していないようである。色調によって2種に分ける。鹿児島県菱刈産の可能性もある。

E 1 : 黒色で不純物が無く光沢のある良質のもの。

E 2 : 黒色に透明の縞があり、原石の一部にみられる。

F : 暗灰色で不透過性。佐世保市針尾産の可能性が高い。

G : 産地不明

G 1 : 黒色に灰～暗灰色が縞状に混じるもの。

G 2 : 黒色を呈し、自然面は鮫肌、不純物が少量混じるものもあるが良質で、桑ノ木津留と上牛鼻の折衷的特徴である。

G 3 : 黒色と褐色の縞状を呈するもので、A 2 に近似。

6. 縄文時代早期の土器については、藤崎光洋『上山路山遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター(2007)の分類基準に概ね沿っているが、著者の不勉強による曖昧な部分も多くなっている。

調査組織

調査主体　えびの市教育委員会

	平成 2 年度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 23 年度	平成 25 年度
教育長	平田 敏正	平田 郁郎	平田 郁郎	萩原 和範	萩原 和範
社会教育課長	上別府文夫	外園 秀雄	藤島 勉	上加世田たゞ子	木村 哲也
文化係長	境田 貢	上加世田たゞ子	木村 政一	有村 充	有村 充
主事	上加世田たゞ子	赤崎 由美	赤崎 由美	小島 英子	村脇奈保子
文化財担当	中野 和浩	中野 和浩	中野 和浩	中野 和浩	中野 和浩
			東 真一	(嘱託)	

平成 30 年度

教育長	萩原 和範
社会教育課長	領家 修司
文化係長	田中美千代
主査	小島 英子
文化財担当	中野 和浩

平成 23 年度 整理作業 作業員

入木和代・黒肱真子・土器光代・末継さおり

平成 25 年度 整理作業 作業員

古川奈緒子

平成 30 年度 作業員

米倉 千春

本文目次

第1章はじめに	1
第2章遺跡の位置と歴史的環境	1
第3章桑田遺跡の発掘調査	
第1節はじめに	4
第2節基本的層序	9
第3節発掘調査	9
第4節まとめ	20
第4章二本杉遺跡	
第1節はじめに	47
第2節基本的層序	47
第3節I区の調査	51
第4節II区	116
第5節III区	116
第6節IV区	122
第7節V~VII区	134
第8節まとめ	175
第5章元巣塚	
第1節はじめに	203
第2節遺跡の位置と調査前の状況	204
第3節調査方法	204
第4節発掘調査	204
第5節復元	208
付篇桑田遺跡におけるプラント・オパール分析結果について	213

挿図目次

第1図遺跡の位置と周辺の遺跡位置図	2
桑田遺跡	
第2図調査地位置図	4
第3図遺構分布図	5・6
第4図土層断面図	7・8
第5図S K-01~03・05・07遺構実測図	10
第6図S D-01・S Z-01遺構実測図	11・12
第7図S D-01出土遺物実測図(1)	13・14

第8図 S D-01 出土遺物実測図(2).....	14
第9図 S K-01・02・07 ほか出土遺物実測図	15
第10図 S B-01 遺構実測図.....	16
第11図 S B-03 遺構実測図.....	18
第12図 S Z-02 遺構実測図.....	19
第13図 S Z-03 遺構実測図.....	20
第14図 S Z-01 出土遺物実測図(1).....	21
第15図 S Z-01 出土遺物実測図(2).....	22
第16図 S Z-01 出土遺物実測図(3), S Z-02- P P-35 ほか出土遺物実測図	23
第17図 III層出土遺物実測図(1).....	24
第18図 III層出土遺物実測図(2).....	25
第19図 III層出土遺物実測図(3).....	26
第20図 III層出土遺物実測図(4).....	27
第21図 III層出土遺物実測図(5).....	28
第22図 III層出土遺物実測図(6).....	29
第23図 III層出土遺物実測図(7).....	30
第24図 III層出土遺物実測図(8).....	31
第25図 III層出土遺物実測図(9).....	32
第26図 III層出土遺物実測図(10).....	33
第27図 III層出土遺物実測図(11).....	34
第28図 III層出土遺物実測図(12).....	35
第29図 II層出土遺物実測図(1).....	36
第30図 II層出土遺物実測図(2).....	37

二本杉遺跡

第1図 試掘溝出土遺物実測図.....	47
第2図 調査地の区割と周辺の地形.....	48
第3図 I区 繩文時代早期 遺構分布図.....	49・50
第4図 S S-01~07 遺構実測図.....	52
第5図 S S-08・09 遺構実測図.....	53
第6図 S S-10~13 遺構実測図.....	54
第7図 S S-15・17~21 遺構実測図.....	56
第8図 S K-01・02・06・07 遺構実測図	58
第9図 S K-03~05 遺構実測図.....	59
第10図 S S-06・12・18, SK-06・08 出土遺物実測図.....	60
第11図 I区VI層出土 繩文土器実測図(1).....	64
第12図 I区VI層出土 繩文土器実測図(2).....	65
第13図 I区VI層出土 繩文土器実測図(3).....	66
第14図 I区VI層出土 繩文土器実測図(4).....	67
第15図 I区VI層出土 繩文土器実測図(5).....	68
第16図 I区VI層出土 繩文土器実測図(6).....	69
第17図 I区VI層出土 繩文土器実測図(7).....	70
第18図 I区VI層出土 繩文土器実測図(8).....	71
第19図 I区VI層出土 繩文土器実測図(9).....	72
第20図 I区VI層出土 繩文土器実測図(10).....	73
第21図 I区VI層出土 石鏃 Ia ~ II b タイプ.....	74
第22図 I区VI層出土 石鏃 IIb ~ II c タイプ.....	75
第23図 I区VI層出土 石鏃 IIc ~ III b タイプ.....	76
第24図 I区VI層出土 石鏃 IIIb ~ VIc タイプ.....	77
第25図 I区VI層出土 石鏃 VIc ~ XIc タイプ, 石鏃未製品 A-1段階(1).....	78
第26図 I区VI層出土 石鏃未製品 A-1段階(2).....	79
第27図 I区VI層出土 石鏃未製品 A-1段階(3), A-2段階(1).....	80
第28図 I区VI層出土 石鏃未製品 A-2段階(2).....	81
第29図 I区VI層出土 石鏃未製品 A-2段階(3).....	82
第30図 I区VI層出土 石鏃未製品 A-2段階(4), A-3段階(1).....	83
第31図 I区VI層出土 石鏃未製品 A-3段階(2), A-4段階(1).....	84

第32図 I区VI層出土 石鏃未製品		第49図 I区VI層出土 スクレイパーほか、 刃器(1) 102
A-4段階(2), A-5段階(1) 85		第50図 I区VI層出土 刀器(2) 103
第33図 I区VI層出土 石鏃未製品		第51図 I区VI層出土 刀器(3) 104
A-5段階(2), B-1・2段階(1) 86		第52図 I区VI層出土 刀器(4) 105
第34図 I区VI層出土 石鏃未製品		第53図 I区VI層出土 刀器(5) 106
B-1・2段階(2) 87		第54図 I区VI層出土 刀器(6), 刃器未製品 107
第35図 I区VI層出土 石鏃未製品		第55図 I区VI層出土 石核(1) 108
B-1・2・3段階 88		第56図 I区VI層出土 石核(2) 109
第36図 I区VI層出土 石鏃未製品		第57図 I区VI層出土 石核(3) 110
B-3・4段階 89		第58図 I区VI層出土 原石, 回み石(敲磨石) (1) 111
第37図 I区VI層出土 石鏃未製品		第59図 I区VI層出土 回み石(2), 敲磨石 112
B-4・5段階, チャート製未製品(1) 90		第60図 I区VI層出土 敲磨石, 磨石, 台石(1) 113
第38図 I区VI層出土 石鏃未製品		第61図 I区VI層出土 台石(2) 114
チャート製(2) 91		第62図 打製石鏃 分類図 115
第39図 I区VI層出土 石鏃未製品		第63図 II～IV区 遺構分布図 117・118
チャート・玉馴製 92		第64図 S D-01 遺構実測図 119・120
第40図 I区VI層出土 石鏃未製品		第65図 II・III区 出土遺物実測図 121
玉馴・鉄石英製, 失敗品 93		第66図 III区 S D-01 出土遺物実測図 122
第41図 I区VI層出土 石鏃未製品・失敗品, 素材 94		第67図 IV区VI層 遺物出土分布図 123・124
第42図 I区VI層出土 石鏃素材, 斧製石鏃, 石匙未製品, 鑿型石器ほか 95		第68図 IV区 I～III・VI層出土遺物 実測図(1) 125
第43図 I区VI層出土 石鏃模倣品未製品 (1) 96		第69図 IV区 I～III・VI層出土遺物 実測図(2) 126
第44図 I区VI層出土 石鏃模倣品未製品 (2) 97		第70図 IV区VI層出土 敲磨石 127
第45図 I区VI層出土 石鏃模倣品未製品 (3) 98		第71図 S A-01 遺構実測図 127
第46図 I区VI層出土 石鏃模倣品未製品 (4) 99		第72図 S A-01 出土遺物実測図 127
第47図 I区VI層出土 石鏃模倣品未製品 (5) 100		第73図 S A-02 遺構実測図 129・130
第48図 I区VI層出土 石鏃模倣品未製品(6), 円形打製石器ほか 101		第74図 S A-02 出土遺物実測図 129・130
		第75図 S A-03 遺構実測図 131
		第76図 S A-03 出土遺物実測図 131

第 77 図	S A-04	遺構実測図	132	第 105 図	S A-12	遺構実測図	159
第 78 図	S A-04	出土遺物実測図	133	第 106 図	S A-12	出土遺物実測図	160
第 79 図	S A-05	遺構実測図	133	第 107 図	S A-13	遺構実測図	161
第 80 図	S A-05	出土遺物実測図(1)	134	第 108 図	S A-13	出土遺物実測図	161
第 81 図	S A-05	出土遺物実測図(2)	135~136	第 109 図	S A-14	遺構実測図	162
第 82 図	S A-06	遺構実測図	135~136	第 110 図	S A-14	出土遺物実測図	162
第 83 図	S A-06	出土遺物実測図(1)	137	第 111 図	S A-15	遺構実測図	163
第 84 図	S A-06	出土遺物実測図(2)	138	第 112 図	S A-16	遺構実測図	163
第 85 図	S A-06	出土遺物実測図(3)	139	第 113 図	S A-15・16	出土遺物実測図	163
第 86 図	S A-06	出土遺物実測図(4)	140	第 114 図	S A-17	遺構実測図	164
第 87 図	S A-06	出土遺物実測図(5)	141	第 115 図	S A-17	出土遺物実測図	164
第 88 図	S A-06	出土遺物実測図(6)	142	第 116 図	S A-18	遺構実測図	165
第 89 図	S A-07	遺構実測図	143	第 117 図	S A-18	出土遺物実測図	165
第 90 図	S A-07	出土遺物実測図	143	第 118 図	S K-01・11・12・23	遺構実測図	166
第 91 図	S A-08	遺構実測図	145~146	第 119 図	S K-02・16~18・26	遺構実測図	167
第 92 図	S A-08	出土遺物実測図(1)	147	第 120 図	S K-03・04	遺構実測図	168
第 93 図	S A-08	出土遺物実測図(2)	148	第 121 図	IV~VI区	SK 出土遺物実測図	169
第 94 図	S A-08	出土遺物実測図(3)	149	第 122 図	S K-16	出土遺物実測図	170
第 95 図	S A-08	出土遺物実測図(4)	150	第 123 図	S K-18	出土遺物実測図	171
第 96 図	S A-09	遺構実測図	150	第 124 図	S K-23・24	出土遺物実測図	172
第 97 図	S A-09	出土遺物実測図	151	第 125 図	S K-26	出土遺物実測図(1)	173
第 98 図	S A-10	遺構実測図	152	第 126 図	S K-26	出土遺物実測図(2)	174
第 99 図	S A-10	出土遺物実測図(1)	153	第 127 図	V~VII区	出土遺物実測図	174
第 100 図	S A-10	出土遺物実測図(2)	154	第 128 図	I 区	縄文時代早期の集石と土坑	
第 101 図	S A-11	遺構実測図	155			環状配置想定図	175
第 102 図	S A-11	出土遺物実測図(1)	156	第 129 図	I 区 VI層出土	打製石鏃	
第 103 図	S A-11	出土遺物実測図(2)	157			基部タイプ別法量図	177
第 104 図	S A-11	出土遺物実測図(3)	158				

元巣塚

第 1 図	元巣塚と木崎原古戦場跡・首塚・ 太刀洗川位置図	203	第 4 図	試掘調査の結果と周溝の推定 位置図	208
第 2 図	調査前の状態 実測図	205~206	第 5 図	元巣塚 復元図	208
第 3 図	断面実測図	207			

表 目 次

桑田遺跡

表 1 SD-01 出土土器観察表	14	表 8 出土土器観察表(3)	40
表 2 SD-01 出土石器観察表	14	表 9 出土土器観察表(4)	41
表 3 SK-01・02・07ほか出土土器 観察表(1)	15	表 10 出土土器観察表(5)	42
表 4 SK-01・02・07ほか出土土器 観察表(2)	16	表 11 出土土器観察表(6)	43
表 5 SK-01・02・07ほか出土石器 観察表	16	表 12 中世国産陶器観察表	43
表 6 出土土器観察表(1)	38	表 13 輸入陶磁器観察表	43
表 7 出土土器観察表(2)	39	表 14 土製品観察表	43
		表 15 金属製品観察表	43
		表 16 石器・石製品 観察表	44

二本杉遺跡

表 1 繩文土器観察表(1)	179	表 13 弥生土器・土師器観察表(6)	190
表 2 繩文土器観察表(2)	180	表 14 弥生土器・土師器観察表(7)	191
表 3 繩文土器観察表(3)	181	表 15 石器観察表(1)	191
表 4 繩文土器観察表(4)	182	表 16 石器観察表(2)	192
表 5 繩文土器観察表(5)	183	表 17 石器観察表(3)	193
表 6 繩文土器観察表(6)	184	表 18 石器観察表(4)	194
表 7 繩文土器観察表(7)	185	表 19 石器観察表(5)	195
表 8 弥生土器・土師器観察表(1)	185	表 20 石器観察表(6)	196
表 9 弥生土器・土師器観察表(2)	186	表 21 石器観察表(7)	197
表 10 弥生土器・土師器観察表(3)	187	表 22 石器観察表(8)	198
表 11 弥生土器・土師器観察表(4)	188	表 23 石器観察表(9)	199
表 12 弥生土器・土師器観察表(5)	189	表 24 石器観察表(10)	200

写 真 図 版 目 次

桑田遺跡

図版 1 調査終了時の状況

図版 2 I 区 IIIa 層 遺物出土状態

図版 3 I 区 IIIa 層 遺物出土状態、北西部 接写

図版 4 II 区 S Z-01 南西部 遺物出土状態、接写

図版 5 II 区 S Z-01 南西部 遺物出土状態、S Z-01 挖込、S D-01 検出状態

図版 6 II 区 S D-01 南西部 遺物出土状態

図版 7 S D-01 遺物出土状態、中央部セクション西壁層序

図版 8 S D-01 西南端 南壁 プラント・オパール分析 土壌採取地点 採取前の状況、II 区東半～III 区

IV 層上面の状況

図版 9 I ～ II 区 IV 層上面・遺構実測状況

図版 10 I 区 S K-01 遺物出土状態、S K-02 遺物出土状態

図版 11 II 区 S K-03 遺物出土状態、S K-07 遺物出土状態・断面層序、S K-09 遺物出土状態

図版 12 I 区 S B-03 柱穴半截、S Z-02 遺構実測風景、S B-03 完掘

図版 13 I 区 P P-35 墨書き土器出土状態、S Z-02 遺物出土状態

図版 14 III 層・S K-01 出土 精製深鉢、S K-01 出土 精製鉢、外底 木葉痕、III 層・S K-01 出土
薄手の粗製深鉢

図版 15 S K-01・III 層出土 刻目突帯文土器、S D-01 出土 刻目突帯文土器

図版 16 III 層・S Z-01 出土 刻目突帯文土器、S K-01・S Z-01・III 層出土 刻目突帯文土器、
口縁部欠損片

図版 17 S D-01 出土 壺・鉢、S Z-01 出土 織織痕土器、S Z-01 出土 壺・高坏

図版 18 S Z-01・III 層出土 粗製深鉢・高坏・壺、S D-01 上面の弥生土器、S Z-01・III 層出土
弥生土器

図版 19 土師器 壺、墨書き土器

図版 20 S Z-01 出土 土師器 壕(1), (2)、III 層出土 土師器 壕、III 層ほか出土 土師器 壕(1)

図版 21 III 層ほか出土 土師器 壕(2), (3)

図版 22 III 層ほか出土 土師器 壕(4)、III 层ほか出土 硬質土師器

図版 23 S Z-01 出土 硬質土師器 皿、III 層・S Z-01 出土 土師器 皿、軋轍圧痕、縫、糸切り底壺

図版 24 III 層ほか出土 黒色土器

図版 25 III 層ほか出土 須恵器(1)

図版 26 III 層ほか出土 須恵器(2), (3)、東播系須恵器、III 層出土 緑釉陶器、中世国産陶器

- 図版 27 III層ほか出土 輸入陶磁器 外面, 内面
図版 28 紡錘車と布痕土器 外面, 内面, 銅製品, 錢貨, 鉄澤
図版 29 III層ほか出土 打製石斧
図版 30 III層ほか出土 打製石斧・未製品, III層ほか出土 刀器
図版 31 III層ほか出土 打製石鏟, 石錐ほか, 打製石斧未製品ほか, 磨器, 砥石

二本杉遺跡

- 図版 1 調査地近景
図版 2 I区 完掘全景
図版 3 I区 東南部 VI層掘り下げ・遺物出土状態
図版 4 18号集石遺構と周辺遺物出土状態, 南東部遺物出土状態, 東部平板測量
図版 5 S S-21と北壁層序, S K-08完掘, 山形押型文土器 出土状態, 尖頭器 出土状態
図版 6 北東部VII層露呈と南西部VI層掘り下げ状況, 北西部平板測量, 南西部掘り下げ状況,
西部VI層 遺物出土状態, 西北部VI層 遺物出土状態
図版 7 S S-01と周辺の遺物 出土状態, 基底土坑 断面, S S-02 基底土坑 断面, S S-03
図版 8 S S-03 基底土坑と下部焼石, 基底配石, S S-04, S S-05~07, S S-05・06
図版 9 S S-05・06 烧石 2段目, 基底土坑と底面の焼石, S S-08, 基底土坑と底面の焼石
図版 10 S S-08 最底面の焼石, S S-09, S S-09 基底土坑と中層焼石 底面の焼石
図版 11 S S-10・11, S S-11 基底土坑と配石, S S-12, 上部除去
図版 12 S S-12 除去, 挖り下げ, 最低位焼石
図版 13 S S-13 基底土坑と基底配石, S S-14 基底土坑と焼石, S S-15, ST-15
基底土坑と焼石, S S-16・17
図版 14 S S-18, S S-19, 基底土坑と焼石, S S-20, S S-21 基底土坑と配石
図版 15 S K03~05 断面層序, 完掘状態, S K-06 断面層序, S K-06 遺物出土状態,
S K-07 断面層序, 完掘状態
図版 16 IV区 全景
図版 17 V~VII区 全景
図版 18 V~VI区 遺構分布状態
図版 19 S A-01 遺物出土状態, 完掘状態, S A-02 床面, 1層遺物出土状態
図版 20 S A-02 完掘状態, S A-03 遺物出土状態, 断面層序, 完掘状態
図版 21 S A-04 床面, 遺物出土状態, 完掘全景, S A-05 遺物出土状態
図版 22 S A-06 挖込, 断面層序, S A-06・05 周辺 完掘状況
図版 23 S A-05・06 よび周辺完掘状況, S A-07 遺物出土状態, 完掘状態
図版 24 S A-08 遺物出土状態, 断面層序, 完掘状態

- 図版 25 S A-09 遺物出土状態, 断面層序, 床面
- 図版 26 S A-10 遺物出土状態, 南側の焼土塊・炭化材・炭化堅果類 出土状態
- 図版 27 S A-10 南東部 炭化堅果類 出土状態, 北東部 炭化材 出土状態
- 図版 28 S A-10 北側 炭化材等出土状態, 床面, 下層炭化材・中央土坑検出状態
- 図版 29 S A-10 北西部 炭化材と中央土坑
- 図版 30 S A-10 床面・断面, 2層除去・断面層序, 完掘全景
- 図版 31 S A-11 遺物出土状態, 断面層序, 完掘全景
- 図版 32 S A-09~11 完掘全景, S A-12 遺物出土状態, 完掘状態
- 図版 33 S A-13 遺物出土状態, 断面層序, 完掘全景
- 図版 34 S A-13 完掘全景, S A-14 遺物出土状態, 断面層序
- 図版 35 S A-14 完掘全景, S A-15 断面・遺物出土状態, S A-15 完掘全景, S A-16 遺物出土状態
- 図版 36 S A-16 完掘全景, S A-17 遺物出土状態, 断面層序
- 図版 37 S A-17 完掘全景, S A-18 遺物出土状態, 断面層序
- 図版 38 S A-18 完掘全景, SK-01 遺物出土状態, SK-03 遺物出土状態
- 図版 39 SK-04 断面層序, 完掘状態, SK-16 遺物出土状態
- 図版 40 SK-18 遺物出土状態, SK-23 遺物出土状態, SK-26 遺物出土状態
- 図版 41 SK-26 断面層序, III区 SD-01・S A-19 完掘全景
- 図版 42 SK-03・04, VI層遺物出土状態, 石鏃模倣品 出土状況
- 図版 43 I区VI層出土 繩文土器(1), (2)
- 図版 44 I区VI層出土 繩文土器(3), (4)
- 図版 45 I区VI層出土 繩文土器(5), (6)
- 図版 46 I区VI層出土 繩文土器(7), (8)
- 図版 47 I区VI層出土 繩文土器(9)~(11)
- 図版 48 I区VI層出土 繩文土器(12)~(14)
- 図版 49 I区VI層出土 繩文土器(15), (16)
- 図版 50 I区VI層出土 繩文土器(17) 外面, 内面
- 図版 51 I区VI層出土 繩文土器(18) 外面, 内面
- 図版 52 I区VI層出土 繩文土器(19)~(21)
- 図版 53 I区VI層出土 繩文土器(22)~(24)
- 図版 54 SS-06, SK-06ほか出土 繩文土器, I区 SS-08・12・18 出土 繩文土器, I区VI層出土 繩文土器(25)
- 図版 55 I区VI層出土 打製石鏃(1)
- 図版 56 I区VI層出土 打製石鏃(2), 未製品 I 桑ノ木津留産黒曜石 厚手石材 粗割り I, II

粗割り 2

- 図版 57 III 調整 1, IV 調整 2, V 調整 3 完成直前
- 図版 58 調整失敗品, 石鐵未製品 剥片様素材 粗割り 1, 粗割り 2
- 図版 59 調整 1, 調整 2, 失敗作
- 図版 60 I 区 VI 層 桑ノ木津留産黒曜石 石核, 間根ヶ平産(?)黒曜石 石核
- 図版 61 I 区 VI 層 間根ヶ平産黒曜石 石核, 間根ヶ平産黒曜石 石核
- 図版 62 灰色縞入り黒曜石 石核, 桑ノ木津留産黒曜石 原石・素材
- 図版 63 I 区 VI 層 桑ノ木津留産黒曜石 原石・素材, 白浜産黒曜石 石核, 产地不詳黒曜石 石核・原石
- 図版 64 I 区 VI 層出土 チャート製石鏃 素材～未製品, 石核・剥片・素材
- 図版 65 石英・玉髓・鉄赤英剝片～石鐵未製品, 鉄石英製石核
- 図版 66 I 区 VI 層出土 石鏃模倣品未製品(1), (2)
- 図版 67 刃器, 未製品・製品・欠損品
- 図版 68 I 区 VI 層 刃器未製品, 石核・剥片
- 図版 69 石核, I 区 VI 層出土 小型石器
- 図版 70 I 区 VI 層出土 円形打製石器ほか, 敷磨石
- 図版 71 台石(1)～(3)
- 図版 72 S A-06 出土 縄文土器, S A-07～10 出土 縄文土器, S A-11～14 出土 縄文土器
- 図版 73 S A-11 出土 縄文土器, IV 区 SK 出土 縄文土器
- 図版 74 IV 区 VI 層出土 縄文土器(1), (2), IV～VI 区出土 縄文土器
- 図版 75 S A-01 出土土器, S A-02 出土土器, S A-03 出土土器
- 図版 76 S A-04 出土土器(1)～(3)
- 図版 77 S A-05 出土土器(1), (2)
- 図版 78 S A-05 出土土器(3), (4)
- 図版 79 S A-06 出土土器(1)～(4)
- 図版 80 S A-06 出土遺物(5)～(7)
- 図版 81 S A-06 出土土器(7), (8)
- 図版 82 S A-06 出土土器(9)～(11), 外底
- 図版 83 S A-06 出土土器(12), S A-07 出土土器, S A-08 出土土器(1), (2)
- 図版 84 S A-08 出土土器(3), (4)
- 図版 85 S A-08 出土土器(5)～(8)
- 図版 86 S A-08 出土土器(9)～(11)
- 図版 87 S A-09 出土土器, S A-10 出土土器(1)～(3)
- 図版 88 S A-10 出土土器(4)～(6)

- 図版 89 S A-11 出土土器(1), (2)
- 図版 90 S A-11 出土土器(3), (4)
- 図版 91 S A-12 出土土器, S A-13 出土土器
- 図版 92 S A-14 出土土器, S A-15 出土土器, S A-16 出土土器, S A-17 出土土器
- 図版 93 S A-18 出土土器(1), (2), III区 S D-01 出土土器 (ほとんどが S A-19 に帰属)
- 図版 94 S K-14 出土土器, S K-14 ほか出土土器, S K-16 出土土器(1), (2)
- 図版 95 S K-18 出土土器(1)～(3)
- 図版 96 S K-23 出土土器(1), (2), S K-24 出土土器
- 図版 97 S K-26 出土土器(1)～(3)
- 図版 98 S K-26 出土土器(4), S A-02 北西外の Pit<7> 出土土器, VI区 IVa 層出土土器,
III～IV区 排土
- 図版 99 表採ほか 輸入陶磁器 外面, 内面, S A-04・10, S K-18 出土鐵鏹, S A-10 出土
炭化堅果類サンプリング
- 図版 100 II区 VI层出土石器, IV～VI区 S A出土 石鏹, 石庖丁
- 図版 101 IV区 VI层出土 石器, 未製品・石核・剝片・原石
- 図版 102 IV～VI区出土 石匙, 刀器・剝片・石核など
- 図版 103 IV～VI区出土 刀器, S A-07 出土 台石, S A-08 出土 台石
- 図版 104 IV区 III～IVa 層出土 磨石, IV区 排土 砥石

元塚塚

- 図版 1 調査前の状況
- 図版 2 雜草木除去, 表土掘下, 北西隅 遺構面, 北東隅 第 9 試掘溝と北辺部
- 図版 3 北辺中央 第 1 試掘溝, 南東隅 表土除去, 崩落礫出土状況 南辺中央 第 6 試掘溝と周辺
- 図版 4 基壇 全景
- 図版 5 基壇および周溝の肩
- 図版 6 南西～南部 基壇と周溝, 北西部 基壇と周溝, 北東部 基壇と周溝
- 図版 7 基壇半截 (清掃途中), 基壇半截 断面, 基壇中央部 埋納坑確認のための試掘

第1章 はじめに

昭和61（1986）年度から、本市の圃場整備事業が本格化し、それに伴う発掘調査を毎年のように実施し、調査報告書を刊行するという繰り返しが平成22年度をもって一段落し、畠地灌漑事業へ移行した。今回報告する桑田遺跡と二本杉遺跡は、単独市費の調査であり、出土遺物が相当量あることと、公共事業優先で先延ばししてきたことから、今日まで未報告の状態が続いた。元巣塚については、『史跡整備報告書』の刊行が計画されなかったので、掲載機会を逸したままであった。近世初頭の石塔調査としては県内でも皆無に等しく、公開の場を待望していた。

第2章 遺跡の位置と歴史的環境（第1図）

桑田遺跡は、本市のほぼ中央付近、えびの市大字上江字桑田に位置し、盆地中央を西流する川内川の支流の一つ池島川の右岸に立地する。池島川の氾濫原よりも8m高いが、北接する東西幅5.5kmの原田・上江遺跡群（48）の段丘よりも6m低く、火山灰は流失し、粘質土や砂礫が堆積している。なお、1970年九州縦貫自動車道建設に伴う事前調査は行なわれていない。

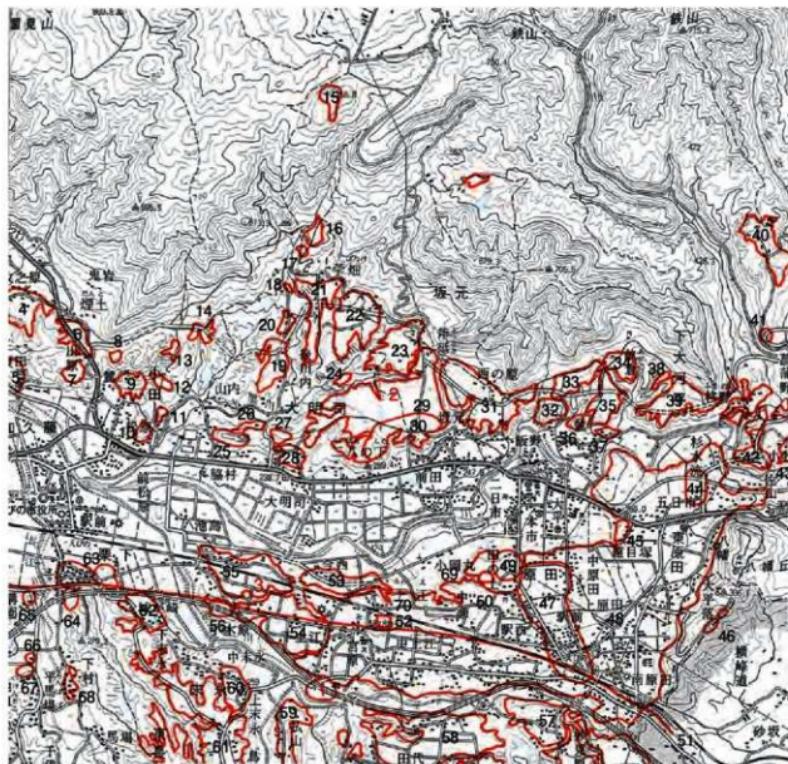
二本杉遺跡は、桑田遺跡の北3.2kmの高位段丘、えびの市大字坂元字二本杉に位置するが、大きさは広畠遺跡（29）に属する。広畠遺跡は氾濫原との比高40m、標高290mの高位段丘に立地した東西1.5km・南北0.8~0.9kmの、川内川右岸で最も広い段丘面である。遺跡としては広すぎる所以、小字名をとって分割した。調査区の西端部（I区）は微高地で、周辺で最も高い。I区西方の谷を挟んだ畠地では、トレンチャー（ゴボウ播種のための溝掘削機械）によって石皿が10点ほど掘り出されている⁽¹⁾。中世末、飯野城城主島津義弘が加久藤城間4.2kmに馬を走らせた道路跡（野谷筋）が地形図にも痕跡を残し、近現代まで“殿道”として認識されていた⁽²⁾。東南部は芋畠地下式横穴墓群（30）と重複し、平成元年度、市道坂元芋畠線外2線整備工事に伴う発掘調査を実施し、板石積石棺墓4基・地下式横穴墓19基等を検出している⁽³⁾。第2次大戦末期、陸軍の飛行場を建設し、完成とともに終戦を迎えた歴史があり、相当数の地下式横穴墓の玄室天井が陥没した話を聞いている。

元巣塚は、えびの市大字池島字三反田にあり、原田・上江遺跡群の西、川内川と池島川の合流点に近い氾濫原との比高2mの最低位段丘に立地する。同一段丘面の南東300m地点の永田原遺跡（55）では、昭和61年度の発掘調査において、弥生時代後期後半の間仕切り住居や9~10世紀の掘立柱建物跡、直線区画溝などを検出し、相当量の遺物の中には、市内で唯一の挿入柱状片刃石斧や「長」字墨書き土器、多量の布痕土器が出土しており、現在は古代の牧を想定している⁽⁴⁾。

南東方向は8m高い低位段丘になり、県内最大規模の小木原地下式横穴墓群（54）が群在する⁽⁵⁾。小林市との市境にある八幡丘遺跡の頂部切通（46）からはナイフ型石器1点が採取されているが、市内東部では他に無い。縄文時代中期後半から点々と遺物が出土し、上田代遺跡では3万点以上の遺物と遺構が出土している。弥生時代後期以降は調査例も増加し、上田代遺跡や松山遺跡（58）、草

刈田遺跡（63）で間仕切り住居が検出されている。⁽⁷⁾

古墳時代の墳墓群は多く、川内川左岸には小木原のほか、建山地下式横穴墓群（47）、遠目塚地下式横穴墓群（45）、杉水流地下式横穴墓群（44）が立地し、松山遺跡では小型形式の地下式横穴墓1基を検出した。確認総数400基以上の小木原地下式横穴墓群は4支群（6～7小支群）に分けられ、



- 1：桑田遺跡 2：二本杉遺跡 3：元巣塚 4：牧ノ原遺跡 5：園田城跡（調査後消滅） 6：丸尾遺跡 7：埋土遺跡
8：淨慶城跡 9：加久藤城跡 10：甘里遺跡 11：尾山遺跡 12：城内第1遺跡 13：城内第2遺跡 14：城内第3遺跡
15：球磨陣跡 16：六本原第1遺跡 17：六本原第2遺跡 18：六本原第3遺跡 19：菅合原遺跡 20：六本原第4遺跡
21：山神原遺跡 22：宇畠第3遺跡 23：宇畠第1遺跡 24：宇畠第2遺跡 25：小城跡 26：大明司鳥越遺跡 27：拂部
城跡 28：越シ遺跡 29：広畠遺跡 30：芋畠地下式横穴墓群 31：稻荷下遺跡 32：飯野城跡 33：櫛庵遺跡 34：中須遺
跡 35：愛染院遺跡 36：金丸城跡 37：佐院遺跡 38：畝倉第2遺跡 39：畝倉第1遺跡 40：松野第2遺跡 41：吉田
陣跡 42：小牧遺跡 43：佐牛野遺跡 44：杉水流地下式横穴墓群 45：遠目塚地下式横穴墓群 46：八幡丘遺跡 47：建
山地下式横穴墓群 48：原田・上江遺跡群 49：田之上城跡 50：北田遺跡 51：官道（推定） 52：法光寺跡 53：ロ
ノ坪遺跡 54：小木原地下式横穴墓群 55：永田原遺跡 56：鳥越城跡 57：妙見原遺跡 58：田代地区遺跡群 59：曲田遺
跡 60：村ノ前遺跡 61：松野第1遺跡 62：北木場第2遺跡 63：草刈田遺跡 64：稻荷城跡 65：満園城跡 66：役所
田遺跡 67：小路下遺跡 68：小屋敷城跡 69：古城跡 70：上江城跡

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図（1：50,000）

相応する集落が存在したはずであろうが、現時点では不明なままである。東端の佐牛野遺跡（43）は古墳時代後期を主とした推定総数200～300軒の大規模集落⁽⁸⁾であり、1km西に杉水流地下式横穴墓群が立地する。

古代の調査例は少ないが、北田遺跡（50）で数棟の掘立柱建物跡と牧の境界溝⁽⁹⁾が、草刈田遺跡で官道⁽¹⁰⁾が検出されている。法光寺跡（52）は9世紀代の寺院跡であり、上田代遺跡の東南部においては、中世後半～近代にかけて2度改修された用水路が検出されており、湧水地から丘陵裾沿いに800mも導水して灌漑した大土木工事が行われている。当用水路は素掘りであるが中世後半に開削され、近世に新規掘削され19世紀には溝さらえをして再使用、近代に現位置（山際）へ移動したことが判明している。

中世には肥沃な盆地・交通要所の霸権争奪によって丘陵尖端部や段丘縁部に山城や平城が築かれた。中でも飯野城（32）は永暦元年（1160）日下部氏によって築城されたとされ、一国一城令に至るまで継続した、最も重要な山城である。発掘調査面積は僅かである⁽¹¹⁾が、布掘りの巨大な柱穴が並ぶ。2km対岸の田之上城跡（49）でも同類の建物跡が検出されており、最終的には島津義弘が管轄し、盆地東部の要の双壁となっていたものと推定される。

註

- (1) えびの市史編纂室『えびの市史』上巻 1994
- (2) えびの市教育委員会『稻荷下遺跡』 1997
- (3) えびの市教育委員会『広畠遺跡』 1991
- (4) 谷口武範『永田原遺跡』『永田原遺跡・小木原遺跡群蔵地区・ロノ坪遺跡』えびの市教育委員会 1990
- (5) 文獻（4）、えびの市教育委員会『小木原遺跡群蔵地区・久見迫B地区・地主原地区、原田・上江遺跡群六部市遺跡・中溝遺跡・法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ』1996
- (6) (1)と同じ
- (7) えびの市教育委員会『田代地区遺跡群・妙見原遺跡』 1997
えびの市教育委員会『草刈田遺跡』 2004
- (8) えびの市教育委員会『佐牛野遺跡』 2000
- (9) えびの市教育委員会『小岡丸地区遺跡群』2003、現在では、永田原遺跡例と同様、牧の境界溝として理解している。 中野和浩「えびの市の官道と牧について」『えびの市歴史民俗資料館 年報(No5)』えびの市教育委員会 2013
第1図の推定官道ラインは、平成31年現在、法光寺跡の南縁は通らず、JR北側の最低位段丘へ降りて、草刈田遺跡を通って北西へ曲がり、大字灰塚字真幸に推定真駒駅があり、現国道南沿いの現集落と重なる自然堤防上を通るルートが最有力と考えている。
- (10) (7)と同じ
- (11) えびの市教育委員会『えびの市の城館跡』 2008
- (12) (9)と同じ

第3章 桑田遺跡の発掘調査

第1節 はじめに

平成2年、本市中央南側の上江地区において、上江中学校の南側に地区体育館を建設する話があり、急遽、予定地内でボーリングステッキによる探査を実施した。その結果、遺物包含層らしき土層が広がることがわかった。周知の遺跡の範囲には入ってなかったが7月17日、試掘溝を5ヶ所に設定したところ、全ての地点で遺物包含層と遺構面を確認した。そこで工事着工前の緊急調査となり、20日には重機を入れた。建物と駐車場予定地が主たる対象地となり、3分割（西からI・II・III区）して遺物包含層以下の調査をした。遺構・遺物が予想以上に出土したことから対象地全ては完掘できなかったが、予算限界まで作業員を投入し、最小の破壊になるように最善をつくした。

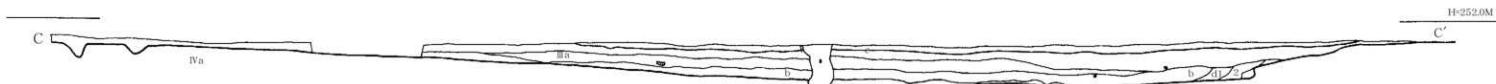
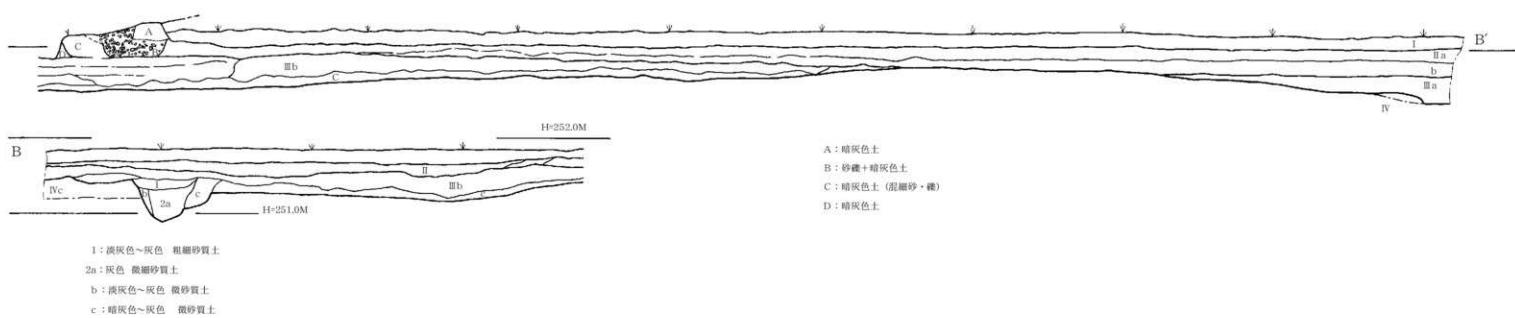
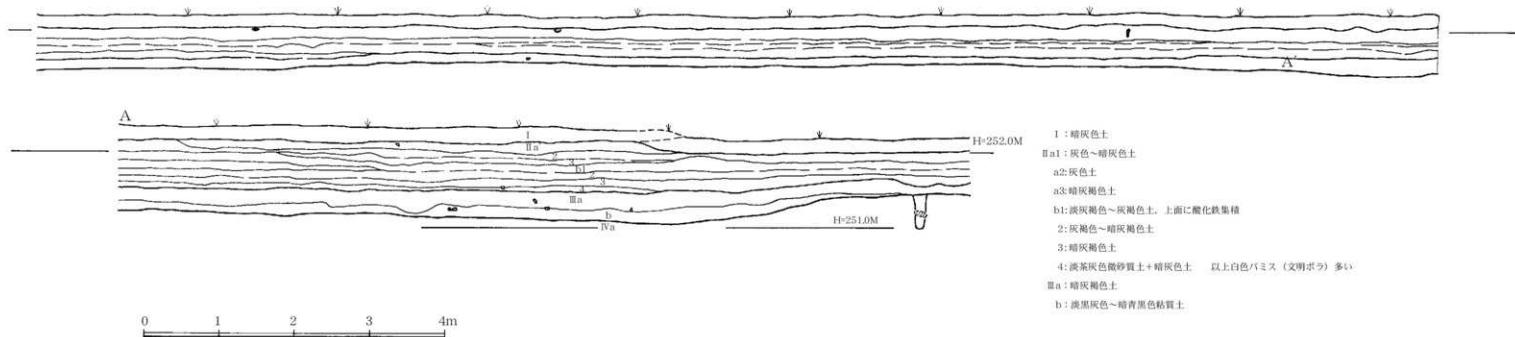
結果論であるが、高速道路沿いの進入路部分も調査しておくべきであった。当該地は削平されていないので、将来、道路の改修が計画された際には調査しなければならない。



第2図 調査地位置図 (1:5,000)



第3図 遺構分布図



第4図 土壌断面図

第2節 基本的層序

層序は上から、I層：水田耕作土、II層：水田基盤土、近世以降の灰色系の土層、III層：中世以前の黒色系の遺物包含層、IV層：淡黄褐色微砂質土（無遺物層）に大別した。II層は5層に、III層は3層に細分できた。

IV層以下は段丘の層序ではなく、池島川の氾濫堆積層であり、無遺物層である。

第3節 発掘調査

調査はI区から始め、III層以下は6分割して掘り下げた。IV層上面に至ると、遺構検出をした。SZ-01の南肩部には円形土坑が散在し、貯蔵穴状の遺構もある。IV層上面で検出した遺構のうち古代の柱穴や土坑がI区に集中している。III区は後世の削平が著しく、遺構とIII層は稀薄である。

1. 弥生時代早期～前期の遺構と遺物

土坑 20基程度と溝状遺構（SD-01）があり、後世の削失を受けていない。

SK-01（第5図）

直径1.07～1.14mの円形を呈し、深さ8～14cmの土坑である。土器片40点余りと打製石斧の基部（38）、未製品失敗品（37）等が出土した。極めて浅い不要物廃棄土坑と推定される。

SK-02（第5図）

直径1.06～1.14mの円形を呈し、深さ22～24cmの土坑である。

SK-03（第5図）

直径80cmの円形を呈し、深さ23～26cmの土坑である。

SK-05（第5図）

長径88cm・短径82cmの円形を呈し、深さ13～24cmの土坑で、底面は5～10cmの段差がある。

SD-01（第6図）

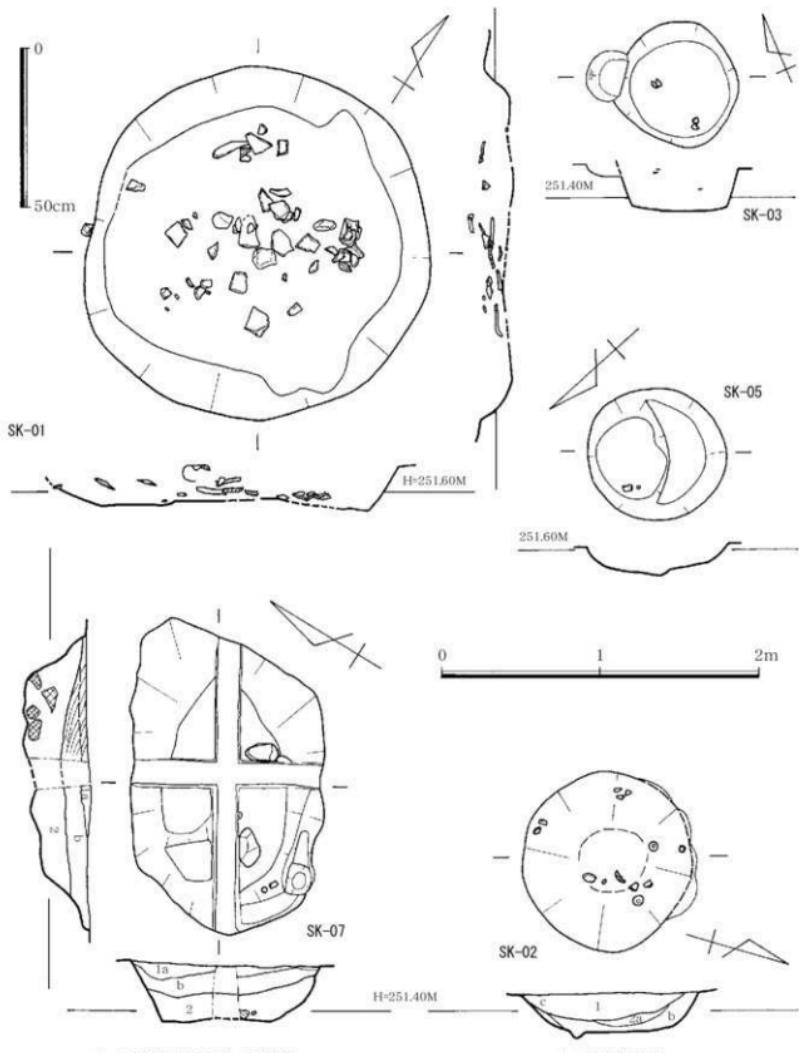
I区南側に位置した、幅2.0～4.40m、深さ30～40cmを測る。平面形は歪であるが、底面は平坦で、南西部が1段落ちる。覆土の上半分（1層）に遺物が集中している。覆土は暗茶褐色で砂礫を殆ど含まず、底面の傾斜も顕著ではないことから、溝的機能を想定できない。

出土遺物は突帯文土器が主で、小破片ばかり112点のほか、剥片6点が出土している。上面から弥生前期の土器片（23・28・29）が出土しているが、覆土中ではない。

なお、南西壁において土壤分析を委託した結果、上層からプラント・オバールを検出し、熱帶型ジャボニカであると報告された。下層からは全く検出できず、その要因は不明である。

その他の出土遺物

III層と古代の溜池状遺構（SZ-01）から、突帯文土器片436点のほか弥生土器約200点、石器・剥片約150点が出土している。



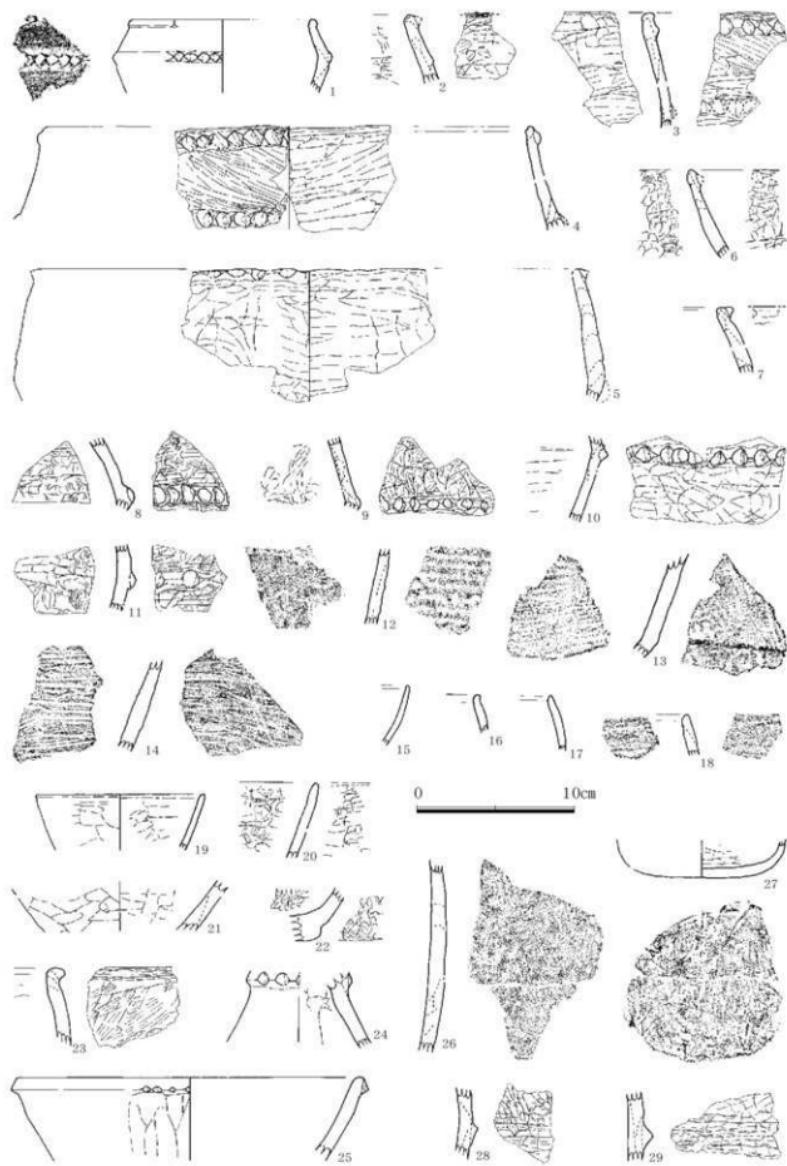
1a : 赤褐色～灰白色 粗細砂
 b : 淡灰色～微細砂 + 灰色～暗灰色 粘質微砂 (互層)
 2 : 暗灰色～淡黑色 粘質土 + IVa 層塊

1 : 淡黑褐色土
 2 a : 淡茶灰色土
 b : 暗灰褐色土 (混IVa 土)
 c : IVa 土 + 暗灰褐色土

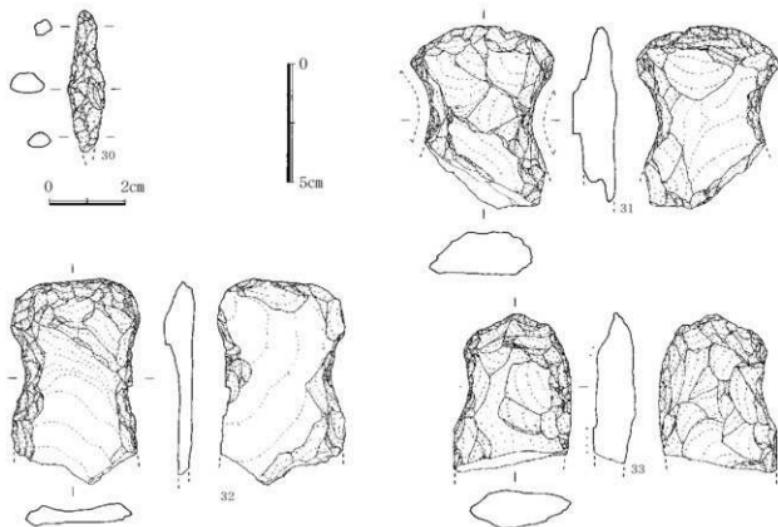
第5図 SK-01~03-05-07 遺構実測図



第6図 SD-01・SZ-01 遺構実測図



第7図 SD-01 出土遺物実測図(1)



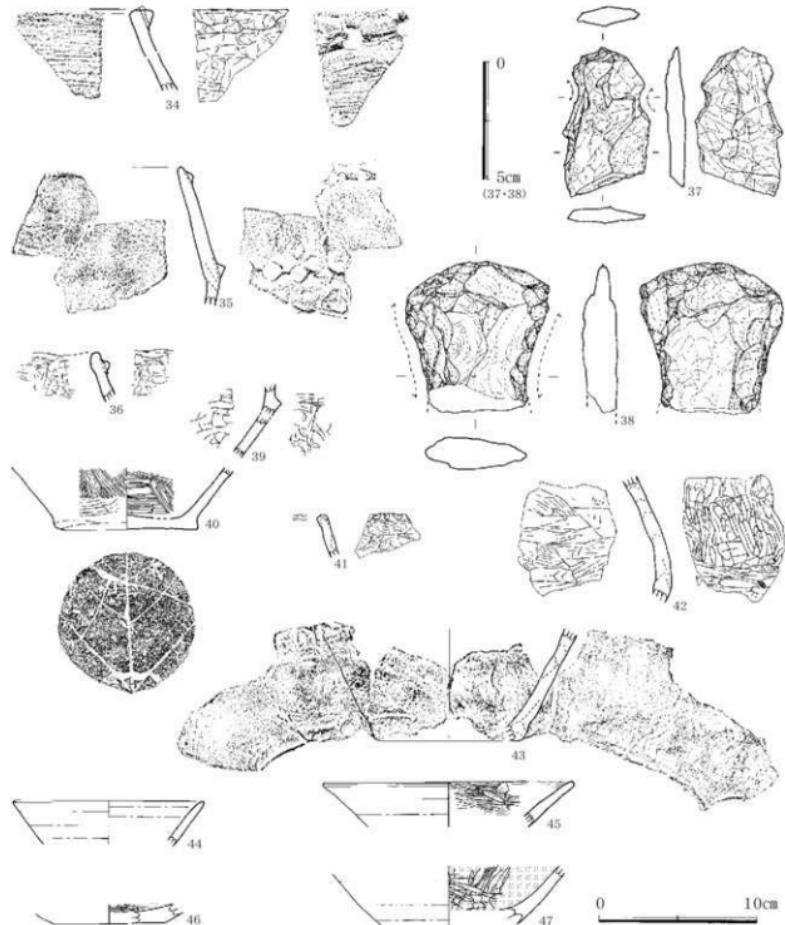
第8図 SD-01 出土遺物実測図(2)

表1 SD-01出土土器観察表

NO	種類	出土地	器種	法面(㎜)	質素		胎土	焼成	色調		備考
					外面	内面			外面	内面	
1	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	113	板ナメ	ナメ	微細砂多量	良	淡茶灰	淡茶灰	
2	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	-	-	微細砂少々多い	良	暗茶灰～深茶灰	淡茶灰～深茶灰	
3	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	条状(マツブ)	手打キ・板ナメ	微細砂少々多い	良	灰青灰～淡灰灰	暗茶灰～深茶灰	
4	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	307	板ナメ	板ナメ	微細砂少々多い	良	淡青灰～深青灰	灰青灰～深青灰	
5	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	342	ナメ・板ナメ	丁寧・板ナメ・ナメ	微細砂少々多い	良	淡青灰	淡茶灰	
6	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	ハケ	微細砂少々多い	良	淡茶灰～茶褐	淡茶灰	
7	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	丁寧ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰～茶褐	淡茶灰	
8	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	丁寧ナメ	微細砂少々多い・鐵石混在	良	淡茶灰～深茶灰	淡茶灰～深茶灰	
9	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	-	ハケ	微細砂少々多い	良	淡茶灰～淡灰黄	淡茶灰～淡茶灰	
10	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	丁寧工具ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰～淡茶灰	淡茶灰	
11	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	手打ナメ	手打ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰	淡茶灰	内、外表面 手打仕上
12	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	粗工具ナメ	工具ナメ	微細砂少々多い	良	棕灰	暗茶灰～淡灰灰	
13	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	粗工具ナメ	条状・工具ナメ	微細砂・茶褐色少々多い	良	深褐～淡茶灰	系灰～系灰	
14	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	粗工具ナメ	茶刷	微細砂少々多い	良	暗茶褐～淡灰灰	深褐～褐	
15	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	板ナメ・ナメ	ナメ(?)	精緻	良	淡茶灰	淡茶灰	
16	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	板ナメ	板ナメ	微細砂多量	良	灰褐	淡茶灰	
17	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	板ナメ	板ナメ	微細砂多量	良	灰褐	淡茶灰	
18	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	板ナメ	板ナメ	微細砂多量	良	暗茶灰	淡茶灰	
19	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	193	工具ナメ	ナメ・工具ナメ	微細砂少々多い	良	日暮・茶葉灰成灰褐	淡茶灰	
20	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	粗工具ナメ	工具ナメ	良	良	暗茶褐～深茶灰	淡茶灰～深茶灰	
21	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	板ナメ	板ナメ	微細砂少々多い	良	深茶灰	深茶灰	成灰～深灰
22	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	ハケ	微細砂少々多い	良	深茶灰	深茶灰	褐
23	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	丁寧ナメ	微細砂少々多い	良	深茶灰	深茶灰	深茶灰
24	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	ナメ	ナメ(?)	微細砂少々多い	良	深茶灰	深茶灰	
25	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	217	板ナメ	板ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰	淡茶灰	
26	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰	淡茶灰	
27	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰～深茶灰	淡茶灰～深茶灰	
28	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	ナメ	ナメ	微細砂少々多い	良	淡茶灰	淡茶灰	
29	陶生土器	II区 SD-01	深鉢	-	工具ナメ	ナメ	微細砂少々多い	良	暗茶褐～暗茶灰	暗茶褐～茶褐	

表2 SD-01出土土器観察表

NO	種類	出土地	器種	法面(㎜)	蓋さ	石材	NO	種類	出土地	器種	法面(㎜)	蓋さ	石材		
30	石器	II区 SD-01	石器	380	9	5	2	31	石器	II区 SD-01	打製石器(刃部欠損)	873	34	12	62
31	石器	II区 SD-01	打製石器(刃部欠損)	677	60	18	83	32	石器	II区 SD-01	打製石器(刃部欠損)	867	48	16	67



第9図 SK-01-02-07ほか出土遺物実測図 34~38:SK-01, 39~40:SK-07, 45~47:SK-02

表3 SK-01-02-07ほか出土土器観察表(1)

NO	種類	出土地	器種	法量(mm)		調整		胎土	焼成	色調			
				口径	底径	器高	外面			外面	内面		
34	弥生土器	SK-01	深鉢	—	—	—	工具ナデ	半ミガキ	良	やや あまい	淡黄褐	淡黄灰	
35	弥生土器	SK-07	深鉢	—	—	—	板ナデ	ヘラミガキ+ナデ(ヨコ)	良	茶褐～茶褐(化粧粘土)	黑灰		
36	弥生土器	SK-01	深鉢	—	—	—	工具ナデ	半ミガキ	良	淡褐～茶褐	淡黄褐		
39	漢文土器	SK-07	深鉢	—	—	—	ミガキ+工具ナデ	ミガキ	良	淡茶灰～淡黒灰	暗茶灰～暗茶褐		
40	漢文土器	SK-07	深鉢	—	—	90	—	ヘラミガキ+ナデ	精良	良	灰褐	灰褐	マメツ 錆・水漬 痕・重張が明顯
41	弥生土器	II区SK	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	褐～暗茶褐	暗茶褐～褐		
42	弥生土器	SZ-01	鉢	—	—	—	半ミガキ+ミガキ	強い工具ナデ～半ミガキ	良	褐～淡灰、黒灰	淡灰褐～灰褐	外：斜斜様子	

表4 SK-01・02・07ほか出土土器観察表(2)

NO	種類	出土地	器種	重量(mm)		調査		胎土	焼成	色調		
				口径	底径	器高	外面			外面	内部	
43	弥生土器	SZ-01 内 SK	深鉢	—	93	—	粗末ガラ	柔軟～工具ナゲ	微細砂少量、 茎葉色粒少量	良好	淡褐色～暗灰褐色	黒褐色～暗灰褐色
44	土器部	SK	坪か	121	—	—	(マツ)	ナゲ	赤褐色紅微量	やや あまい	淡褐色～淡灰褐色	淡褐色～淡灰褐色
45	黒色土器	I区<115>・ SK-02	坪か	161	—	—	ナゲ	毛ガラ	良	良	淡黄	黒褐色
46	黒色土器	I区<115>・ SK-02	坪	—	71	—	毛ガラ	毛ガラ	良	良	淡褐色・黒褐色	黒褐色
47	黒色土器	I区<115>・ SK-02	?	—	—	—	ナゲ(ややマツ)	毛ガラ	良	やや あまい	淡黄褐色	黒褐色

表5 SK-01・02・07ほか出土石器観察表

NO	種類	出土地	器種	重量(mm)			重さg	石材	NO	種類	出土地	器種	重量(mm)			重さg	石材
				長さ	幅	厚さ							長さ	幅	厚さ		
37	石器	Ⅱ区 SK-01	打製石斧尖端品	63	37	8	19	ホルシフェルス (標記)	38	石器	Ⅱ区 SK-02	打製石斧	(64)	50	14	66	細灰質砂岩

2. 古代

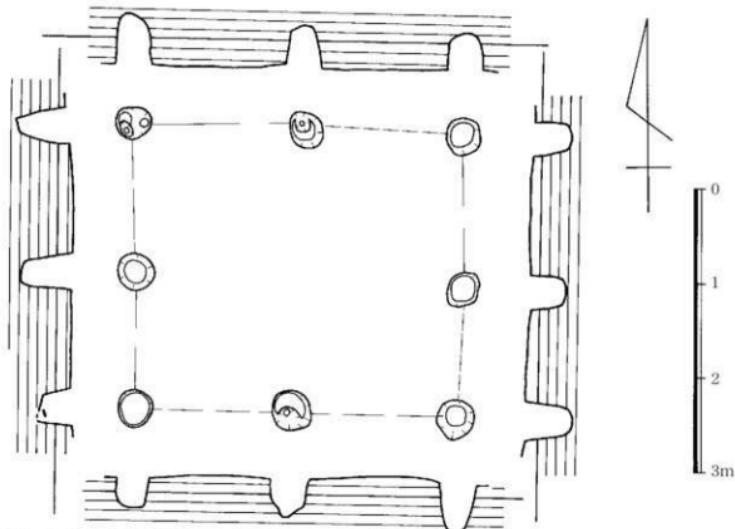
掘立柱建物跡3、大型土坑2ほか溜池状遺構(S Z-01)、小 pit がある。なお、PP-35 から体部外面上に「+」と墨書した坏(109)が出土している。建物や柵の pit ではないので地鎮と推定される。

SB-01 (第10図)

梁行2間(2.96~3.0m)、桁行2間(3.40~3.50m)の掘立柱建物跡である。柱穴の規模は、直径33~45cm・深さ32~55cmである。主軸方位は、N87°Wである。

SB-02

梁行2間(2.5m)、桁行2間(3.9m)の掘立柱建物跡と推定される。柱穴の規模は、直径20~35cm、深さ30~40cmである。主軸方位は、N84°Eである。



第10図 SB-01 遺構実測図

SZ-03 (第11図)

梁行2間(3.60~3.70m)、桁行3間(5.70~5.80m)の掘立柱建物跡である。柱穴の規模は、直径47~62cm、深さ50~80cmである。主軸方位は、N3°Eである。柱穴の大半に柱痕跡があり、直径14~20cmの円柱であったことがわかる。

SZ-01 (第3・6図)

I区の北東部から北西部にかけて低位段丘直下から等高線に沿う形で、幅7~12mで、深さ35~70cmを測る。北西部が最も深く、南東部に幅2~3mの排水路があることから、水田用水の加温用溜池と推定される。覆土には突帯文土器が目立つものの、弥生土器や石器に混じって底面付近にも土師器や布痕土器、黒色土器がみられる。古代の土器は混入とは言えないほどの量があり、遺構の年代は9世紀後半と推定される。弥生時代早期の遺物包含層を掘削しているために、当該期の遺物が多いと思われる。青磁碗(89)は混入と思われる。小型の打製石斧もしくはミニチュアと推定されるもの(96)と紡錘車(90)以外はすべて破損品である。

SZ-02 (第12図)

01~03号建物と5~6m隔て、西の谷の肩口に位置した、長さ7m・幅1.8~2m・深さ4~18cmの浅い凹み状を呈し、長側辺に幅30~40cm、長さ0.6~1m弱の突出部がある。長側辺の肩部には深さ5~10cmの小pitが密集し、底面中央寄りには拳大~親指大の礫と土師器の細片が散在していた。

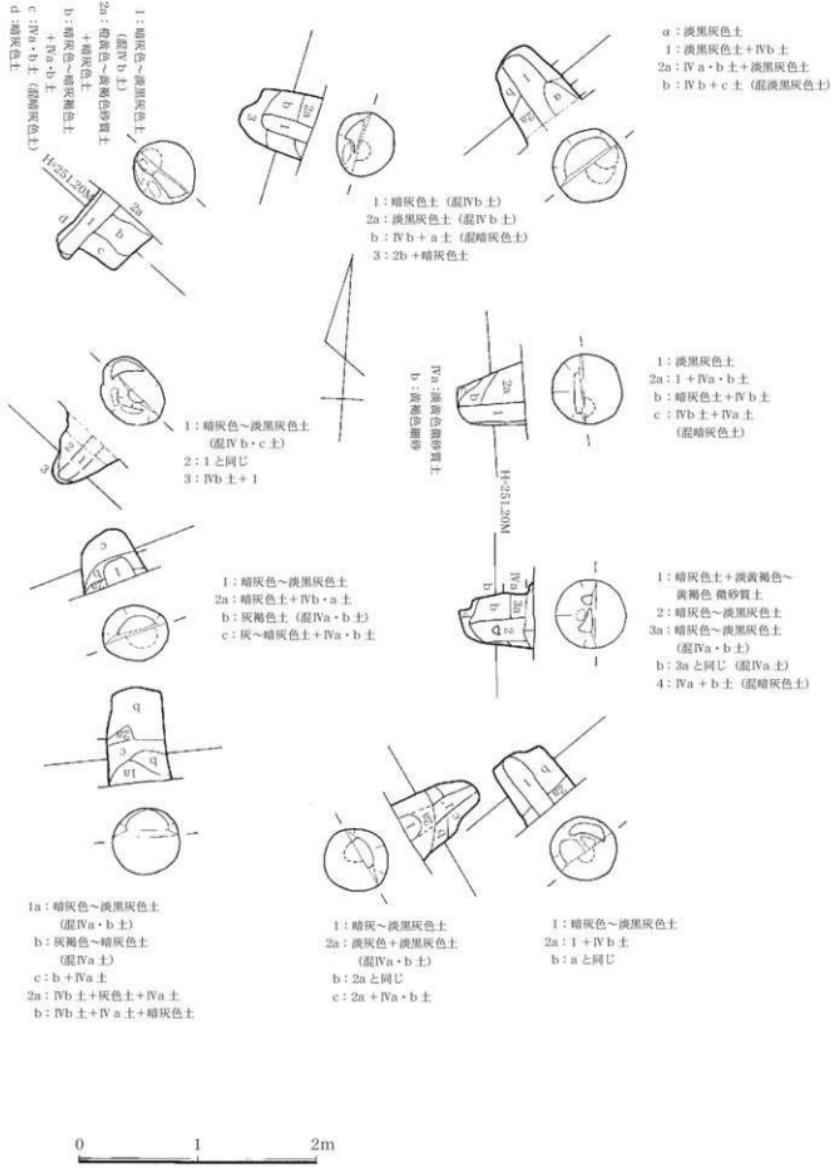
確証は無いが、庭園の池であった可能性があると思っている。

SZ-03 (第13図)

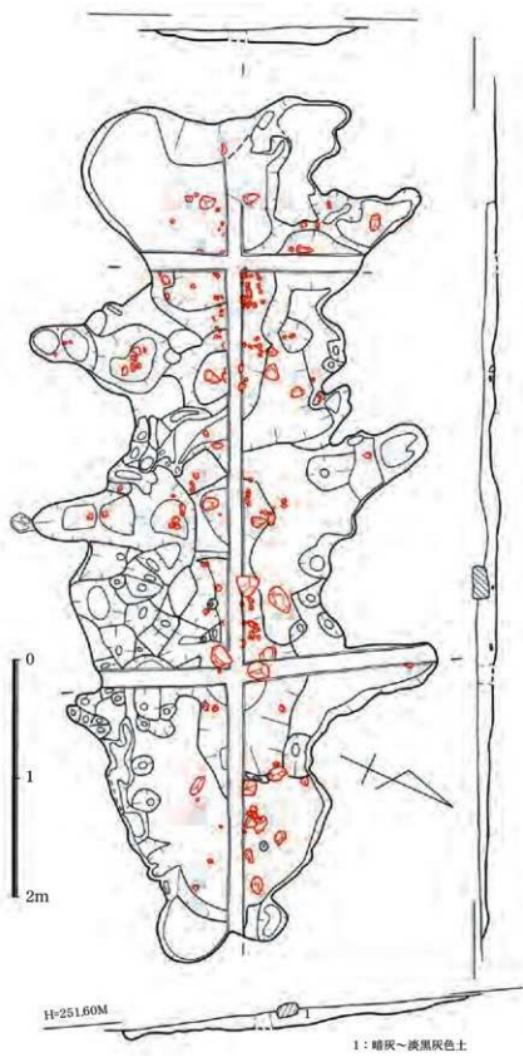
02号建物跡の北東1mに位置した、長さ4.02m・幅1.3~2mの歪つな形で、深さ20~50cmを測る。南西側が深く、底面の凹凸が激しい。覆土から少量の土師器片が出土したが、機能は不明である。

出土遺物

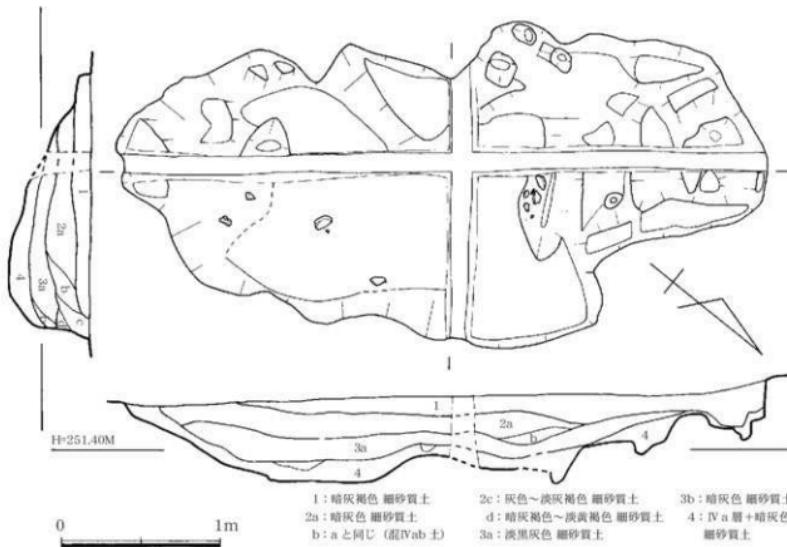
III層と溜池状遺構(SZ-01)から、土師器片約9500点のほか、黒色土器408点、須恵器109点、綠釉陶器1点(長門産か)、布痕土器475点などが出土している。遺構の数に対して数量が多く、上位段丘からの流れ込みが多いと思われる。



第11図 SB-03 造構実測図



第12図 SZ-02 造構実測図



第13図 SZ-03 遺構実測図

3. 中世

遺構は無いが、II層から輸入陶磁器17点や国産陶器24点などの遺物が若干出土している。

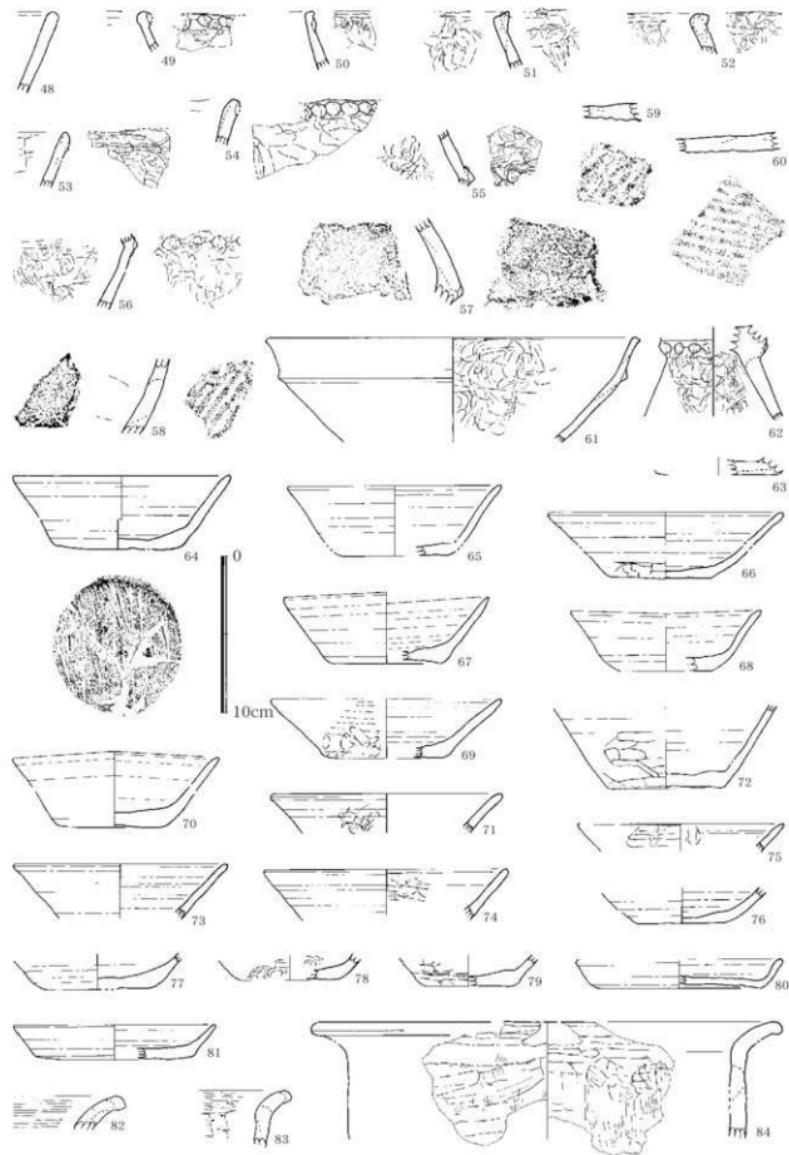
第4節　まとめ

弥生時代早期の土器と打製石斧、熱帶型ジャポニカの検出は当時は南九州では稀な事例で、新聞にも特集が組まれ、全国的に周知された遺跡になった。にもかかわらず、今まで基礎資料の公表が遅れてしまったことをお詫びしたい。

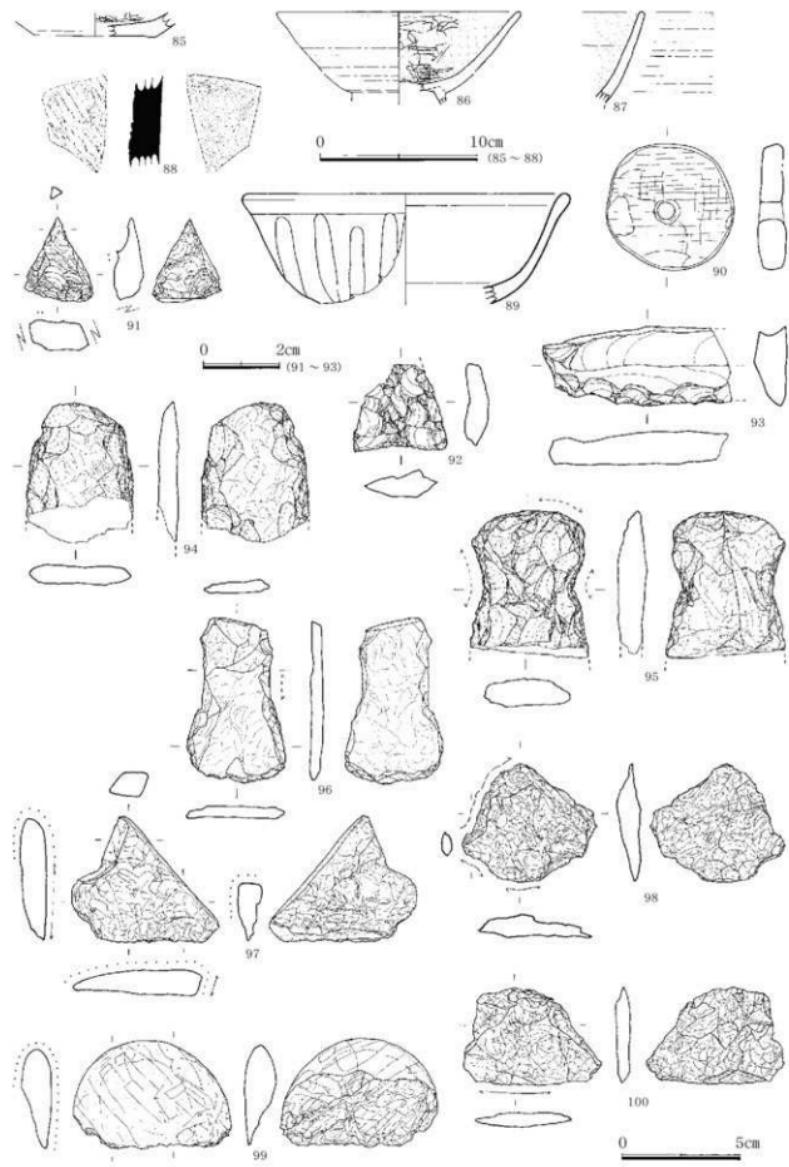
刻目突帯文土器以外では、前期末～中期初頭の壺が少量あり、断続的な文化の流入がある。石器は打製石斧が最も多いがその多くは破片である。不定形刃器や石庖丁、石錐等の製品のみでなく、製作時の破片やチップも出土しており、直上の段丘が集落本体であろうと推測される。

弥生早期の農耕用具が打製石斧のみであることと立地条件から、陸稻が想定されるが、北東側にある同一レベルの段丘面や池島川氾濫原での水稲も想定しうことから、実態の解明は将来に委ねられる。

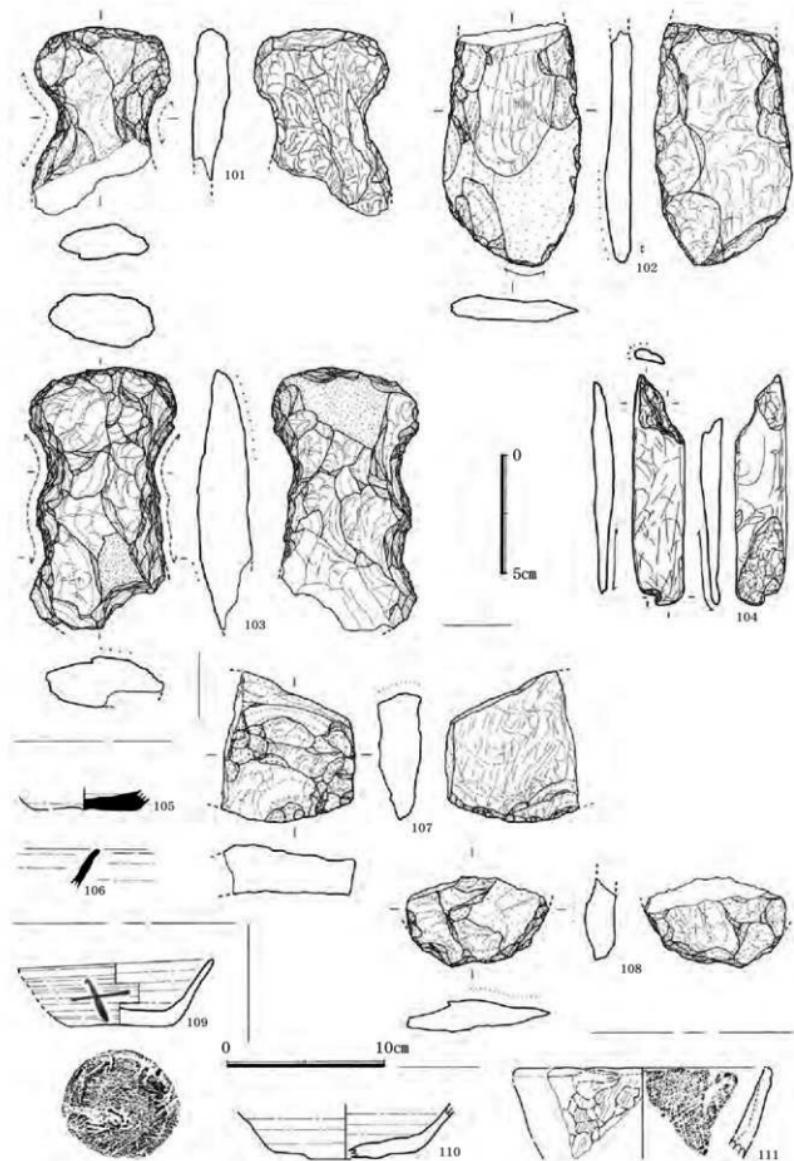
9世紀には段丘直下に溜井を構築し、水温を上げて水田に導水した可能性を想定する。土師器や黒色土器・布痕土器等も多いうえに緑釉陶器の出土を考えると、上位段丘面に役所的施設の存在を想定せざる。



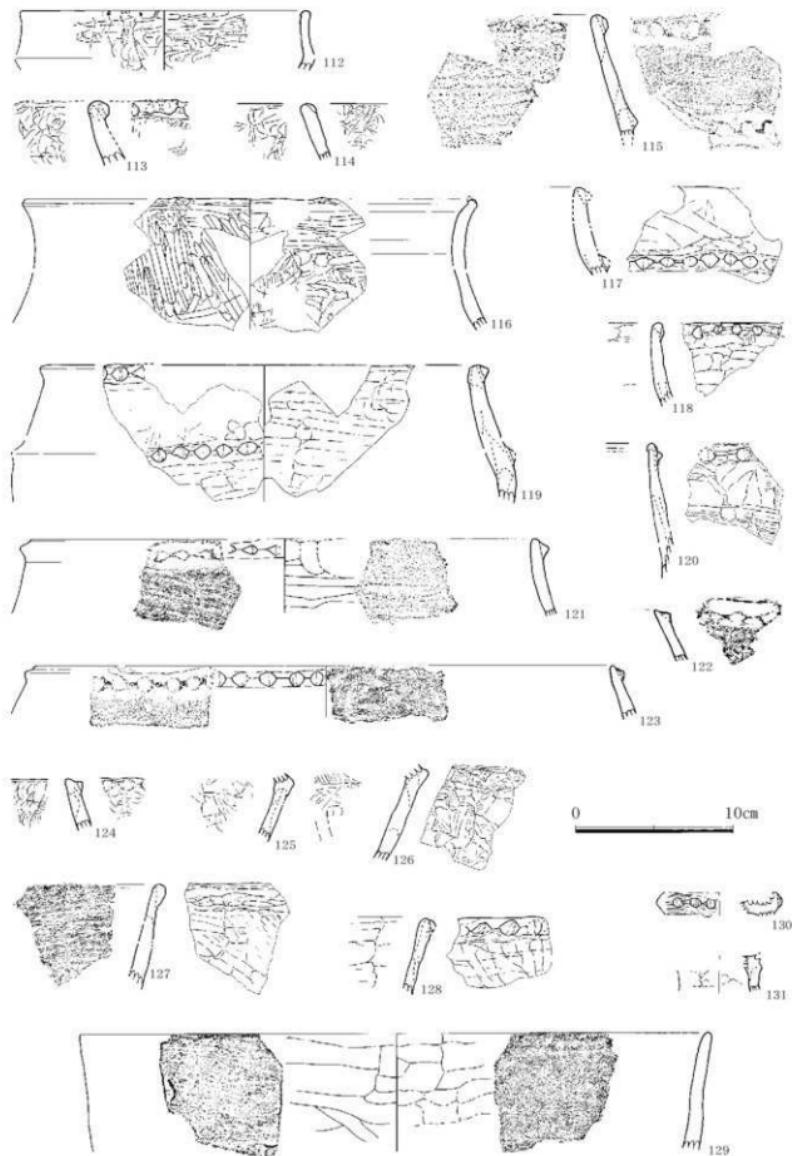
第14図 SZ-01 出土遺物実測図(1)



第15図 SZ-01 出土遺物実測図(2)



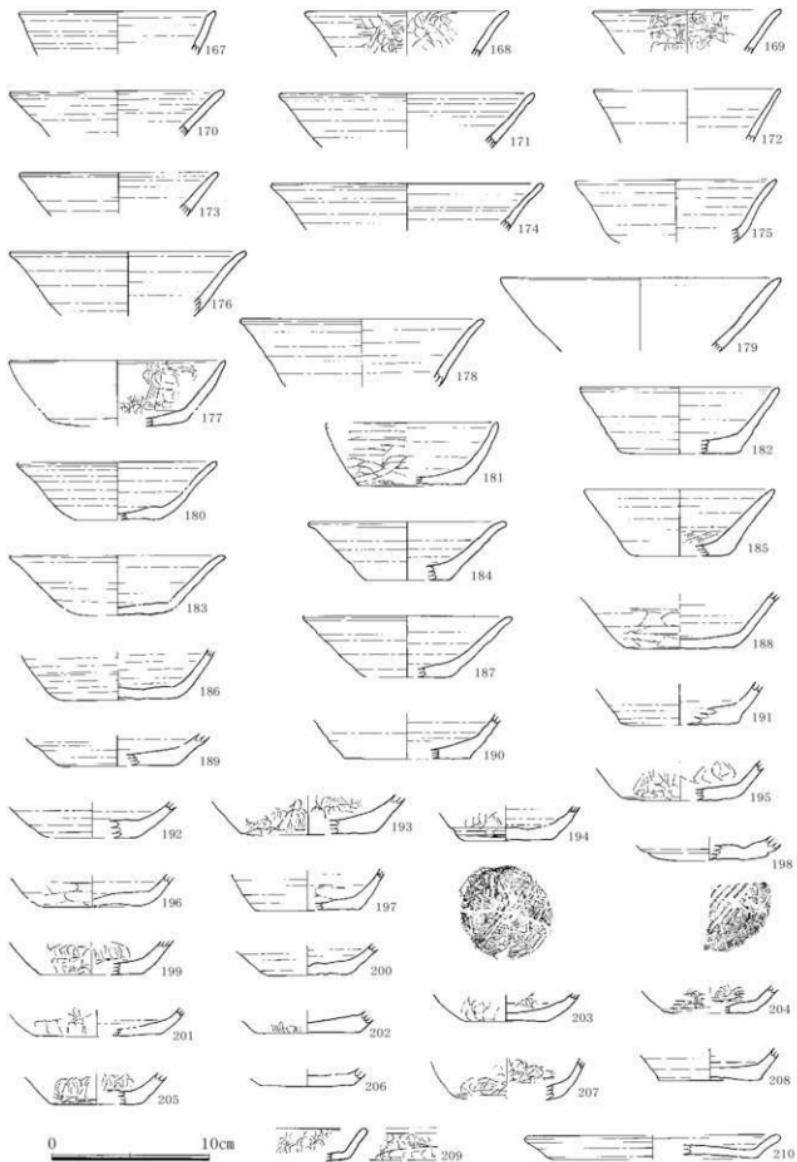
第16図 SZ-01 出土遺物実測図(3)、SZ-02-PP35ほか出土遺物実測図



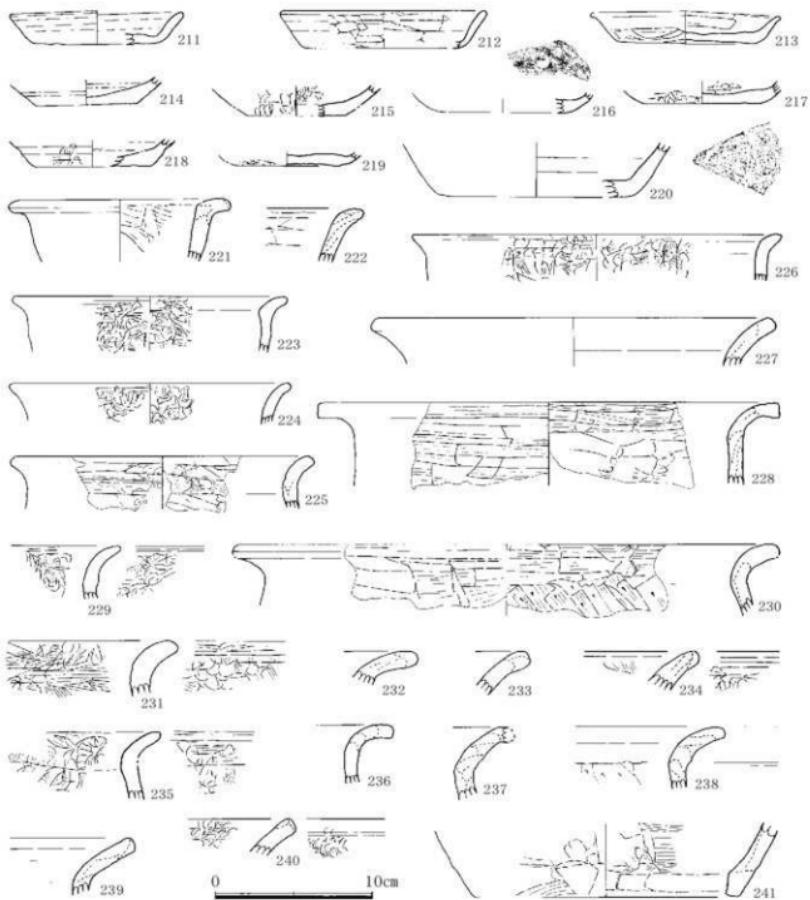
第17図 Ⅲ層出土遺物実測図(1)



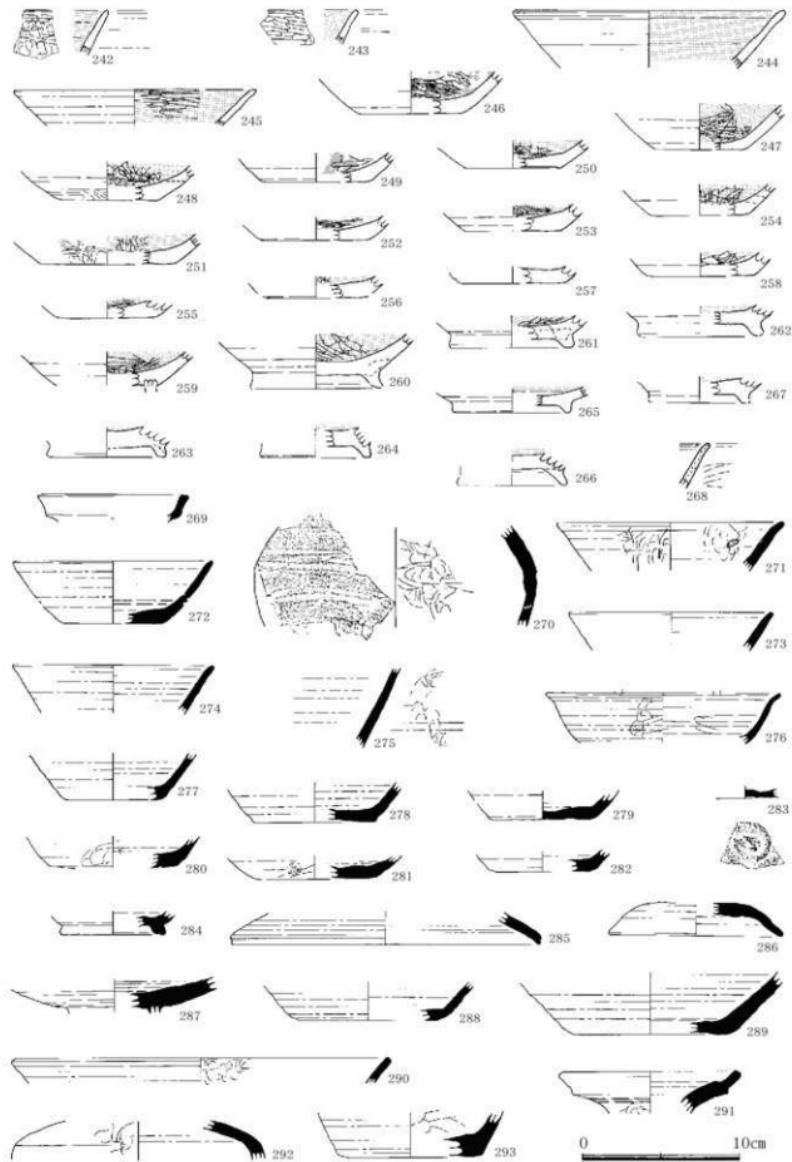
第18図 Ⅲ層出土遺物実測図(2)



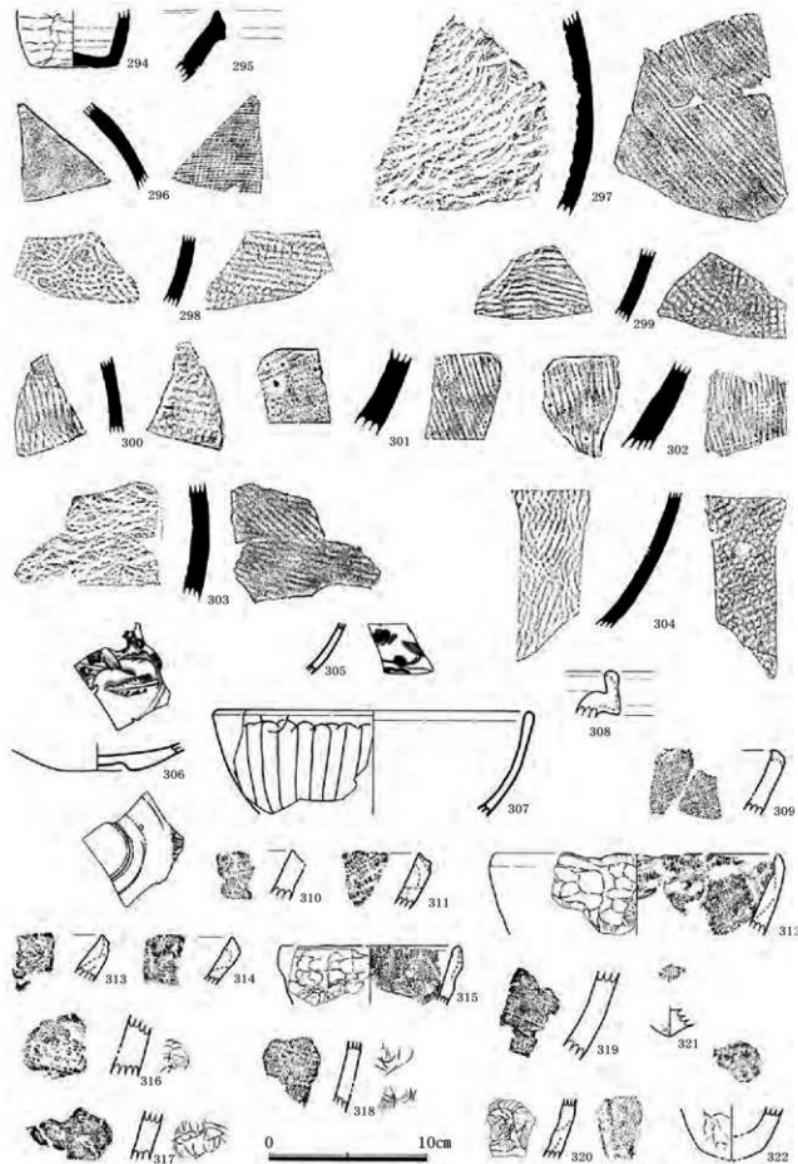
第19図 Ⅲ層出土遺物実測図(3)



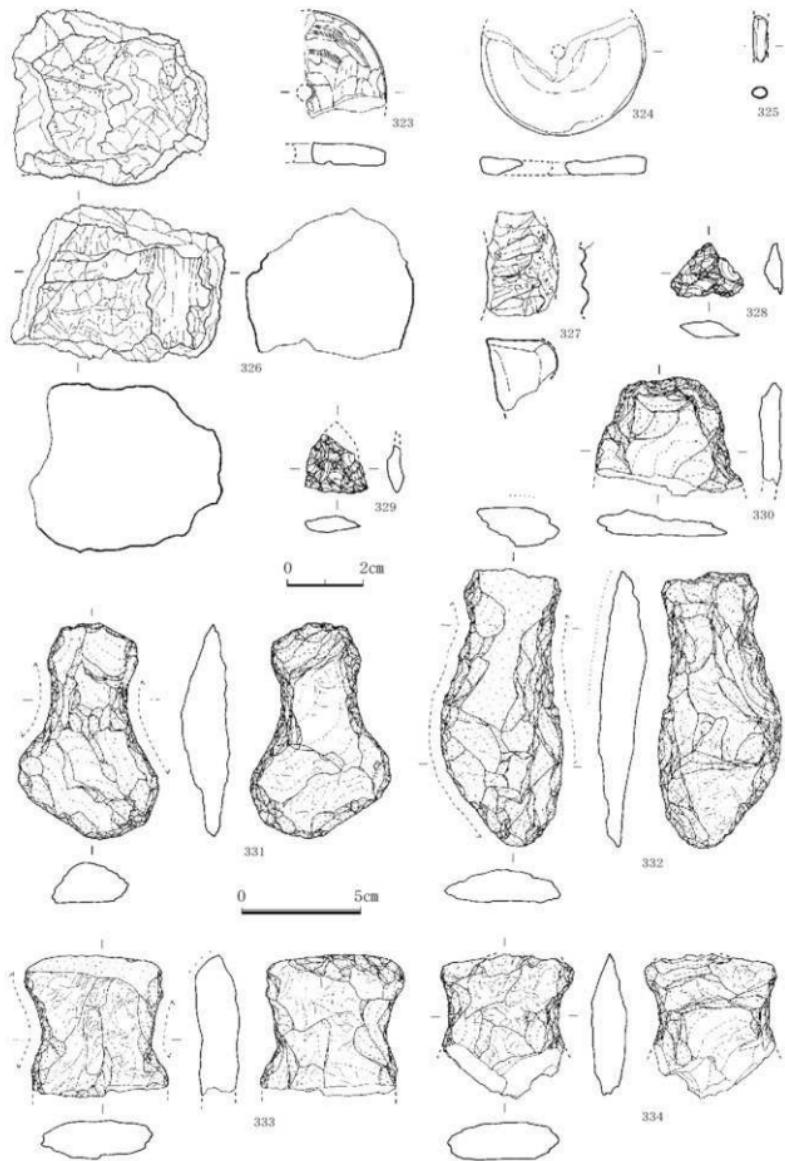
第20図 Ⅲ層出土遺物実測図(4)



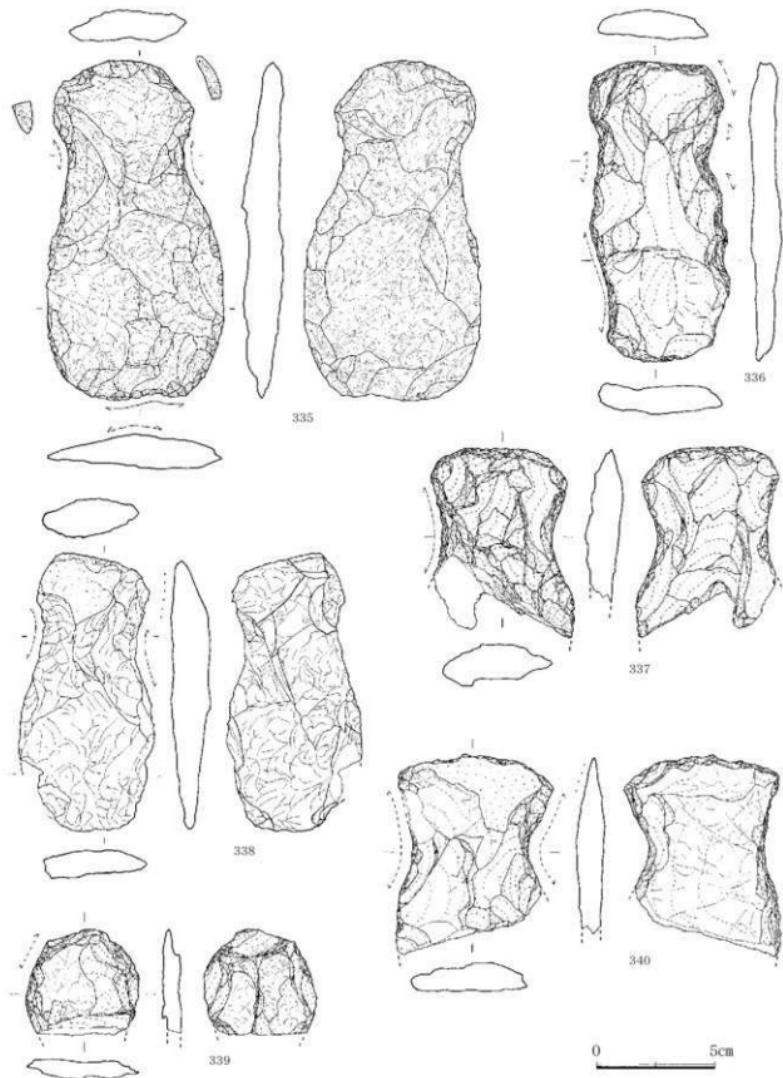
第21図 Ⅲ層出土遺物実測図(5)



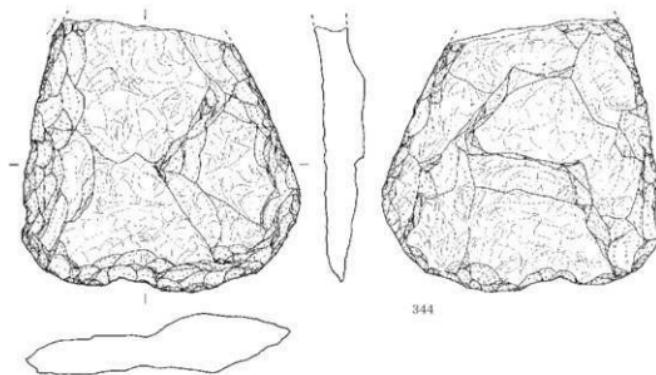
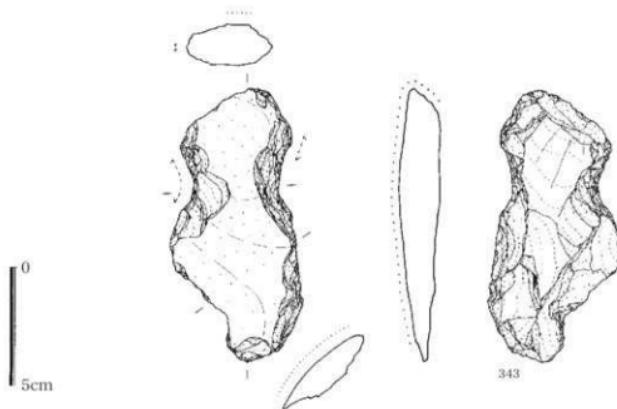
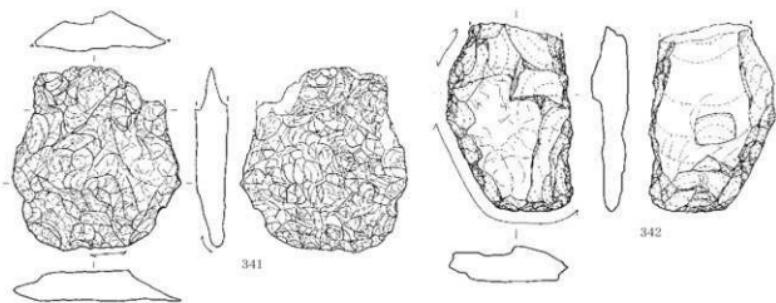
第22図 Ⅲ層出土遺物実測図(6)



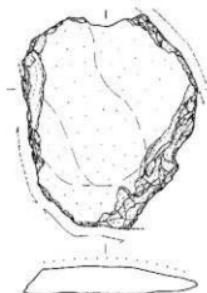
第23図 III層出土遺物実測図(7)



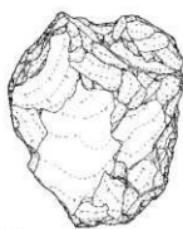
第24図 Ⅲ層出土遺物実測図(8)



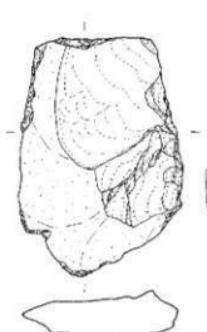
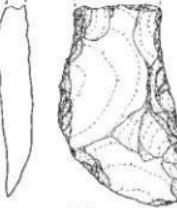
第25図 Ⅲ層出土遺物実測図(9)



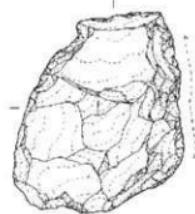
345



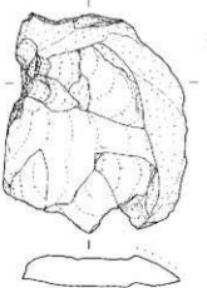
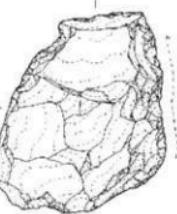
346



347



348

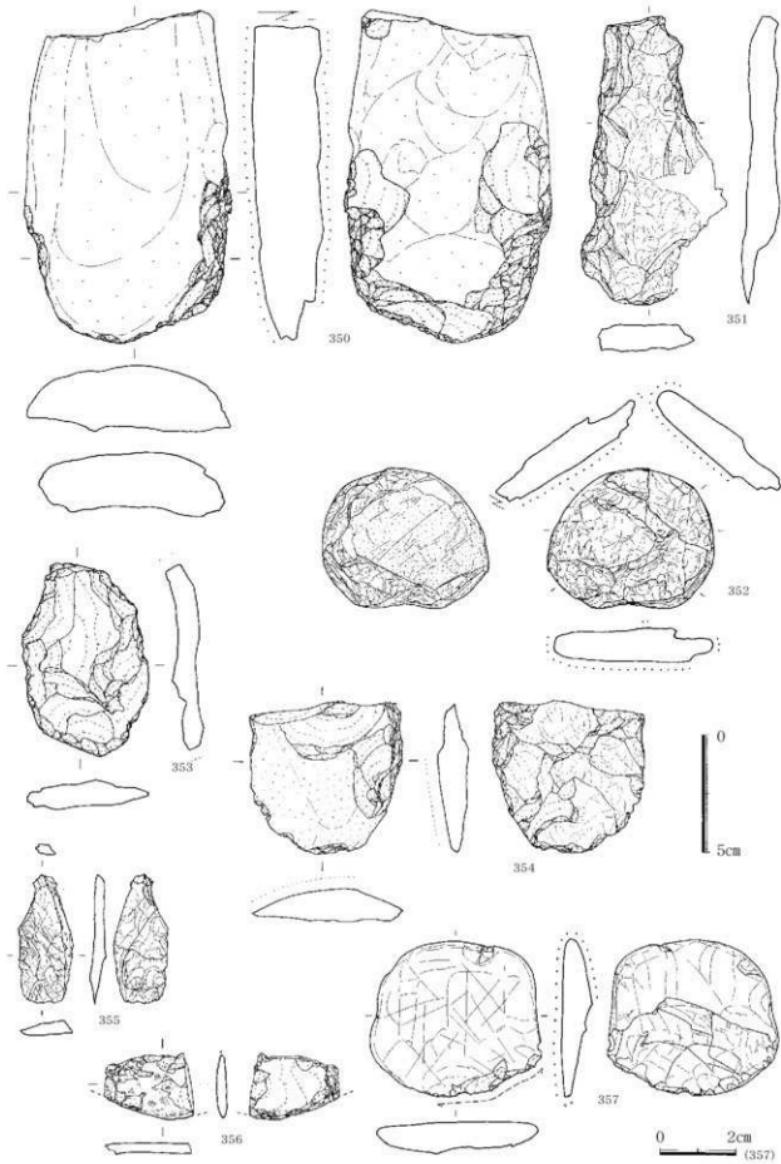


349

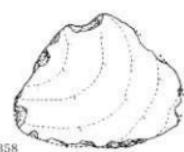
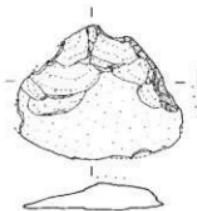


0 5cm

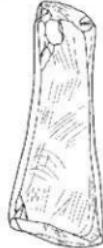
第26図 Ⅲ層出土遺物実測図(10)



第27図 Ⅲ層出土遺物実測図(11)



358



359



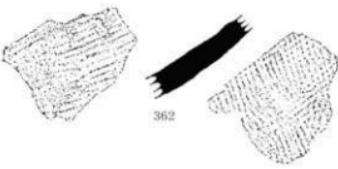
361



360

0

5cm



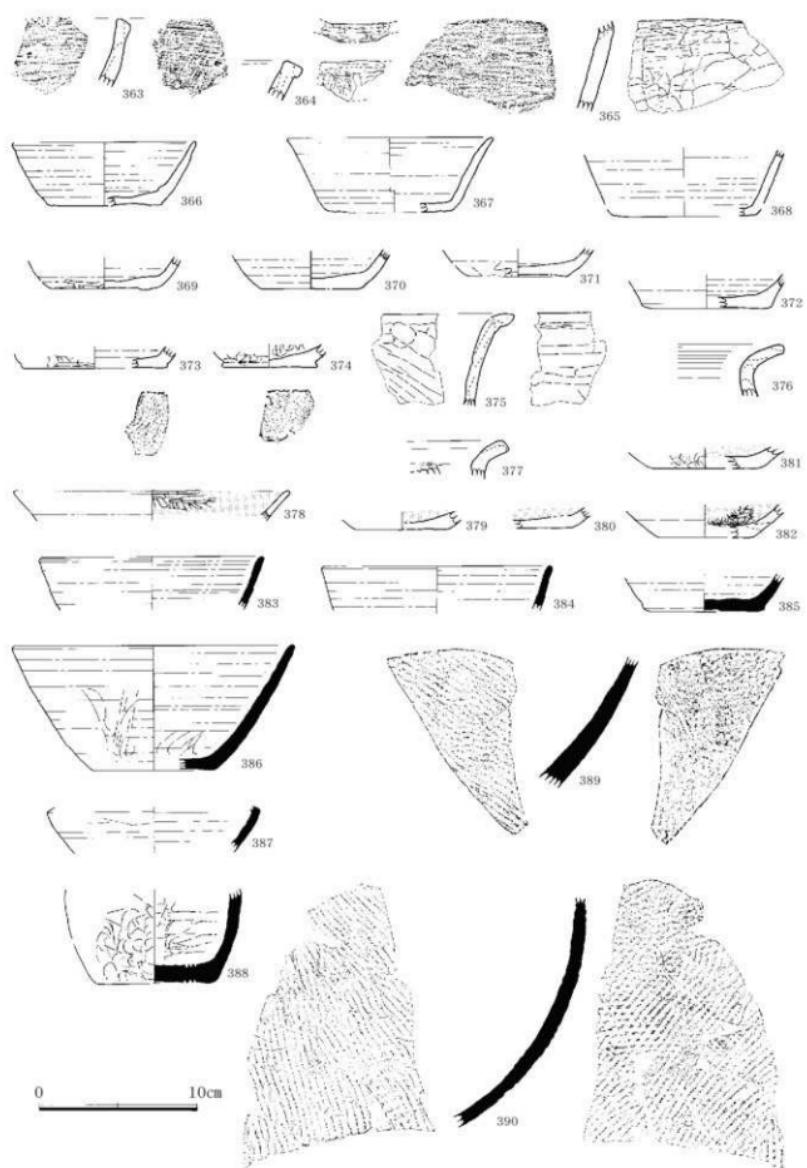
362

0

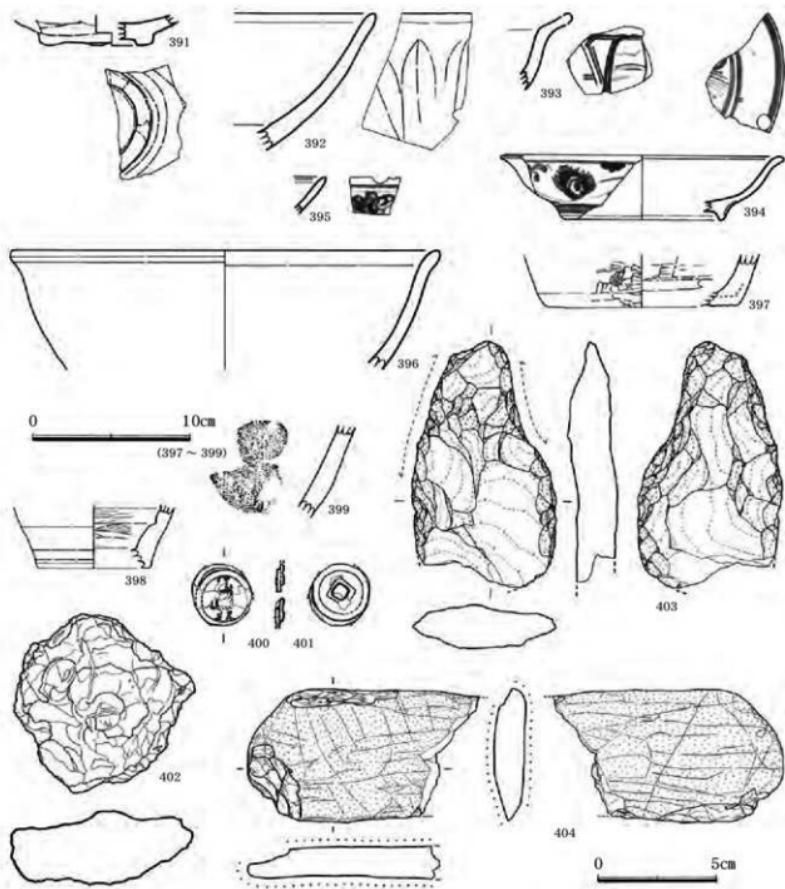
10cm

(362)

第28図 III層出土遺物実測図(12)



第29図 II層出土遺物実測図(1)



第30図 II層出土遺物実測図(2)

表 6 出土土器観察表(1)

NO	種類	出土場所	器種	重量(g)		外側 内側	内側	紹土	焼成	色調		備考	
				石器	皮器					表面	内面		
48	仰土器	SZ-01 下層	深鉢	—	—	(表面の剥離なし)(裏面の剥離なし)	(裏面の剥離なし)	細砂多量	やわらかい	淡茶灰	淡灰茶～淡黄茶		
49	仰土器	SZ-01 下層	深鉢	—	—	工具ナダ	工具ナダ	良	良	淡灰褐色	淡褐色		
50	仰土器	SZ-01 下層	深鉢	—	—	セヤマツメ	セヤマツメ	粗砂少量	ややこなさい	暗茶褐色	暗茶褐色		
51	仰土器	SZ-01 深鉢	—	—	—	ハケ	工具ナダ	良	やわらかい	洪多褐色	淡褐色～淡茶褐色		
52	仰土器	SZ-01 下層	深鉢	—	—	平口がき	工具ナダ	良	良	茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～淡灰褐色		
53	仰土器	SZ-01 下層	深鉢	—	—	工具ナダ	丁寧工具ナダ	粗砂少量	良	淡褐色	淡褐色～褐		
54	仰土器	SZ-01 深鉢	—	—	—	丁寧工具ナダ	丁寧工具ナダ	粗砂少量	良	淡褐色	淡褐色		
55	仰土器	SZ-06 下層	深鉢	—	—	工具ナダ	工具ナダ・ハケ	良	良	淡茶黃	淡褐色		
56	仰土器	SZ-05 下層	深鉢	—	—	ハケ・トナダ	ハケ	良	やわらかい	茶褐色～暗茶褐色	淡褐色～暗茶褐色		
57	仰土器	SZ-04 下層	深鉢	—	—	工具ナダ	平口がき	粗砂少量	良	淡黃褐色	茶灰褐色	淡褐色～暗褐色	
58	仰土器	SZ-03 下層	深鉢	—	—	組織板	丁寧工具ナダ	粗砂少量	良	淡褐色	淡褐色	組織陶器	
59	仰土器	SZ-02 下層	深鉢	—	—	組織板	平口がき	粗砂少量	良	淡黃	淡褐色～灰茶褐色	内:オブリゲート 外:組織土器	
60	仰土器	SZ-01 下層	鉢	—	—	組織板	丁寧工具ナダ	良	良	淡黃褐色	淡茶褐色	組織土器 オブリゲート	
61	仰土器	SZ-01 下層	浅鉢	233	—	ナダ(マツメ)	工具ナダ・ナダ(マツメ)	精良	やわらかい	淡黃褐色～淡黃褐色	黃褐色～淡褐色	(マツメ(銀色))	
62	仰土器	SZ-01 下層	高鉢	—	—	工具ナダ	工具ナダ	良	やわらかい	暗茶褐色	暗茶褐色		
63	仰土器	SZ-01 深鉢	—	78	—	エクナダ (セヤマツメ)	ナダ	粗砂少量	やわらかい	淡黃褐色～暗茶褐色	暗褐色～暗茶褐色		
64	土器器	SZ-01 坪	坪	139	82× 47	ナダ・ハタケナダ	ナダ	精良	やわらかい	淡褐色～洪褐色	暗褐色～洪褐色	底:板状地	
65	土器器	SZ-01 下層	坪	137	71	45	ナダ(セヤマツメ) ナダ(セヤマツメ)	白色無施	やわらかい	黃褐色～紅褐色	淡褐色	高IF%	
66	土器器	SZ-01 下層	坪	152	65	43	ナダ・ケヌリ	ナダ	精良	良	洪褐色	暗褐色～洪褐色	底:ヘアコ
67	土器器	SZ-01(上)Ⅲa	坪	131	69	45	ナダ	ナダ・工具ナダ	良	良	淡褐色～洪褐色	淡褐色～洪褐色	歪形
68	土器器	SZ-01 下層	坪	122	60	39	ケヌリ・工具ナダ	ナダ	粗砂少量	やわらかい	灰褐色～暗茶褐色	暗褐色～灰褐色	
69	土器器	SZ-01 坪	坪	147	73	38	ナダ・工具ナダ	ナダ・工具ナダ	白色地無施	良好	洪褐色～洪褐色	洪褐色～洪褐色	
70	土器器	SZ-01 坪	坪	132	69	49	ナダ	ナダ	非彩色地少量	良	暗褐色～洪褐色	暗褐色～淡灰褐色	底:ヘアコ 銀色、黑色
71	土器器	SZ-01 下層	坪か	149	—	—	ナダ	セヤマツメ	五輪色地やや多い (セヤマツメ)	やわらかい	淡黃褐色～淡白褐色	淡褐色	
72	土器器	SZ-01 下層	坪	—	75	—	エクナダ (セヤマツメ)	ナダ(マツメ)	良	やわらかい	洪褐色	淡褐色～暗茶褐色	粘土堆积土上
73	土器器	SZ-01 地5	地5	137	—	—	ナダ	ナダ	精良	やわらかい	淡褐色～洪褐色	淡褐色～洪褐色	
74	土器器	SZ-01 下層	地5	156	—	—	ナダ	平口がき	茶褐色地少量	やわらかい	暗褐色～暗褐色 (目立)	暗褐色～暗褐色	
75	土器器	SZ-01 下層	坪	131	—	—	工具ナダ	ナダ・工具ナダ	良	やわらかい	暗褐色～洪褐色	暗褐色～洪褐色	
76	土器器	SZ-01 坪	坪	—	54	—	ナダ・工具ナダ	ナダ	良	やわらかい	淡褐色	淡褐色～黃褐色	
77	土器器	SZ-01(上)Ⅲa	坪	—	67	—	ナダ・ハラケ	ナダ(マツメ)	素褐色地少量	やわらかい	洪褐色～洪褐色	洪褐色	底:ヘアコ
78	土器器	SZ-01 下層	坪	—	64	—	エクナダ (セヤマツメ)	ナダ	白色地無施	やわらかい	洪褐色	洪褐色	
79	土器器	SZ-01 下層	坪	—	57	—	ハラケナダ	ナダ	良	良	洪褐色～洪褐色	洪褐色～洪褐色	底:ヘアコ
80	土器器	SZ-01 下層	坪	152	105	16	ナダ・工具ナダ	ナダ・工具ナダ	粗砂地・系物地少 白色地少量	良	細	暗褐色～洪褐色	
81	土器器	SZ-01 下層	温	129	101	22	ナダ・ヤシヨリ	ナダ・工具ナダ	粗砂地・系物地少 白色地少量	良	細	洪褐色～洪褐色	
82	土器器	SZ-01 煙	—	—	—	工具ナダ・ナダ	ハケ	粗砂少量	良	洪褐色	淡褐色～茶褐色		
83	土器器	SZ-01 下層	煙	—	—	ハケ・トナダ	ハケケヌリ	粗砂少量	良	成真跡～洪褐色	成真跡～經褐色		
84	土器器	SZ-01 下層	煙	203	—	—	ハケ・ナダ	ハケケヌリ	粗砂少量	良好	淡黃褐色～赤褐色	淡褐色～淡灰褐色	
85	黑色土器	IJK SZ-01下層	坪	—	76	—	ミガキ	ミガキ	良	良	洪褐色～淡白褐色	黑褐色	
86	黑色土器	IJK 地5下層	坪	—	156	—	ナダ(セヤマツメ)	ミガキ	良	やわらかい	淡黃褐色	淡褐色	
87	黑色土器	IJK SZ-01下層	坪	—	—	ミガキ・ナダ	ミガキ	東洋地無施	良	成真跡～洪褐色	黑褐色		
88	黑色土器	SZ-01	煙	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	黑褐色		
89	黑色土器	SZ-01 下層	煙	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	黑褐色		
90	須恵器	IJK SZ-02下層	坪	—	67	—	ナダ	ナダ・工具ナダ	ナダ	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色	底:ヘアコ
91	須恵器	IJK SZ-02下層	地5	—	—	—	ナダ	ナダ	粗砂少量	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色	底:ヘアコ
92	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
93	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
94	須恵器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
95	須恵器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
96	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
97	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
98	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
99	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
100	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
101	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
102	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
103	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
104	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色		
105	須恵器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～洪褐色	底:ヘアコ	
106	須恵器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	暗褐色～洪褐色		
107	土器器	IJK 35	坪	124	66	42	ナダ・工具ナダ	ナダ	良	成真跡～洪褐色	暗褐色～洪褐色	底:ヘアコ	
108	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	91	—	ナダ・ハラケ	ナダ	非彩色地無施	やわらかい	暗褐色～洪褐色	暗褐色～洪褐色	底:ヘアコ
109	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	暗褐色～洪褐色	底:ヘアコ	
110	土器器	IJK SZ-02下層	坪	—	—	ナダ	ナダ	地無施	良	成真跡～洪褐色	暗褐色～洪褐色	底:ヘアコ	
111	土器器	IJK 127	土瓶	—	158	—	工具ナダ	工具ナダ	土瓶地少量、茶褐色 土瓶地少量、茶褐色	やわらかい	洪褐色～洪褐色	暗褐色～洪褐色	
112	土器器	IJK 86	深鉢	181	—	—	工具ナダ(ヨコヨリ)	工具ナダ	非彩色地無施	良	成真跡～洪褐色	洪褐色～經褐色	
113	土器器	IJK 86	深鉢	—	—	—	ハケ	ハケ	良	成真跡～洪褐色	洪褐色		
114	土器器	IJK 86	深鉢	—	—	—	ハケ	工具ナダ	良	成真跡～洪褐色	洪褐色		
115	土器器	IJK 86	深鉢	—	—	茶瓶・ナダ	ナダ・茶瓶	1～2mmの砂粒 粗砂少量	良	洪褐色～灰	淡褐色	マツメ	
116	縄文土器	IJK 86	深鉢	296	—	—	ミガキ	ミガキ	7.0%・丁寧工具ナダ 粗砂少量	良好	洪褐色～茶褐色	淡褐色～灰褐色	
117	縄文土器	IJK 86	深鉢	—	—	—	(マツメ)	(マツメ)	良	成真跡～暗茶褐色	淡褐色		
118	縄文土器	IJK 86	深鉢	—	—	工具ナダ	丁寧工具ナダ	粗砂少量 白色地無施	やわらかい	成真跡～洪褐色	暗褐色～洪褐色		
119	縄文土器	IJK 86	深鉢	287	—	—	丁寧工具ナダ (マツメ)	丁寧工具ナダ・条板	粗砂少量	やわらかい	成真跡～暗茶褐色	暗褐色～經褐色	
120	縄文土器	IJK 86	深鉢	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	非彩色地無施	良	成真跡～茶褐色	暗褐色～洪褐色		

表 7 出土土器総表(2)

NO	種類	出土 土地	器種	法面(周回)		外面	内面	胎土	焼成	台面		備考
				日保	最高					外面	内面	
121	衛生土器	Ⅱ区 深林	深林	320	—	朱瓶	板ナゲ	細砂多量	良	暗茶褐色	淡褐色	淡褐色～淡茶褐色
122	衛生土器	Ⅱ区 深林	深林	—	—	瓶工具ナゲ～ナゲ	板ナゲ	細砂多量	良	淡黃褐色	淡黃白	中やや薄い
123	衛生土器	SZ-01 上(壁)	深林	360	—	強いナゲ	板ナゲ	細砂多量	良	淡黃褐色	暗灰	
124	衛生土器	Ⅱ区 深林	深林	—	—	ハケ	ハケ	良	良	淡黃褐色～暗茶褐色	淡黃白～暗灰	
125	衛生土器	SZ-01 上(壁)	深林	—	—	ハケ(ややマメツ)	ハケ	白色粒少後	良	淡黃褐色～茶灰	淡黃白～茶灰	
126	衛生土器	SZ-02 上(壁)	深林	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	細砂少量	良	黃褐色	暗灰	淡黃白～暗灰
127	衛生土器	Ⅱ区 壁	深林	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ・板瓶	細砂少量	良	淡黃褐色～茶灰	黃褐色	茶褐色
128	衛生土器	Ⅱ区 壁	深林	—	—	工具ナゲ(ややマメツ)	丁寧ナゲ	細砂少量	良	淡黃褐色	暗灰	兩～淡黃褐色
129	衛生土器	Ⅱ区 深林	深林	401	—	板ナゲ	板ナゲ・瓶工具ナゲ	粗砂少量	良好	暗茶褐色	淡黃褐色	
130	衛生土器	Ⅱ区 壁	高坪	—	—	工具ナゲ	ごま	粗砂少量	良	茶褐色	暗灰	茶褐色～暗灰
131	衛生土器	Ⅱ区 壁	高坪	—	—	工具ナゲ・ナゲ	丁寧工具ナゲ	細砂少量	良	茶褐色	暗茶褐色	圓筒形
132	衛生土器	Ⅱ区 深林	深林	—	—	瓶工具ナゲ	条瓶	粗砂少量	良	淡黃褐色	淡茶褐色	淡黃褐色～淡茶褐色
133	衛生土器	Ⅱ区 壁	深林	—	—	工具ナゲ(ややマメツ)	丁寧工具ナゲ	良	良	淡黃褐色	兩	淡灰褐色
134	衛生土器	Ⅱ区 壁	深林	—	—	(ややマメツ)	ナゲ工具ナゲ	細砂少量	良	淡黃褐色～茶褐色	兩	茶褐色
135	衛生土器	Ⅱ区 沢	谷井	61	—	粗押	ナゲ	細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
136	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	—	—	ミガキ	丁寧ナゲ	粗砂少量・小腹黒斑	良好	淡褐色～淡茶褐色	淡灰褐色	
137	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	—	—	半丸型・瓶工具ナゲ	ナゲ酒・丁寧ナゲ	粗砂少量	良	淡黃褐色	暗灰	
138	衛生土器	SZ-01 上(壁)	不明	—	—	工具ナゲ・瓶工具	ミガキ	粗砂少量	良	暗茶褐色～暗褐色	暗茶褐色～暗褐色	
139	衛生土器	Ⅱ区 沢	浅林	—	114	板ナゲ・細縫痕	ナゲ(ややマメツ)	粗砂少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色	暗茶褐色	暗灰
140	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	丁寧ナゲ	工具ナゲ・工具ナゲ	粗砂少量	良	淡褐色	淡茶褐色	
141	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	板瓶	丁寧工具ナゲ	粗砂少量	良	茶褐色	暗灰	
142	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	—	—	工具ナゲ	ナゲ	粗砂少量	良	茶褐色	淡黃褐色	
143	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	細砂少量	良	茶褐色	淡茶褐色	
144	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	細砂少量	良	茶褐色～淡茶褐色	淡黃褐色	
145	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	丁寧工具ナゲ	ややマメツ・ナゲ少	細砂少量	良	暗茶褐色～暗灰	茶～暗茶褐色	
146	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	197	—	工具ナゲ(ややマメツ)	工具ナゲ	粗砂少量	良	茶褐色	暗茶褐色	
147	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	235	—	工具ナゲ(ややマメツ)	ナゲ?	微細砂や少い	良	暗茶褐色～淡茶褐色	茶～茶褐色	
148	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	丁寧工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	微細砂や少い	良	暗茶褐色～暗灰褐色	茶～茶褐色	
149	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	—	—	丁寧ナゲ	丁寧工具ナゲ	粗砂少少量	良	茶褐色	暗灰	
150	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	丁寧ナゲ	丁寧ナゲ	微細砂や少い	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶～暗茶褐色	
151	衛生土器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	ナゲ・工具ナゲ	工具ナゲ	細砂少量	良	茶褐色	暗灰褐色	
152	衛生土器	Ⅱ区 沢	塗	90	—	工具ナゲ	(マメツ)	粗細砂や多い	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
153	衛生土器	Ⅱ区 壁	漆塗	—	—	工具ナゲ(ややマメツ)	工具ナゲ	細砂少量	良	茶褐色	暗茶褐色	
154	衛生土器	Ⅱ区 壁	漆塗	—	—	半丸型	丁寧ナゲ・工具ナゲ	細砂少量	良	淡茶褐色～淡茶褐色	茶～茶褐色	底凹
155	土師器	Ⅱ区 沢	塗少	—	—	ややマメツ	ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡黃褐色	
156	土師器	Ⅱ区 沢	塗少	—	—	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ	粗粒	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
157	土師器	Ⅱ区 沢	塗少	—	—	ナゲ	ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡黃褐色	やや底凹
158	土師器	Ⅱ区 沢	塗少	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡茶褐色	
159	土師器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	工具ナゲ	(マメツ)	暗茶褐色	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
160	土師器	Ⅱ区 下塗	塗	142	—	ナゲ	ナゲ・工具ナゲ	粗細粒混雜	良好	茶褐色～茶褐色	淡綠褐色	底凹・斑點
161	土師器	Ⅱ区 壁	塗	—	—	工具ナゲ	ナゲ・工具ナゲ	粗細粒混雜	良好	暗茶褐色～茶褐色	淡茶褐色～茶褐色	
162	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	140	—	ナゲ	ナゲ・工具ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡黃褐色	
163	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	144	—	ナゲ	ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡黃褐色	
164	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	123	—	ナゲ(ややマメツ)	ナゲ	粗粒	良	暗茶褐色	淡茶褐色	底凹
165	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	145	—	工具ナゲ	工具ナゲ	粗細砂少量	粗粒	茶褐色	暗茶褐色	
166	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	130	—	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡黃褐色	
167	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	125	—	ナゲ	ナゲ	粗細砂少量	良	淡茶褐色～茶褐色	淡黃褐色	
168	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	129	—	ナゲ	(ややマメツ)	良	良	淡茶褐色	淡黃褐色	
169	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	120	—	ナゲ・工具ナゲ	工具ナゲ	茶褐色色斑混雜	良	淡黃白	淡黃褐色	
170	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	136	—	ナゲ	ナゲ	粗粒	良	淡茶褐色～淡茶褐色	淡黃褐色	
171	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	162	—	ナゲ	ナゲ	粗粒	良	茶褐色	淡黃褐色	
172	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	119	—	ナゲ	ナゲ	茶褐色色斑混雜	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
173	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	127	—	ケゴイ状	ナゲ	粗細砂少量	粗粒	茶褐色	暗茶褐色	
174	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	173	—	ナゲ	ナゲ	粗粒	良	淡茶褐色～茶褐色	淡黃褐色	
175	土師器	Ⅱ区 壁	塗少	128	—	ナゲ	ハケ・ナゲ	粗粒	良	茶褐色	暗茶褐色	

表 8 出土器物観察表(3)

NO	種類	出土 地	形態	目録番号	表面	裏面	外底	内底	備考
176	土師器	IIC ■■■	砂地	150	—	ナゲ	ナゲ	小継縫隙 ややねまき	淡黄～淡黄白 淡黄～淡褐
177	土師器	IIC 東側面 北	井	138	88	工具ナゲ (セキツナゲ)	ナゲ～工具ナゲ	赤褐色和青色 ややねまき	暗灰褐色 暗灰～墨褐色
178	土師器	IIC ■■■	砂地	156	—	ナゲ	ナゲ	精良	ややねまき 淡褐色～淡青色
179	土師器	SZ-01 IIC(B)	井口	179	—	ナゲ ナゲナゲ	ナゲ	石斑紋和多角 ややねまき	暗灰褐色 暗灰褐色
180	土師器	IIC ■■■	井	125	55	37	ナゲ(セキツ)	ナゲ	赤褐色和青色 ややねまき
181	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	165	130	15	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	黃褐色 良
182	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	128	74	41.5	ナゲ	ナゲ	良
183	土師器	IIC ■■■	井	125~ 136	66	38	ナゲ(セキツナメツ) ナゲ(セキツナメツ)	ナゲ(セキツナメツ) ナゲ(セキツナメツ)	赤褐色和青色 ややねまき
184	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	126	—	37	ナゲ	ナゲ	精良
185	土師器	IIC ■■■	井	121	65	45	(火炎焼成物) 工具ナゲ	工具ナゲ	微細紗縫 良好
186	土師器	IIC ■■■	井	—	75	—	ナゲ～陶器口	ナゲ	微細紗縫 堅韌
187	土師器	IIC ■■■	井	123	53	38	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	良
188	土師器	IIC ■■■	井	—	69	—	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	ややねまき 織縫～美輪
189	土師器	IIC ■■■	井	—	73	—	ナゲ	ナゲ～工具ナゲ	良
190	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	—	86	—	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	織縫紗縫 良
191	土師器	IIC ■■■	井	—	75	—	ナゲ(セキツ) ナゲ(セキツナメツ)	ナゲ(セキツナメツ) 工具焼成物が多い	ややねまき 淡褐色和青色
192	土師器	IIC ■■■	井	—	55	—	ナゲ	ナゲ	ややねまき 桃黃～淡黃
193	土師器	IIC ■■■	井	—	86	—	工具ナゲ	工具ナゲ	精良
194	土師器	IIC ■■■	井	—	59	—	工具ナゲ	ナゲ	白色和青色 ややねまき
195	土師器	IIC ■■■	井	—	74	—	工具ナゲ	工具ナゲ 白色和青色	良好
196	土師器	IIC ■■■	井	—	68	—	(セキツナメツ) ナゲ(セキツナメツ)	ナゲ(セキツナメツ) 工具焼成物	淡褐色 淡褐色
197	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	—	67	—	工具ナゲ	ナゲ	良
198	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	—	56	—	ナゲ	ナゲ	ややねまき 淡褐色少少量
199	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	—	65	—	工具ナゲ	工具ナゲ	精良
200	土師器	IIC ■■■	井	—	49	—	ナゲ	ナゲ	白
201	土師器	IIC ■■■	井	—	86	—	工具ナゲ(セキツ)	ナゲ	白色和青色 ややねまき
202	土師器	IIC ■■■	井	—	66	—	工具ナゲ～工具高ナゲ	工具ナゲ	淡褐色和青色
203	土師器	IIC ■■■	井	—	52	—	工具ナゲ(セキツ) 工具ナゲ	工具ナゲ	精良
204	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	—	60	—	工具ナゲ	工具ナゲ	良
205	土師器	IIC ■■■	井	—	59	—	工具ナゲ	工具ナゲ	精良
206	土師器	IIC ■■■	井	—	54	—	ナゲ～工具ナゲ	工具ナゲ	白
207	土師器	IIC ■■■	井	—	70	—	工具ナゲ	工具ナゲ	精良
208	土師器	IIC ■■■	井	—	63	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白色和青色 良
209	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	—	2000	—	工具ナゲ	ナゲ	白色和青色
210	土師器	SZ-01 IIC(B)	井	163	130	15	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	白色和青色 良
211	土師器	IIC ■■■	井	110	79	21	ナゲ	ナゲ	白色和青色 良
212	土師器	IIC ■■■	井	132	99	24	ナゲ	ナゲ	白色和青色 良
213	土師器	IIC ■■■	井	117	84	21	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	良
214	土師器	IIC ■■■	井	—	63	—	ナゲ	ナゲ	良
215	土師器	IIC ■■■	井	—	62	—	工具ナゲ(セキツ) 工具ナゲ	工具ナゲ	精良
216	土師器	IIC ■■■	井	—	76	—	(セキツナメツ) ナゲ(セキツ)	ナゲ(セキツナメツ)	白色和青色 ややねまき
217	土師器	IIC ■■■	井	—	72	—	工具ナゲ	工具ナゲ	精良
218	土師器	SZ-01 上層	井	—	73	—	ナゲ～工具ナゲ	ナゲ	白色和青色 良
219	土師器	IIC ■■■	井	—	67	—	工具ナゲ(セキツナメツ) 工具ナゲ	工具ナゲ	精良
220	土師器	IIC ■■■	井口	—	123	—	(セキツ)	工具ナゲ	微細紗縫 あまい
221	土師器	IIC ■■■	井	—	142	—	工具ナゲ～ナゲ	ナゲ(セキツ) ナゲ(セキツナメツ)	微細紗縫 紗縫少少量
222	土師器	IIC ■■■	井	—	—	—	粗工具(セキツ) (セキツナメツ)	工具ナゲ	精良 黃褐色
223	土師器	IIC ■■■	井	—	175	—	工具ナゲ(セキツ)	工具ナゲ	微細紗縫 良
224	土師器	IIC ■■■	井	—	180	—	ナゲ	工具ナゲ	白色和青色 良
225	土師器	IIC ■■■	井	—	193	—	ナゲ	ナゲ(セキツ)	白色和青色 良
226	土師器	IIC ■■■	井	—	236	—	ナゲ	工具ナゲ	白色和青色 良
227	土師器	IIC ■■■	井	—	238	—	工具ナゲ	ナゲ	白色和青色 良
228	土師器	IIC ■■■	井	—	295	—	ナゲ	ナゲ(セキツ)	白色和青色 良
229	土師器	IIC ■■■	井	4000	—	—	ナゲ	ナゲ	白色和青色 良
230	土師器	IIC ■■■	井	—	349	—	ナゲ(セキツナメツ)	工具ナゲ(セキツ)	微細紗縫 良

表9 出土器物観察表(4)

NO	種類	出土地	器種	基盤(mm)			裏面		胎土	焼成	色調		備考	
				口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面		
231	土師器	I区・II区	器	一	一	一	ハケ(今やマツリ)	ハケ	陶細砂少量	赤	褐褐色	褐褐色	特徴～淡黄褐色	
232	土師器	SZ-01上(Ⅱ区)	器	一	一	一	ナゲ・工具ナゲ	工具ナゲ	陶細砂・陶細砂少量	良	淡黃～淡褐	淡黃～淡褐		
233	土師器	I区・II区	器	一	一	一	工具ナゲ	工具ナゲ	陶細砂・陶細砂少量	良	褐～淡黃褐色	淡黃～淡黃褐色		
234	土師器	I区・II区	器	300	100	一	工具ナゲ	工具ナゲ	陶細砂少量	良好	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色		
235	土師器	I区・II区	器	226	100	一	ハケ(今やマツリ)	ハケ	陶細砂少量	良	茶～茶褐色	茶～茶褐色		
236	土師器	I区・II区	器	一	一	一	ナゲ	ハケ・工具ナゲ	陶細砂・陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色		
237	土師器	SZ-01上(Ⅱ区)	器	一	一	一	工具ナゲ	工具ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃～淡黃褐色	淡黃～淡黃褐色		
238	土師器	SZ-01	器	一	一	一	ハケ	工具ナゲ	陶細砂少量	良好	淡黃～褐	褐		
239	土師器	I区・II区	器	一	一	一	ハケ・工具ナゲ	ハケ	陶細砂少量	良好	淡黃～褐	淡黃～褐		
240	土師器	I区・II区	器	300	100	一	工具ナゲ	ハケ・工具ナゲ	陶細砂少量	良好	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色		
241	土師器	I区・II区	器	一	100	一	強いナゲ	工具ナゲ	陶細砂多量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色		
242	黒色土器	I区・II区	器	265	一	一	ナゲ	ミガニ	良	黑褐色	黑褐色	黑褐色		
243	黒色土器	I区・II区	器	265	一	一	ナゲ	ミガニ	良	黑褐色	黑褐色	黑褐色		
244	黒色土器	I区・II区	器	174	一	一	ナゲ・ケル	ミガニ	陶細砂少量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃～黑褐色		
245	黒色土器	I区・II区	器	155	一	一	ナゲ(今やマツリ)	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
246	黒色土器	I区・II区	器	65	一	一	半ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	底:ヘラ印	
247	黒色土器	I区・II区	器	57	一	一	ナゲ(今やマツリ)	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	内面に板刷痕	
248	黒色土器	I区・II区	器	62	一	一	ナゲ・ナゲ(今やマツリ)	ミガニ	陶細砂少量	良	淡黃～褐	褐		
249	黒色土器	I区・II区	器	67	一	一	ナゲ・エハタ	ミガニ(マツリ)	良	淡黃褐色	淡黃褐色	灰褐色～淡黃褐色		
250	黒色土器	I区・II区	器	62	一	一	ナゲ(マツリ)	ミガニ	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
251	黒色土器	I区・II区	器	85	一	一	工具ナゲ	ミガニ	精良	良	淡黃褐色	淡黃褐色		
252	黒色土器	I区・II区	器	68	一	一	ナゲ(今やマツリ)	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
253	黒色土器	I区・II区	器	61	一	一	半ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
254	黒色土器	I区・II区	器	60	一	一	工具ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
255	黒色土器	I区・II区	器	64	一	一	工具ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
256	黒色土器	I区・II区	器	68	一	一	工具ナゲ	ミガニ	精良	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	
257	黒色土器	I区・II区	器	66	一	一	工具ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	底:ヘラ印	
258	黒色土器	I区・II区	器	69	一	一	(マツリ)	ミガニ	陶細砂少量	良	淡黃～淡白	暗灰褐色		
259	黒色土器	I区・II区	器	60	一	一	工具ナゲ	(マツリ)	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
260	黒色土器	I区・II区	器	84	一	一	ケル・ナゲ	ミガニ	良	淡黃～褐	淡黃～淡黃褐色			
261	黒色土器	I区・II区	器	77	一	一	ナゲ	ミガニ	精良	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	
262	黒色土器	I区・II区	器	80	一	一	ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	底:ヘラ印	
263	黒色土器	I区・II区	器	76	一	一	ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
264	黒色土器	I区・II区	器	71	一	一	ナゲ・エハタ	ミガニ	白面に淡褐色少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色	
265	黒色土器	I区・II区	器	75	一	一	(マツリ)	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
266	黒色土器	I区・II区	器	70	一	一	ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
267	黒色土器	I区・II区	器	64	一	一	半ナゲ・ナゲ	ミガニ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	黑褐色		
268	縁飾	I区・II区	器	320	一	一	ナゲ・ミガニ	(マツリ)	精良	良	淡黃褐色	淡黃褐色	如:淡黃褐色, 周辺部	
269	縁飾	I区	器	96	一	一	ナゲ・工具ナゲ	ハケ・工具ナゲ	良	淡黃褐色	淡黃褐色			
270	縁飾	I区・II区	器	48	一	一	工具ナゲ	工具ナゲ	白色粒少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色		
271	縁飾	II区・II区	器	145	一	一	ナゲ・工具ナゲ	ハケ・工具ナゲ	良	良	淡黃褐色	淡黃褐色	如:輪郭部に白色粒 約=30%	
272	縁飾	I区・II区	器	127	64	60	ナゲ・工具ナゲ	工具ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	暗灰褐色～暗褐色	
273	縁飾	I区・II区	器	120	一	一	ナゲ	ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
274	縁飾	I区・II区	器	129	一	一	ナゲ	ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
275	縁飾	I区・II区	器	70	一	一	ナゲ	ナゲ	良	灰褐色	灰褐色	淡黃褐色		
276	縁飾	I区・II区	器	138.8	一	一	ナゲ・半ナゲ	ミガニ	半ナゲ	良好	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
277	縁飾	I区・II区	器	61	一	一	ナゲ	ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
278	縁飾	I区・II区	器	76	一	一	ナゲ	ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
279	縁飾	I区・II区	器	62	一	一	ナゲ	ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
280	縁飾	I区・II区	器	81	一	一	ナゲ・工具ナゲ	半ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
281	縁飾	I区・II区	器	75	一	一	ナゲ	ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
282	縁飾	I区・II区	器	39	一	一	工具ナゲ	工具ナゲ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色		
283	縁飾	I区・II区	器	60	一	一	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ・工具ナゲ	陶細砂少量	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色	
284	縁飾	I区・II区	器	67	一	一	工具ナゲ	強いナゲ	良	淡黃褐色	淡黃褐色	淡黃褐色		
285	縁飾	I区・II区	器	196	一	一	ケル	ナゲ	陶細砂少量	塑形	灰褐色	灰褐色	淡黃褐色	外壁:淡黃褐色 内面:淡黃褐色

表 10 出土土器観察表(5)

NO	種類	出土場	器種	直面			側面		底面		備考	
				口径	底径	高さ	外面	内面	胎土	施成		
286	須恵器	I区 S2-01 (1) ■■■	蓋	111	—	—	ナゲ・ケズリ	工具ナゲ・ナゲ	微細砂微量	良好	灰青～淡灰褐色	暗褐色～淡灰褐色
287	須恵器	I区 ■■■	底か	—	—	—	ケヌリ・ナゲ	ハマ・ナゲ	良	良好	灰褐色	茶褐色
288	須恵器	I区 ■■■	底か	—	97	—	ナゲ	ナゲ	微細砂微量	良	褐色～淡灰褐色	淡灰褐色～淡黄褐色
289	須恵器	I区 ■■■	縁	—	97	—	ナゲ・粗工具ナゲ	ナゲ(やマキナ)	微細沙微量	良	灰	灰～淡灰
290	須恵器	I区H4 ■■■	縁	242	—	—	ナゲ	ナゲ・工具ナゲ	良好	良好	淡灰褐色	灰～淡灰褐色
291	須恵器	I区 ■■■	縁	116	—	—	工具ナゲ	ナゲ	微細砂やや多い	良好	淡灰褐色	淡灰褐色
292	須恵器	I区 ■■■	縁	—	—	—	工具ナゲ	ナゲ	微細砂微量	良	暗灰褐色～暗褐色	暗褐色～暗灰褐色
293	須恵器	I区 ■■■	底内側	—	96	—	ハケ・ナゲ	粗工具ナゲ	微細砂微量	良	淡灰褐色～淡灰褐色	淡灰褐色
294	須恵器	I区 ■■■	底内側	—	56	—	ケズリ	ナゲ	良	良好	褐色	内面に一部自然地
295	須恵器	I区 ■■■	縁	100粒	—	—	ハマ～工具ナゲ	半切ガキ	白色粒少量	良好	淡灰褐色～淡灰褐色	淡灰褐色
296	須恵器	I区 ■■■	底か	—	—	—	粗工具ナゲ	丁寧ナゲ	黑褐色微量	良好	淡灰褐色～淡灰褐色	淡灰褐色
297	須恵器	I区 S2-01 (1) ■■■	裏	—	—	—	平行タタキ	同心円タタキ	微細砂微量	良	淡灰褐色～淡灰褐色	外：少し灰褐色
298	須恵器	I区 ■■■	裏	—	—	—	施子目タタキ	同心円タタキ	微細砂微量	良	淡灰褐色～暗褐色	淡灰褐色
299	須恵器	I区 ■■■	裏	—	—	—	施子目タタキ～ 丁寧工具ナゲ	同心円タタキ	良	良	淡灰褐色～暗褐色	淡灰褐色
300	須恵器	I区 ■■■	裏	—	—	—	施子目タタキ	平行タタキ	黑褐色粒少量	良好	暗褐色	淡灰褐色
301	須恵器	B区 S2-01 (1) ■■■	裏	—	—	—	平行タタキ	平行タタキ	微細砂微量	良好	褐色	茶褐色
302	須恵器	I区 ■■■	裏	—	—	—	平行タタキ	平行タタキ	黑褐色粒微量	良好	暗灰褐色～暗褐色	暗褐色～暗灰褐色
303	須恵器	I区 ■■■	裏	—	—	—	平行タタキ	同心円タタキ	黑褐色粒微量	良好	淡灰褐色～淡灰褐色	淡灰褐色
304	須恵器	I区 S2-01 (1) ■■■	裏	—	—	—	施子目タタキ～ 丁寧工具ナゲ	同心円タタキ	微細砂微量	良	暗褐色～灰	淡灰褐色
309	土製品	I区 ■■■	有柄土器	—	—	—	粗工具ナゲ	布目	良	良	淡褐色	褐色
310	土製品	II区 ■■■	有柄土器	—	—	—	粗工具ナゲ	布目	微細砂微量	良好	淡灰褐色～暗褐色	灰～淡褐色
311	土製品	II区 ■■■	有柄土器	—	—	—	工具ナゲ	土器片少量	白色粒少量	良好	淡褐色～淡褐色	褐褐色
312	土製品	II区 ■■■	有柄土器	180	—	—	粗工具ナゲ	布目	白色粒少量	良好	淡褐色～淡灰褐色	淡褐色～暗褐色
313	土製品	I区 ■■■	有柄土器	—	—	—	ナゲ	布目	土器片・小縫隙微量	良好	淡褐色～暗褐色	外：細紋灰
314	土製品	I区 ■■■	有柄土器	—	—	—	工具ナゲ	布瓶	白色粒少量	良好	淡灰褐色～暗褐色	灰～淡褐色
315	土製品	I区 ■■■	有柄土器	112	—	—	粗工具ナゲ	布目	土器片少量	良好	淡褐色～暗褐色	褐色～暗褐色
316	土製品	I区 ■■■	有柄土器	—	—	—	工具ナゲ	布目	黑褐色粒少量	良好	淡褐色～淡灰褐色	淡褐色～灰
317	土製品	B区 ■■■	有柄土器	—	—	—	工具ナゲ	布目	黑褐色粒微量	良好	淡褐色～暗褐色	暗褐色～暗褐色
318	土製品	I区 S2-01 (1) ■■■	有柄土器	—	—	—	工具ナゲ	布目	非褐色粒微量	良	淡灰褐色～深褐色	棕褐色
319	土製品	II区 ■■■	有柄土器	—	—	—	粗工具ナゲ	布目	非褐色粒微量	良好	暗灰褐色～暗褐色	深褐色
320	土製品	II区 ■■■	有柄土器	—	—	—	布目	工具ナゲ	小縫隙少量	良好	褐色	褐色
321	土製品	II区 ■■■	有柄土器	—	—	—	粗工具ナゲ	布瓶	土器片・白粉粒少量	良好	淡灰褐色	淡褐色
322	土製品	I区 ■■■	有柄土器	—	—	—	粗工具ナゲ	布目	土器片・白粉粒少量	良好	淡褐色	淡褐色
362	須恵器	II区 IV層	裏	—	—	—	平行タタキ	平行タタキ	黑褐色粒少量	良好	暗灰褐色～暗褐色	淡灰褐色
363	須恵器	II区 ■■■	深縁	—	—	—	工具ナゲ	条状	微細砂少量	良	暗灰褐色	淡灰褐色～淡黄褐色
364	須恵器	I区 日曜か	裏	—	—	—	工具ナゲ	ナゲ	微細砂少量	良好	暗灰褐色～暗褐色	暗褐色～深褐色
365	須恵器	I区 ■■■	裏	—	—	—	条状	丁寧工具ナゲ	微細砂少量	良好	褐色	褐色
366	土製品	I区 ■■■	坏	117	72	40	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ	微細砂微量	良好	淡灰褐色～灰褐色	暗褐色～暗褐色
367	土製品	I区129-117層	裏	129	74-80	48	(ややく) 129-117層 ナゲ・粗工具ナゲ	ナゲ	微細砂微量	良好	淡褐色～黄褐色	暗褐色～暗褐色
368	土製品	I区 ■■■	坏	—	93	—	ナゲ	ナゲ	赤褐色粒微量	良好	淡褐色	淡褐色
369	土製品	I区 ■■■	坏	—	63	—	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ	良	良	淡褐色～褐色	淡褐色
370	土製品	I区 ■■■	坏	—	62	—	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ	精良	良好	淡褐色～褐色	淡褐色
371	土製品	I区 日曜か	坏	—	52	—	ナゲ・工具ナゲ	(ややく) ナゲ	良	良	淡褐色～褐色	淡褐色
372	土製品	I区 日曜か	坏	—	81	—	ナゲ・工具ナゲ	ナゲ	黑褐色粒微量	良好	淡灰褐色～灰褐色	淡褐色
373	土製品	I区 B～日曜か	裏	—	92	—	工具ナゲ	ナゲ・手磨き	精良	良好	淡黄色	高砂土質・土器質上層
374	土製品	I区 B～日曜か	裏	—	61	—	工具ナゲ	工具ナゲ	精良	良好	淡灰褐色～淡灰褐色	高砂土質・土器質上層
375	土製品	I区 日曜か	裏	—	—	—	工具ナゲ	ナゲ・ケズリ	微細砂少量	良	暗褐色	褐色～暗褐色
376	土製品	I区 日曜か	裏	—	—	—	ナゲ・ナゲ	ナゲ	微細砂・赤褐色粒微量	良好	淡黄色	高砂土質・土器質上層
377	土製品	I区 日曜か	裏	360粒	—	—	ナゲ・ナゲ	ケズリ	微細砂少量	良好	茶褐色～暗褐色	茶褐色～暗褐色
378	黄色土器	I区 ■■■	塊か	126	—	—	ナゲ	ミガキ	良	良	灰褐色～淡褐色	淡褐色

表 11 出土土器観察表(6)

NO	種類	出土地	器種	法量(mm) 口徑×底径×高さ	面質		胎土	焼成	色調		備考
					外面	内面			外面	内面	
379	黒色土器	I 区 II 層	坪	— 58	—	工具ナデ(マツメ)	ミガキ	茶褐色少微量	良	淡褐	墨褐
380	黒色土器	I 区 II 層	坪	— —	—	工具ナデ・ハケ	ミガキ	茶褐色少微量	ややあさ い	淡黄～淡灰黄	淡黑灰
381	黒色土器	I 区 II 層	坪	— 67	—	ハケ(ヤマツメ)	ミガキ(ヤマツメ)	良	ややあさ い	淡灰黄～淡黄	淡黑褐
382	黒色土器	I 区 II 層	坪	— 59	—	工具ナデ	ミガキ	良	良	淡褐	墨褐
383	須器	I 区 II 層	塙か	143 —	—	ナデ	ナデ	微細砂少量	良	淡褐灰～淡灰褐	淡灰
384	須器	I 区 II 層	塙	— 146	—	ナデ	ナデ	良	良	灰褐～暗灰褐	淡灰
385	須器	I 区 II 層	坪	— 77	—	ナデ・工具ナデ	ナデ	微細砂微量	良	淡灰～灰	淡灰
386	須器	I 区 II 層	坪	160 78	80	ナデ・ヘラ	ナデ・工具ナデ	良	良	暗灰～灰	淡灰
387	須器	I 区 II 層	葉茎	— —	—	ケズリ	ナデ	良	良	灰褐～淡灰褐	灰～淡灰 (外上:オリーブ 自然釉)
388	須器	I 区 II 層	塙	— 74	—	粗工具ナデ +工具ナデ	ナデ	微細砂少量	良	暗青灰～淡褐	灰褐～暗灰褐
389	須器	I 区 II 層	葉	— —	—	格子丁目タケ 粗工具ナデ	同心円タキ	黑褐色少微量	良好	灰褐～暗灰	淡灰褐
390	須器	2Te II 層	塙	— —	—	平行タキ	同心円タキ	良	ややあさ い	淡黄～淡黄白	淡灰黄～淡黄白

表 12 中世国产陶器観察表

NO	出土地	器種	法量(mm) 口徑×底径×高さ	面質		胎土	焼成	色調		備考	
				外 面	内 面			外 面	内 面		
308	II区 売土(Ⅲ)	宝達大壠	600cc	— —	—	工具ナデ・ナデ	粗工具ナデ	微細砂少微量	暗青灰～暗灰	暗紫褐～灰褐	自然釉
397	I 区 II 層	赤堀類	— 123	—	—	工具ナデ・粗工具ナデ	ナデ・工具ナデ	微細砂微量	良好	淡褐～灰褐	淡灰褐
398	I 区 II 層	葉	— —	—	—	格子丁目タケ 粗工具ナデ	同心円タキ	黑褐色少微量	良好	灰褐～暗灰	淡灰褐

表 13 輸入陶器観察表

NO	種類	出土地	器種	法量(mm) 口徑×底径×高さ	露胎		胎土色	色調		產地	年代・備考
					外 面	内 面		外 面	内 面		
89	青磁	II区 SZ-01	碗	138 —	—	—	淡灰～灰	オリーブ	オリーブ	龍泉窯	蓮瓣状紋915年
305	青花	II区 SZ-01(上) ■	碗	— —	—	—	乳白	細	淡灰白	福建省	16後
306	青花	I 区 III 層	皿	— 33	—	墨付き	乳白・乳青～細	乳白・乳青～細	乳白・乳青～細	彭州窯	16初～17前
307	青磁	II区 III 層	刻花蓮弁文碗	135 —	—	—	灰青～灰褐	淡灰褐	淡灰褐	龍泉窯	15中～16初
391	青磁	II区 SD-01上	皿	— 47	—	墨下平～外延	淡灰白	乳白～淡黃白	乳白～淡黃白	中國	切高台 15～16世
392	青磁	I 区 II 层	刻花蓮弁文碗	— —	—	—	灰褐	オリーブ	淡黃褐	被熱、蓮瓣紋は 不明 13～14世	被熱、蓮瓣紋は 不明 13～14世
393	青磁	I 区 II 层	青磁蓮弁文	— —	—	—	淡灰	オリーブ	オリーブ	龍泉窯	16前～中
394	青花	I 区 II 层	皿	120 68 27	墨付き	乳白	細	乳白	細	景德鎮	16前～中
395	青花	III区 II 层	皿	— —	—	乳白	細	乳白	細	景德鎮	16前～中
396	青磁	II区 II 层	碗	181 — —	—	灰褐～暗茶褐	オリーブ灰	オリーブ灰	オリーブ灰	龍泉窯	14末～15中

表 14 土製品観察表

NO	種類	出土地	器種	法量(mm) 長さ×幅×厚さ	面質		胎土	色調		備考		
					外 面	内 面		外 面	内 面			
90	土製品	II区 SZ-01下層	繪輪車	53 53 12 (晋平マツメ)	若干削り	微細砂少微量	良	淡黄～暗茶灰	暗茶褐～黃褐	土器	土器22-晋平マツメ	
323	土製品	II区 IIIa	繪輪車	(45) 34 9	研磨	研磨	良	良好	褐～淡灰褐	土器	土器22-晋平マツメ	
324	土製品	I 区 IIIa	繪輪車	(49) 69 7	研磨(マツメ)	研磨	良	やや あさ い	淡黄～褐	黃褐	土器	土器22-晋平マツメ
327	その他	I 区 IIIa	伊弉	(43) 29(30)	—	—	良	楓葉・スダモを含む	良好	緑白	淡褐	—
399	土製品	I 区 II 层	瓦砾土器	— —	—	和ナデ	粗目	クサリ縞少微量	良	灰褐～暗灰褐	黄褐～橙褐	

表 15 金属製品観察表

NO	出土地	器種	法量	材質		備考
				長さ	幅	
336	II区 III 層	乾漆か	65～70 90 70	生質不透明	土が部分で 堅く結びついたり	表面:暗茶褐、底:淡赤茶、 側面:暗茶褐～銅銹色
400	I 区 II 层	鐵貨	23 24 1	鋼		寛永通宝
401	I 区 II 层	鐵貨	23 23 1	鋼		寛永通宝
402	I 区 II 層か	楕形溥か	75 75 30	鐵		

表 16 石器觀察表

NO	出土地	器種	法量(cm)			石材	NO	出土地	器種	法量(cm)			石材	
			長さ	幅	厚さ					長さ	幅	厚さ		
91	Ⅱ区 SZ-01 下層	石礫未製品	22	18	8	3	339	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧	(45)	47	7	22	淡灰色粘板岩
92	Ⅱ区 SZ-01 下層	石礫未製品	23	25	6	3	340	Ⅱ区 Ⅲa	打製石斧 (刃部欠損)	(85)	65	12	77	黑色粘板岩
93	Ⅱ区 SZ-01 下層	2次加工の ある片削	(50)	21	9	12	341	Ⅱ区	打製石斧	(70)	71	15	90	帶結安山岩
94	Ⅱ区 SZ-01 下層	打製石斧 (基盤欠損)	(50)	44	8	32	342	Ⅱ区 Ⅲa	石製石斧未製品 (失敗作か)	(70)	53	15	69	砂質頁岩
95	Ⅱ区 SZ-01 下層	打製石斧 (基盤欠損)	(62)	50	12	52	343	Ⅱ区 SZ-01 Ⅲ層	打製石斧	115	54	17	106	粘板岩
96	Ⅱ区 SZ-01 下層	打製石斧	69	41	5	24	344	Ⅱ区 Ⅲa	打製石斧 (柄部欠損)	(16)	117	25	366	砂質頁岩
97	Ⅱ区 SZ-01 下層	刀器	53	62	11	34	345	I区 SZ-01 (上) (Ⅲa)	打製石斧	89	73	12	99	粘板岩
98	Ⅱ区 SZ-01 下層	刀器	50	56	10	22	346	Ⅲ区 Ⅲ~Ⅳ層	打製石斧	(85)	48	14	72	砂岩 (無粒子)
99	Ⅱ区 SZ-01 下層	刀器	45	65	13	46	347	I区 Ⅲa	打製石斧 (未製品)	101	69	19	152	砂岩
100	Ⅱ区 SZ-01 下層	刀器	41	58	5	15	348	I区 Ⅲ層	打製石斧 未製品	72	65	19	95	砂質頁岩
101	Ⅱ区 SZ-01 下層	打製石斧 (刃部欠損)	(78)	56	14	68	349	Ⅱ区 Ⅲa	打製石斧 未製品小	93	76	15	116	黑色粘板岩
102	Ⅱ区 SZ-01 下層	打製石斧 (基盤欠損)	(102)	58	11	89	350	Ⅱ区 Ⅲ層	打製石器 未製品	149	87	28	416	暗灰岩層平縫 粘板岩
103	Ⅱ区 SZ-01 下層	打製石斧 (刃部欠損)	(111)	62	23	176	351	Ⅲ区 Ⅲ層	石製石斧未製品 (失敗作)	122	61	14	106	淡黑褐色 粘板岩
104	Ⅱ区 SZ-01 下層	用途不明	97	22	8	22	352	I区 Ⅲa	万部未製品小	59	70	14	26	粘板岩 (浮游黃、鐵質)
328	Ⅲ区 Ⅲa	石礫未製品	14	19	4	—	353	Ⅱ区 Ⅲa	万部未製品か	81	53	10	53	粘板岩
329	Ⅱ区	石礫未製品	(6)	16	4	1	354	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	万部未製品か	94	64	14	63	黑色粘板岩
330	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧 未製品	(50)	62	10	31	355	Ⅱ区 Ⅲ層	刀器小	54	23	5	7	粘板岩 (深灰色)
331	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧 (刃部再生)	91	58	18	87	356	I区 Ⅲa	石丁子 未製品小	28	(26)	4	7	粘板岩
332	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧 (刃部)	117	51	17	129	357	I区 Ⅲa	石鑿小	41	45	8	19	粘板岩 (深茶褐色)
333	Ⅱ区 Ⅲa	打製石斧 (刃部欠損)	(50)	58	17	86	358	I区 Ⅲa	刀器	56	(26)	12	49	砂岩
334	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧 (刃部欠損)	(60)	55	15	58	359	Ⅱ区 Ⅲ層	砾石	104	41	29	218	微粒砂岩
335	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧 (完形)	143	74	16	219	360	I区 Ⅲa	砾石配石核	93	46	14	53	砂岩
336	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	打製石斧 (完形)	127	98	13	128	361	Ⅱ区 SZ-01 上(Ⅲa)	石核 (打製石斧の石核か)	(126)	(137)	56	1090	帶結凝灰岩
337	Ⅱ区	打製石斧 (刃部欠損)	(80)	60	14	73	363	Ⅱ区 Ⅲ層	打製石斧 (刃部欠損)	(104)	60	18	128	砂岩
338	Ⅲ区 Ⅲa	打製石斧 (完形)	117	57	16	128	364	I区 Ⅲ層	万部未製品か	56	67	13	104	粘板岩 (深灰色)

二本杉遺跡

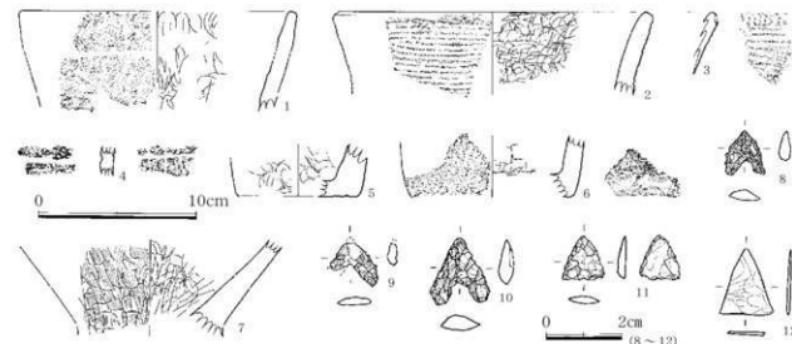
第4章 二本杉遺跡

第1節 はじめに

平成5年度、えびの市美化センター（ゴミ焼却場・リサイクル分別ゴミ集客場）建設に伴う遺跡の照会があり、周知の遺跡内であったことから試掘調査を実施したところ、遺物と遺物包含層・遺構面を確認した。平成6年度、4月5日、重機を投入し、美化センターの建設予定地（I区）から始め、県道からの進入路（II～IV区）を7月29日までと遊具施設等建設予定地（V～VII区）の調査を翌年7月12日から8月19日まで実施した。

I区の調査途中で、進入路の調査を優先してほしいとの依頼があり、II～IV区に移動し、終了後にI区へ戻った。I区は通常の段丘堆積層であり、中世以前の黒灰色土と縄文時代早期末のアカホヤ火山灰（IV層）も良好に遺存していたが、試掘調査において遺構・遺物は検出されなかった。しかし、表土剥ぎの際はIV層上面で一旦止めて遺構の有無を事前に確認してからVI層上面まで削平し、結果的に全域で縄文時代早期の文化層（VI層）のみ調査することになった。進入路は400mもあることから、西側150m位をII区、中央部をIII区、東側200m位をIV区とし、遊具建設予定地および用地境界壁建設予定地をV～VII区とした。III区以東においてはIV層上面が弥生～古墳時代の遺構検出面であり、II～IV区にかけてVI層の遺物が広がっていることも判明した。

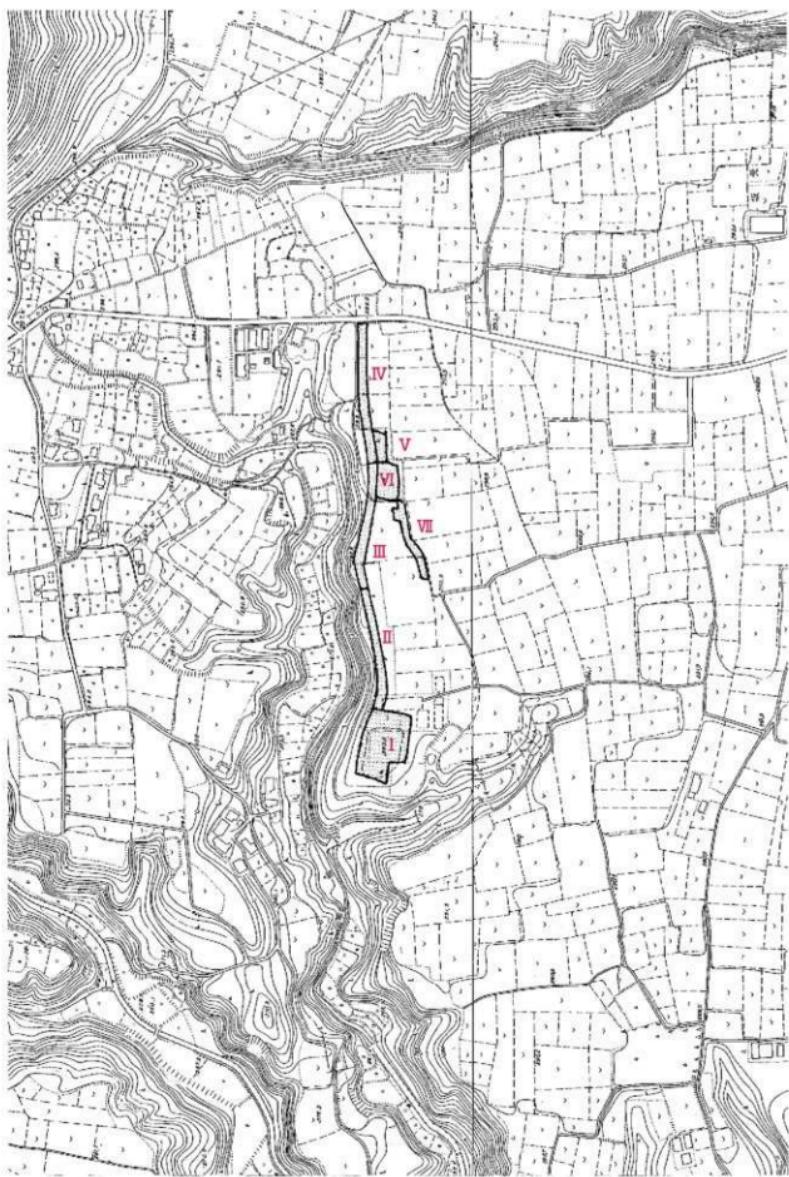
II～III区については結果的には、工事に影響のあるIII区検出の溝状遺構のみの調査となり、IV～V区についてはIV層上面の調査と一部のVI層の調査で終了した。



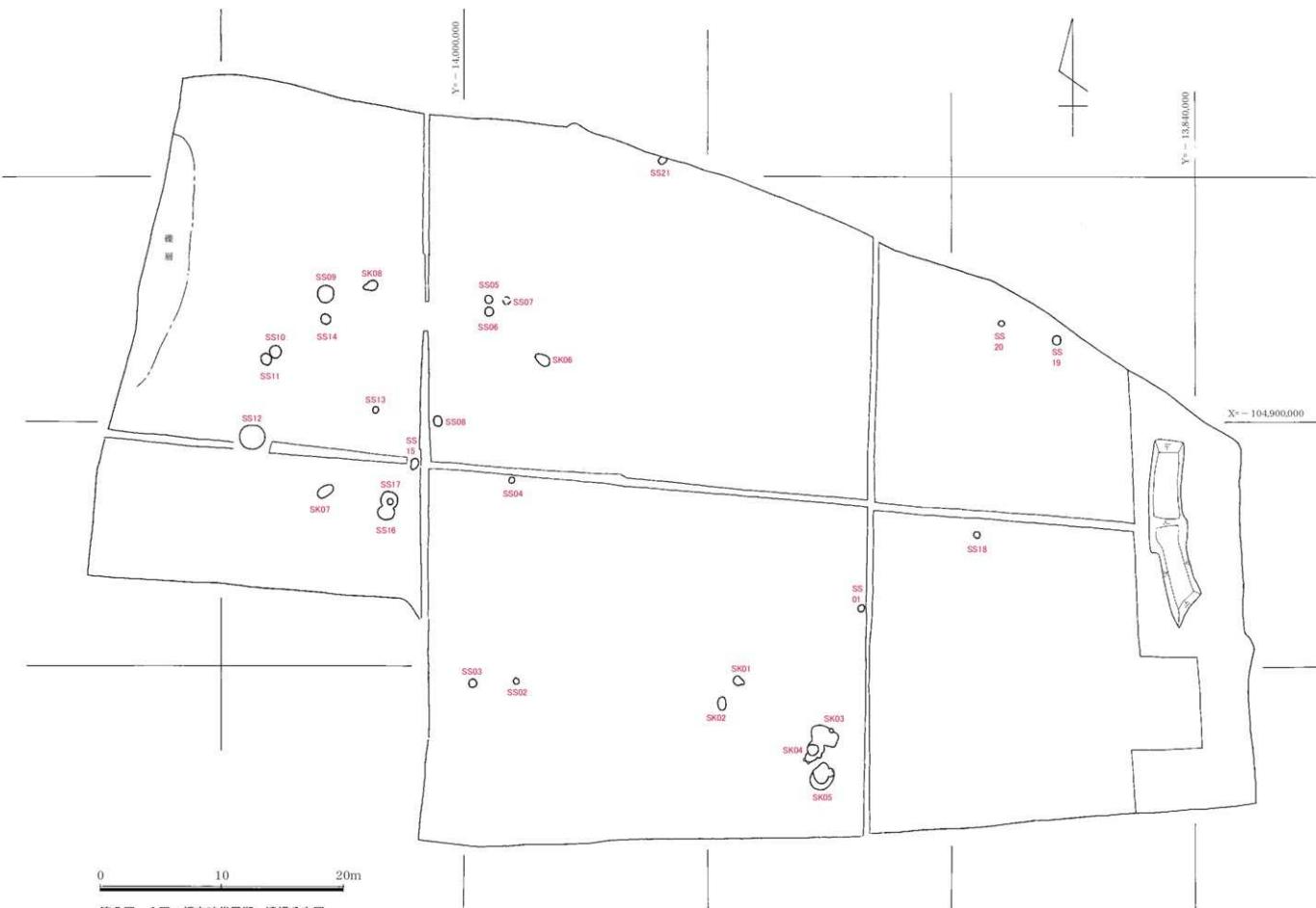
第1図 試掘溝出土遺物実測図

第2節 基本的層序

層序は上から、I：耕作土、II：旧耕作土、近世以降の造成土、III：黒灰色土、IV：アカホヤ火山灰（B.P.7300）、V：茶褐色硬質火山灰、VI：黒灰色土（厚さ20cm）、VII：淡黄色～黄橙色、淡茶灰色、淡黄色、灰～淡灰色砂質土（無遺物層）が1.5m前後、その下は疊混じり。VIII：高位段丘礫層に分別した。VIII層はB.P.18000頃であり、2～3m下に入戸火災流（シラス）がある。



第2図 調査地の区割と周辺の地形(1:5,000)左が北



第3図 I区 繩文時代早期 遺構分布図

第3節 I区の調査

東西 80m 強、南北 35~46m ほどの広い地区であり、6 小区に分けて掘り下げた。東半分はトレーナーが入っていたが、ほぼ全域で遺物が出土した（付図）。焼石や弾け礫片は集石遺構の多い北東部～北側が濃密に分布する。また、焼石に混在して土器片や石鐵・剝片・チップ等が相当量出土したほか、台石と敲石、磨石も僅かに出土している。明瞭な遺構は集石遺構である。このほか、VII 層上面において大小の土坑 7 基を検出した。

調査は、集石以外の礫・焼石と遺物を 1/50 図に平板測量・レベリングして後、自然礫と焼石以外の遺物のみ取り上げた。その総数は、5272 点である。残りが集石遺構であり、21 号まで番号付けした。他にも直径 80 cm ほどのやや密集した所もみられたが集石の認定をしていない。また隣接する 16・17 号については、礫を平板測量でのみ図化し除去してしまい、16 号集石の基底土坑は無く、17 号集石の基底土坑のみの遺構実測図になった。

集石の周囲も VI 層土と同質であり、VII 層上面に達しないと基底土坑のプランが検出できないものばかりであったが、本来の遺構面は VII 層中位～上位と考えられる。

SS-01（第4図）

上位～上面に 100 個ほどの焼石が直径 70 cm の円形に集積している。周辺にも焼石が散在する。下部構造は、VII 層上面で長径 57 cm・深さ 10 cm の不整形土坑で、東突出部は別遺構と思われる。下位に 20 個ほどの焼石がみられたが、基底部には無い。

SS-02（第4図）

01 号集石の西 29m に位置した長径 56 cm、短径 45 cm、深さ 5 cm の土坑で、中央寄りに焼石 20 個あまりと碎片が入っていた。南側に焼石が散在する。

SS-03（第4図）

02 号集石の 3.5m 西に位置した上面に 80 個ほどの焼石と碎片、少し離れて 23 個の焼石が集積している。南側にも焼石が散在する。下部構造は、VII 層上面で長径 1.0m・短径 0.9m の楕円形を呈する、深さ 5 ~ 7 cm の土坑で、基底部に直径 60 cm ほどに 10 ~ 20 cm の礫を並べている。周囲には弾け飛んだ碎片がある。上面の礫は、長さ 4 ~ 5 cm の碎片が半数を占める。

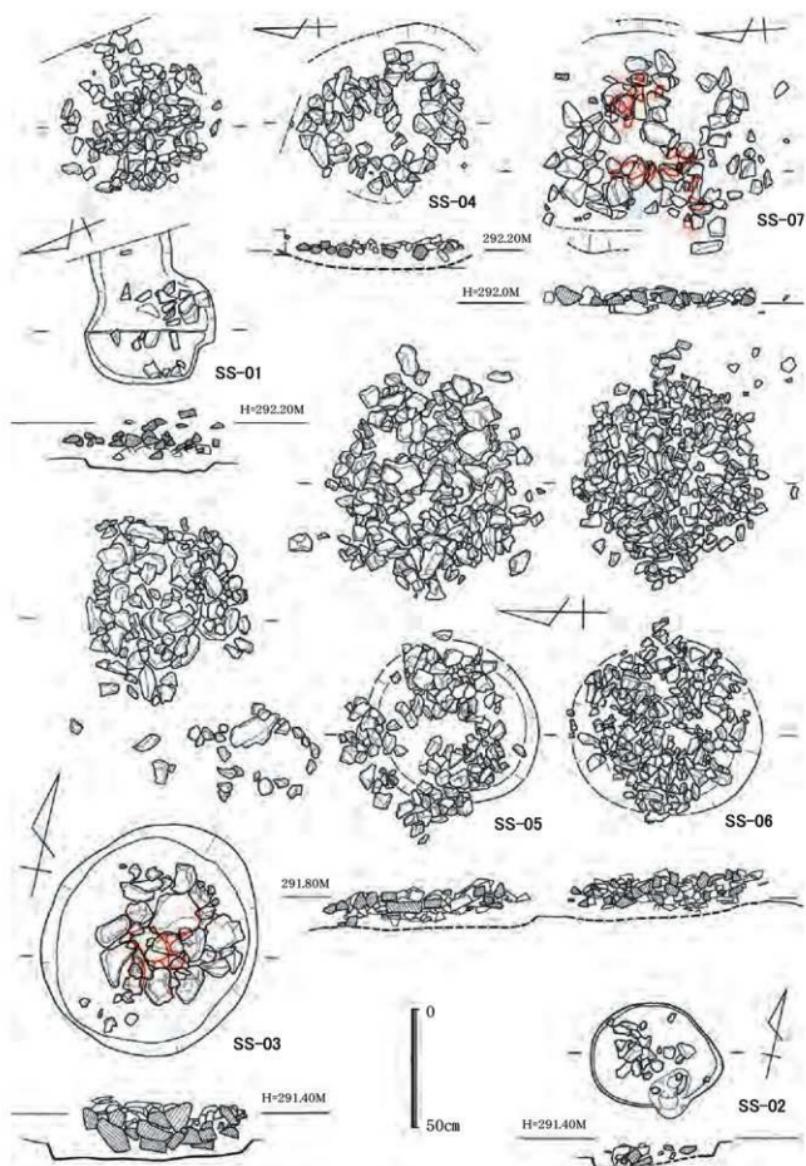
SS-04（第4図）

60 個ほどの焼石と碎片が 60 ~ 70 cm の楕円形に集積し、周囲にも焼石が散在する。基底土坑を有するが、極めて不明瞭である。石材は、長さ 5 ~ 8 cm ほどの礫が多い。

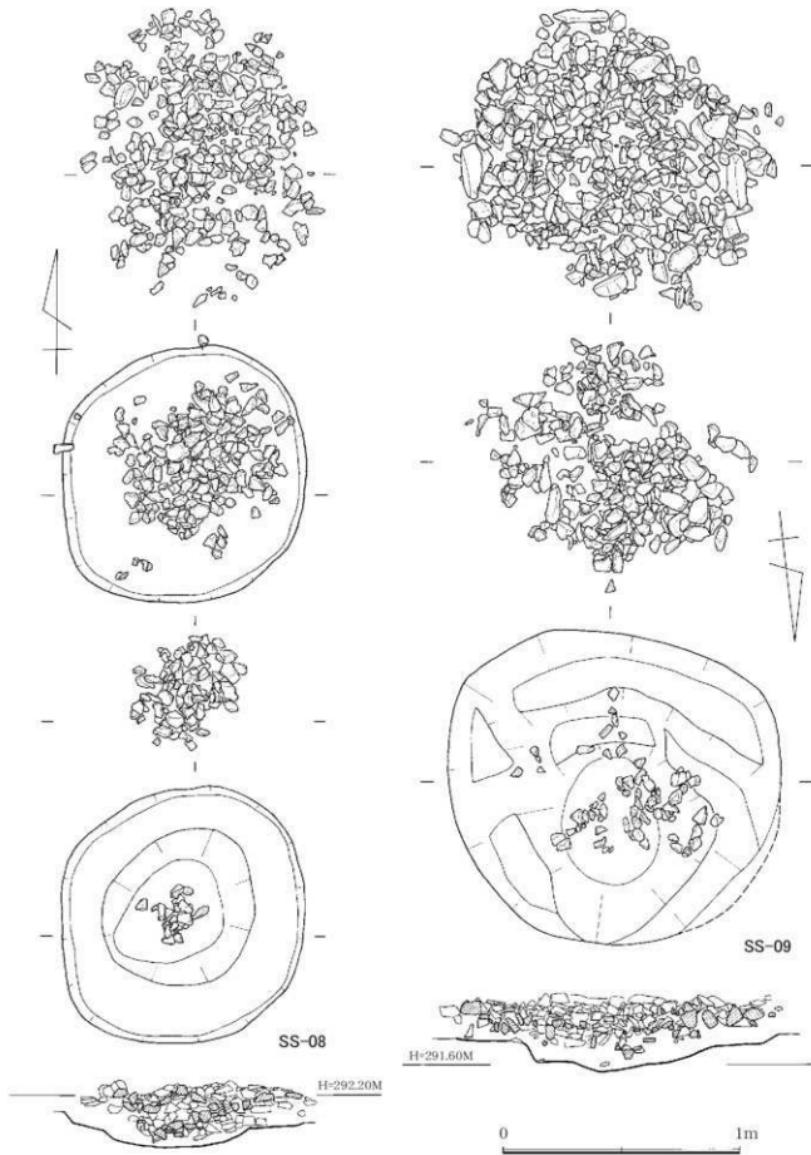
SS-05（第4図）

上面は 120 個ほどの焼石と碎片が 80 × 90 cm ほどに集積し下面には 90 個ほどの焼石と碎片が出土した。北側にも焼石がやや多く散在する。基底部は、直径 70 ~ 75 cm の浅い凹み程度の掘り込みがある。10 cm を越える礫は上面に少しある程度である。

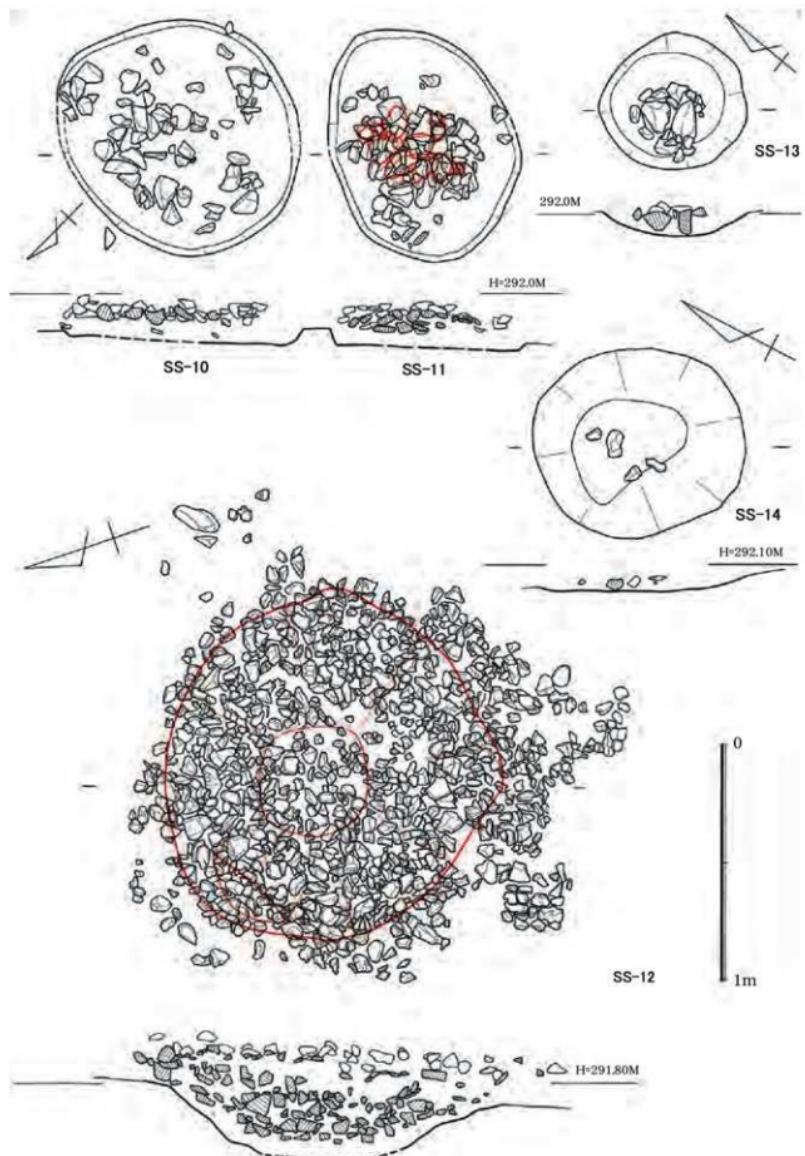
SS-06（第4図）



第4図 SS-01~07 遺構実測図



第5図 SS-08~09 遺構実測図



第6図 SS-10~13 遺構実測図

上面は 140 個ほどの焼石と碎片が、下面には 100 個ほどの碎片が集積している。西～西側には焼石が列状に 5 条並び、投入準備か取り出し時の一連の動作による所産と推定される。基底部は、直径 70～80 cm の浅い凹み程度の掘り込みがある。05 号の南 14 cm に位置し、05 号との前後関係は不明であるが、礫の消費から推定すると本例のほうが新しいか。

SS-07 (第 4 図)

60 個ほどの焼石と碎片が 80×90 cm 程の範囲に集積し、一部が重複している。周囲にも焼石が散在し、北西部と南に 10 個前後が密集している。下部構造は不明瞭であるが、東西 98 cm の浅い凹み程度の掘り込みと思われる。

SS-08 (第 5 図)

上面に 180 個ほどの焼石と碎片が 1×1.25 m の範囲に集積し、中位に 100 個ほどの焼石と碎片が、下位に 60 個ほどの焼石と碎片が出土した。北西～北東部には、やや多めの焼石がある。下部構造は、長径 1.17 m・短径 1.05 m の不整円形土坑で一段目の深さは 1～7 cm である。内側はさらに、長径 70 cm・短径 61 cm の不整椭円形に深さ 8 cm ほど掘り下げられる。礫は 5～8 cm のものと碎片が主体である。

SS-09 (第 5 図)

上面は 8 個の大礫で 1×1.2 m ほどの範囲を決めたかのような配置の中に 200 個ほどの焼石と碎片を検出した。近隣の北西～北側にもやや多い焼石がある。中位には 160 個ほどの焼石と破片が、下位には 50 個ほどの小礫と碎片が出土した。下部構造は直径 1.3～1.5 m の大型土坑で、1～2 段のテラスが巡りながら最深部へ 20 cm 下がる。下部の礫ほど小片が多く、意図的配置には無い。

SS-10 (第 6 図)

長径 1.09 m・短径 0.97 m の楕円形を呈し、深さ 6 cm ほどの土坑上に、焼石 50 個ほどと碎片数個がやや散漫に集積していた。近隣周囲にも少量の焼石があるが、関連性は不明である。下部には、殆ど礫が入っていない。

SS-11 (第 6 図)

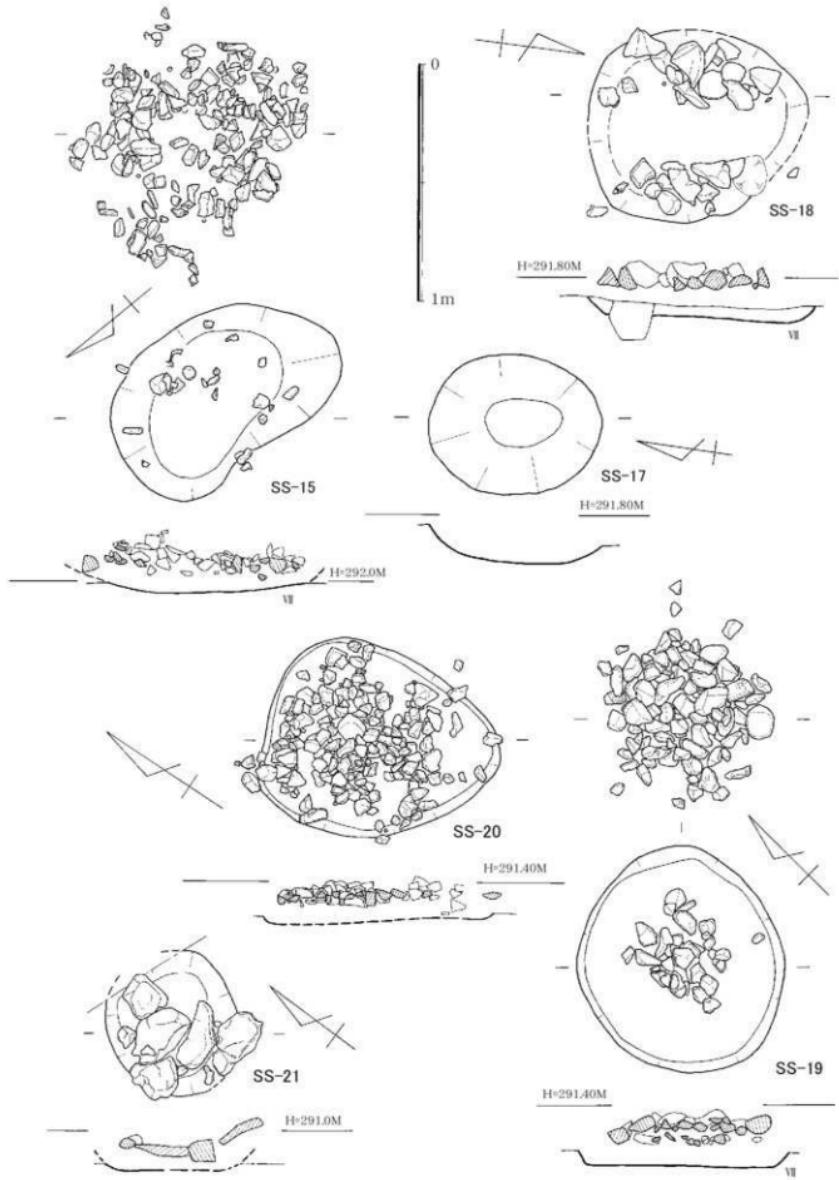
長径 1.03 m・短径 0.76 m の楕円形を呈し、深さ 3～7 cm の土坑上に焼石 50 個ほどと碎片が中央寄りに出土した。特に 10 cm 大の礫は中央に集中する。10 号に隣接し、10 号と同様下部には礫が無い。

SS-12 (第 6 図)

上面の直径 1.7 m ほどの範囲に 600 個ほどの焼石と碎片多数が広がり、近隣の北側と南側にも焼石がやや多く分布する。2 回（約 20 cm）掘り下げた段階で、下部の土坑を検出した。土坑は長径 1.49 m・短径 1.34 m の不整円形を呈し、深さは 25～31 cm を測る。遺跡内最大の規模である。

SS-13 (第 6 図)

上面～北側に焼石が散在し、周辺分布焼礫との境が不明のため図化していないが、下部の土坑と基底礫を検出した。土坑は直径 58～62 cm の略円形を呈し、深さ 10 cm を測る。底面南西寄りに大礫



第7図 SS-15・17~21 遺構実測図

2個と中礫1個、小礫12~13個を直径30cmほどに配置している。

SS-14 (第6図)

上面~東側に焼石がやや多くみられ、検出した土坑内から焼石4個が出土したことから集石に含めた。土坑は、長径89cm・短径79cmの楕円形を呈し、深さは3~4cmである。

SS-15 (第7図)

北~北西~南側に多くの焼石を認め、上面に100個ほどの焼石と碎片多数が1辺0.8~1.1mの台形状に散布していると判断した。VII層上面まで掘り下げるとき長径1.02m・短径0.62mの歪な楕円形を呈する土坑を検出した。深さは3~5cmで、凹み程度である。

SS-16・17 (第7図)

周囲よりは焼石が密集していたが平板測量でのみ記録し焼石を除去してしまったので、図面に残っていない。平板測量では、16号は直径1.2mほどに焼石がやまとまって、17号はや散在するが、10cm大の焼石が15個ほど直径50cmほどに集中し、碎片も混じる。17号の基底土坑は、長径73cm・短径59cmの楕円形を呈し深さ4~8cmを測る。

SS-18 (第7図)

01号集石の11m北東に位置し、トレンチャーに分断されていたが、長径94cm・短径81cmの不整形を呈する深さ4~6cmの土坑と10cm上位に焼石24個と碎片数個が出土した。周囲には少量の焼石が散在する。

SS-19 (第7図)

調査区の北西端に位置し、直径70cmほどに焼石がまとまっている。焼石は2~3段重なり、長径15cmほどの大型のもの10個ほどが上位にあり、長径10cmほどの中型25個と小型のもの40個ほどが下位にある。基底には、長径96cm、短径84cm、深さ6cmの土坑を有する。

SS-20 (第7図)

19号集石の4.5m北北西に位置し、上面に110個ほどの焼石と碎片多数が直径80~90cmほどにやや纏まり、VII層上面で、長径1.0mの倒卵型を呈する深さ2~3cmの土坑を検出した。周囲には少量の焼石が散在する。

SS-21 (第7図)

07号集石の17m北東、20号集石の31m北西に位置し、長径56cm(推定62cm)・短径54cmの楕円形を呈する深さ3cmの浅い土坑で基底石を検出した。長さ28cmほどの大礫2個を中心付近に据え、15~20cmの礫を斜めに掘形の角度に置いたと推定される。半分程度の石材が抜かれているが、基底礫の配置を復元しうる。周囲には少量の焼石が散在する。

SK-01 (第8図)

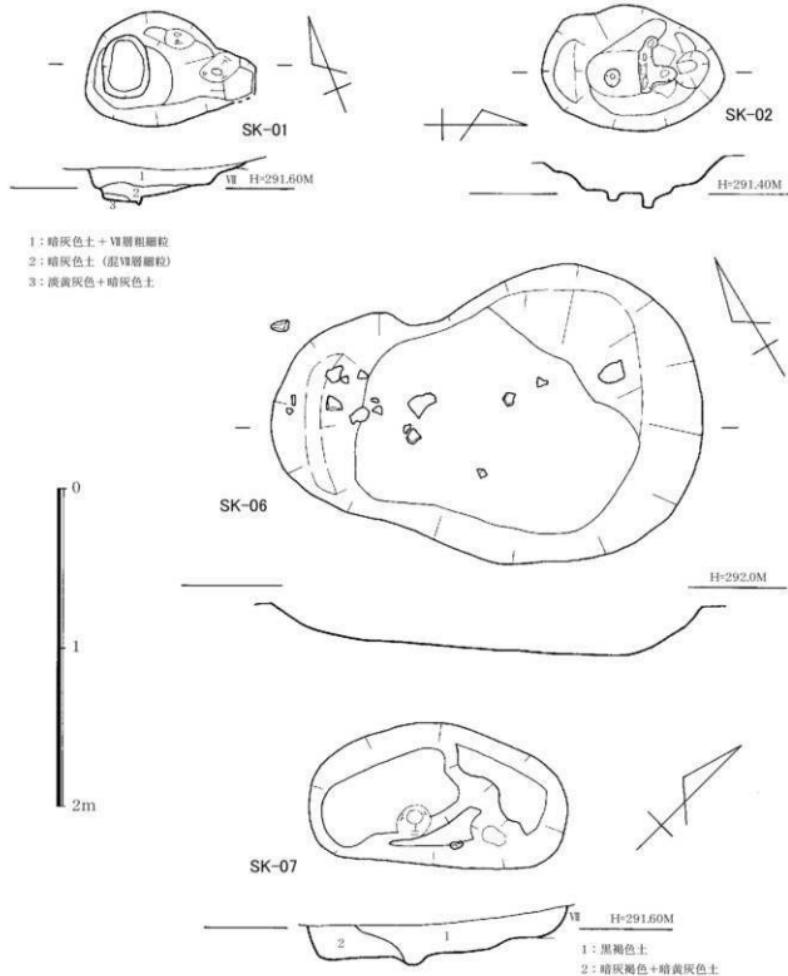
長径1.0m、短径0.72mの楕円形を呈し、深さ10~22cmの土坑であるが、両側に焼石が散在していることから、集石遺構の基底土坑の可能性が高い。

SK-02 (第8図)

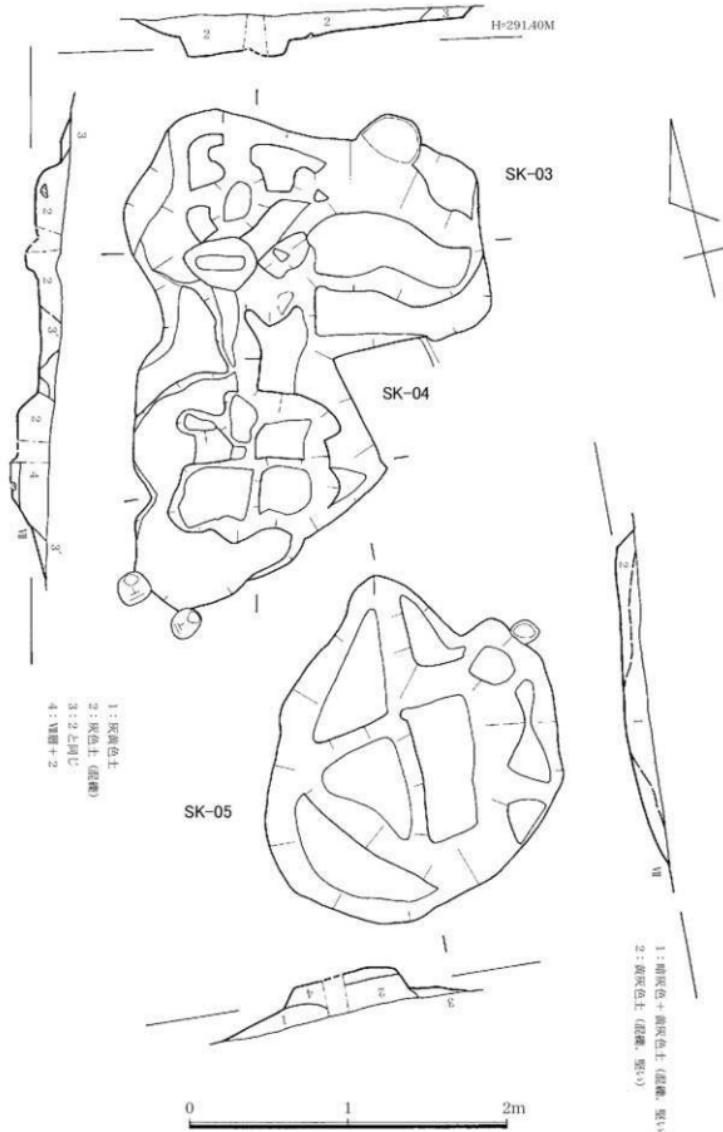
長径 1.15m、短径 0.78m の楕円形を呈し、平均的深さは 20 cm を測る。底面は一様でないが南側に焼石が散在していることから集石遺構の基底土坑の可能性が高い。

SK-03 (第9図)

04 号以前と推定される、長さ 2.28m・幅 1.4m ほどの不定形土坑で、7 ~ 25 cm の深さがある。東



第8図 SK-01・02・06・07 遺構実測図



第9図 SK-03~05 遺構実測図

半分は2段掘りで、底面の半分は凹凸が激しい。

SK-04 (第9図)

東～南壁は直線的で、断面観察では、中央部1×1.1mほどは別遺構である。

SK-05 (第8図)

04号土坑の南42cmに長径2.16m、短径1.88mの不整椭円形を呈し、深さ12～14cmの浅い土坑である。底面は一様でなく、中央西寄りが一番深い。機能は不明である。

SK-06 (第8図)

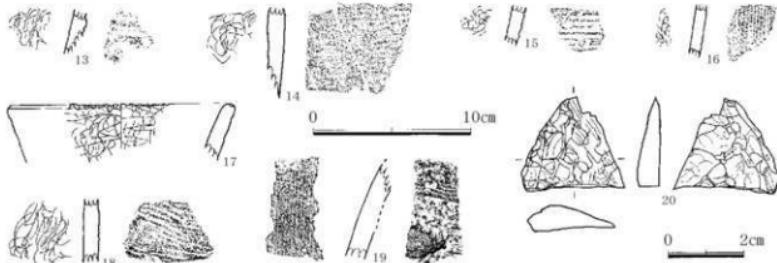
長径1.37m・短径0.6～0.93mの不定形で、深さ11～15cmを測る。片側小口付設土坑に形状が似るが、大小2基の重複の可能性もある。出土遺物は無いが、周囲に焼石が散在することから、集石遺構の基底土坑である可能性が高い。

SK-07 (第8図)

長径1.63m、短径0.90mの不整椭円形を呈し、15～21cmの深さを測る。出土遺物は微量であるが、掘形に接する北西に焼石30個余りが纏まっており、集石遺構の基底土坑である可能性が高い。

SK-08

直径85cm・深さ20cmの土坑と推定されるが、北西側が擾乱を受けている。周囲に少量の焼石があり、集石遺構の基底土坑の可能性がある。



第10図 SS-06-12-18, SK-06-08 出土遺物実測図

VI層出土遺物

平板測量で、縄文土器2,047点と石器1000点あまり、原石・石核・剥片・チップを2,600点取り上げたが、平板以外（掘り下げ時）にも縄文土器900点と原石や剥片・チップ約6,000点が出土している。当地内で石器を製作したことは明らかであるが、ブロックの認定は困難である。よって早期の遺物を一括して述べる。

土器は、早期前葉の水追式から岩本式・前平式・加栗山式・吉田式・政所式・石坂式・中原式・手向山式土器、早期末の押型文土器・塞ノ神式土器ほか、貝縁押引による擬似回線文(224～230)や

無文土器など、途切れることなく出土している。反面、小片が多く、図化に耐えるものが少ない。山形押型文土器(191)は1/8程度が残り、土器の中では遺存度が最も高い。

石器としては、台石3点、凹み石4点、敲磨石5点、打製石鏃310点（これ以外に、約20年前、30～40点位が資料館常設展示室にて盗難）、同失敗作40点、同未製品370点、同素材95点、尖頭器1点（盗難）、石鏃模倣品の未製品約30点、円形打製石器2点、鑿形石器1点、石匙未製品1点、模型石器1点、刀器約30点、刀器の可能性のあるもの4点、2次加工のある剥片3点、のほか石核129点、原石196点が出土している。小型の剥片や微細なチップはサンプリングエラーが無数にあったであろうことは容易に想定できるので、剥片・チップの総数は参考程度のデータである。

打製石鏃については、原石・素材～粗割り～2次加工～仕上げに至る工程の遺物が相当量出土しているが、成品から述べる。

打製石鏃 (288～551)

左右対象で、入念な仕上げ加工まで施された整美な物が完成品であり、分類に当てはまらないものは未製品か再生品の可能性が高い事が、分類作業を通じて理解できた。

基本的には基部形と側辺形の組み合わせで分類したが、長幅比まで含めるとさらに細分される。基部は、主として凹基式であり、僅かに平基式と円基式・凸基式がある。平基式をI類とし凹基式は、6型態に細分し浅いもの（II類）、やや深いもの（III類）、鈍角な逆刺で浅いもの（IV類）、同じくやや深いもの（V類）、中央が直線的なもの（VI類）、逆ハート型のもの（VII類）とした。II類とIII類・IV類とV類、VIII類とIX類の境は曖昧であり、主観的である。さらには抉りの深いタイプを全長の1/3以上の抉りがあるタイプと仮定し、逆刺の型態によってVIII・IX類を設定した。円基（X類）や凸基（XI類）も僅かに存在するが一部のものは未製品かもしれない。このほか、型式外のタイプはXII類とした（第62図）。

側辺形は、内湾（a類）、直線（b類）、凸（外湾・c類）、砲弾型（d類、帖地型）、弧（e類）、意図的な鋸歯縁（f類）、S字型（g類）に分類した。C類の最大幅は基部に、d類とe類は中位にあるが基部がすぼまるものに分けられる。f類も鋸歯縁が及ぶ位置や間隔・大きさによって細分可能である。

逆刺には銳角なものから鈍角・幅広い脚状で角張ったものや丸みのあるものなど、より細分できる要素もある。またIII・VI・VIII・IX類は、逆刺の機能がかなり意識されたものである。加えて、V類の中央部をさらに抉るものなどもあるが主観的に分けている。このほか切先が鈍角に屈折するものの（406・400・524など）は、刃部を再生した可能性が高いと思われる。

約3,000年という長期の年代幅があることが前提であるが、打製石鏃を型態分類し、長幅比をグラフ化した（第129図）。その結果I類は長さ10～15mm・幅10～13mmに集中し正三角形に近い。II類は長さ10～17mm・幅10～14mmに集中し、二等辺三角形を呈する。III類はII類に近いがやや幅広である。V類は長さ15～30mm・幅15～22mmに集中し、三角形に近いという傾向が読み取れる。他は少数であることから傾向を掴み難いが、VIII・IX類は中～大型のものが多い。

打製石器未製品 (565～942)

総数 558 点で、うち 371 点を図化した。素材剥片もしくは原石(A)の不要部分を折断したもの、素材剥片もしくは素材状原石(B)に直接 1～2 回の 1 次剥離を施した第 1 次段階、両側辺および基部に剥離を施して大まかな外形をつくる第 2 段階、仕上げ段階（細かい押圧剥離による整形）の途中のものに細分できる。自然面もしくは風化面を残すものが多く、原石が小さいことに起因する。

打製石器の素材 (963～975)

長さ 1.5～2 cm・厚さ 3～5 mm 程の三角形を基本とし、横断面は扁台形～長方形を呈する石器製作に適した手頃な剥片である。原石の表皮除去～剥片剥離の作業を省ける選択である。風化面から成る 2 cm 前後の円錐は外面の 1～2 本の稜をとり込むように石刃技法に類似した砲弾型の剥片を得ている。

石核 (1090～1131)

黒曜石は石器の素材 1～2 枚がとれる程度の大きさのものが多く、チャートや玉髓・鉄石英（紅簾片岩に酷似）も限界に近いまで剥片剥離がなされるわりには効率の悪い粗雑な剥片剥離である。

原石 (1132～1150)

直線距離で 13 km 弱西北西に位置する桑ノ木津留産のものが多く、長さ 1.5～2 cm の全面風化面のぬめり感を呈するものが多い。本来、ローム層に産出する原石の自然面は、鮫肌の泡粒状を呈するものも含まれるが出土遺物には認められないので、採掘には至らず主として転石採取と思われるが、中には打製石器の素材すらなり得ない原石もみうけられる。日東（伊佐市日東：西北西へ 32 km）や上牛鼻系（薩摩川内市樋脇町上牛鼻：南西へ 55 km）のものは、素材と同等の小形が多く、素材製作の効率化がはかられている。白浜産（球磨群球磨村：北西へ 24.5 km）は極僅かであり、やや大きめの不純物が多く、小型剥片石器製作には向きであることが要因である。チャートや玉髓・鉄石英の原石は出土していないし、母岩自体も僅かであろうと思われる。市東部の北側～人吉市側は頁岩・粘板岩を主とする岩塊があり、狗留孫川等の支流では転石を多く採取できる。石器製作が可能なチャートや玉髓等は国見山地を越え（12～14 km）た球磨川や 50 km 北の秩父帯に産出するが特定はできていない。

石匙未製品 (981・983)

成品は 1 点も無く、未成品も僅かに 2 点であり、後者は、ミニチュアの可能性もある。

石鏃模倣品未製品 (988～1024)

型態的には尖頭器状であるが鋭い切先を有する狩猟用尖頭器とは言い難いので、別の名称を与える必要があり、しかも全て未製品と推定される。2 側辺は外彎し、基部は平基かやや外彎し、扁平楕円錐を打ち欠くものが多い。側辺が直線的なものや長五角形のもの、表皮を除去した粘板岩の剥片や芯材から整形したものも含めている。法量も一定でなく、型態や法量で細分すると、機能分化する可能性もある。また、一部研磨したものもある。中には刃器も含んでいる可能性もある。

黒色系粘板岩製のものはより硬質であり、尖頭器としても機能しうるが、扁平円錐製のものは刺

突具とするには強度に問題があり、いわゆる尖頭器に含めると違和感がある。ここでは非実用品として扱う。

尖頭器模倣品か (1025)

基部を突出させているので上記のものとは区別した。

刃器・刃器未製品 (1039~1089)

扁平円礫の1/3程を鋭角に打ち欠いたものや、扁平円礫を加工したもの、河原石の表皮剥片に2次加工したものまで様々で法量も一様でない。大半は長軸の一辺に刃部があり刃部以外には刃溝しが施されている。短軸に刃部のあるものは打製石斧の機能(1028・1046・1067など)も想定される。中には石匙の型態を呈するタイプ(1051・1068)もあり、様々な用途に応じて機能分化していたと思われる。

楔型石器 (984・985)

小型の粘板岩製で4辺に打点がある。

磨製石鎌未製品か (977~979)

唯一、磨製石鎌の可能性があり、両面が若干研磨されている。鑿型石器の可能性もあるが、断定できない。

鑿型石器 (987)

刃部のみ両面研磨し、両面に自然面を残す。

円形打製石器 (1026・1027)

2点は溶結凝灰岩製で、後晩期の打製石斧と同じ石材である。1089は未製品の可能性もあるが、軟質石材であることから含めていない。

凹石 (1151~1154)

蔽石として連続敲打した結果による浅い凹みのもの(1154)と、凝灰質の厚手の円礫に同様の深い凹みを有するもの(1152)、同様の円礫に深い(深さ6.5mm)擂鉢状の凹みがあり斜面が磨滅しているもの(1151)で、この凹みを何らかに使用したもの、さらには、川原石を打ち欠いた平坦面に擂鉢状(長径3.7cm・短径2.5cm・深さ6.5mm)の凹みを穿ち、斜面のほぼ半分の稜を潰しているもの(1153)で、使用による潰れの可能性もあるものがある。

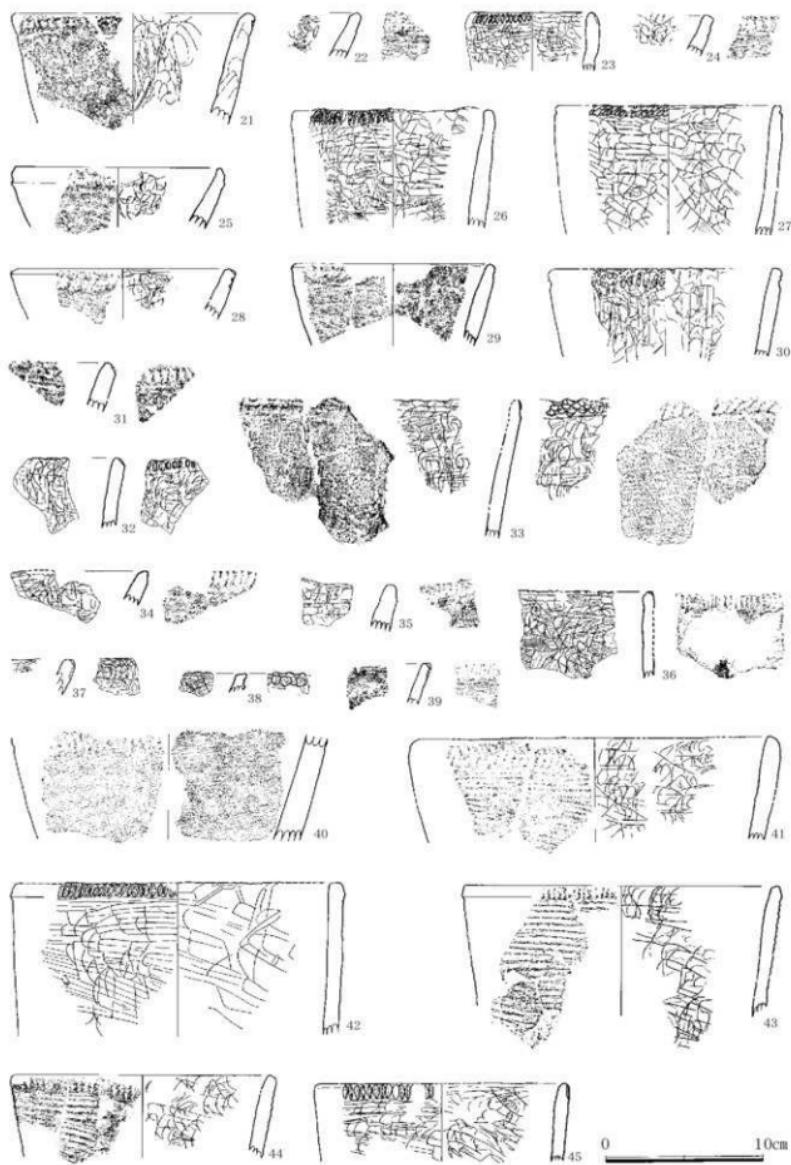
敲磨石 (1155~1159)

砂岩か溶結凝灰岩の円~楕円礫を使用し、主として堅果類の打割と粉碎に使用したと推測され、石器の敲打に適した石材ではない。

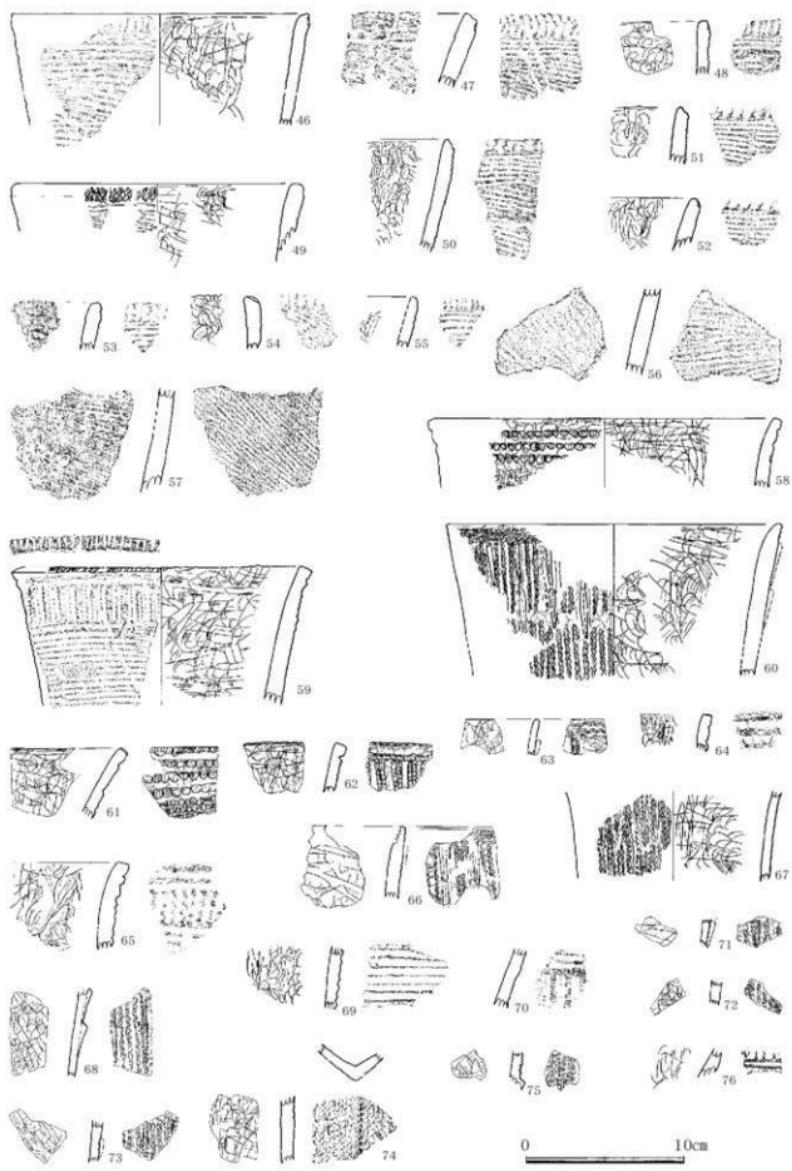
台石 (1160~1162)

1160は片面使用、主として長軸方向に擦った、かなり平滑な平坦面になっている。上部の上面~側面上半は灰色に被熱、その右側が大きく弾けたあとも若干擦っている。

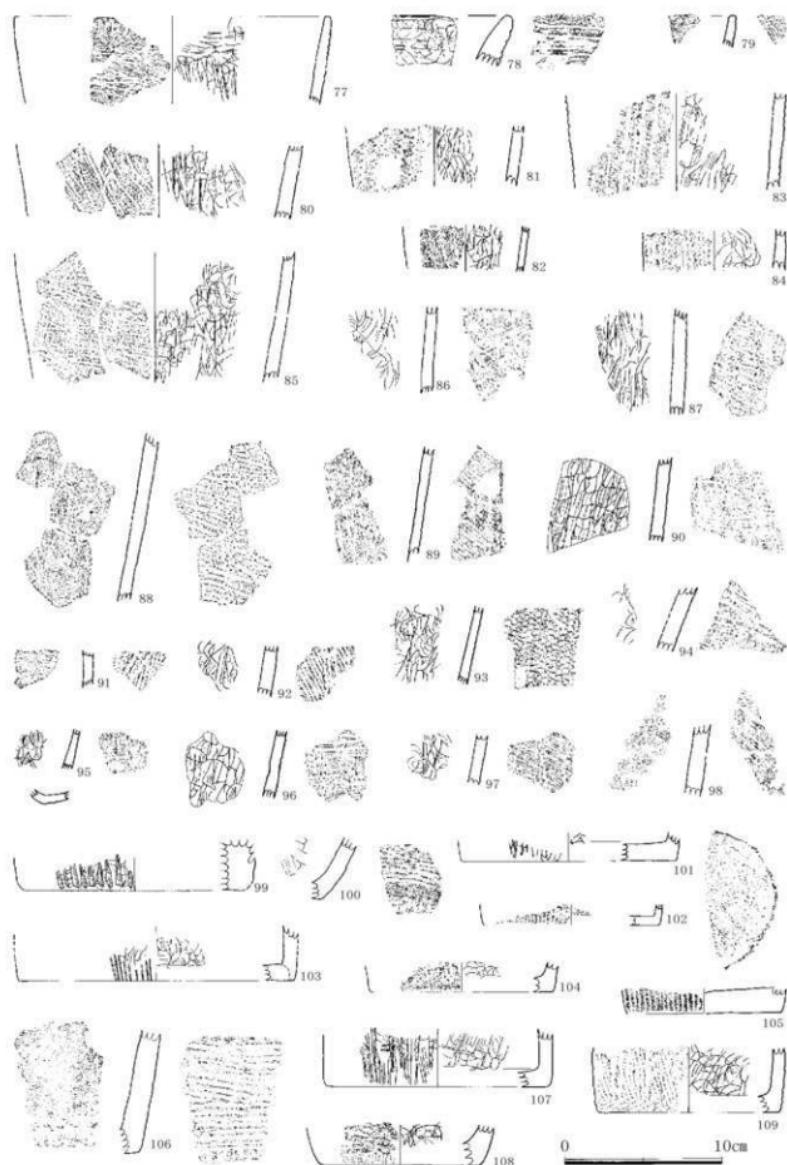
1161は、側辺の最短辺が自然面、他は破損後も側面が垂直になるように整形している。A面はほぼ平坦で、主として長軸方向に擦っている。B面は未使用であるが、端部に長さ75mm・幅85mm・



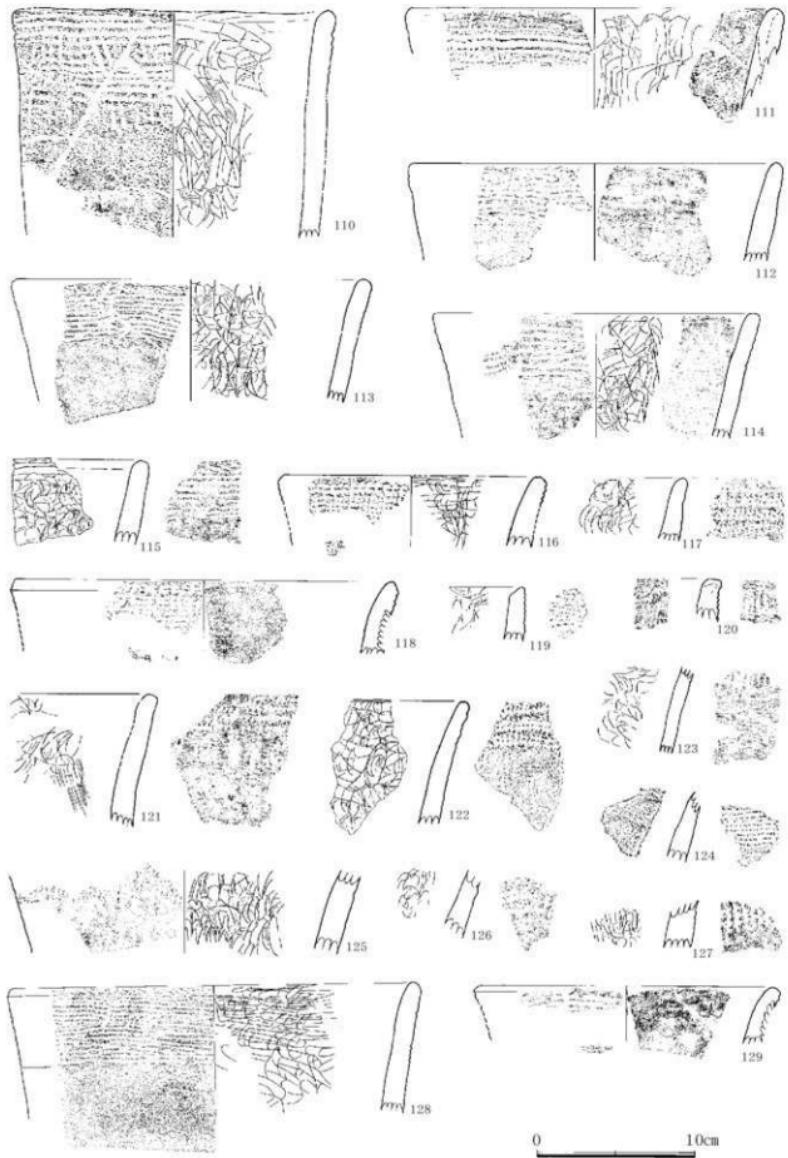
第11図 I区VI層出土 繩文土器実測図(1)



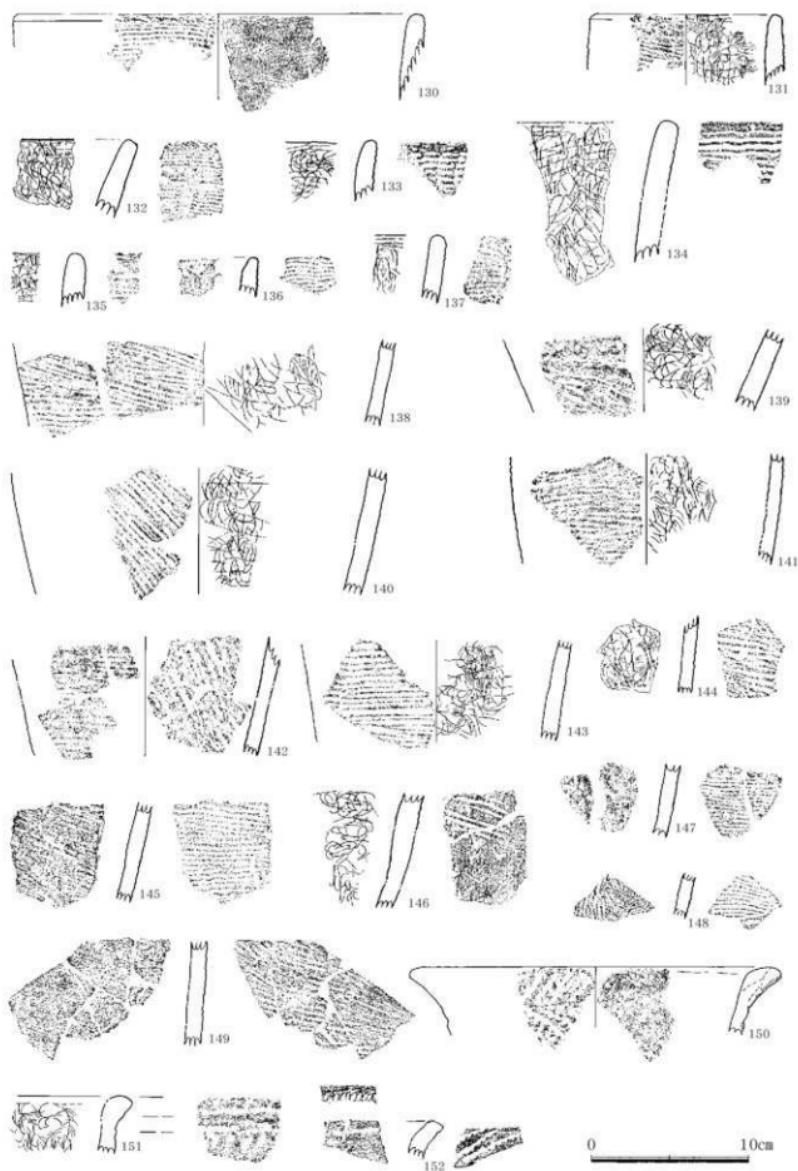
第12図 I区VI層出土 繩文土器実測図(2)



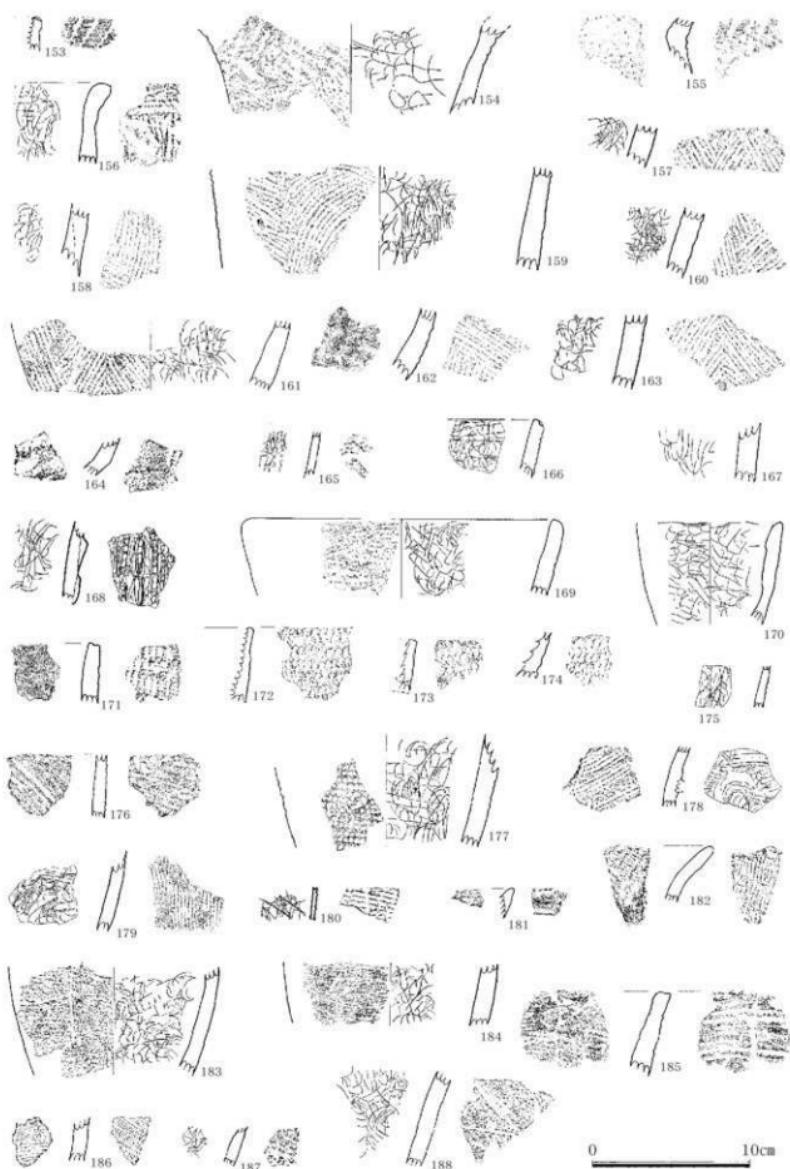
第13図 I区VI層出土 繩文土器実測図(3)



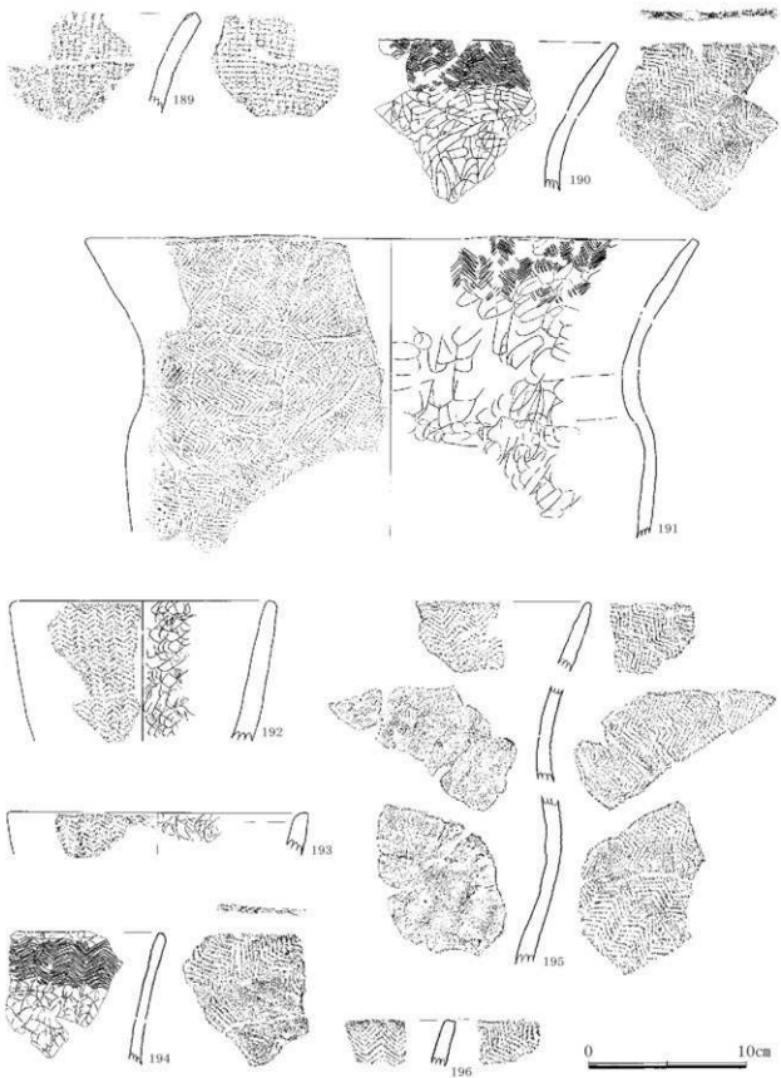
第14図 I区VI層出土 繩文土器実測図(4)



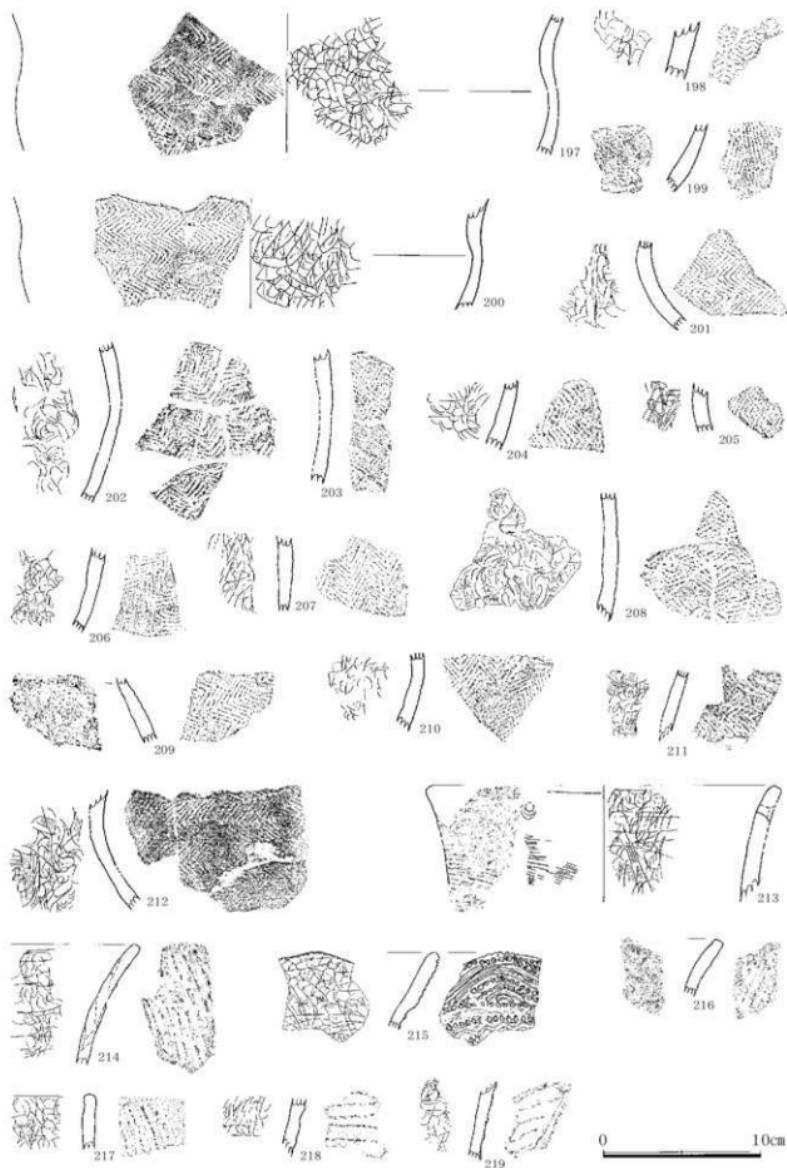
第15図 I区VI層出土 縄文土器実測図(5)



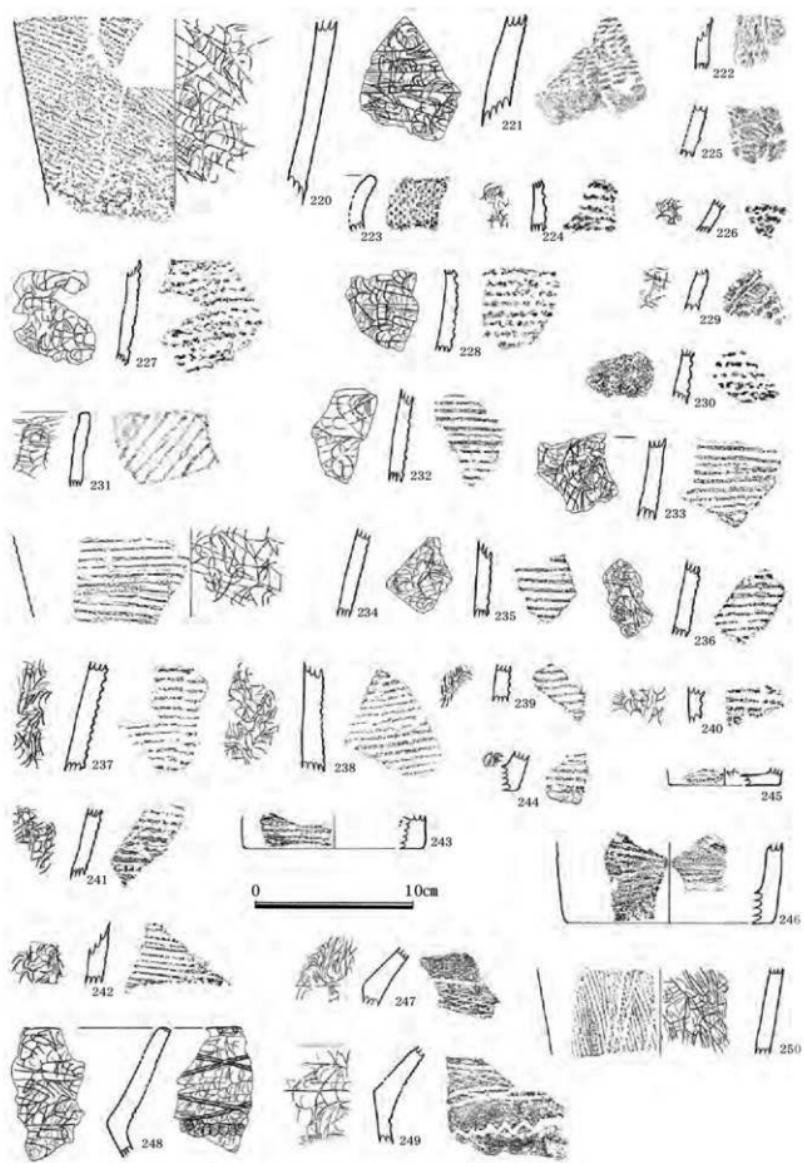
第16図 I区VI層出土 繩文土器実測図(6)



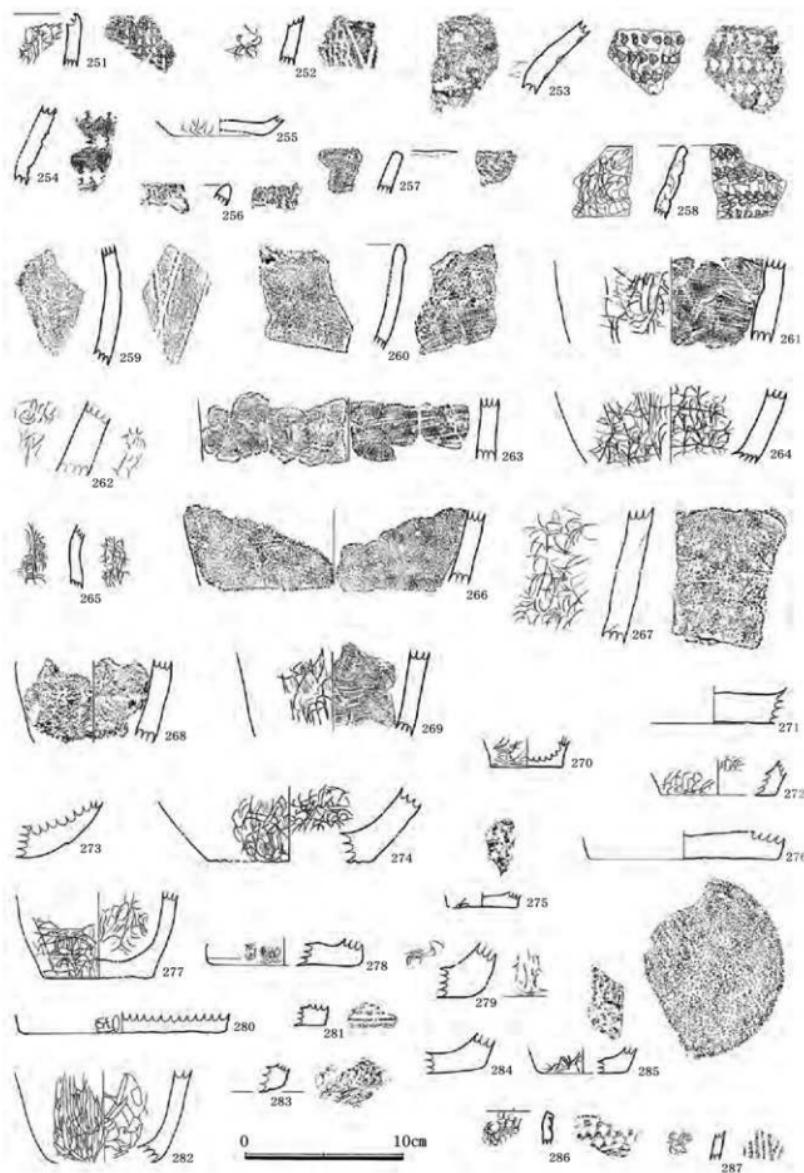
第17図 I区VI層出土 繩文土器実測図(7)



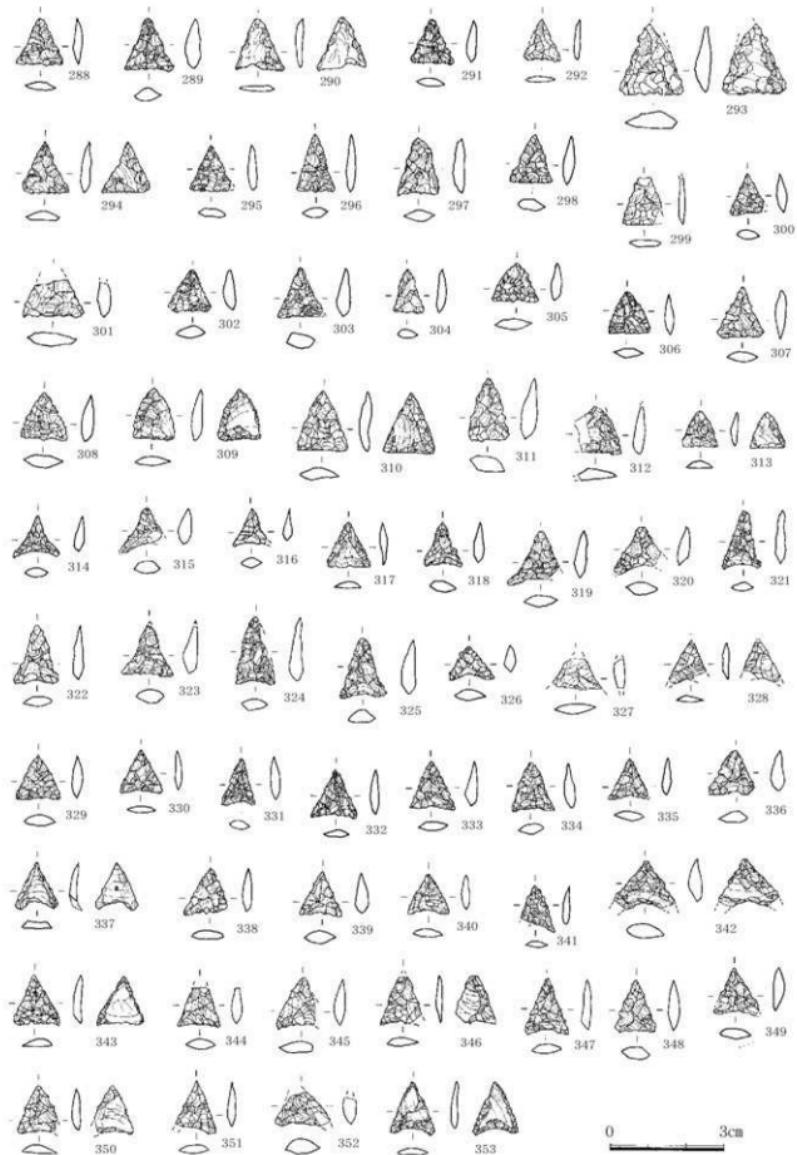
第18図 I区VI層出土 繩文土器実測図(8)



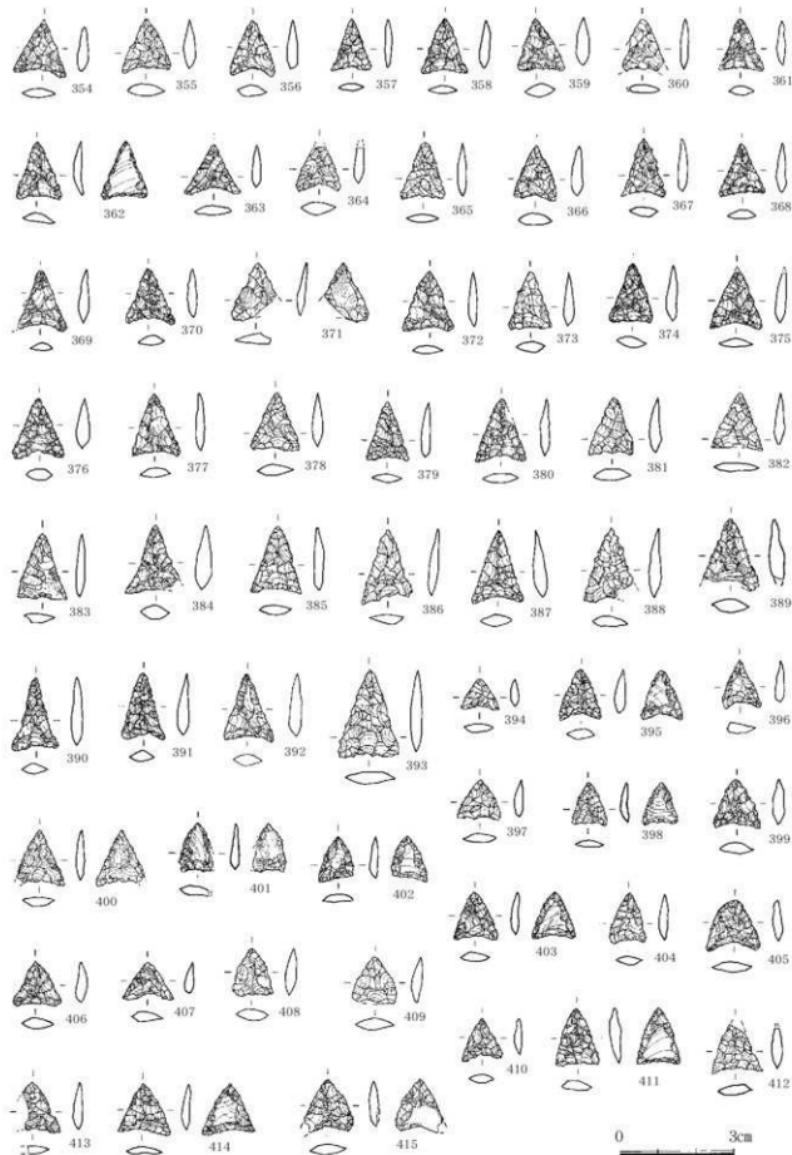
第19図 I区VI層出土 縄文土器実測図(9)



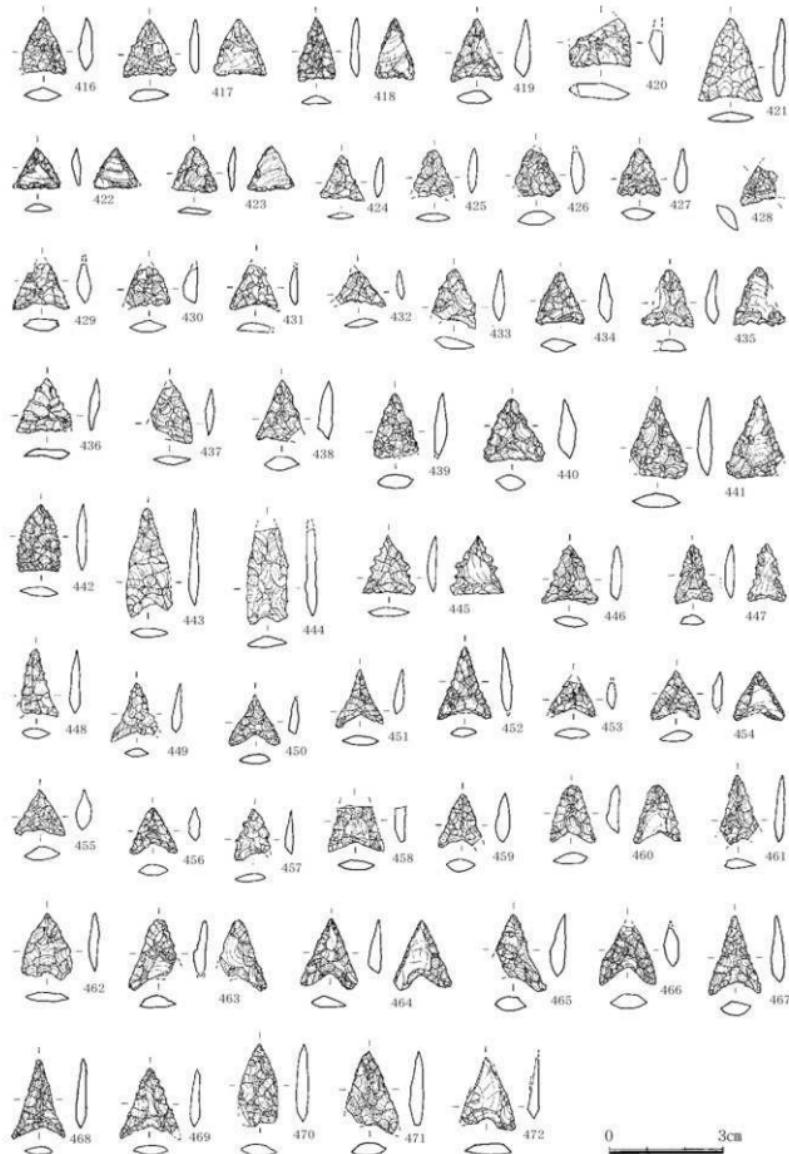
第20図 I区VI層出土 繩文土器実測図(10)



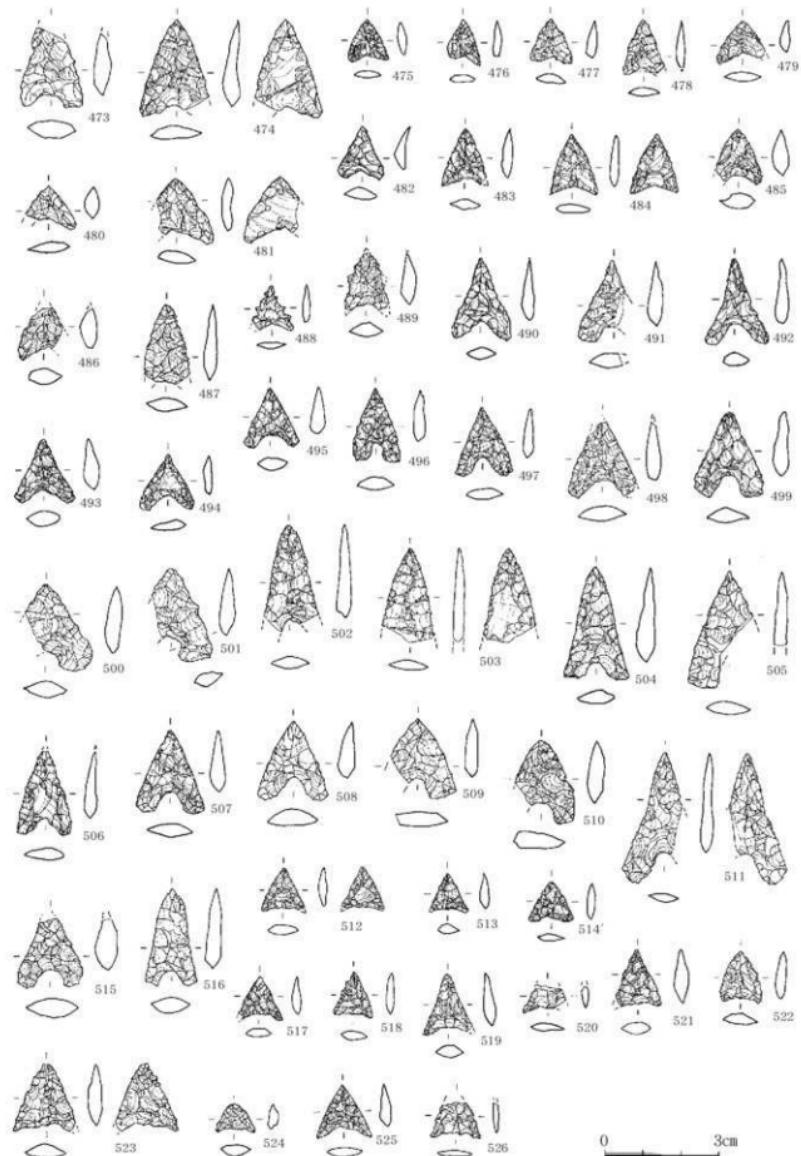
第21図 I区VI層出土 石錐 Ia~IIbタイプ



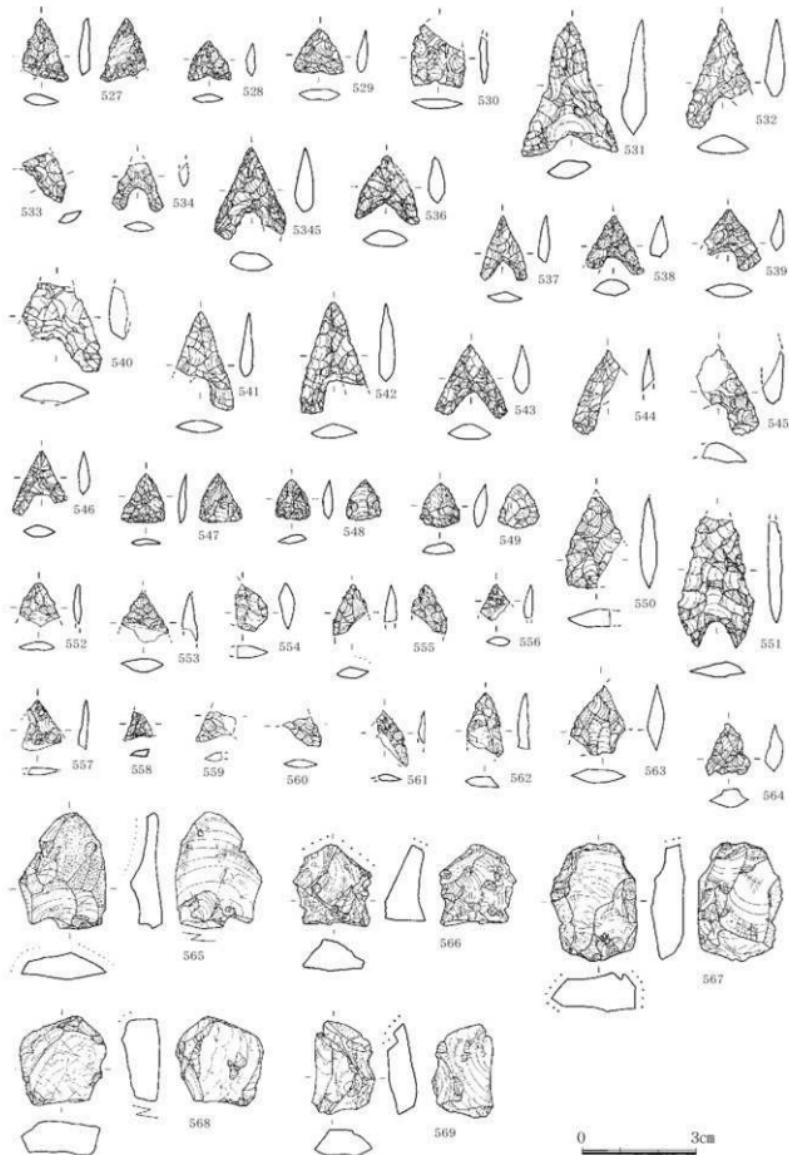
第22図 I区VI層出土 石錐 IIb～IIcタイプ



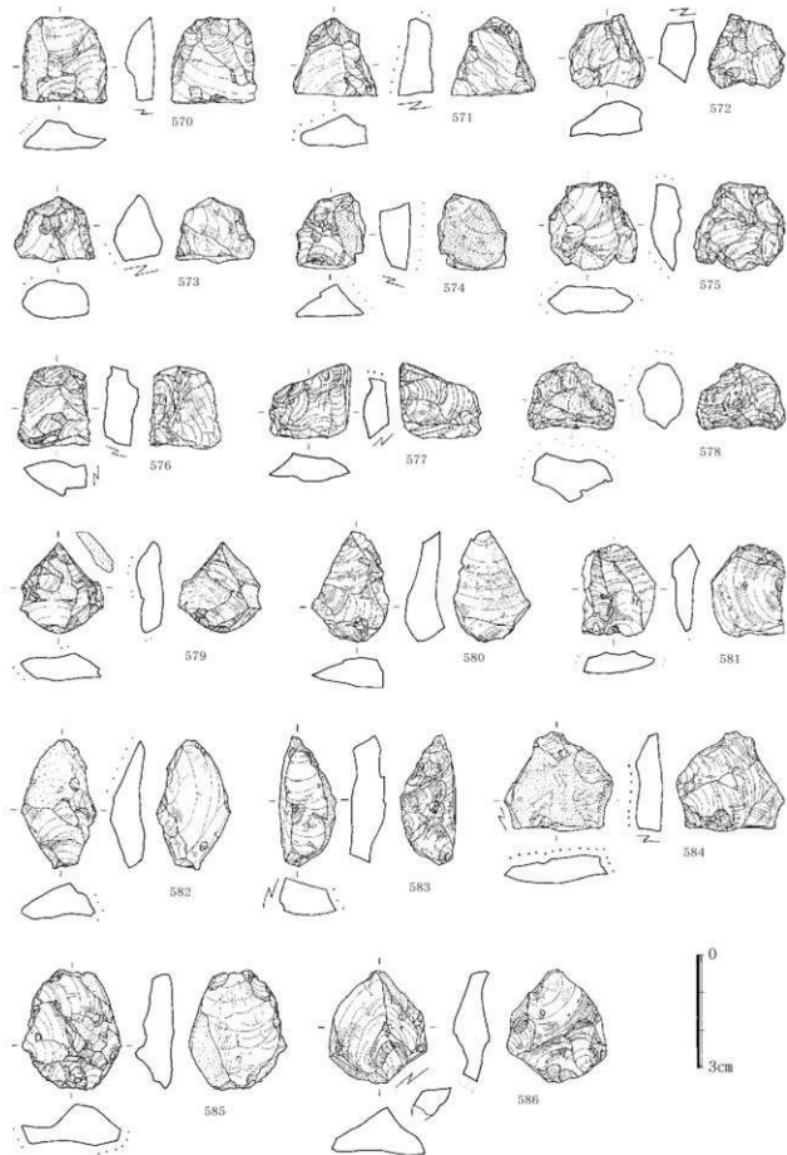
第23図 I区VI層出土 石錐 IIc~IIIbタイプ



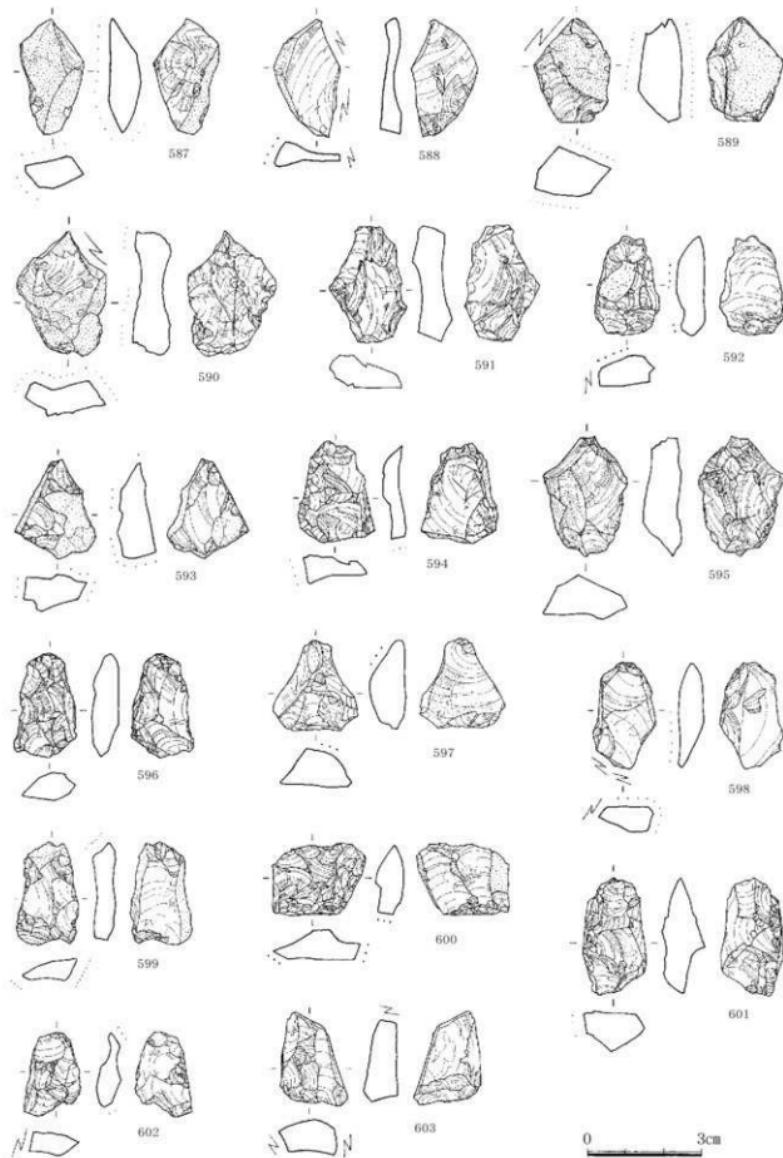
第24図 I区VI層出土 石鏃 IIIb~Vlcタイプ



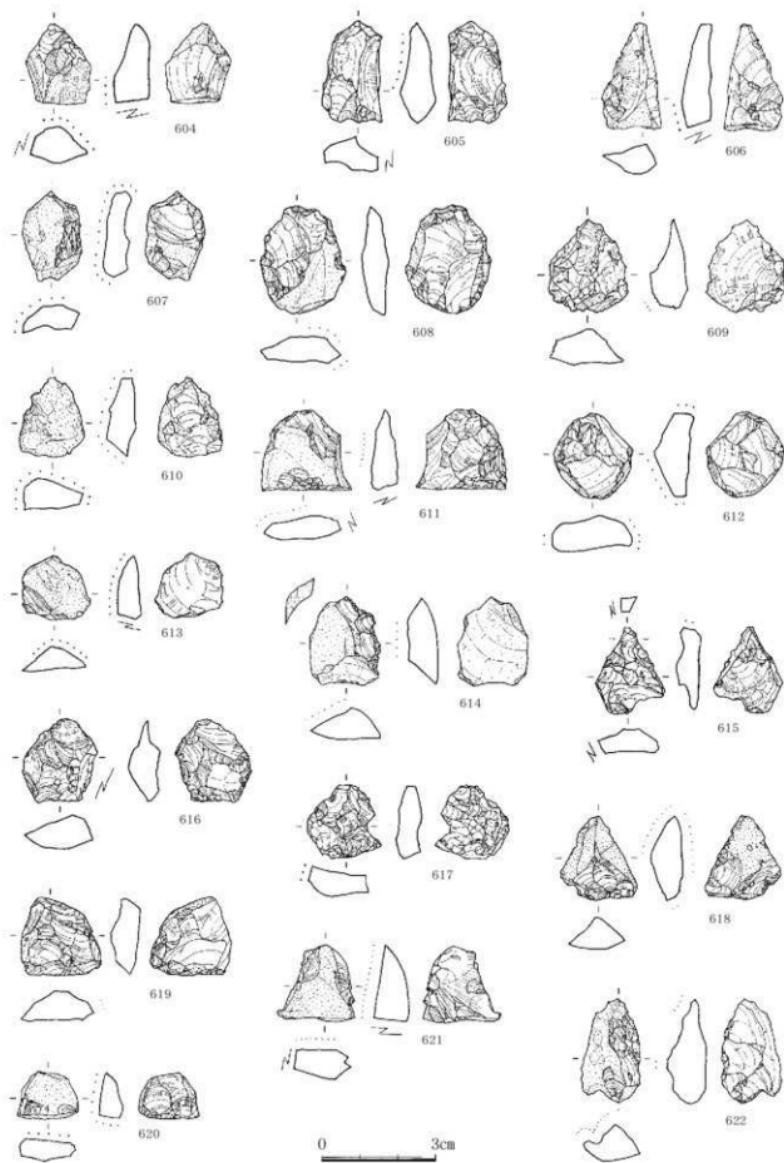
第25図 I区VI層出土 石器 Vic~Xlcタイプ 石器未製品 A-1段階(1)



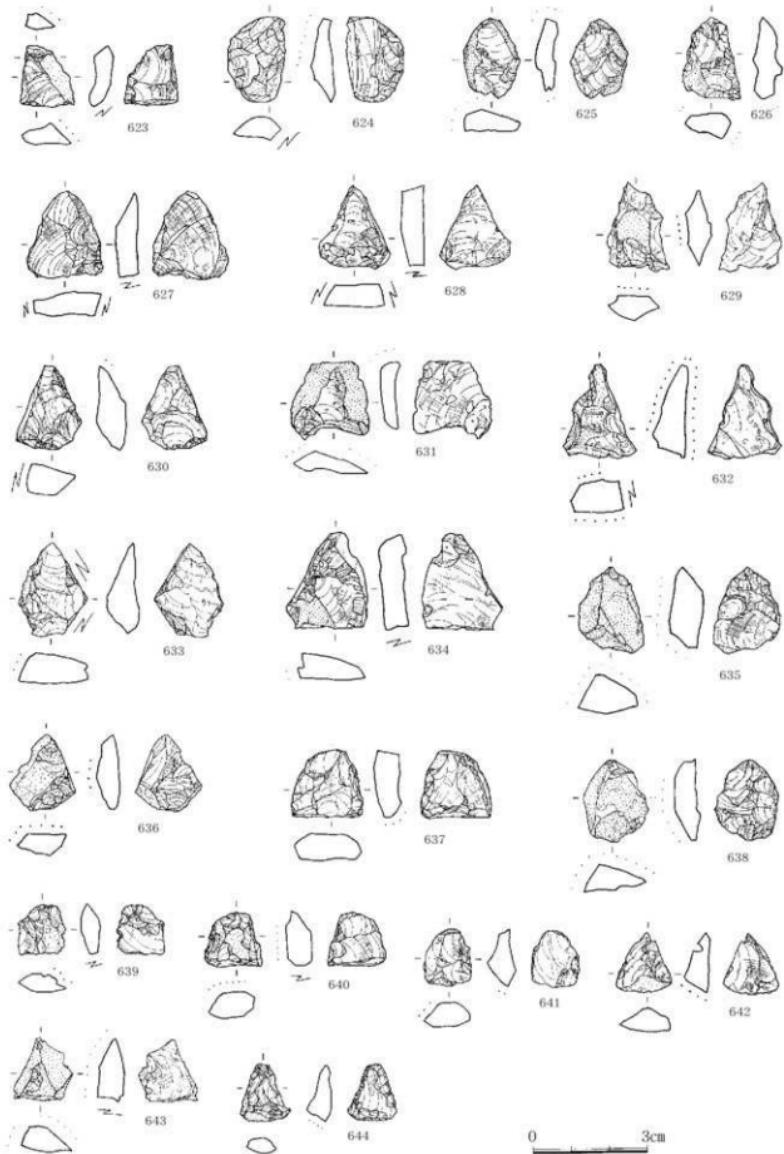
第26図 I区VI層出土 石器未製品 A-1段階(2)



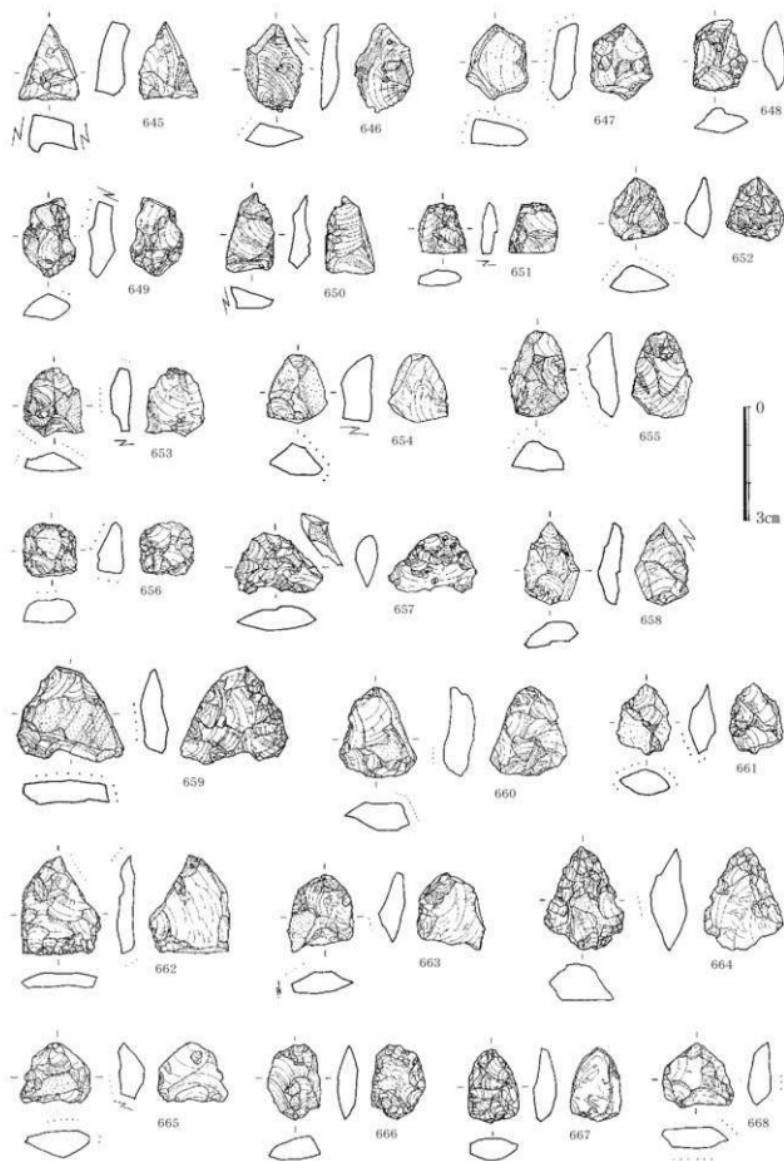
第27図 I区VI層出土 石器未製品 A-1段階(3), A-2段階(1)



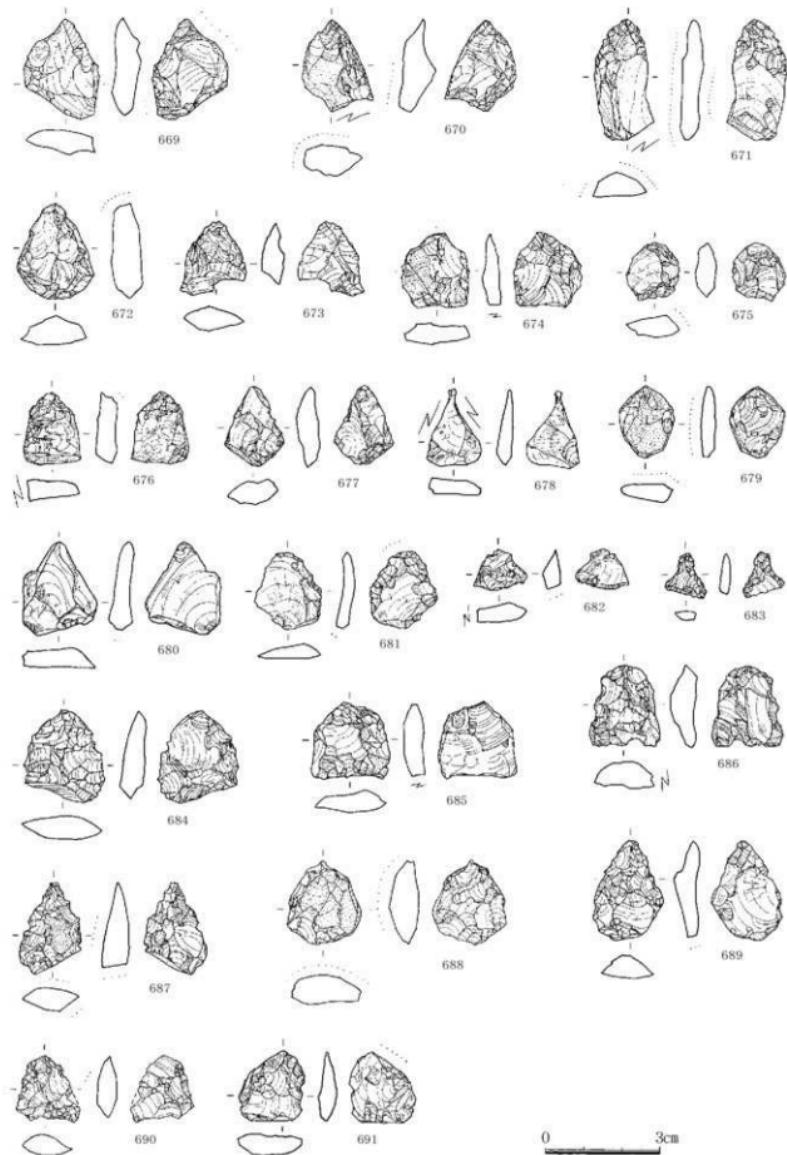
第28図 I区VI層出土 石器未製品 A-2段階(2)



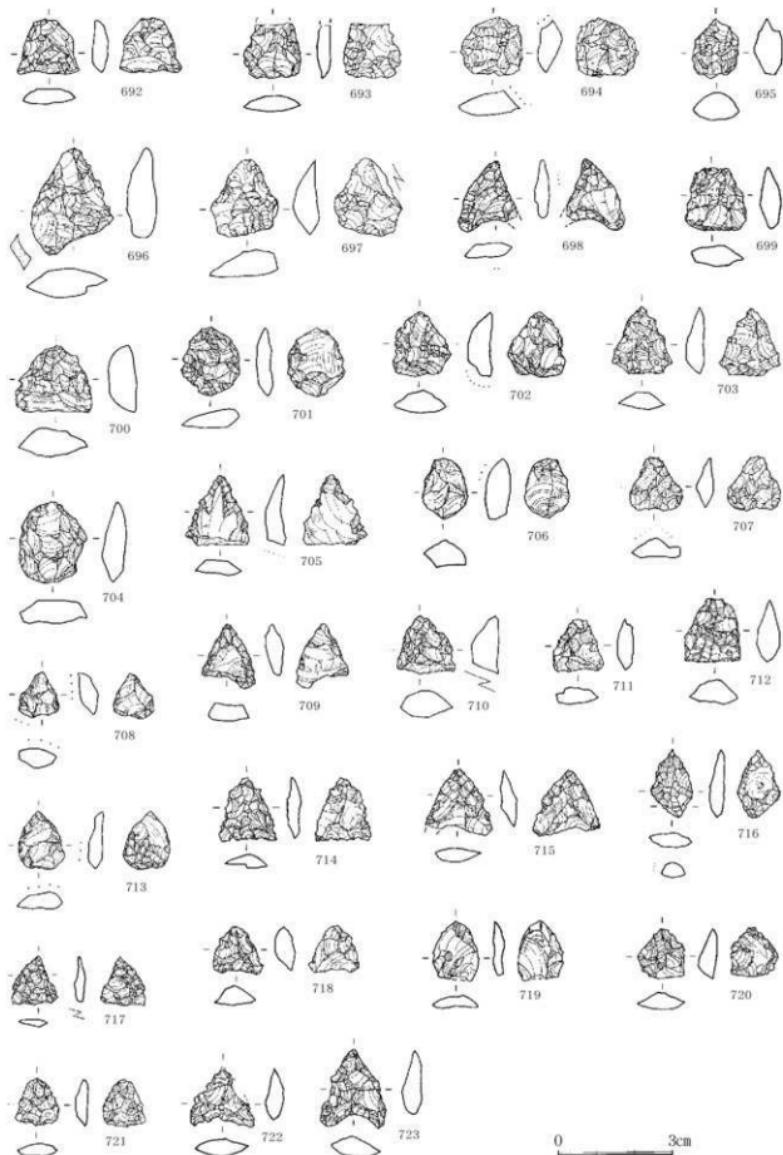
第29図 I区VI層出土 石器未製品 A-2段階(3)



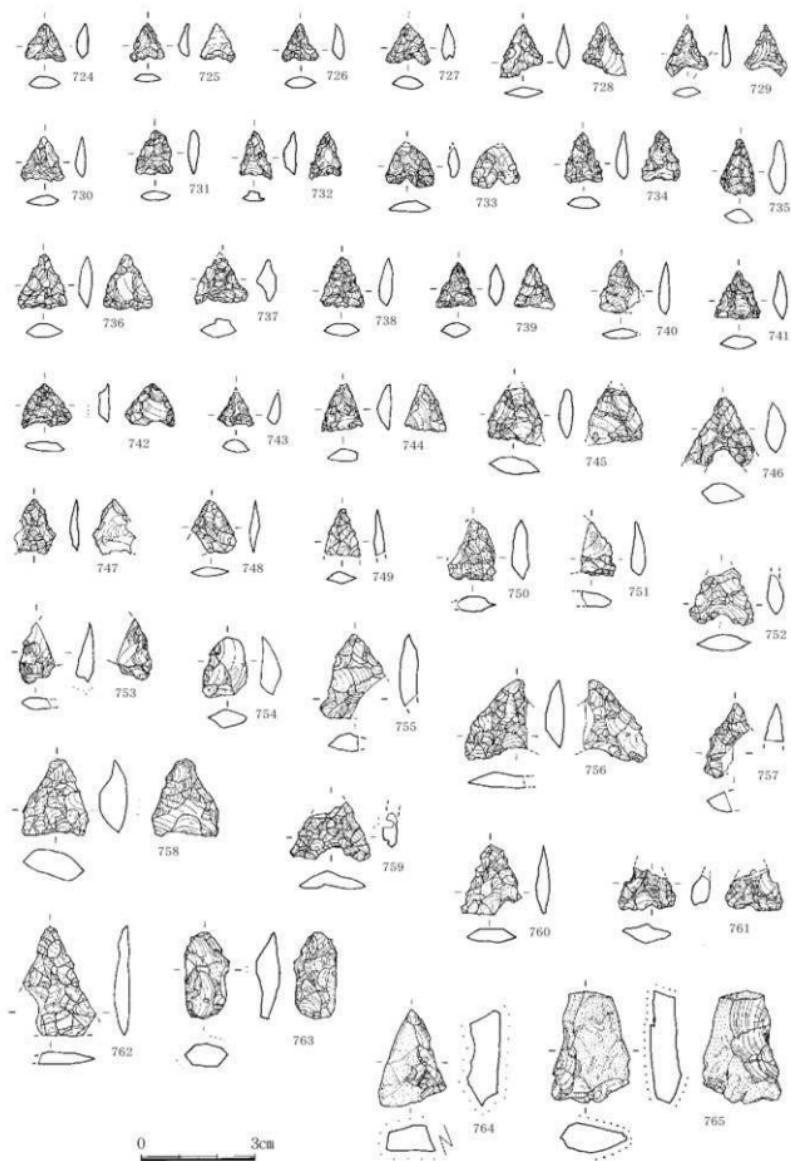
第30図 I区VI層出土 石器未製品 A-2段階(4), A-3段階(1)



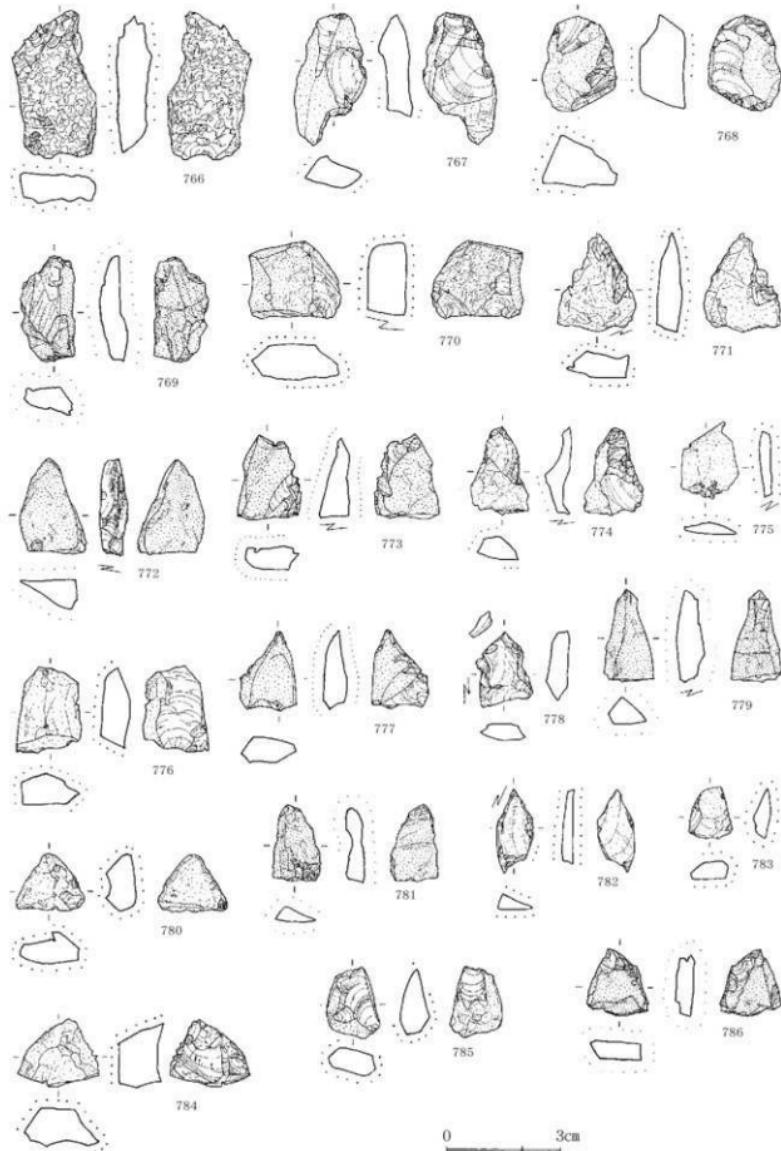
第31図 I区VI層出土 石器未製品 A-3段階(2), A-4段階(1)



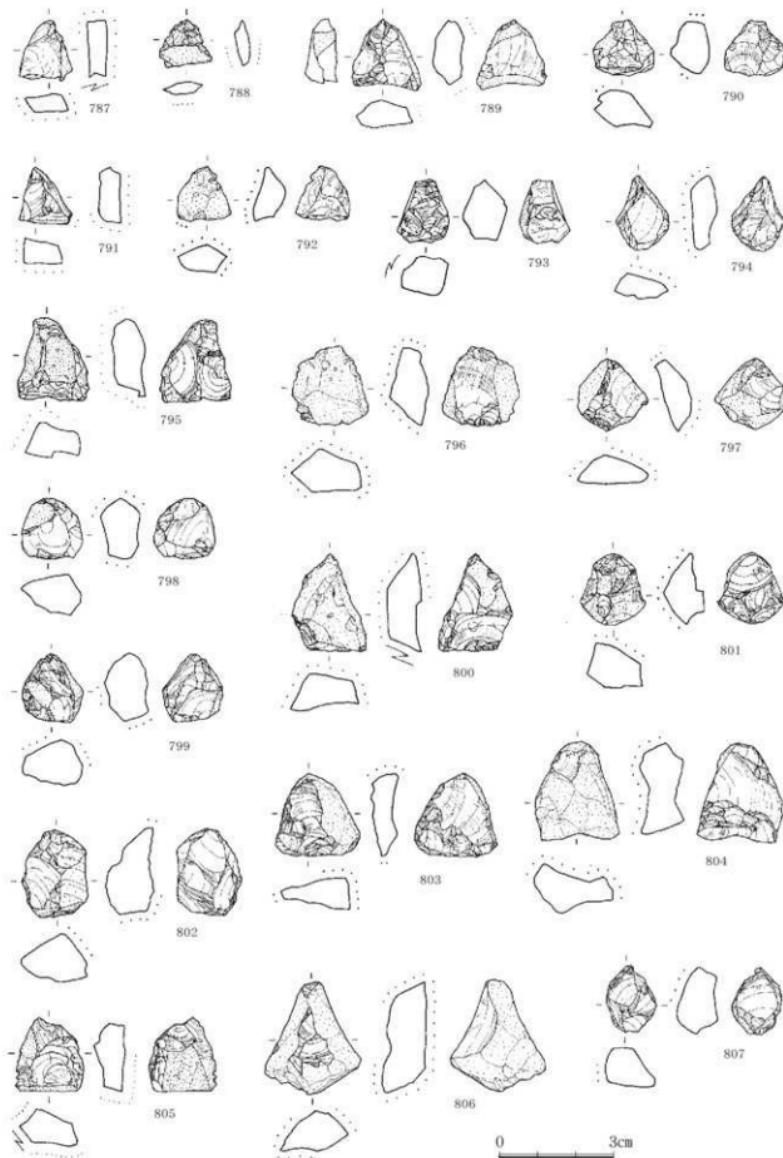
第32図 I区VI層出土 石器未製品 A-4段階(2)、A-5段階(1)



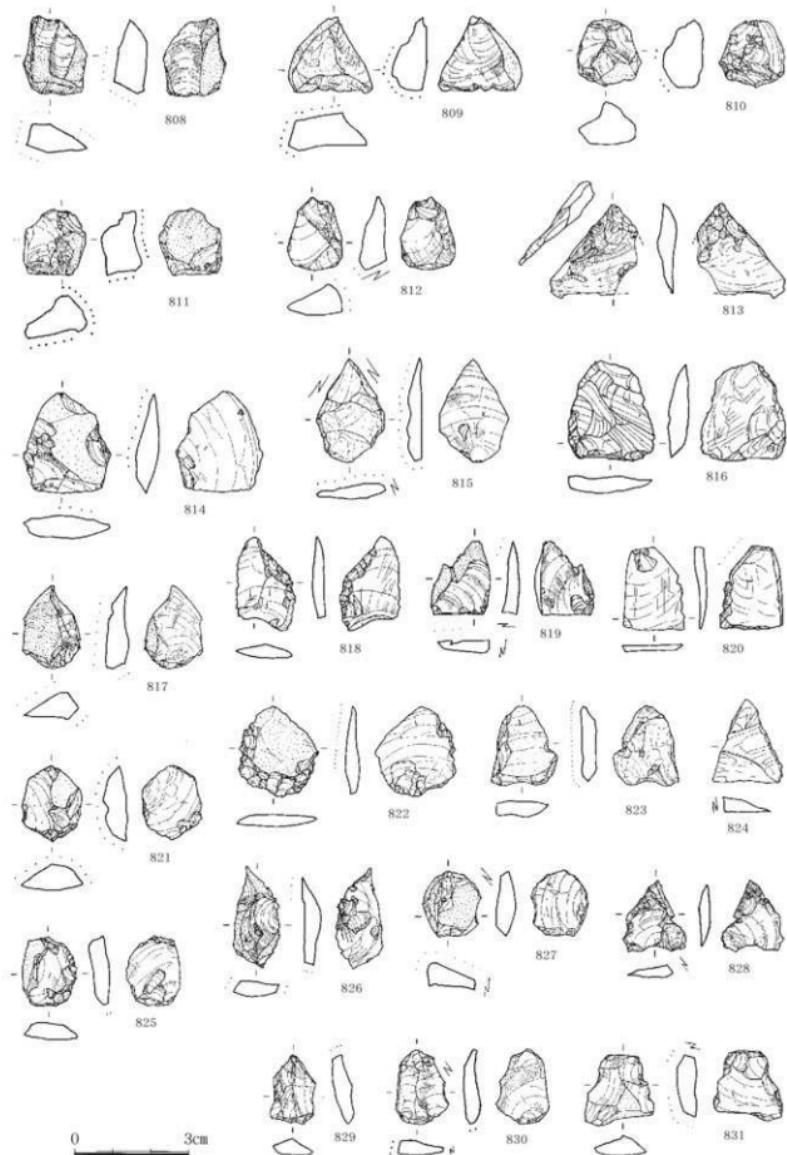
第33図 I区VI層出土 石器未製品 A-5段階(2), B-1・2段階(1)



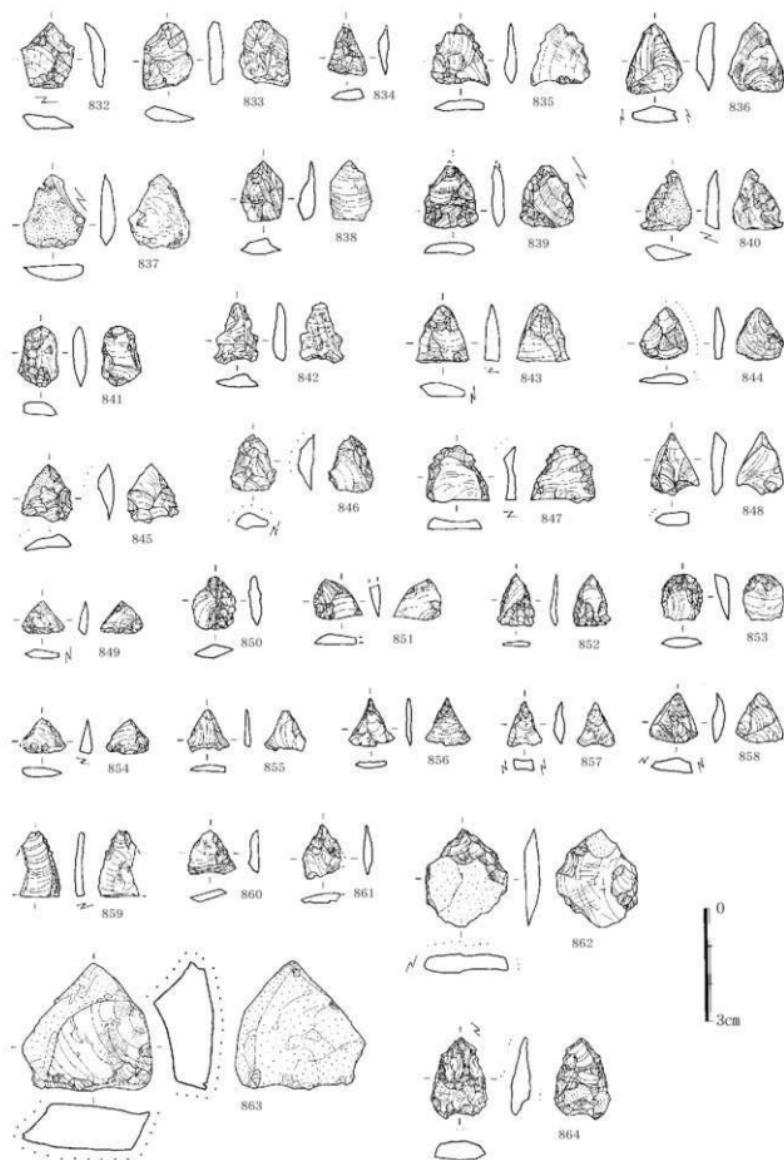
第34図 I区VI層出土 石器未製品 B-1・2段階(2)



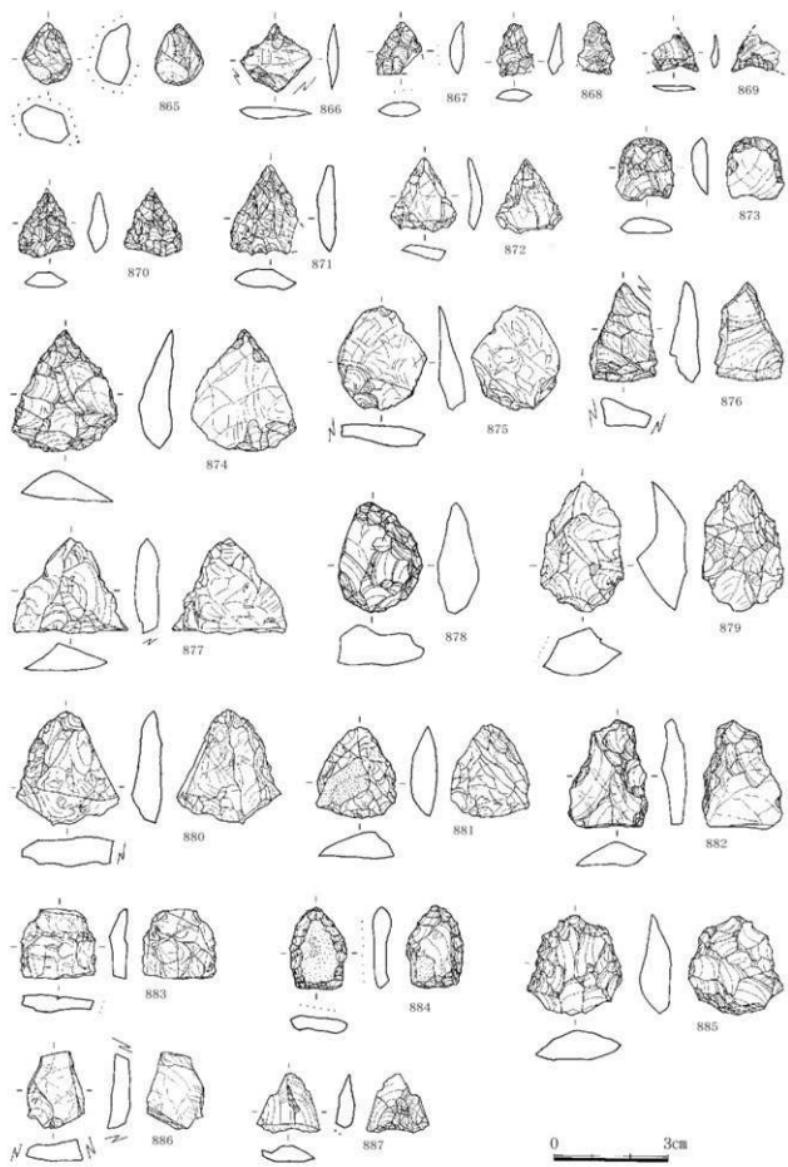
第35図 I区VI層出土 石錐未製品 B-1・2・3段階



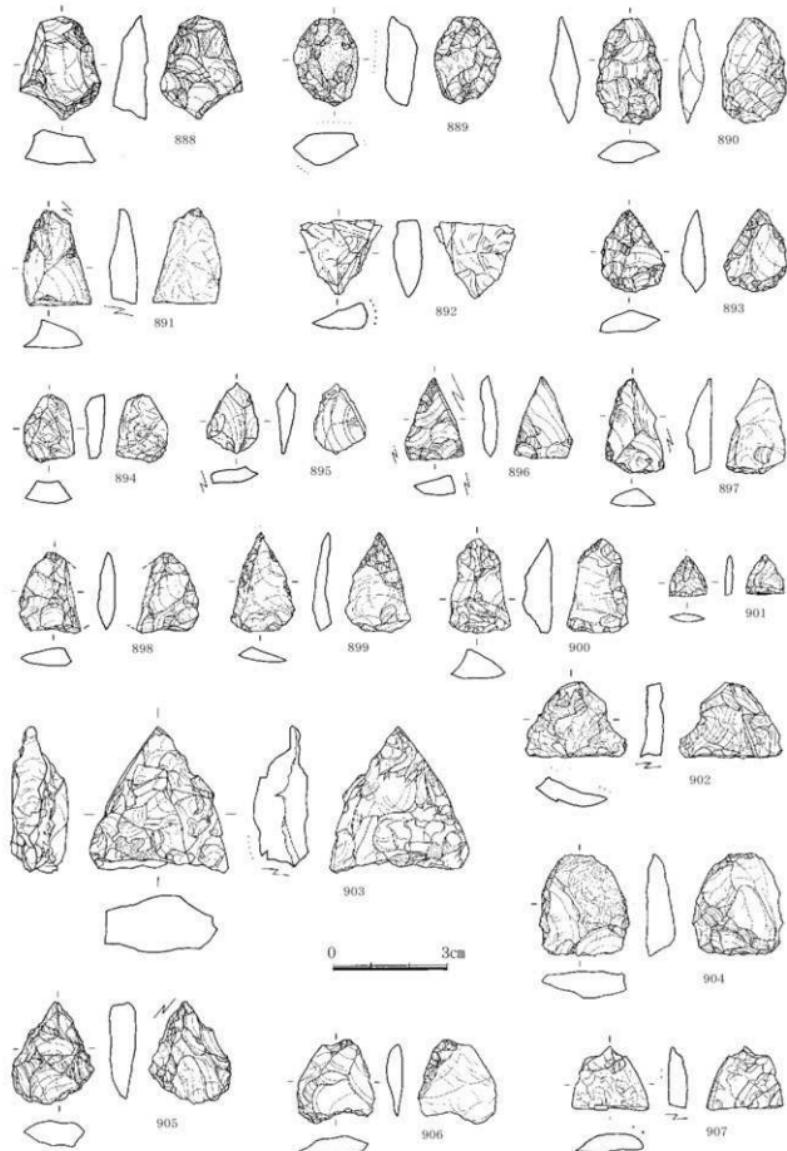
第36図 I区VI層出土 石器未製品 B-3・4段階



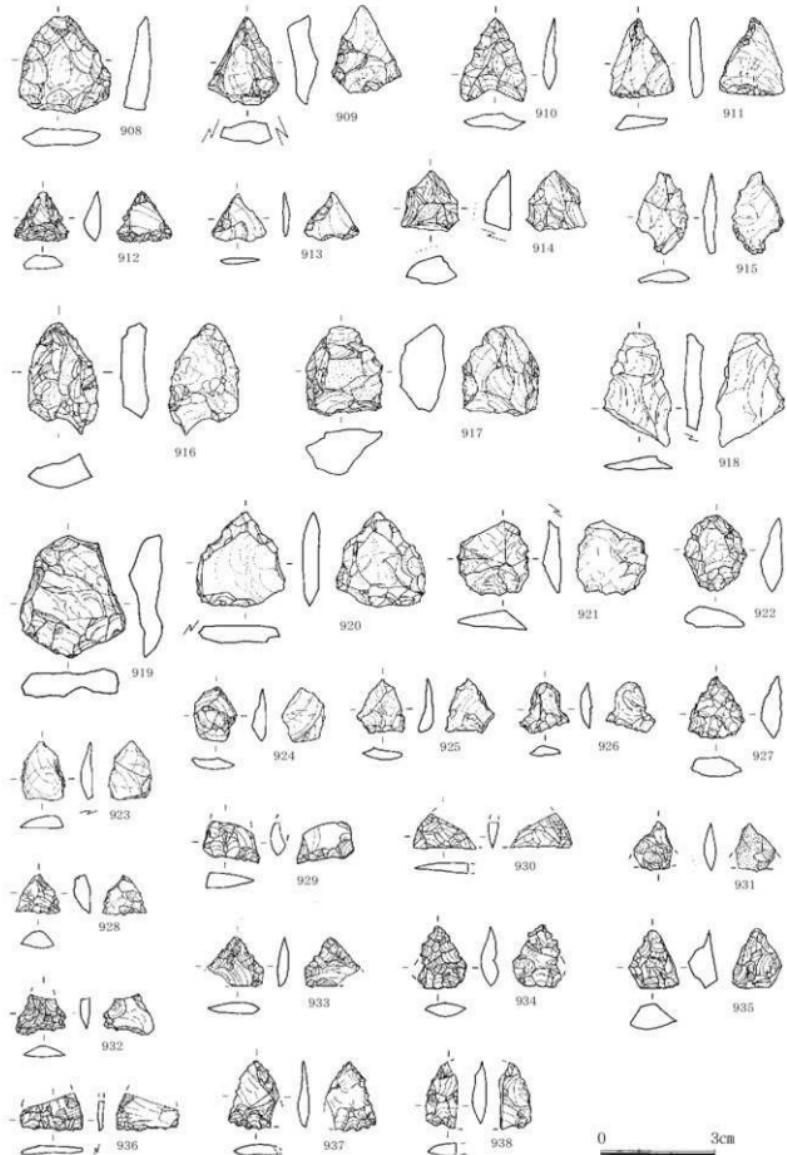
第37図 I区VI層出土 石器未製品 B-4・5段階、チャート製未製品(1)



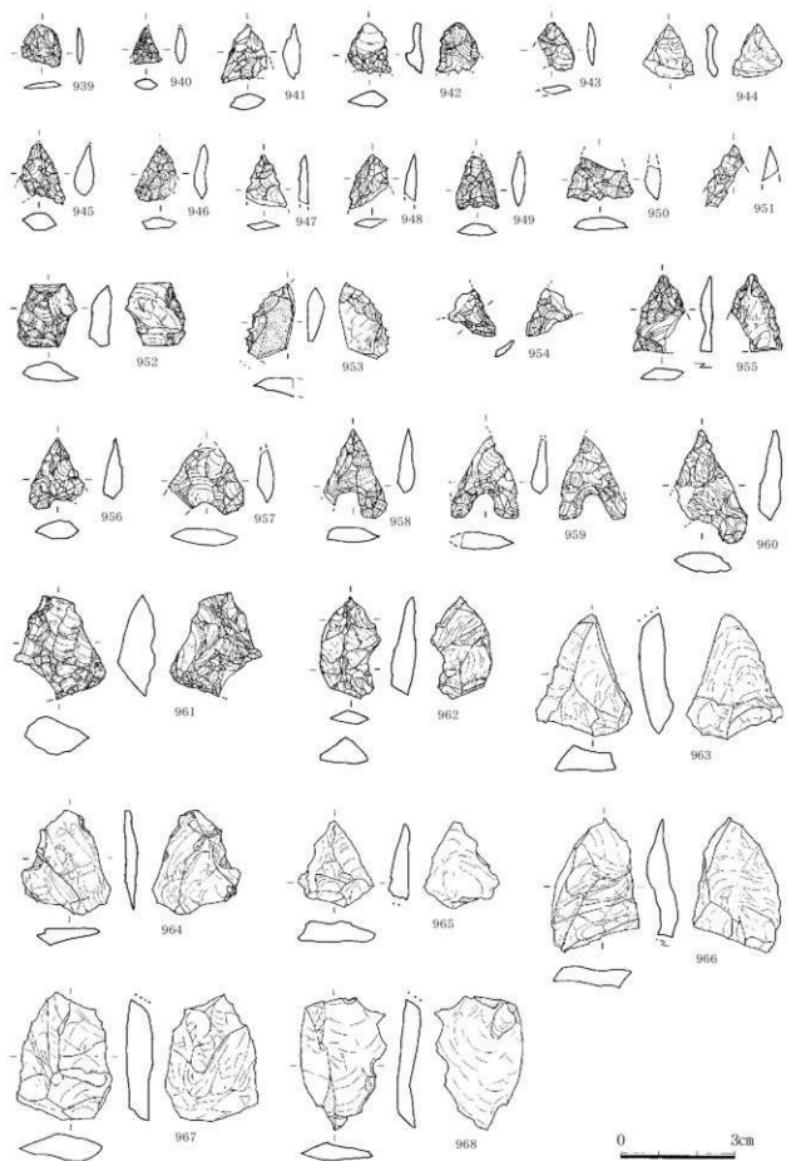
第38図 I区VI層出土 石錐未製品 チャート製(2)



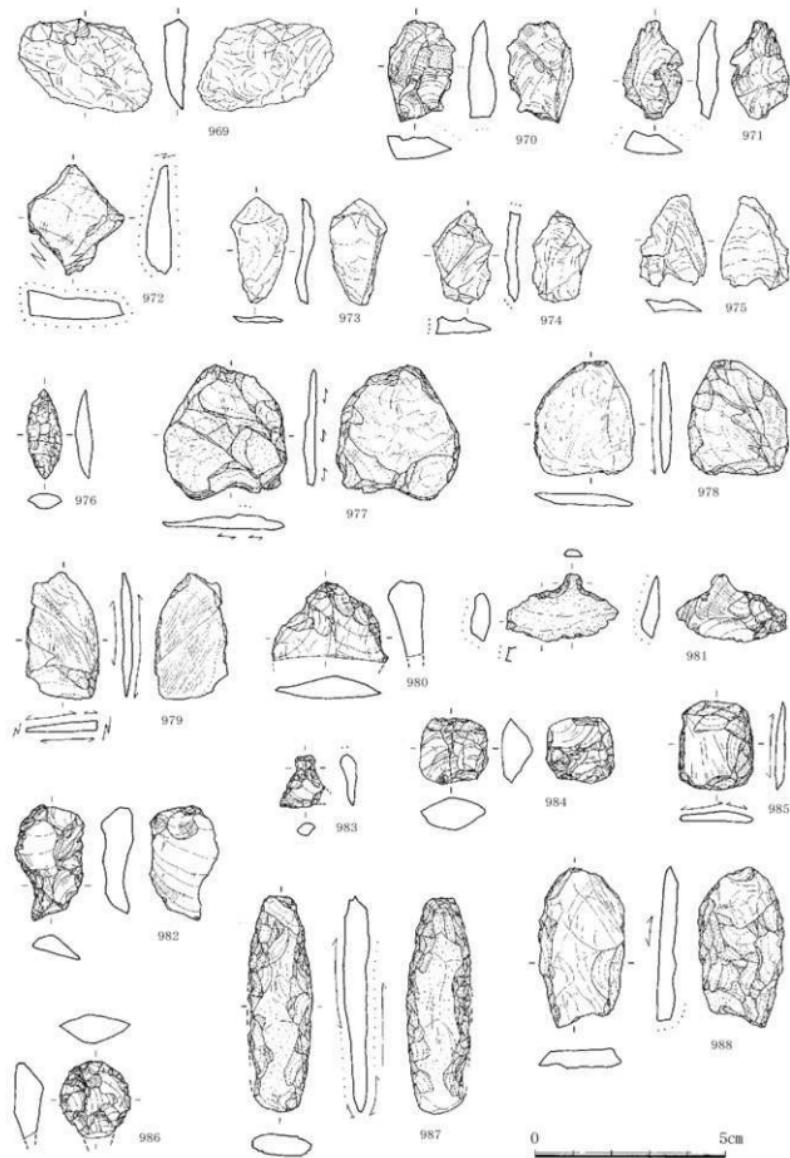
第39図 I区VI層出土 石錐未製品 チャート・玉髓製



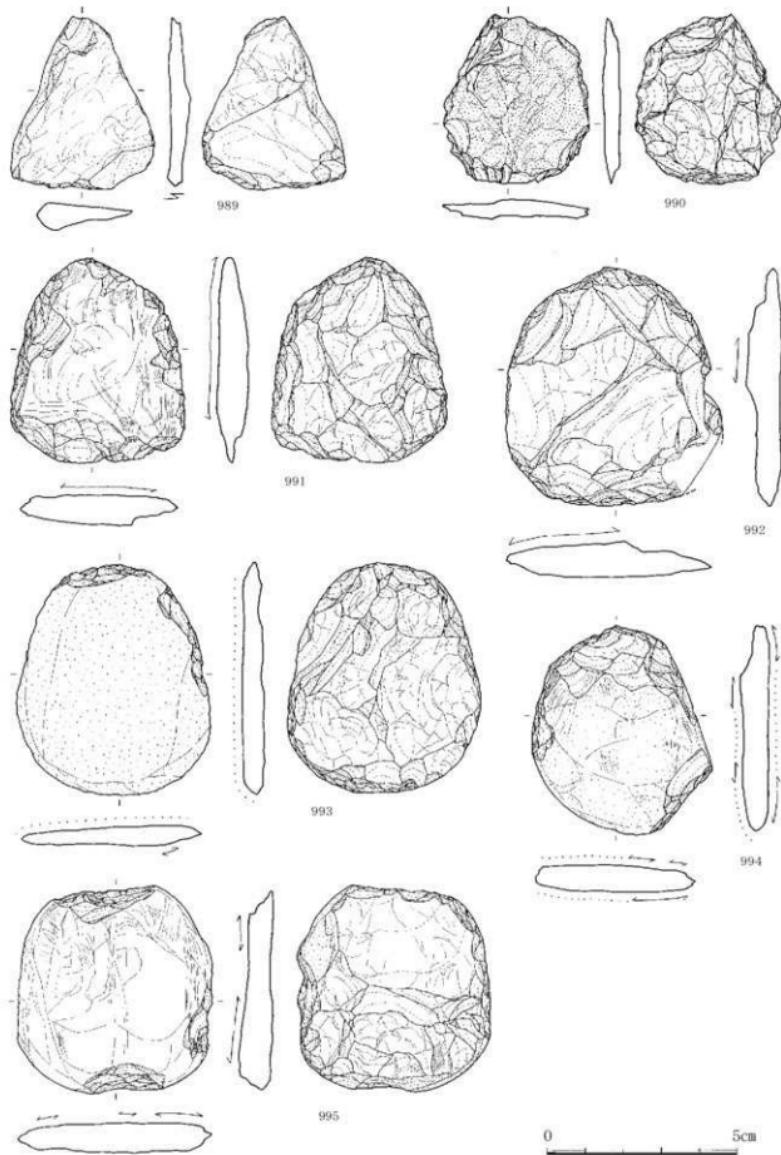
第40図 I区VI層出土 石器未製品 玉髓・紅麻石製、失敗品



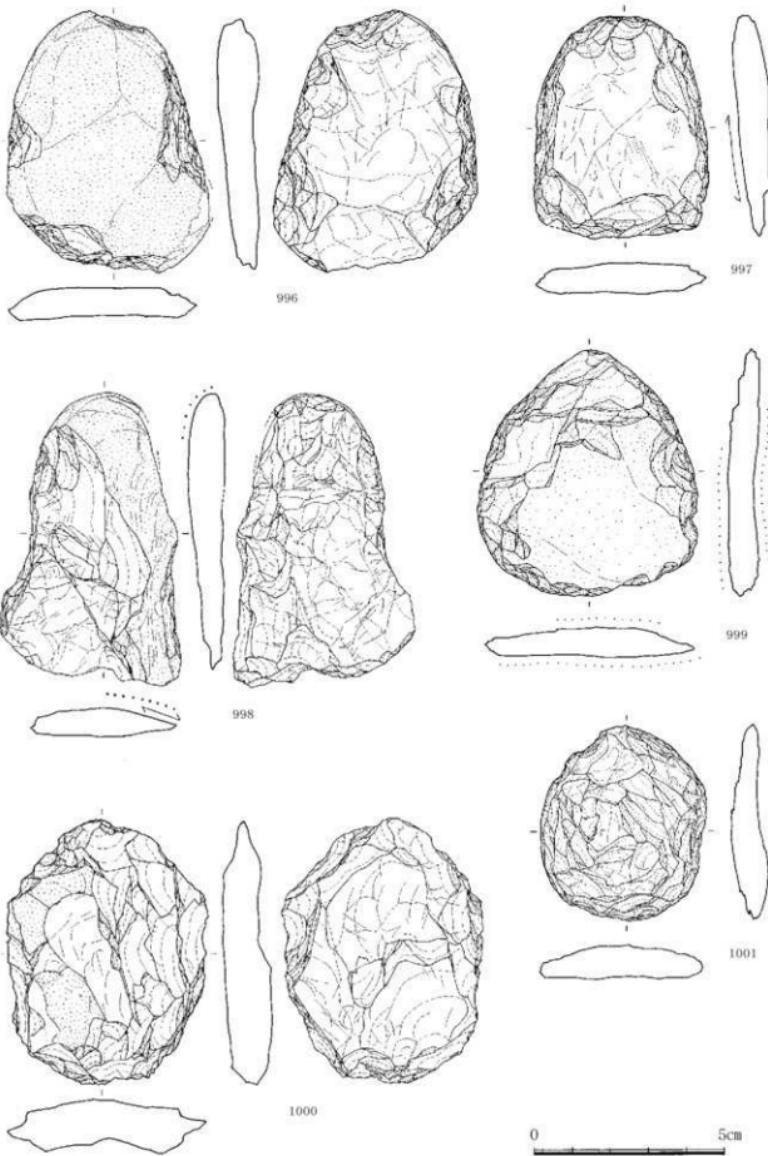
第41図 I区VI層出土 石器未製品・失敗品、素材



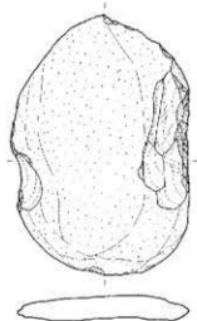
第42図 I区VI層出土 石器素材、磨製石器、石匙未製品、ノミ型石器ほか



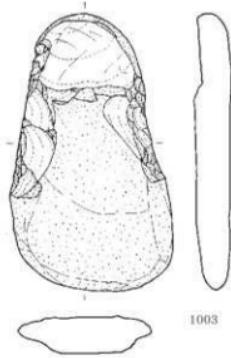
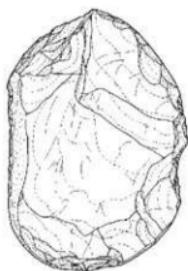
第43図 I区VI層出土 石錫模倣品 未製品(1)



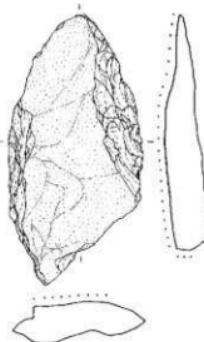
第44図 I区VI層出土 石錫模倣品 未製品(2)



1002



1003

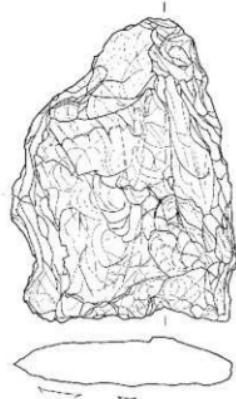


1004



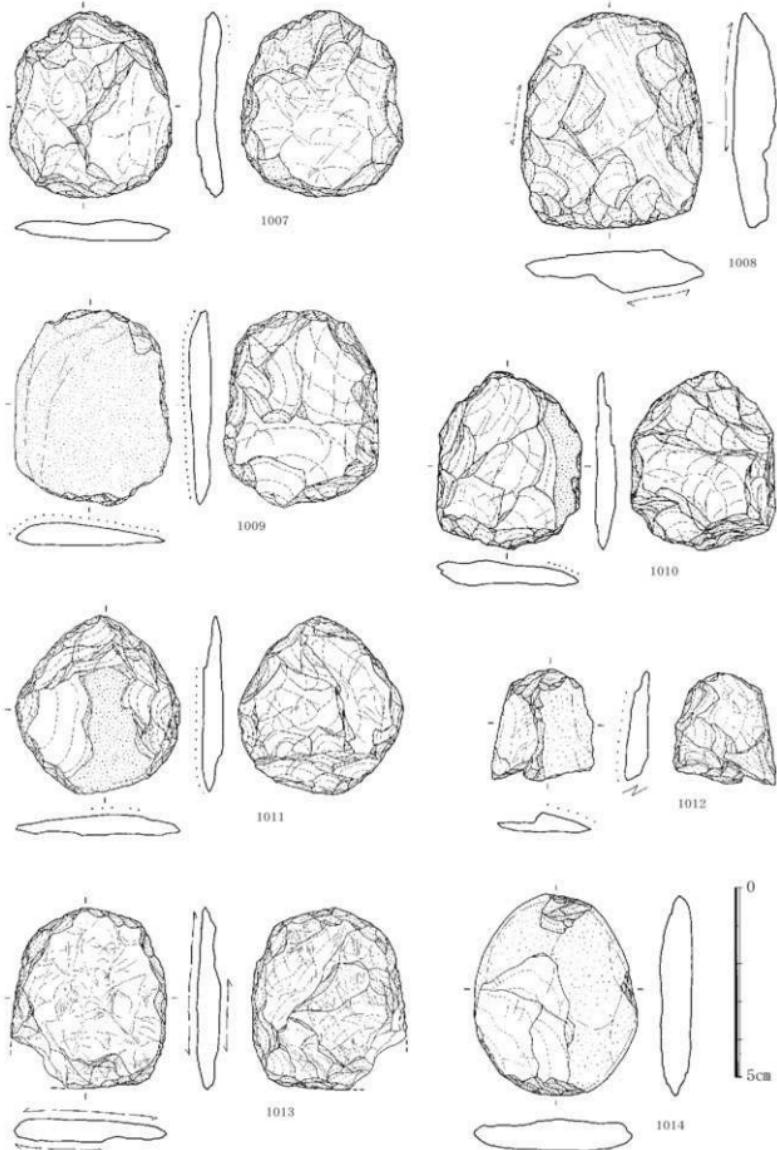
1005

0
5cm

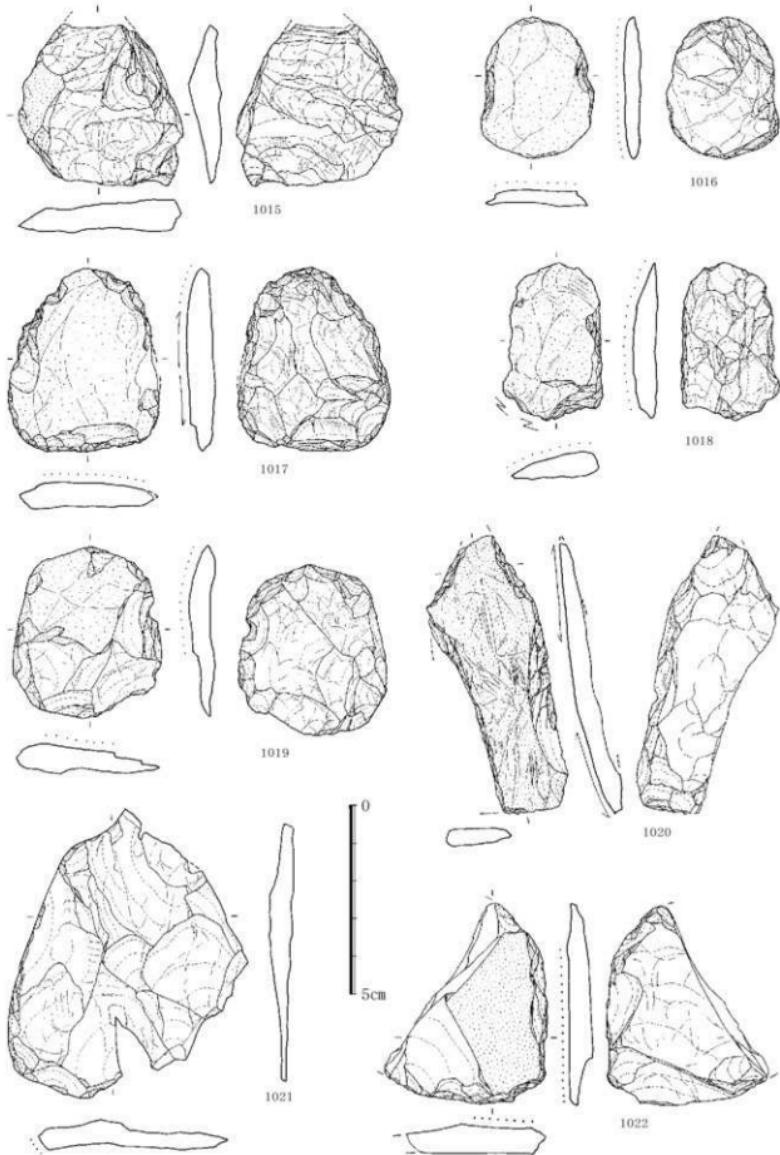


1006

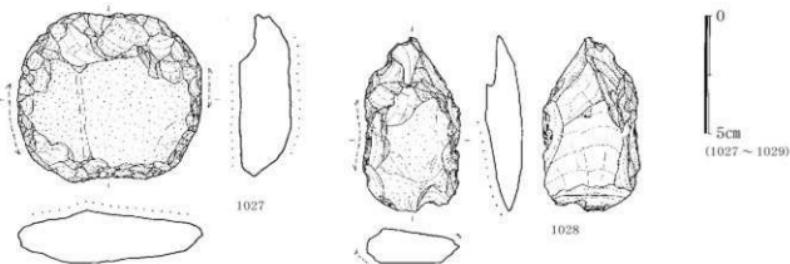
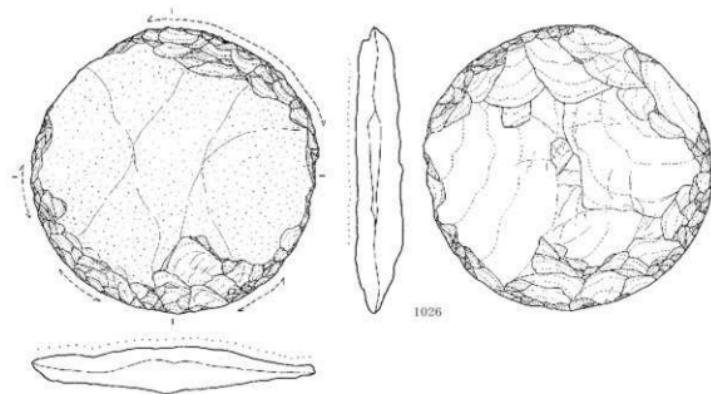
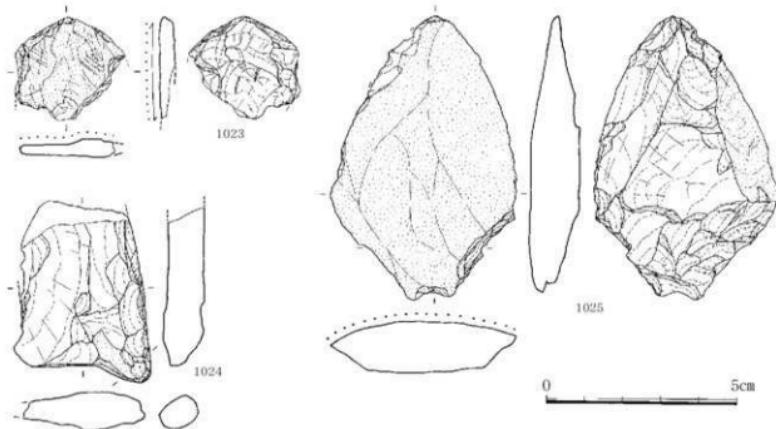
第45図 I区VI層出土 石錫模倣品 未製品(3)



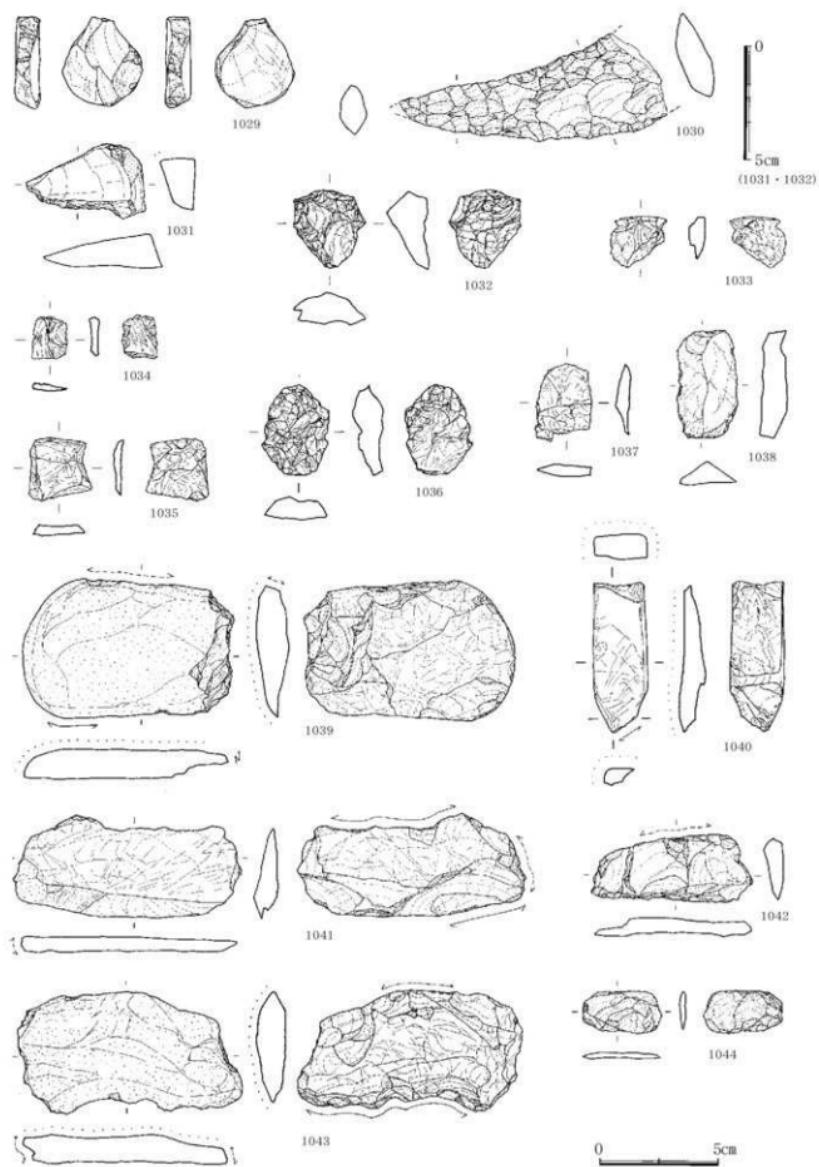
第46図 I区VI層出土 石模模倣品 未製品(4)



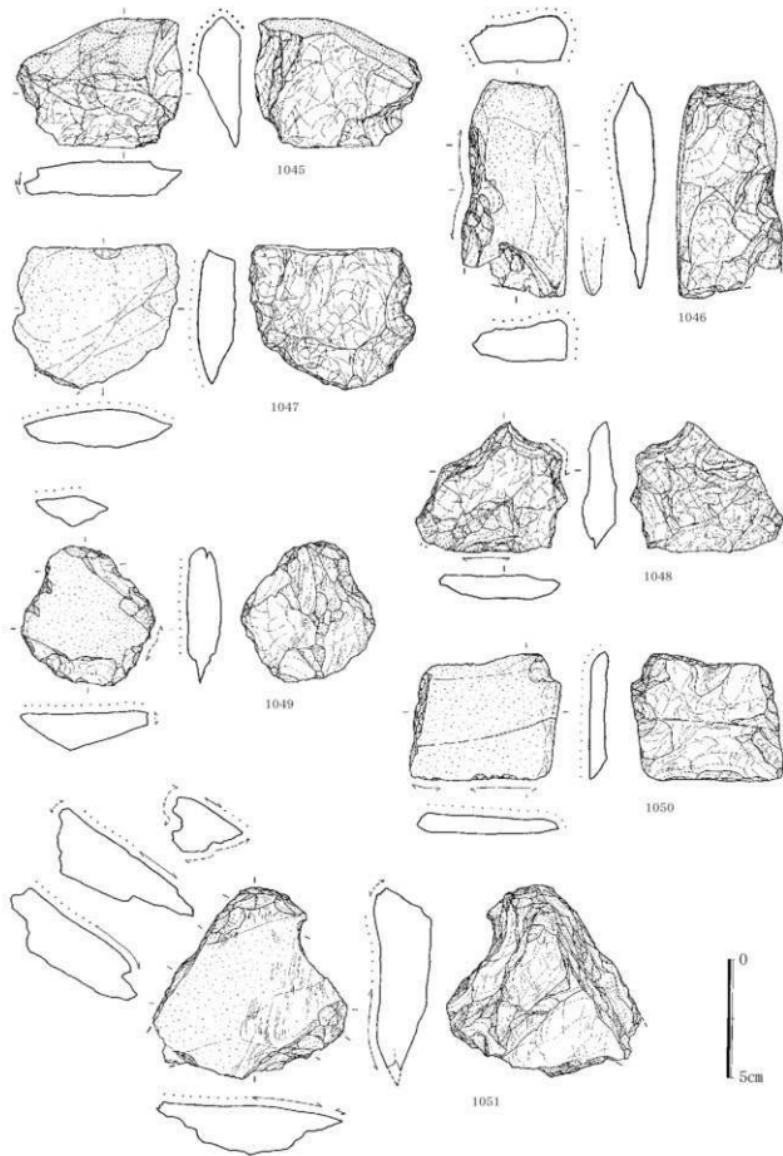
第47図 I区VI層出土 石錐模倣品 未製品(5)



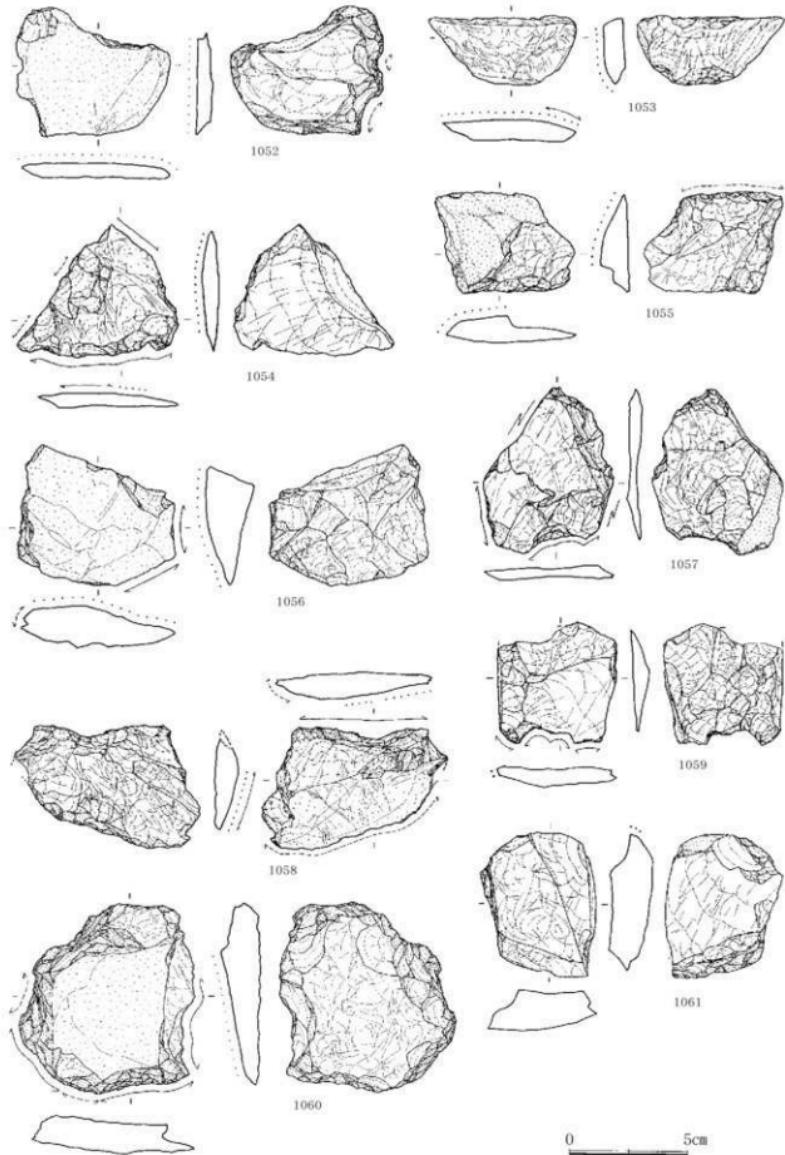
第48図 I区VI層出土 石錫模倣品 未製品(6), 円形打製石器はか



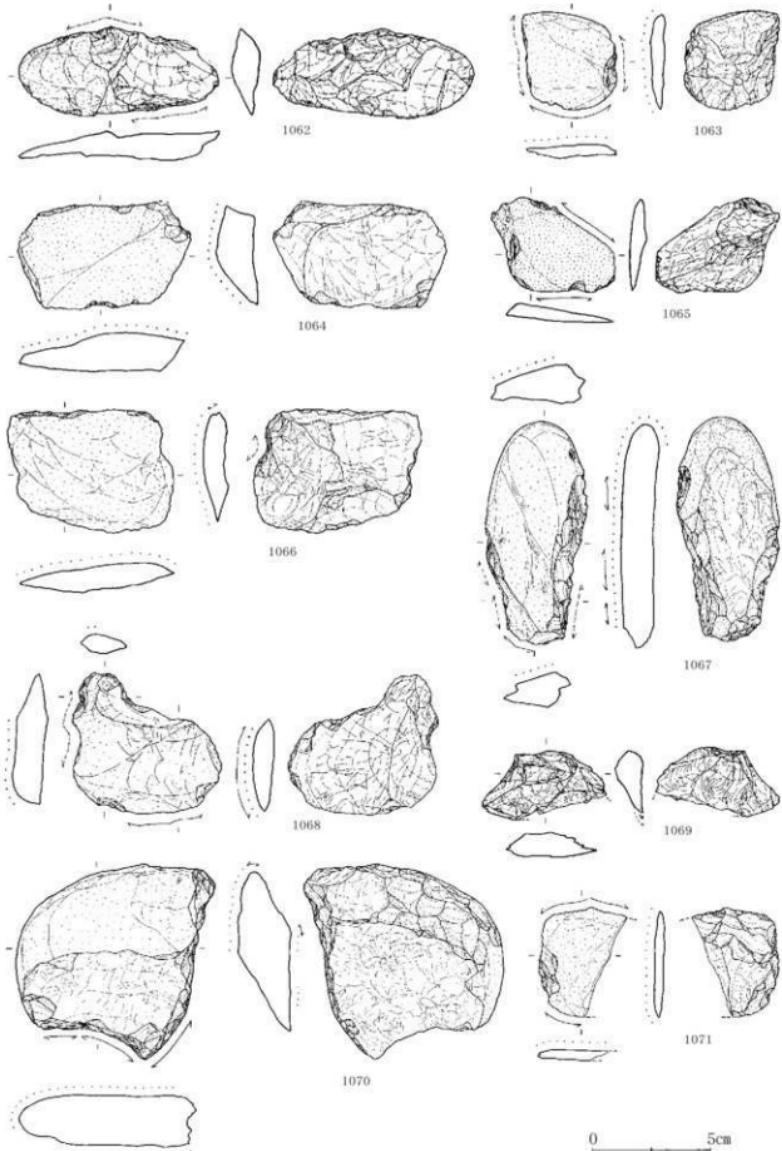
第49図 I区VI層出土 スクレイバーほか、刀器(1)



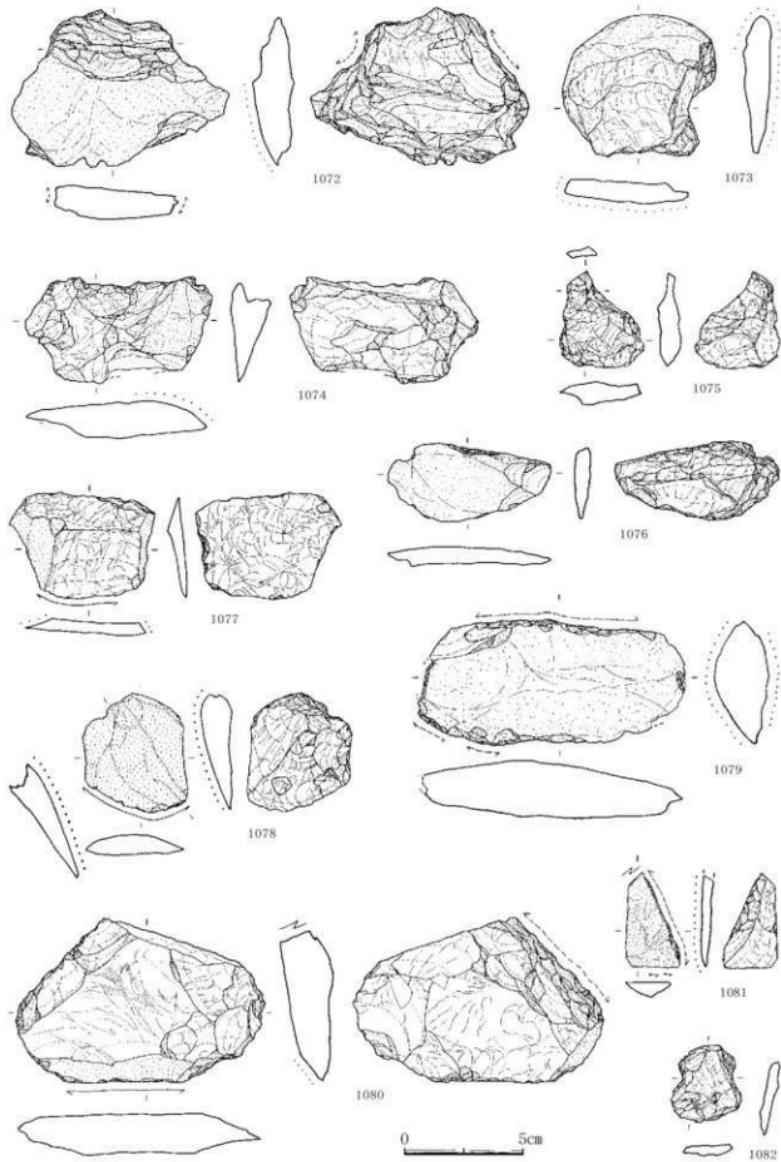
第50図 I区VI層出土 刃器(2)



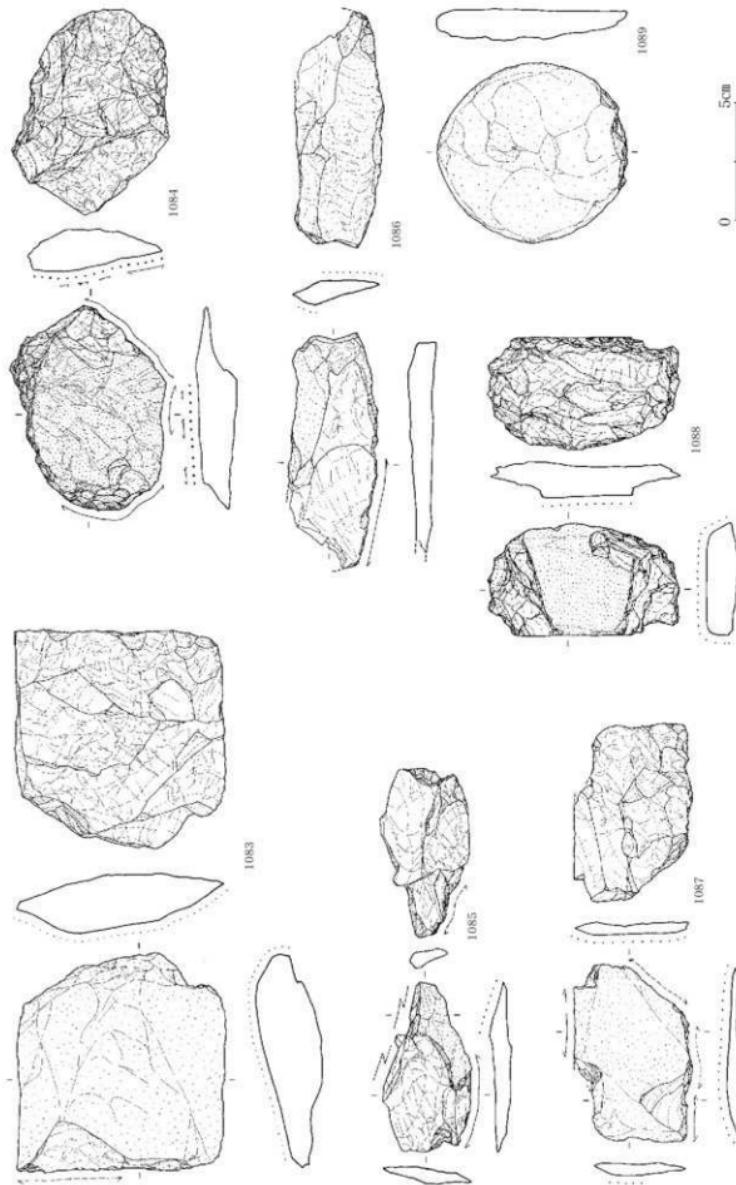
第51図 I区VI層出土 刃器(3)



第52図 I区VI層出土 刃器(4)



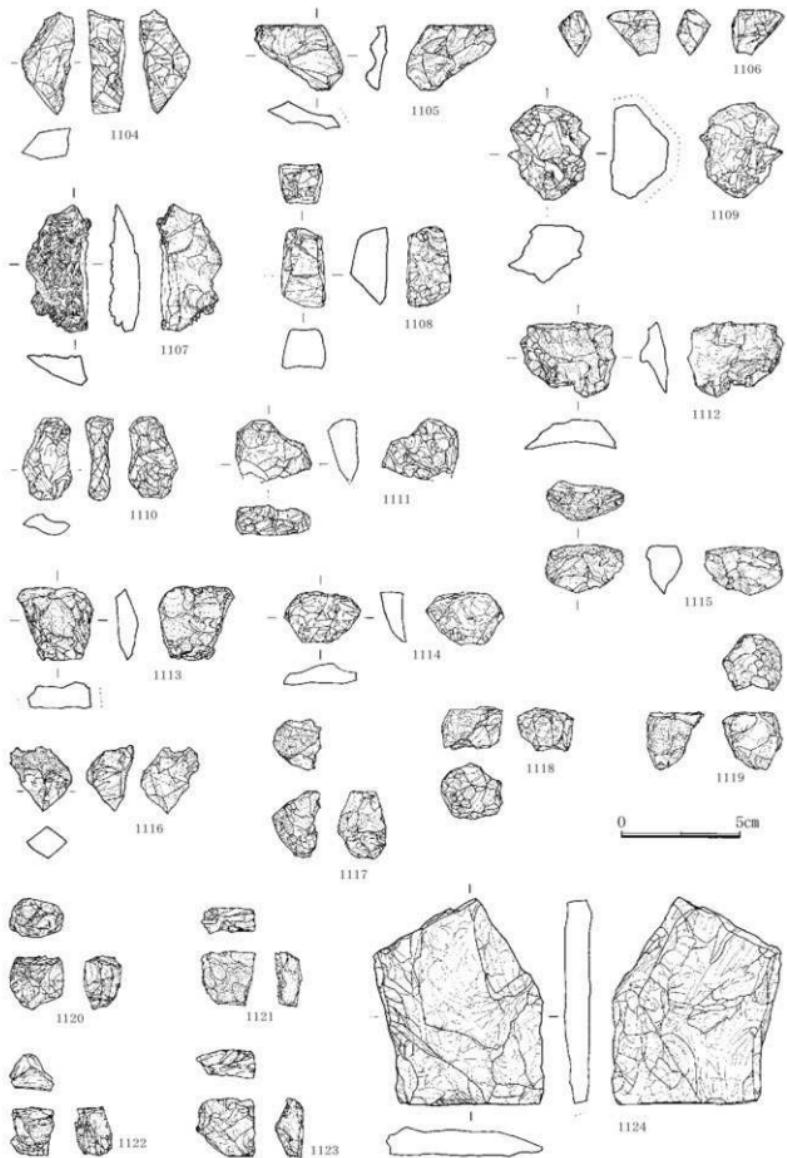
第53図 I区VI層出土 刀器(5)



第54図 1区VI層出土 刃器(6), 刃器未製品

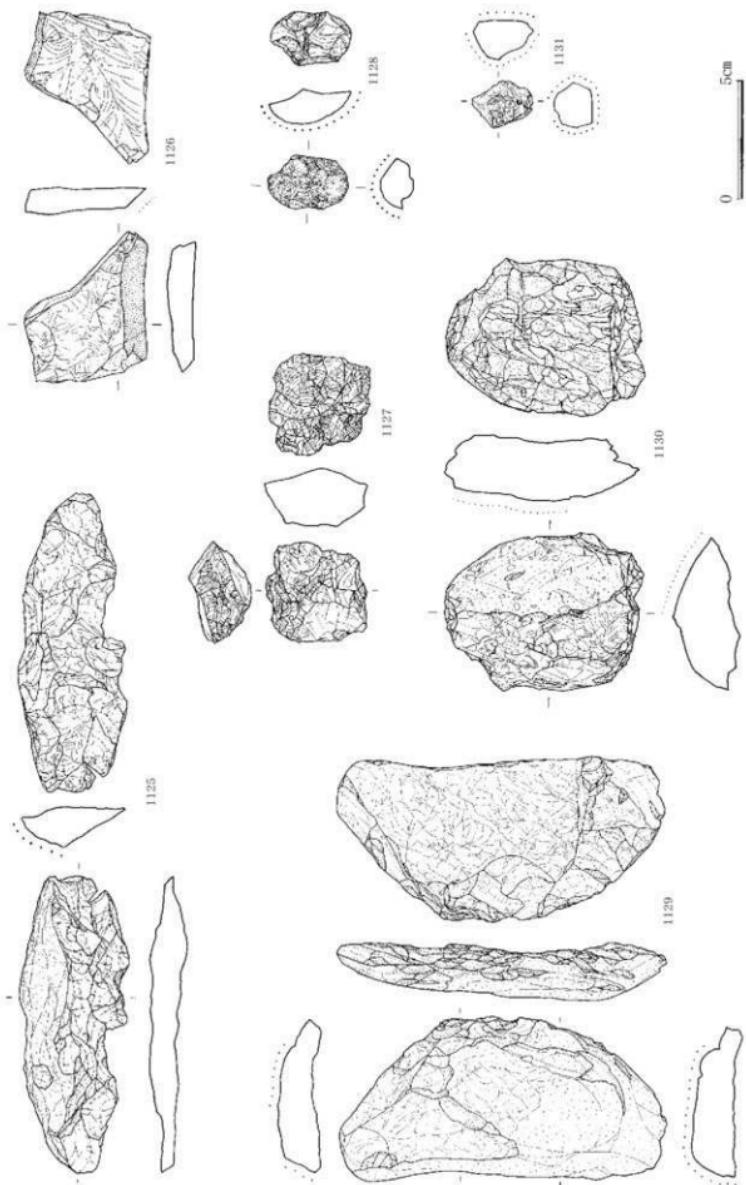


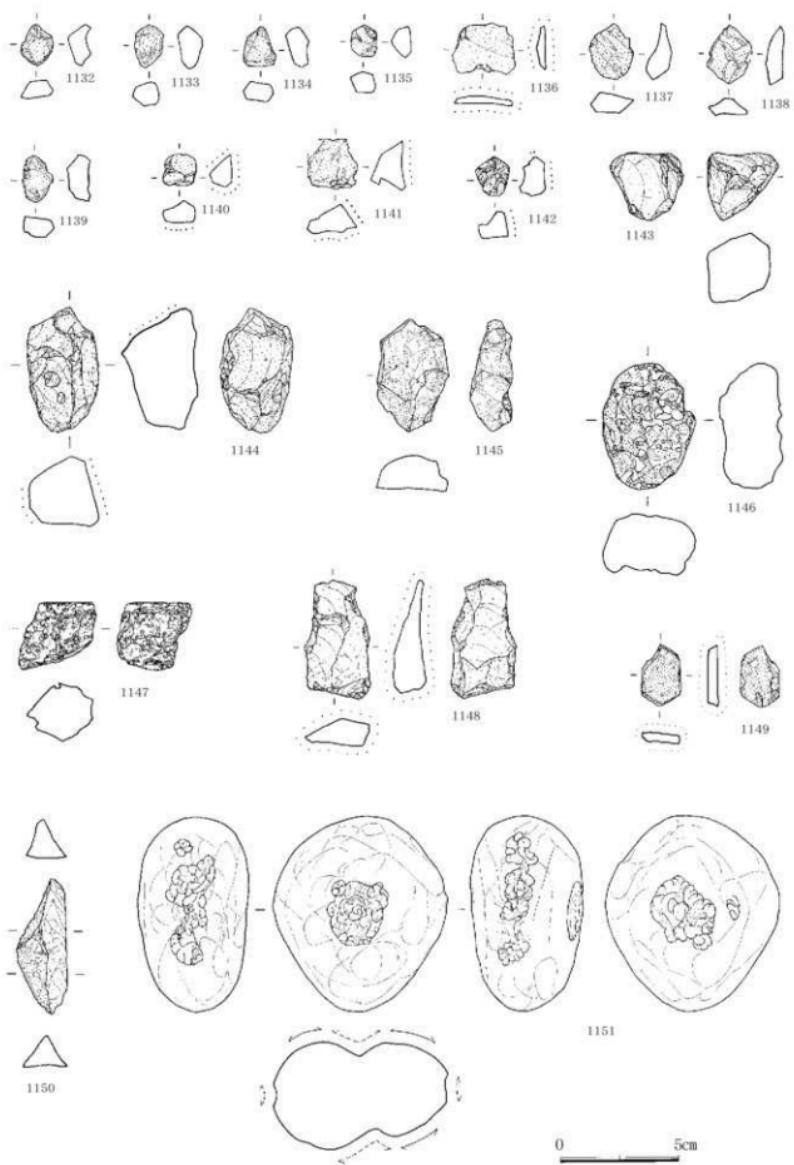
第55図 I区VI層出土 石核(1)



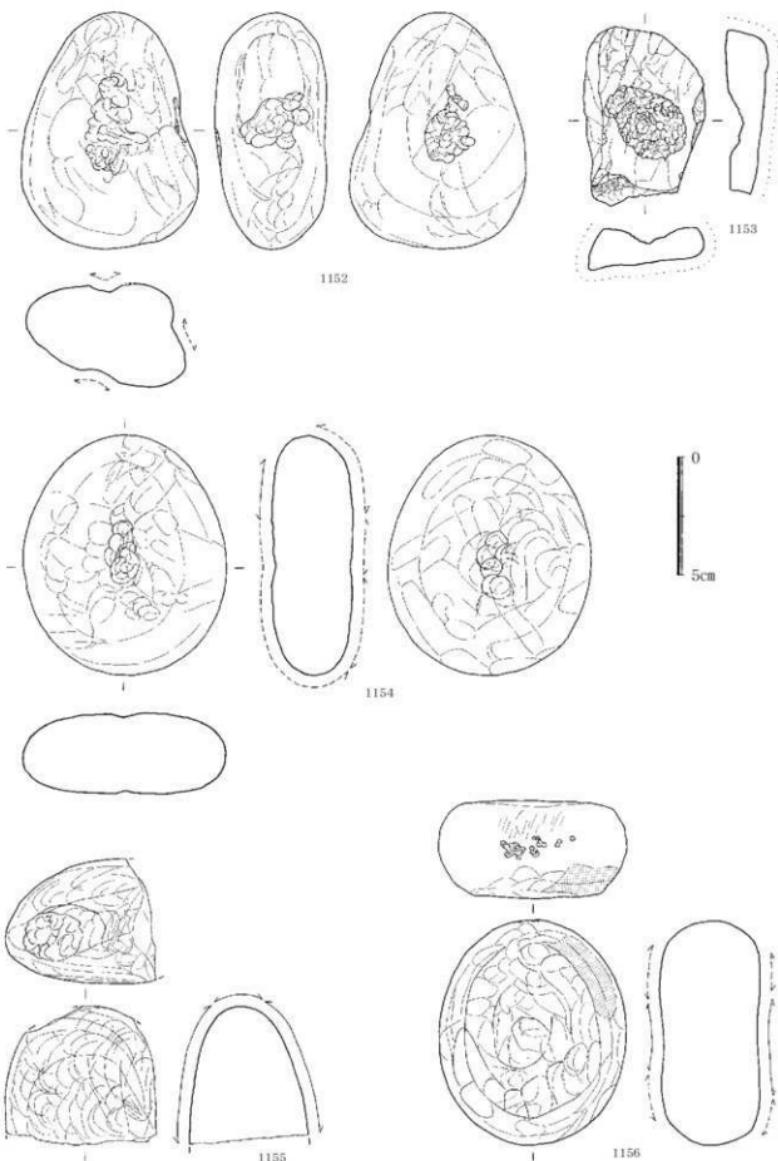
第56図 I区VI層出土 石核(2)

第57圖 1區VI層出土 石核(3)

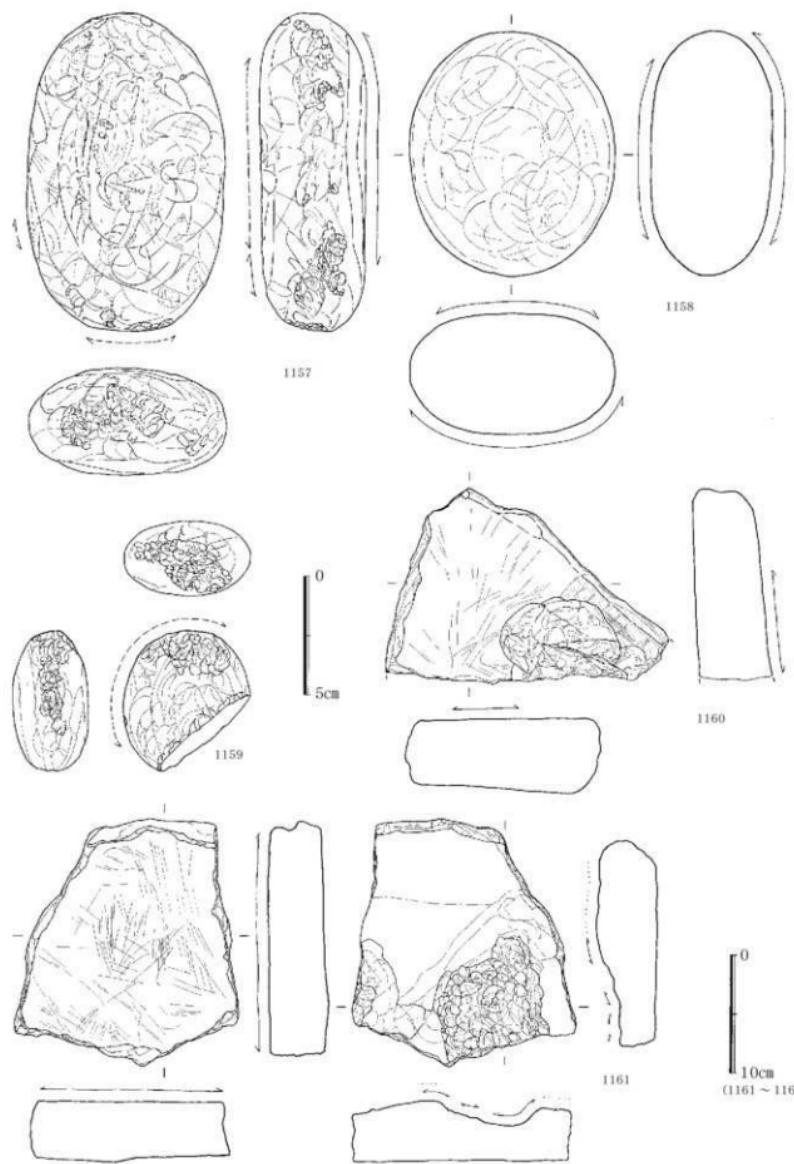




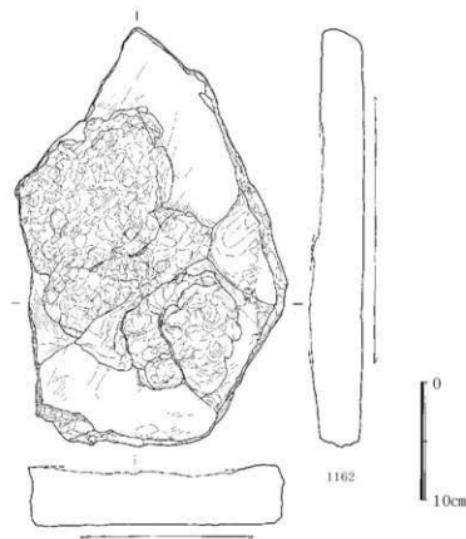
第58図 I区VI層出土 原石、凹み石(敲磨石)(1)



第59図 I区VI層出土 凹み石(2), 敵磨石



第60図 I区VI層出土 敲磨石、磨石、台石(1)



第61図 I区VI層出土 台石(2)

深さ 10~18 mmの意図的な凹みが設けられ、壁面と底面の半分程度が磨耗（凹凸磨消）している。

1162は、長五角形のA面下端左寄りの側面にのみ自然面が残る。A面はゆるやかな2枚の曲面が主であり、長軸方向の擦痕も目立ち、被熱して大きく弾けた後も若干使用している。右半部の側面は断面垂直加工のあと、稜を擦り潰している。B面は周縁2~5 cmをあまり使用せず、その中はかなり平滑である。

1160と1162は、堅果類の脱殻～擦り潰し的な使用痕ではなく、石器の粗研磨や弓・矢など木器の面取りや整形・仕上げ等に使用された可能性を考える。

側変形		a:内湾	b:直	c:凸	d:砲弾	e:弧	f:鋸歯	g: S字	備 考
基 部		人	八	八	八	〇	△	八	
平基	I	□			—	—	—	—	
凹 基	II	△			—				基本形は 正三角形か 二等辺三角形
	III	△			—				
	IV	△		—	—	—	—	—	
	V	△			—		—		
	VI	△			—	—	—	—	
	VII	△	—	—			—		
強 四 基	VIII	△	—		—	—	—	—	抉りの深さが 長軸の 1/3 以上
	IX	△	—		—	—	—	—	
円基	X	△	—		—	—	—	—	
凸基	XI	△	—	—	—	—	—	—	
その他	XII								再生品など

第62図 打製石鏡 分類図

第4節 II区

VI層上面において、黒曜石の剥片が散見されたが、石器としては、両刃の刃部と側面の一部を研磨した小型の鑿型石斧 1 点（1163）がある。このほか鑿型石斧の未製品の可能性があるもの（1164）と自然の微凸面に研磨のかかる刃器状石器（1165）がある。

第5節 III区

VI層上面まで重機で剥ぎ、清掃まで実施したが、01号溝状遺構のみの調査しかできなかった。

SD-01（第66図）

幅 50 cm・深さ 20 cm の西端の直線溝は別遺構（近現代か）の可能性が高い。それを除く規模は、幅 4.9～5.4 m、深さ 1.0～1.8 m を測り、北側が深い。底面は段差の低い階段状の掘形になっており、6～7 m 北方は急斜面の谷になることから、谷底への降下道であると思われる。覆土から弥生時代後期～古墳時代の土器片 275 点と須恵器片 1 点が出土している。

南端部には弥生時代終末頃の竪穴建物（S A-19）を削った痕跡があり、覆土内の遺物の殆どが当遺構に帰属すると思われ、溝本来の年代を示すものが無いが須恵器片が 1 点（1189）出土しており古代～中世の可能性が高い。

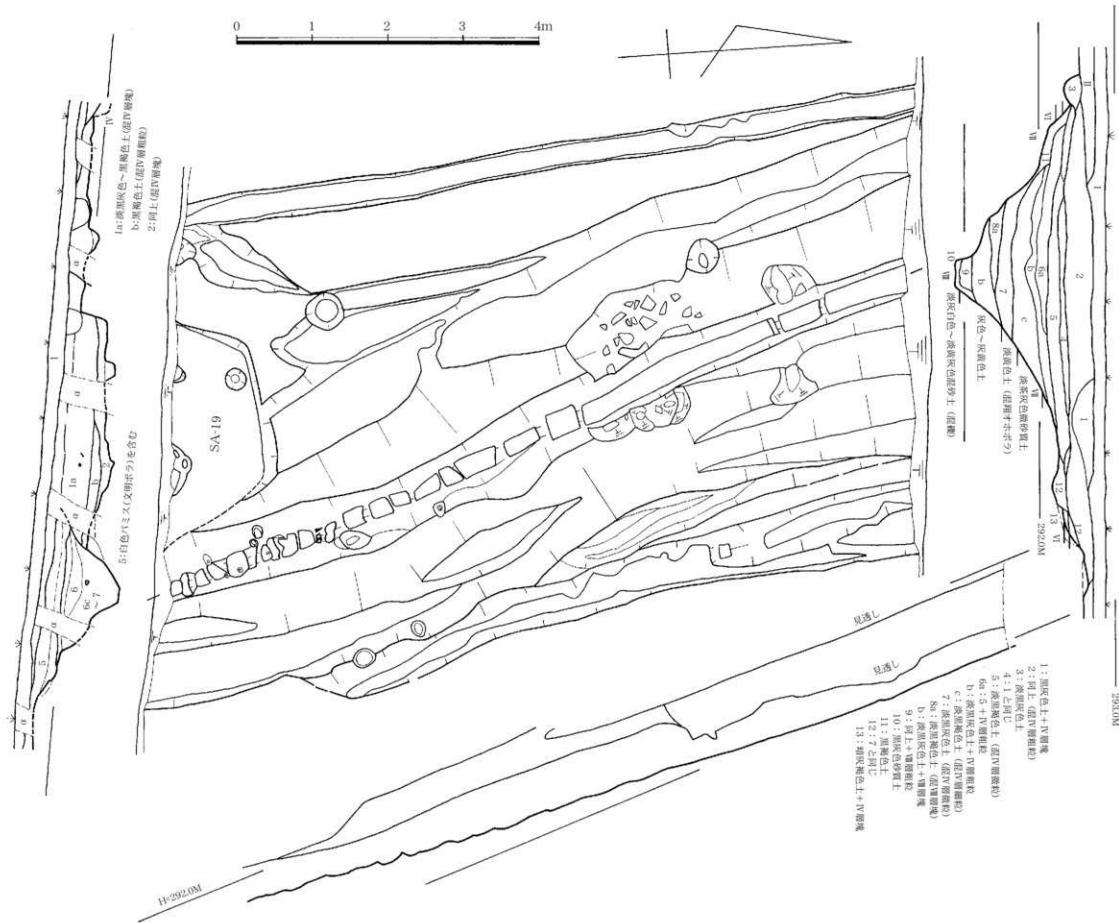
SA-19（第64図）

トレンチャーレと上記の道路に切られているため復元し難いが、直径 5～6 m 前後の六角形に近いブランで内区は直径 3.0 m で 30 cm 下がり、厚さ 10 cm の貼床で中央に長径 1.4 m・深さ 15 cm 程の土坑状凹みが構築されている。火處と主柱穴は不詳であるが、北西部の柱穴（P 1）は深さが 43 cm あり、その可能性がある。

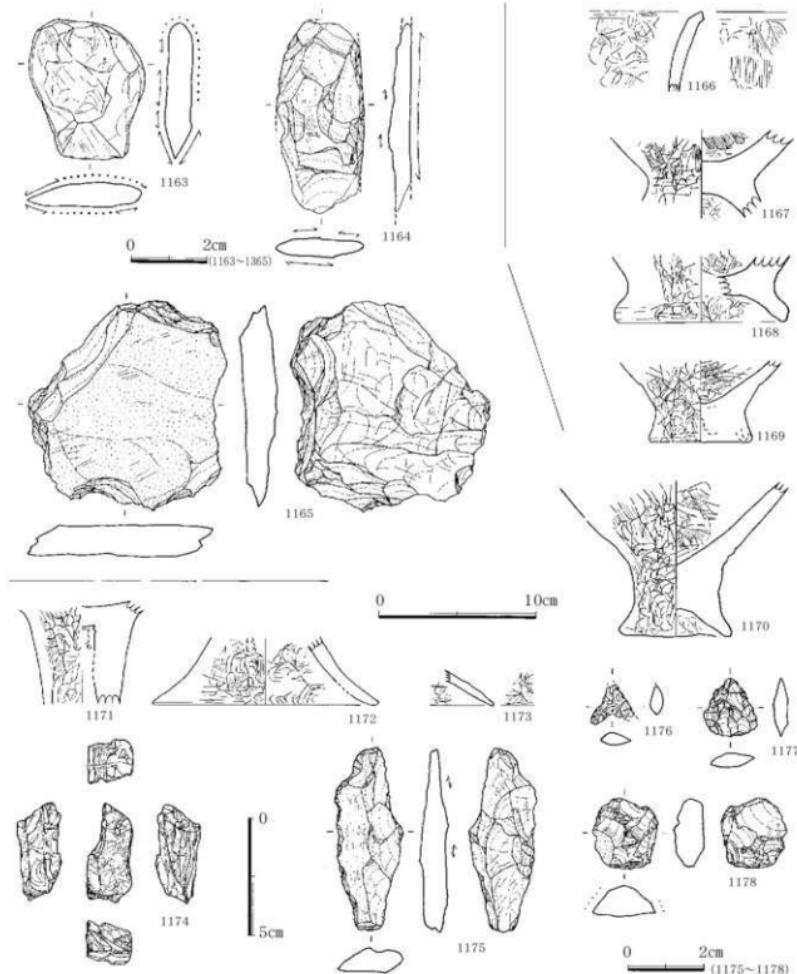
01号溝出土の遺物の多くが当住居に帰属する可能性が高い。



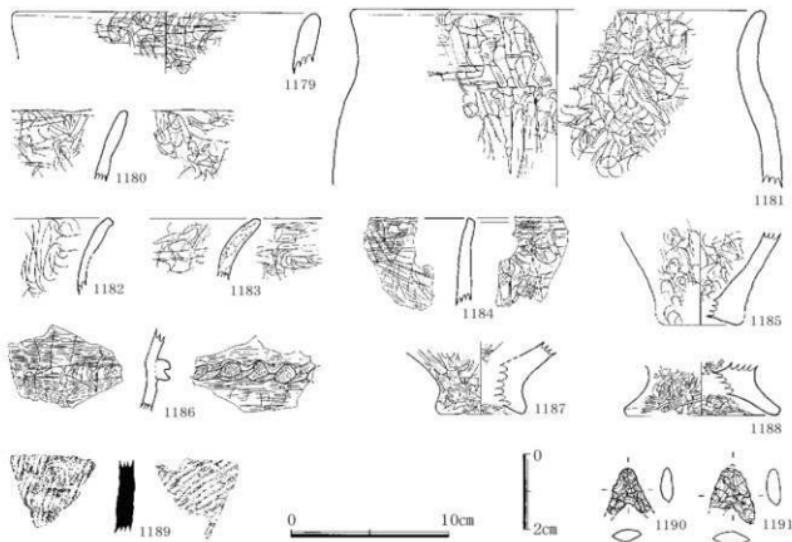
第 63 図 II ~ IV 区 遺構分布図



第64図 SD-01 遺構実測図



第65図 II・III区 出土遺物実測図



第66図 III区 SD-01 出土遺物実測図

第6節 IV区

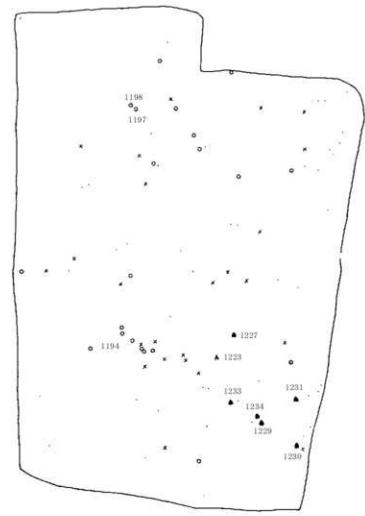
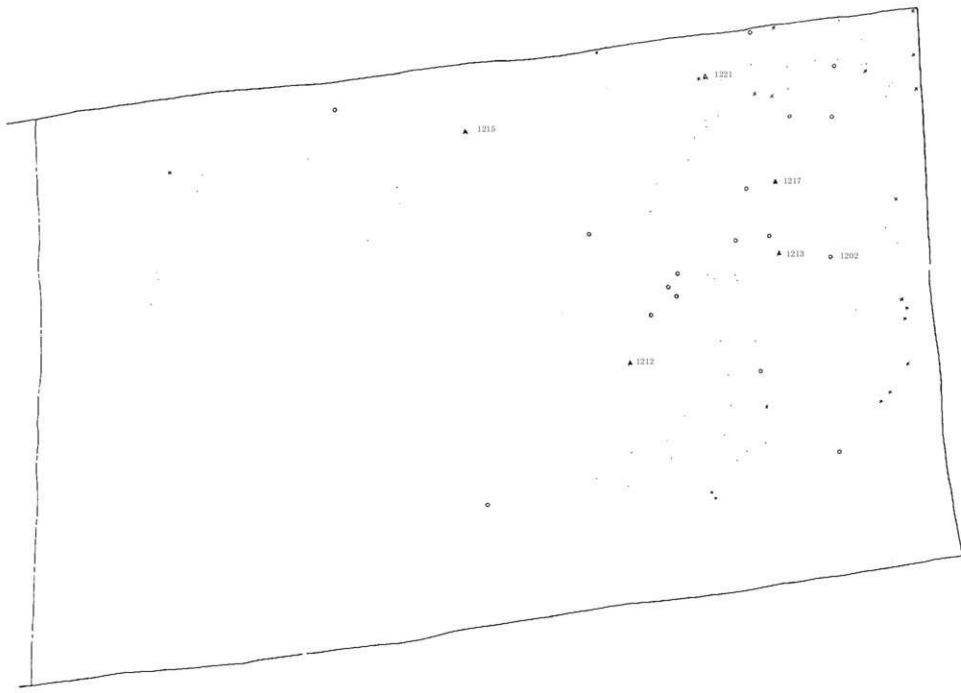
IV層上面において、間仕切り住居5、円形住居1のほか土坑数基を検出した。東端から西へ90mまではトレンチャーが縦横に走り、遺構が切り刻まれている。その西側(05号住居付近)は削平と天地返しによって、遺構の依存度が悪い。05号住居の西側と東側では、VI層の調査が実施できた。

VI層出土遺物

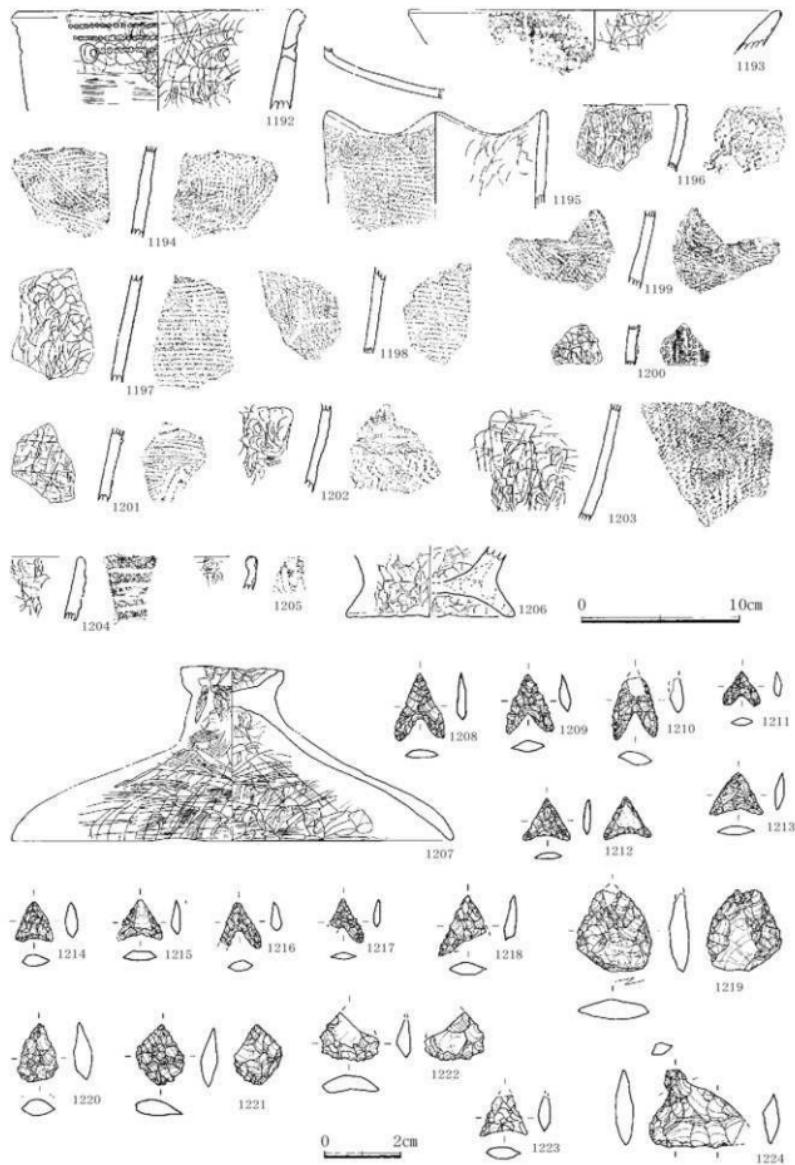
縄文土器と剝片に混在して石鏃模倣品7点が出土している。ここでは、すべて成品と思われ、I区とは状況が異なる。土器は小片が多いが、加栗山式土器(1195)が多く、吉田式土器(1192)や山形押型文土器(1196)などもみられる。焼石は少なく、石鏃模倣品は極めて集中するが、分布状態や出土状態からは機能を推定できない。

SA-01 (第71図)

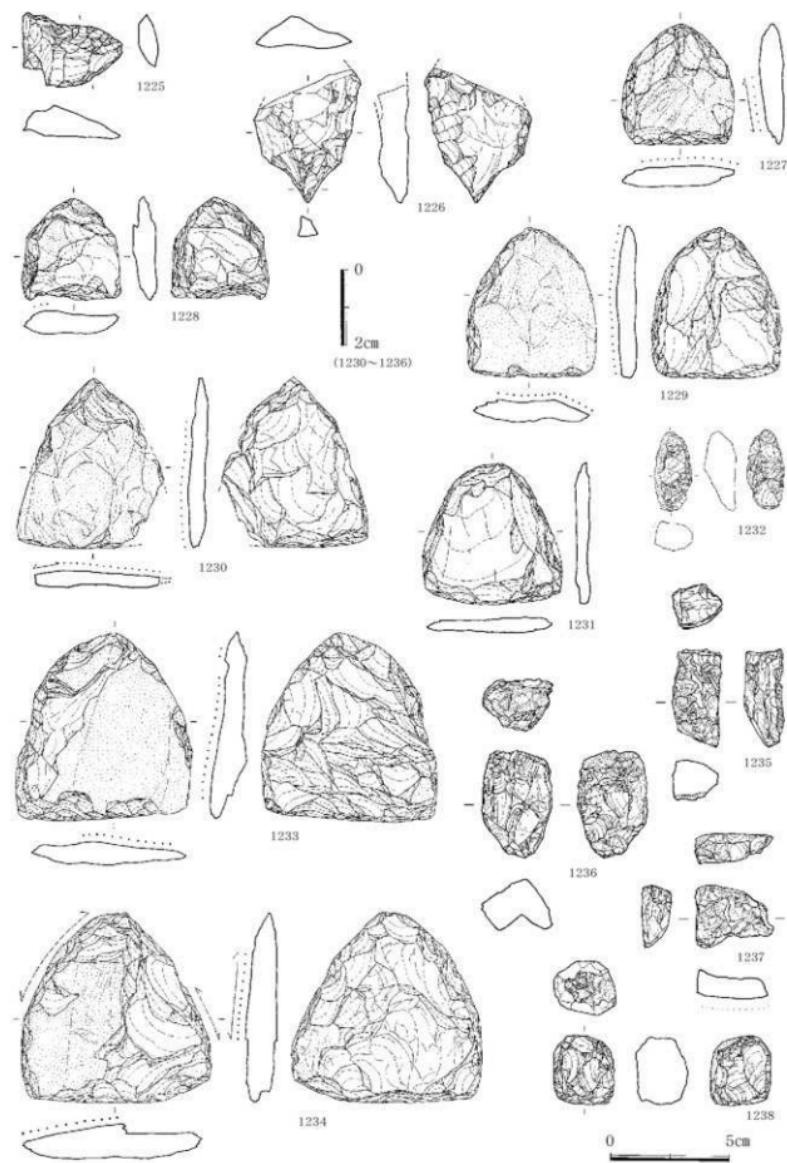
上面15cmほどの削失があり、東半分は攪乱され、形状が定かではないが、1辺4.36mの方形基調の可能性が高い間仕切り住居である。外区は深さ10cmほどが遺存し、床面となる。内区は幅1.5mと推定され、32cm下がるが10~15cmの貼床があったと思われる。北西肩部で、長径30cm、短径25cm、深さ40cmのpitを検出。2本柱のうちの一つと推定される。出土遺物は全て流入で少なく、縄文土器4片と弥生時代終末~古墳時代前期の土器片7点であり、図化できたのは甕片2点である。



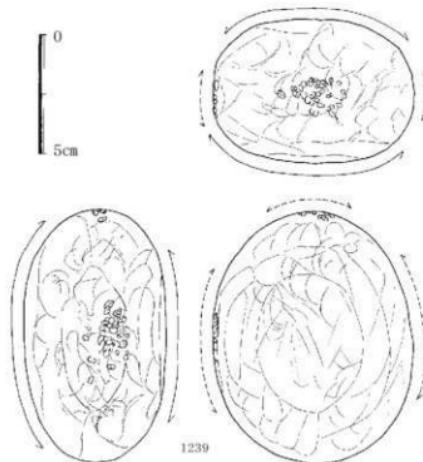
第67図 IV区VI層 遺物出土分布図



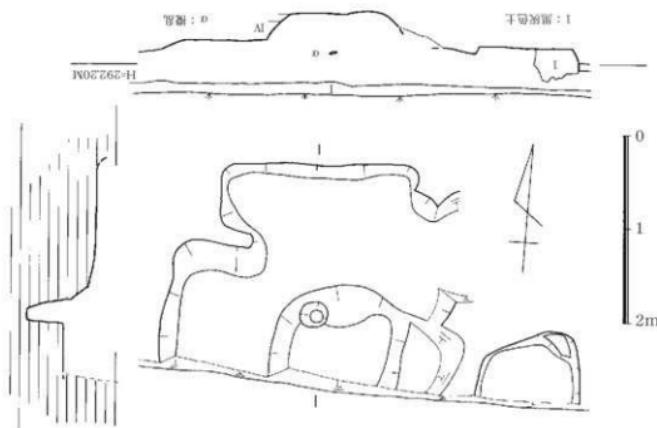
第68図 IV区Ⅰ～Ⅲ・VI層出土遺物実測図(1)



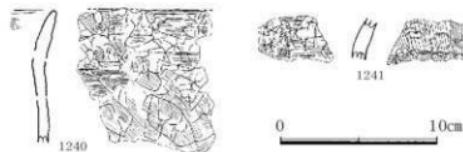
第69図 IV区 I ~ III・VI層出土遺物実測図(2)



第70図 IV区VI層出土 敲磨石



第71図 SA-01 造構実測図



第72図 SA-01 出土物実測図

SA-02 (第73図)

東西8.14m、南北6.4m以上の円形基調の間仕切り住居である。上面10cmほどの削失で、東側の掘込は浅い。主柱穴4本(P1~4)を囲むように底面が4~5cm下がるが、明瞭な境や貼床、硬化面も無い。主柱穴の規模は、直径35~42cm・深さ65~80cmである。中央には、直径33cm・深さ22cmの穴があるが焼土や炭化物は出土していない。その他の穴は深さ2~6cmと浅く、当住居に伴うかも不明である。東南部の壁は幅2m・長さ1.3mの掘り残しがあり、出入口の可能性がある。

出土遺物は全て流入で、弥生時代後期~終末の土器片81点と磨製石鏸1点、剥片2点がある。図化できた土器は少なく鉢(1248)は丹塗りであり、新しい要素である。

SA-03 (第75図)

直径7.5mの円形基調の間仕切り住居で、半分弱を検出した。覆土は6~30cm遺存し、内区は20cm低い。内区のプランは楕円形と推定され、住居の短径が6mほどになる可能性もある。主柱穴は不明瞭であるが、壁際の深さ20cmのsmall pitの可能性がある。

出土遺物は全て流入で、弥生時代後期~終末の土器片118点と完形の石庖丁(1256)、朱玉状土塊1点などがある。

SA-04 (第77図)

直径4.38~4.58mの円形基調の間仕切り住居で、南辺はL字に省略されている。北中央部は未掘削地であることから、出入口をしたいが東端部の直径31~42cm・深さ12~19cmの柱穴状掘込も出入口用の柱穴の可能性があり、後者のほうが可能性は高い。内区は長さ2mの五角形状に20~26cm下がる。主柱穴や炉は確認されなかった。

出土遺物は、弥生時代後期~古墳時代前期の土器片216点と鐵鏸1点(1265)が出土している。鐵鏸は小型の圭頭鏸で、全長47mm、刃部長9mm、幅16mmを測る。頭部は直線的に有機物の付着によって幅広くなり、錆びていている。

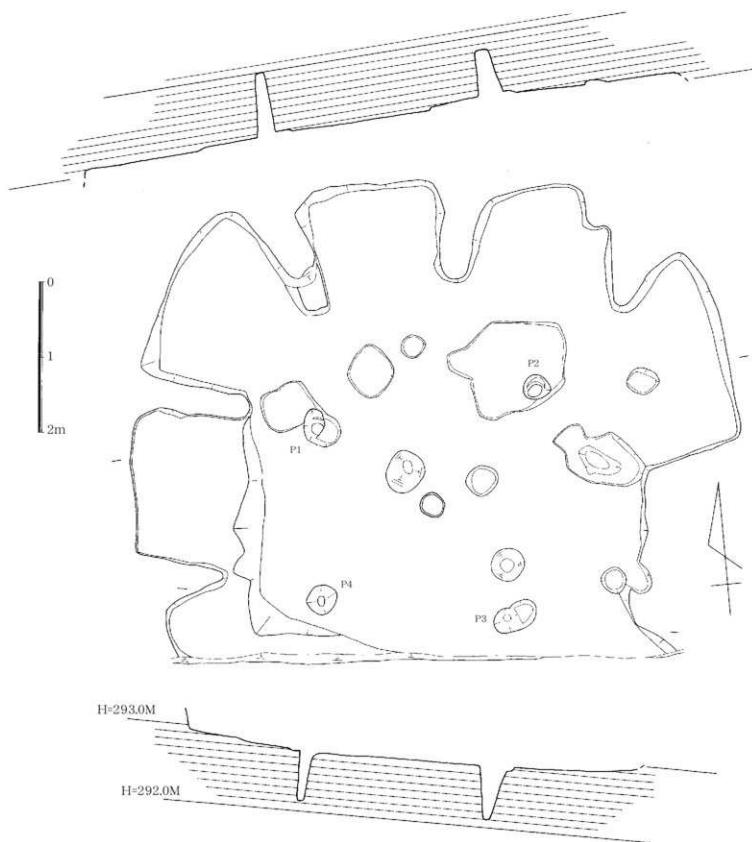
SA-05 (第79図)

上面30cm程の削失があり、重機で削失した部分もあり、全体を把握できない。遺存する外区の掘形がほぼ生きていれば、直径3.6mの円形基調の間仕切り住居と考えられる。北東部の外区も隅が遺存しており、短径3.2m程度の可能性がある。長径2.45m・短径2mの内区は10~15cm下がり、下半は貼床である。主柱穴は不明であるが、内区肩部に深さ20cmほどのpitがある。

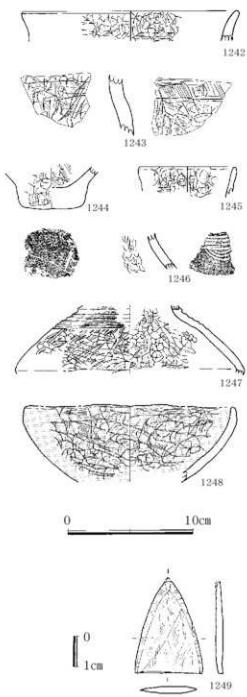
出土遺物は縄文土器片15点のほか弥生時代終末~古墳時代前期の土器片212点、石器・剥片が52点ある。縄文土器と石器の殆どは、VI層掘削土内の出土遺物と思われる。

SA-06 (第82図)

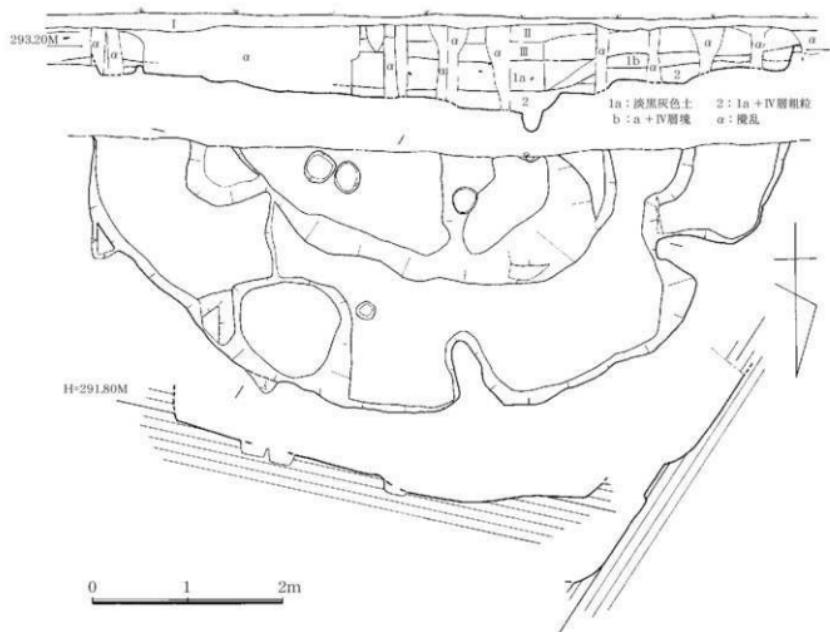
直径6.35~6.71mの竪穴建物で、北西部は重機で削りすぎた。上面も15cmほど削失している。覆土は36~45cm依存し、外区の幅は1mほどで、内区は直径3mほどが20cm下がる。床面は硬く、炉の痕跡は無い。主柱穴は4本で、直径32~44cm・深さ43~68cmを測り、柱間が広い。掘形南端には、幅10~17cm・長さ18cmの小突出があり、間仕切りの名残と思われる。



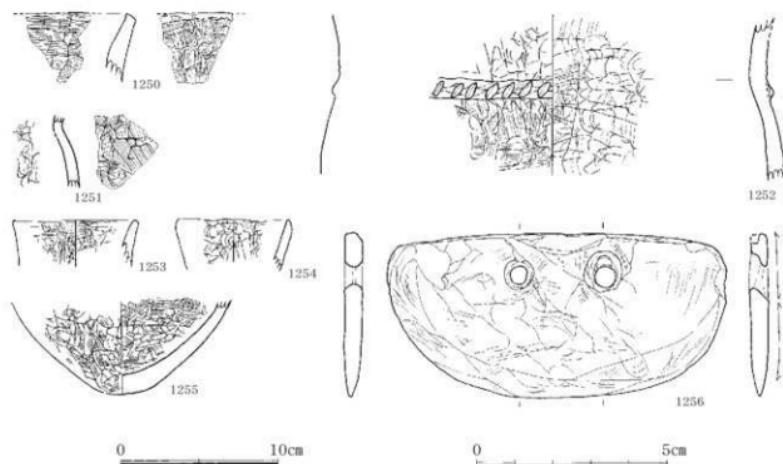
第 73 図 SA-02 遺構実測図



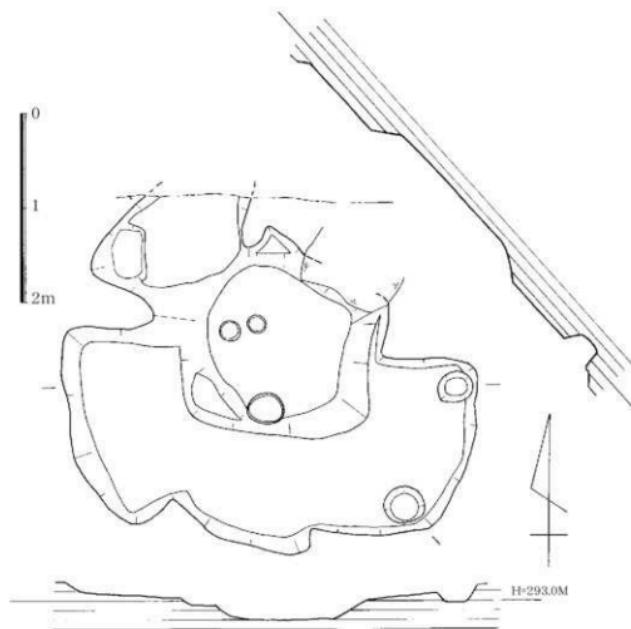
第 74 図 SA-02 出土遺物実測図



第75図 SA-03 遺構実測図



第76図 SA-03 出土遺物実測図



第77図 SA-04 遺構実測図

出土遺物は、縄文土器片 29 点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片が 1571 点、石器・剥片が 203 点ある。縄文土器と石器の殆どは VI 層掘削土内の出土遺物と思われる。石庵丁（1392）の A 面には光沢があり、刃縁に直交する擦痕が顕著である。高坏等から 5 世紀前半頃の住居と推定される。

SK-02（第 119 図）

長径 1.76m・短径 1.63m・深さ 32~40 cm の土坑である。下 10 cm は不整形な 2 段掘りになっている。覆土から、縄文土器片 10 点のほか、弥生時代後期～終末の土器片 9 点、石器・剥片 10 点が出土している。

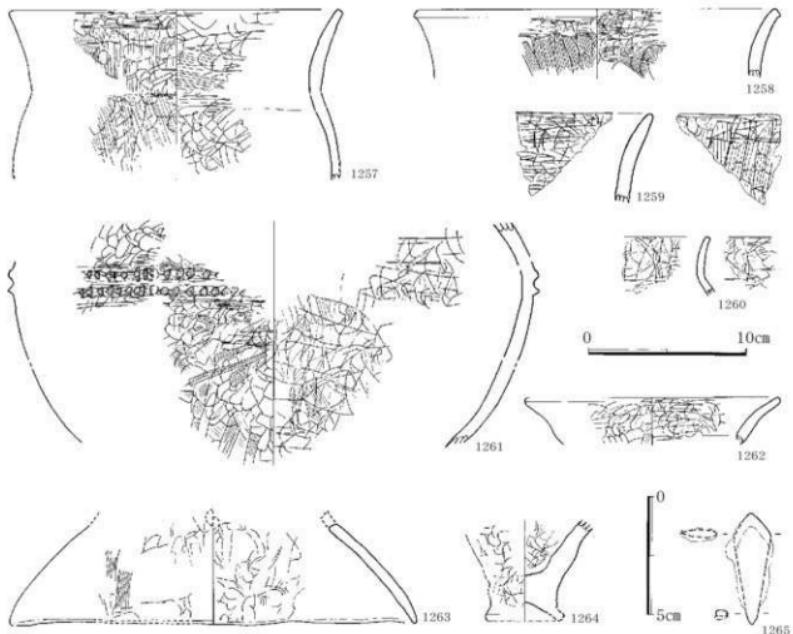
SK-03（第 120 図）

遺構の大半を削除したが、現存する長さ 2.03m（推定 2.26m）、幅 38~58 cm の木棺墓で、棺材を挟み込む溝が内法長さ 1.76m・幅 40~58 cm で一周する。両小口は狭く、北面がやや膨らむ、副葬品や関連遺物は出土していないが、弥生時代後期～終末の所産と思われる。

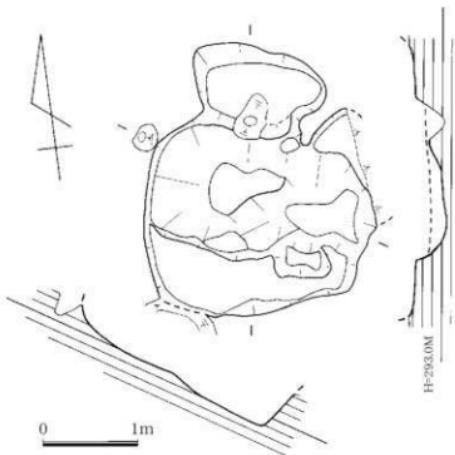
覆土から、縄文土器片 17 点のほか、弥生時代後期～終末の土器片 2 点、石器・剥片 9 点が出土している。

SK-04（第 120 図）

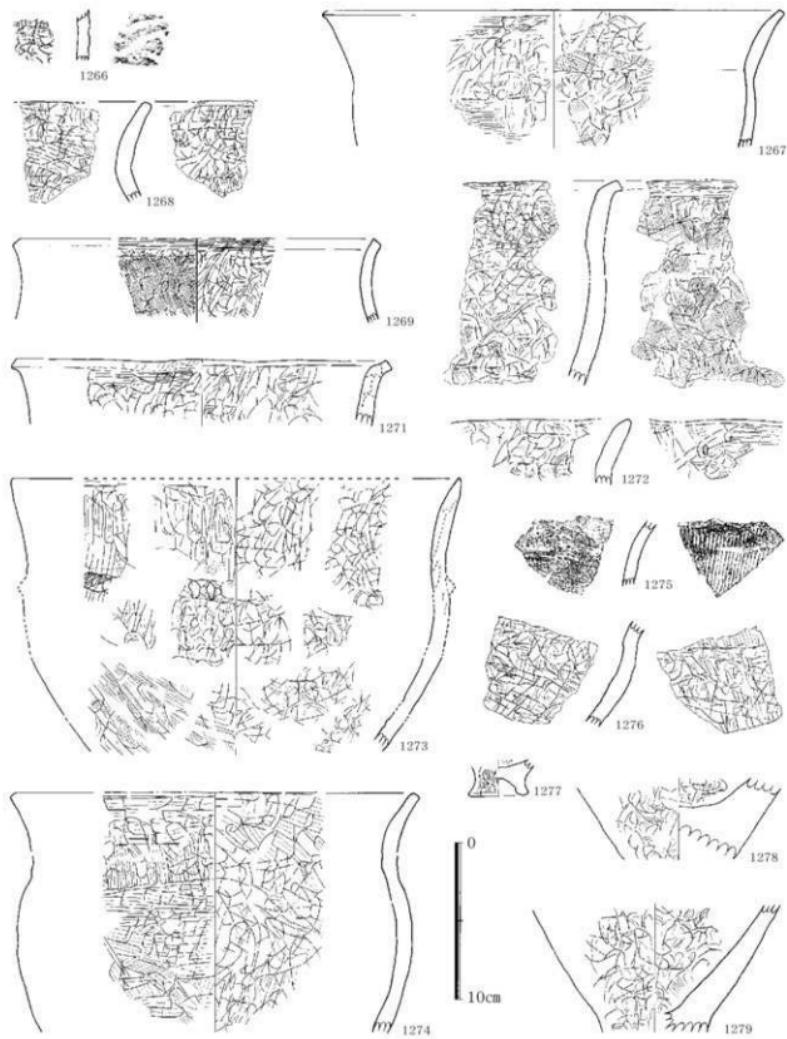
03 号墓の南 4.5m に並行して位置した、長さ 1.84m、幅 52~55 cm の土壙墓である。副葬品や関連遺物は出土していないが覆土から、縄文土器片 6 点と弥生土器片 3 点、剥片 1 点が出土しており 03 号木棺墓とはほぼ同時期と思われる。



第78図 SA-04 出土遺物実測図



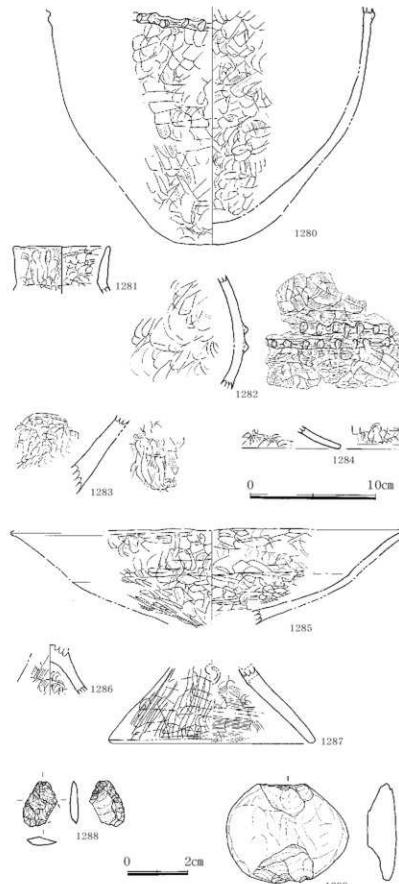
第79図 SA-05 遺構実測図



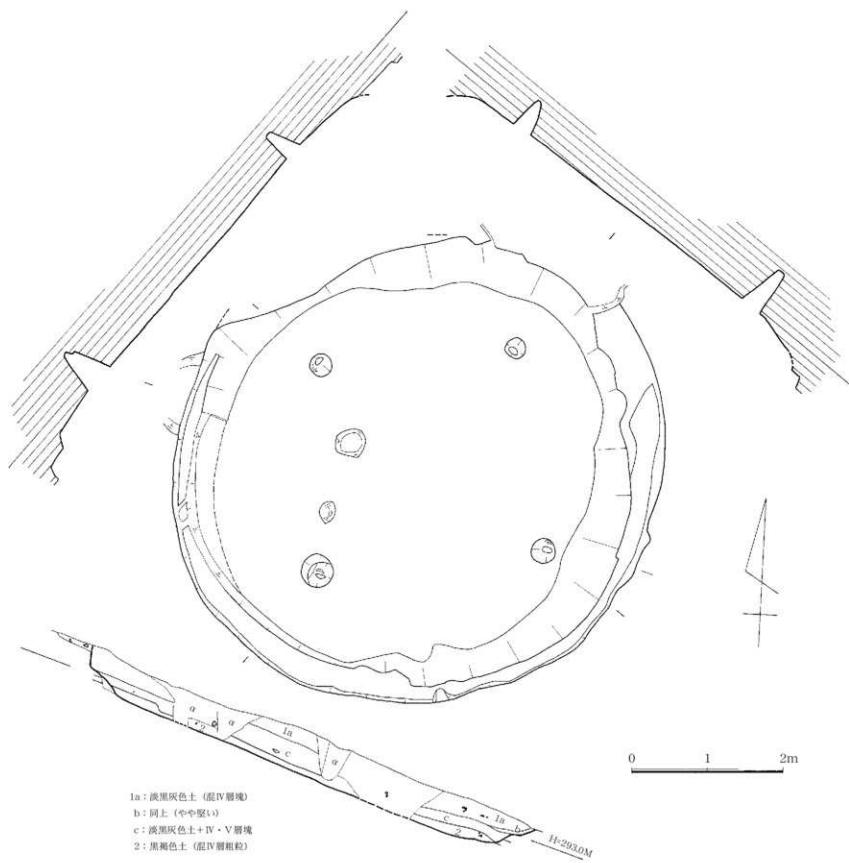
第80図 SA-05 出土遺物実測図(1)

第7節 V～VII区

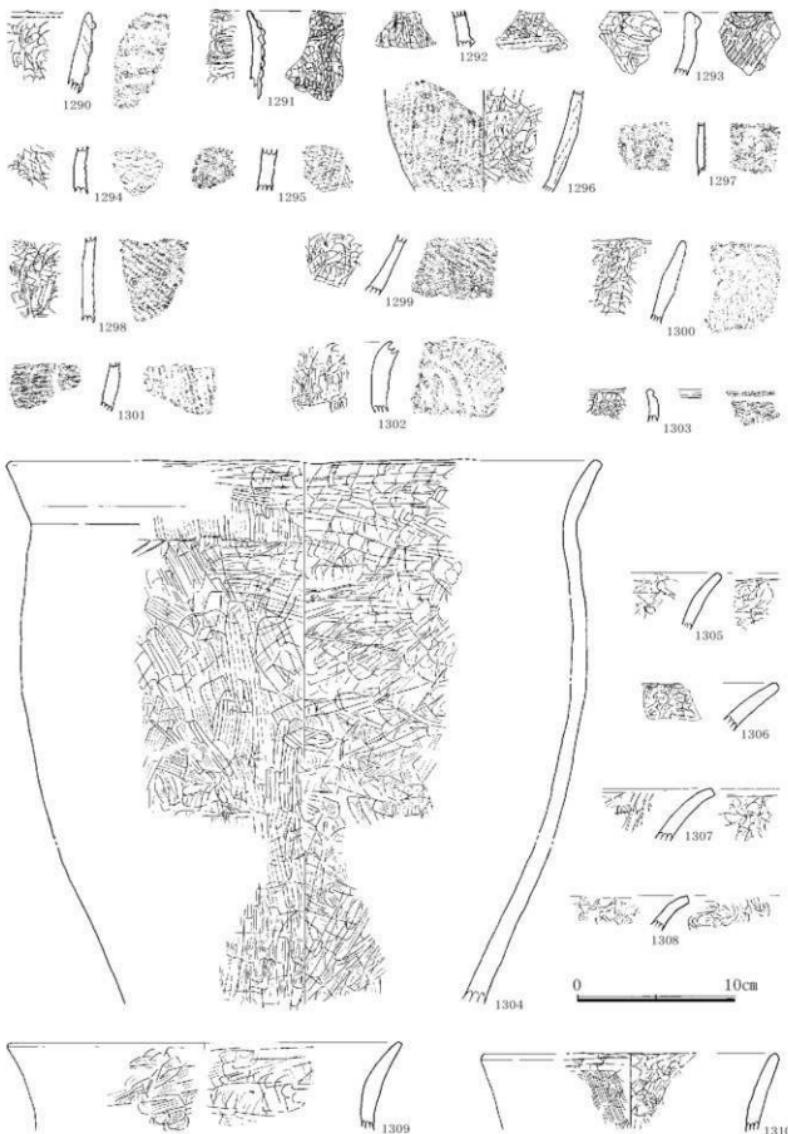
堅穴建物 12 (SA-07～18) のほか、貯蔵穴数基、土坑、道路状遺構を検出した。このうち 12～15 号住居は削失が著しく、原形が定かでない。



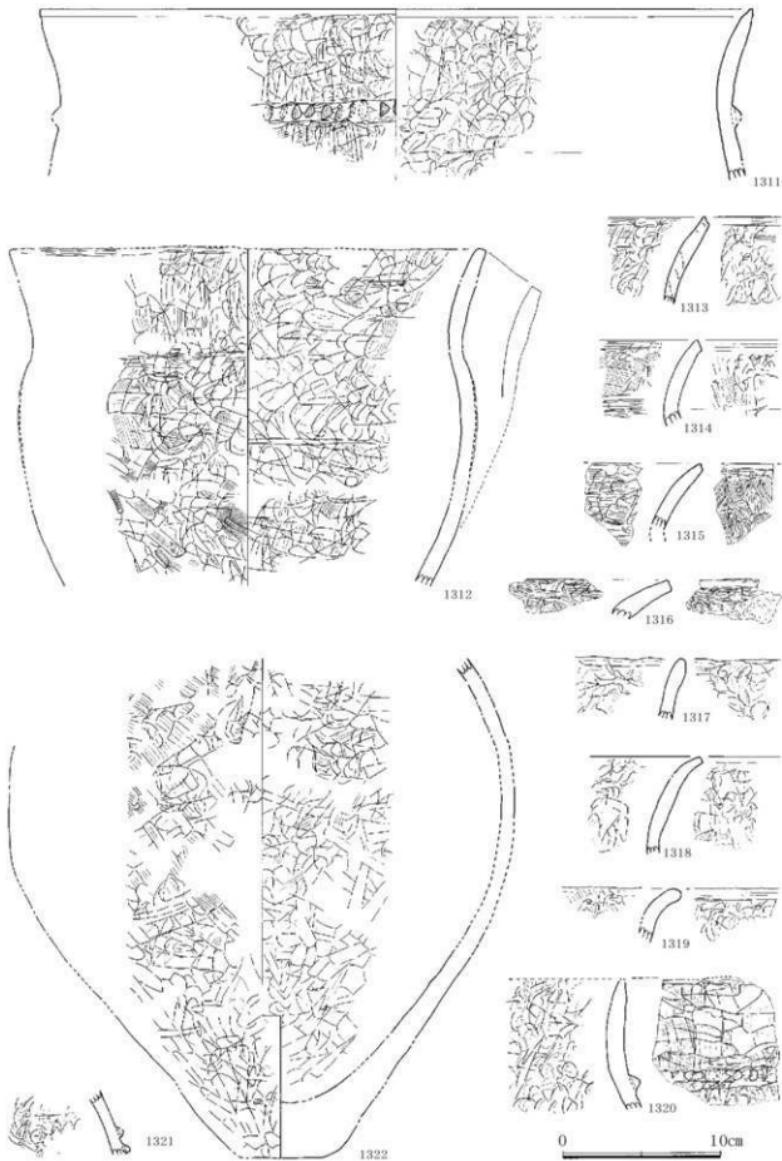
第 81 図 SA-05 出土遺物実測図 (2)



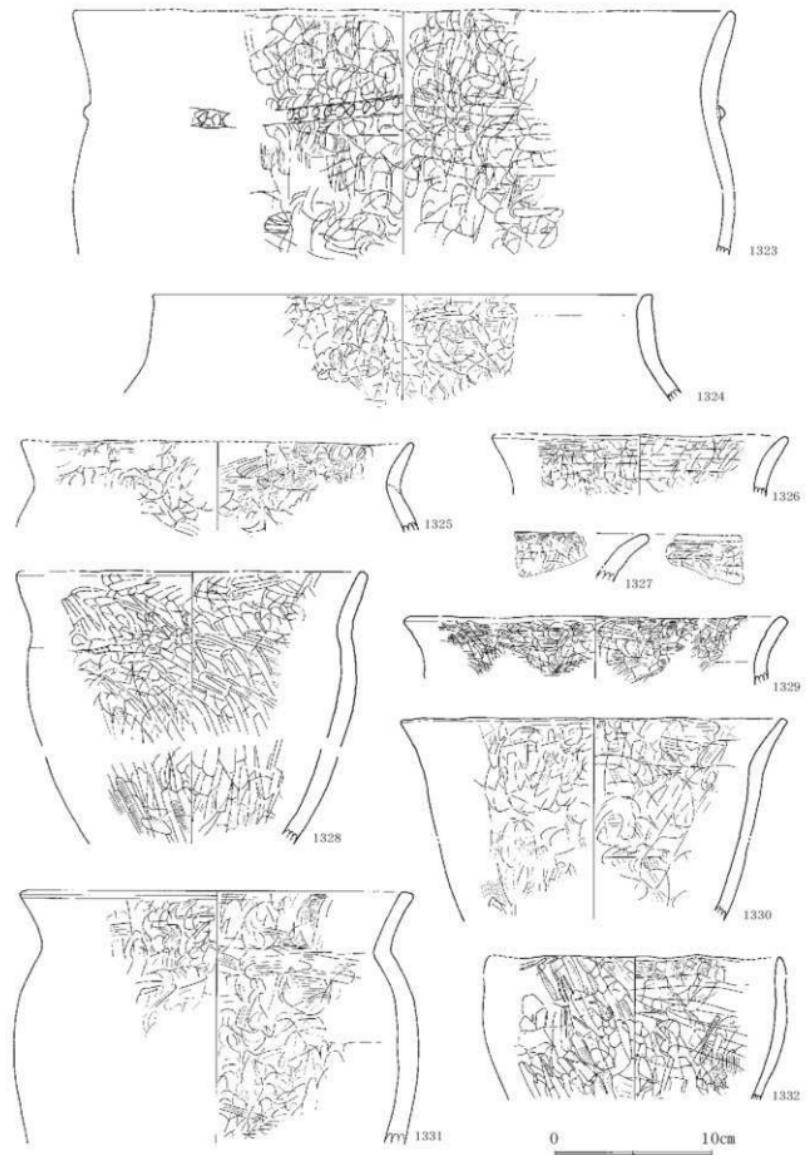
第 82 図 SA-06 遺構実測図



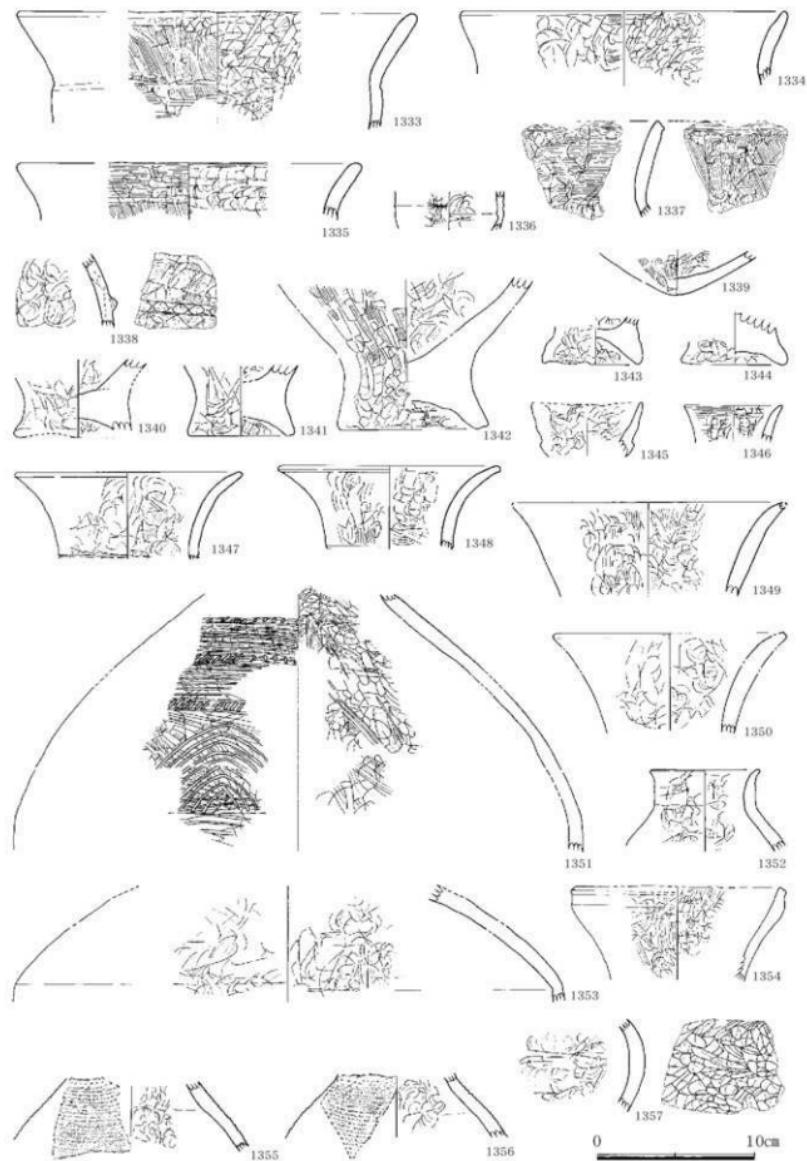
第83図 SA-06 出土遺物実測図(1)



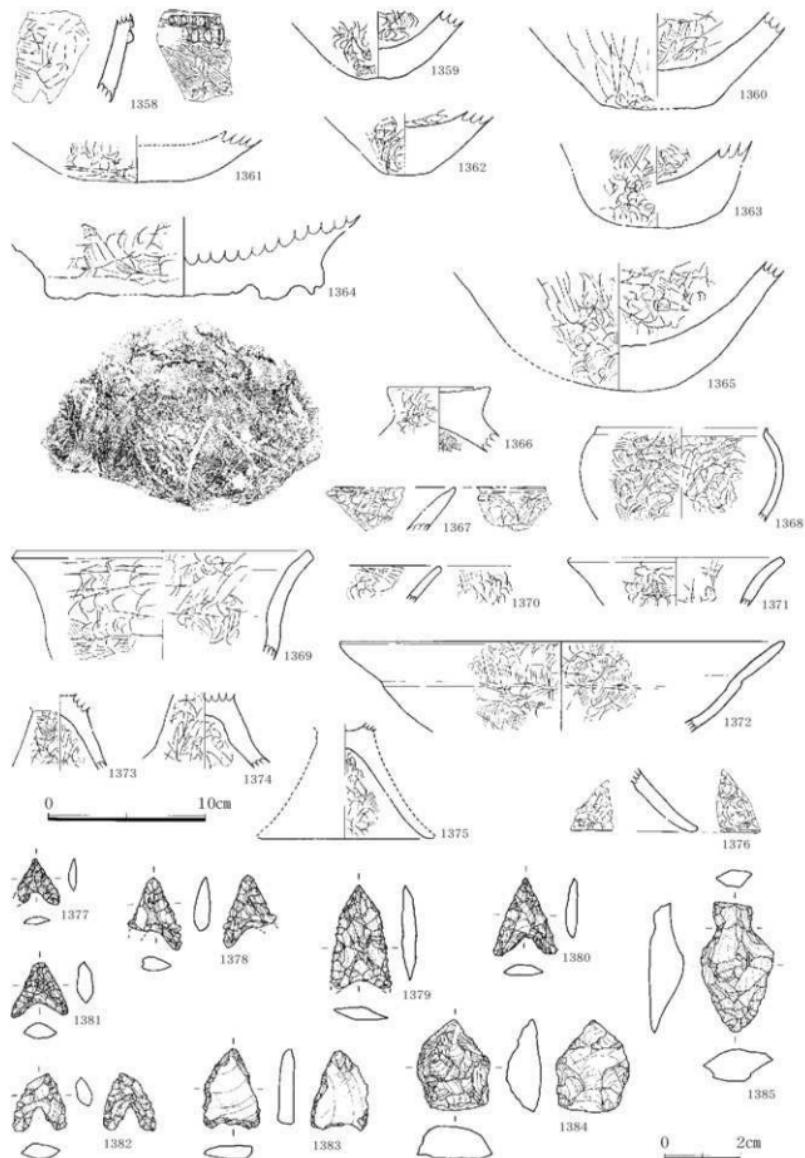
第84図 SA-06 出土遺物実測図(2)



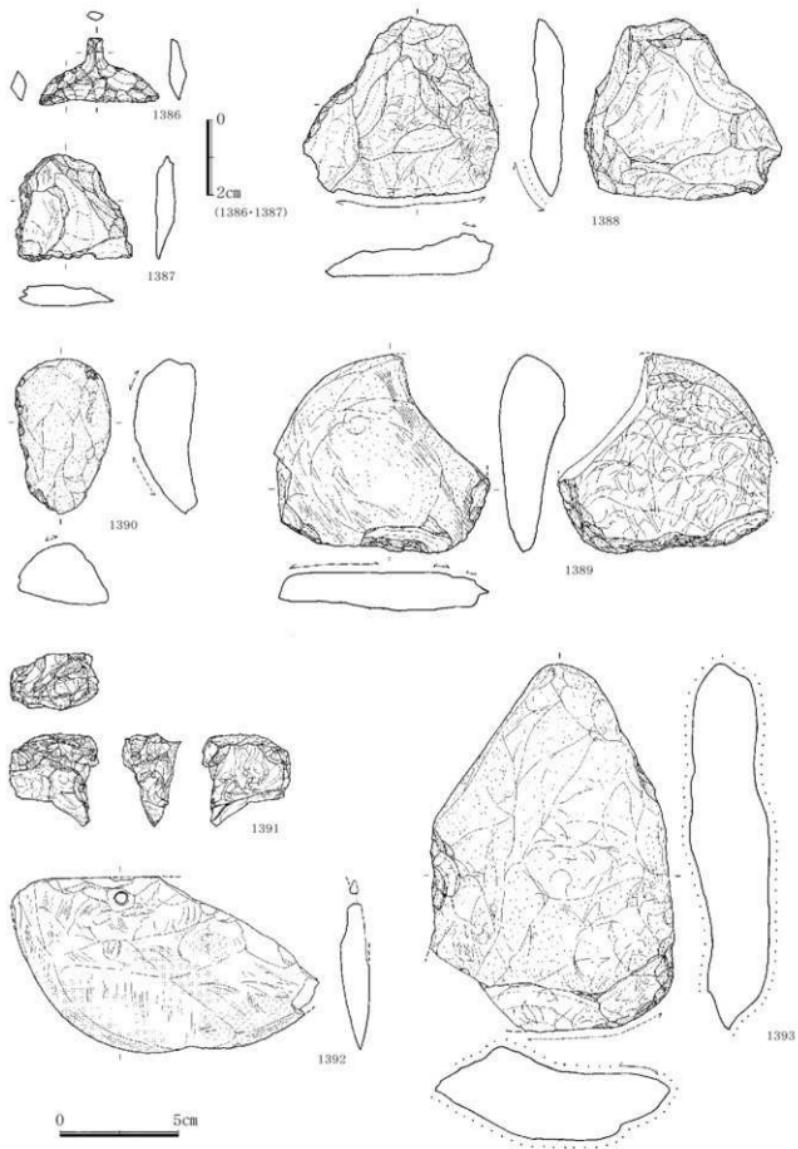
第85図 SA-06 出土遺物実測図(3)



第86図 SA-06 出土遺物実測図(4)



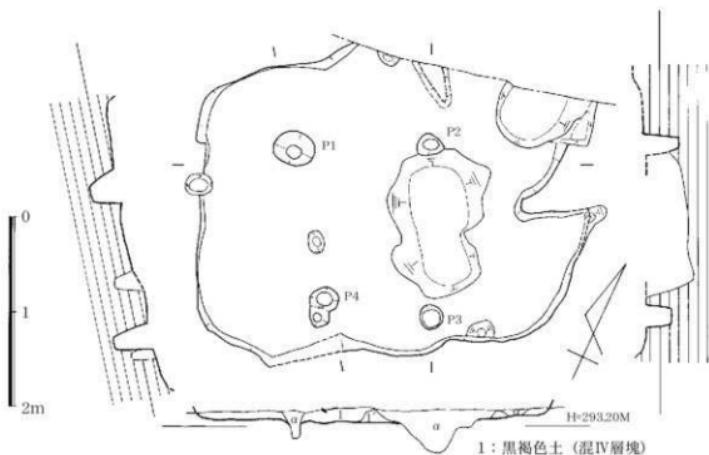
第87図 SA-06 出土遺物実測図(5)



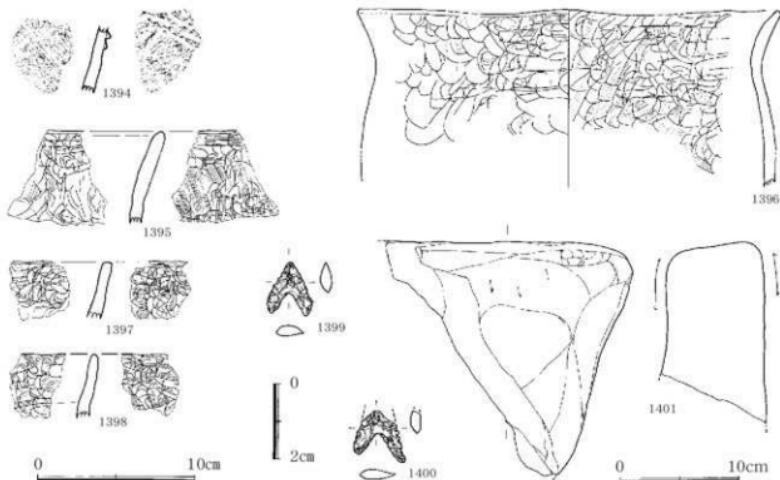
第88図 SA-06 出土遺物実測図(6)

SA-07 (第89図)

東西 4.3m、南北 3 mの隅丸長方形に近いプランであるが、北東部は調査区外である。造構検出時、北中部には、突出部があったが、掘り込み時に削失した。東壁にも幅 70 cmの突出部があり、歪な平面プランである。上部の削失は 10 cm程であるが、検出面からの深さも 8~17 cmほどで床面に



第89図 SA-07 造構実測図



第90図 SA-07 出土遺物実測図

なり、掘り込みの浅い住居である。主柱穴は4本（P1～4）と推定され、直径22～42cm・深さ26～39cmを測る。北東部には直径82cm・深さ40～46cmの土坑がある。

出土遺物は、縄文土器片14点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片67点、石器・剥片32点が出土している。図化できた遺物は少ないが、鉄床石（1401）が出土している。

SA-08（第91図）

直径5.8～6.1mの円形基調とする間仕切り住居で、5ヶ所の突出がある。深さは20cmほどで、内区はさらに26～34cm下がる。内区は長径3.6m・短径2.35mの歪な円形である。南壁の斜面には検出面下46cmにテラスがあり、階段状の入口を想定させる。外区には厚さ10～20cm、内区には20～30cmの貼床がある。南縁は調査区外であり詳細不明であるが、中央～西側は掘削されていない可能性がある。南西部には長径1m・短径70cm・深さ23cmの土坑が、南東部にも長径60cm・短径46cm・深さ54cmの土坑があるが、用途は不明である。主柱穴は2本（P1・2）で、直径25～35cm・深さ47・58cmを測る。P1の西にも深さ20cmのpitが、北には長径70cm・短径40cm・深さ63cmの土坑があり、長さ13cm・幅8cmの白色粘土塊が入っていた。

出土遺物は、縄文土器片7点のほか、弥生時代終末～古墳時代前期の土器片531点、石器・剥片が95点、炭化堅果類3点がある。縄文土器と石器の殆どはVI層掘削土内の遺物である。

SA-09（第96図）

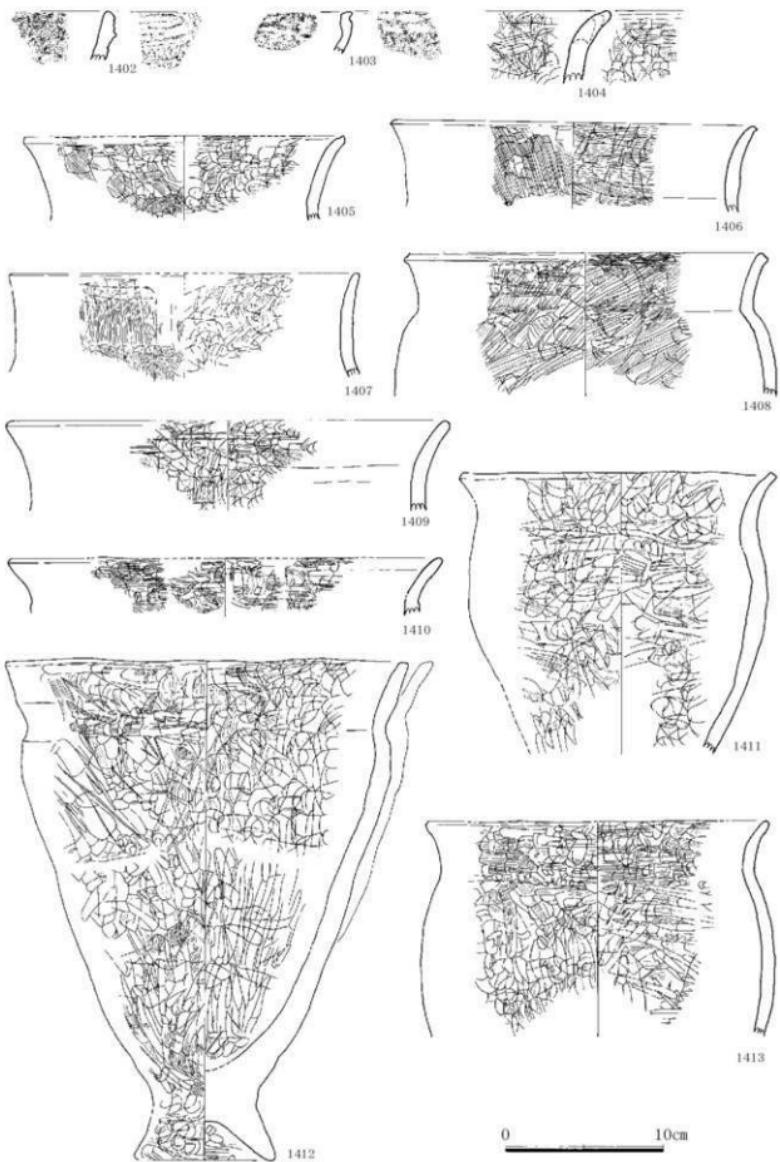
10号住居を切る東西4.8m・南北4.44mの円形基調とし、南縁が直線的な住居である。検出面から18～24cmが床面で、北側のみ幅22～30cm・深さ5～10cmの壁溝がある。中央には、幅28～56cm・高さ14～18cm・内底径0.98×1.12mの環状土手が削り出しと若干のIV層塊とIII層土盛土によって整形されている。炭や焼土は顕著ではないが、炉として機能したと思われ、いわゆる周縁帯をもつ土坑である。⁽¹⁾ 南西部には、長径66cm・短径54cm・深さ34cmの土坑が、その1.65m東には、長径79cm・短径74cm・深さ32cmの土坑があり、住居に伴う。2層とIV～V層との識別が困難であったが、VII層上面まで掘り下げた結果、中央部において長径70cm・短径55cm・深さ20cmの土坑状掘り込みが、南西土坑のさらに西において長径57cm・短径48cm・深さ14cm（検出面からは40cm）の土坑状掘り込み等を検出したが、縄文時代早期の遺構もしくは擾乱の可能性がある。

出土遺物は、縄文土器片35点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器117点、石器・剥片48点がある。縄文土器と石器の殆どは、VI層掘削土内の遺物である。

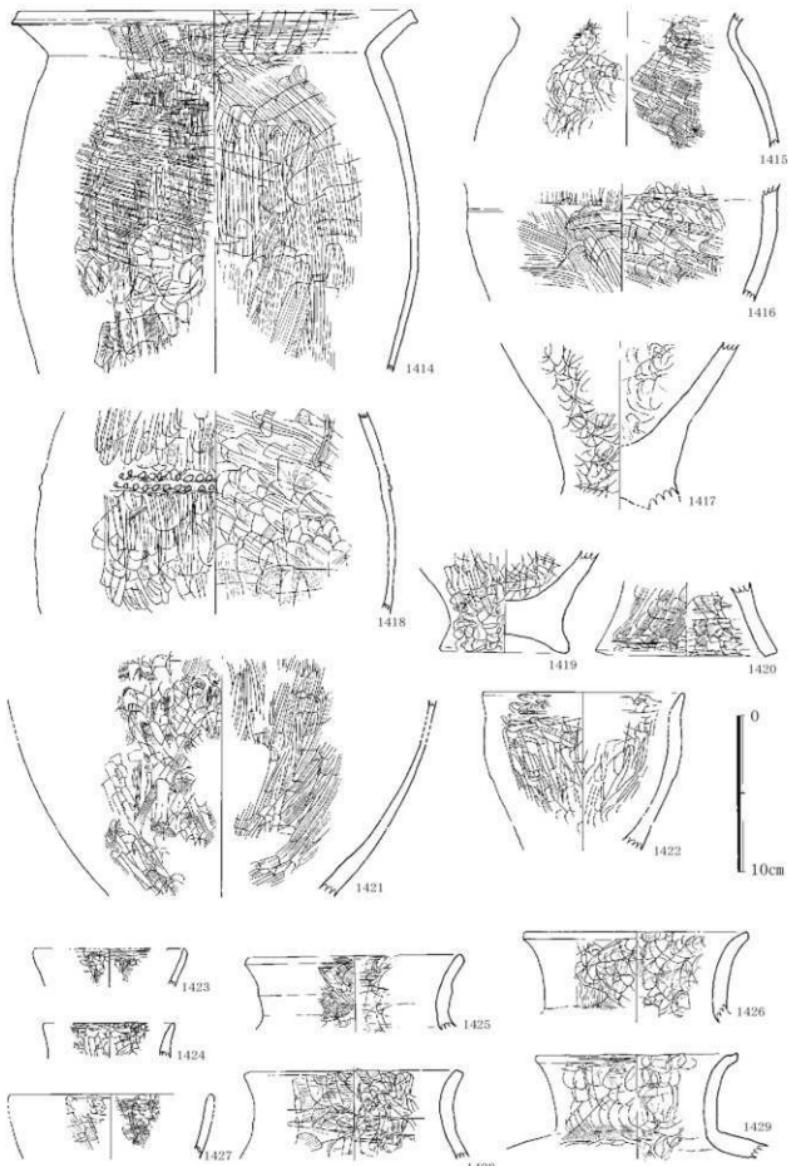
SA-10（第98図）

長径5.08m、短径4.20mの不整梢円形を呈し、検出時にはすでに炭化材と炭化堅果類が多量に確認された。覆土を掘り下げると直径5～10cmの細い炭化材が北西部に集中して、直径20cm内外の炭化材が中央東寄りに放射状に、その他小炭化材と焼土塊が点在し、南側直径2.5×2.7mの梢円形の範囲に炭化堅果類が集積していた。

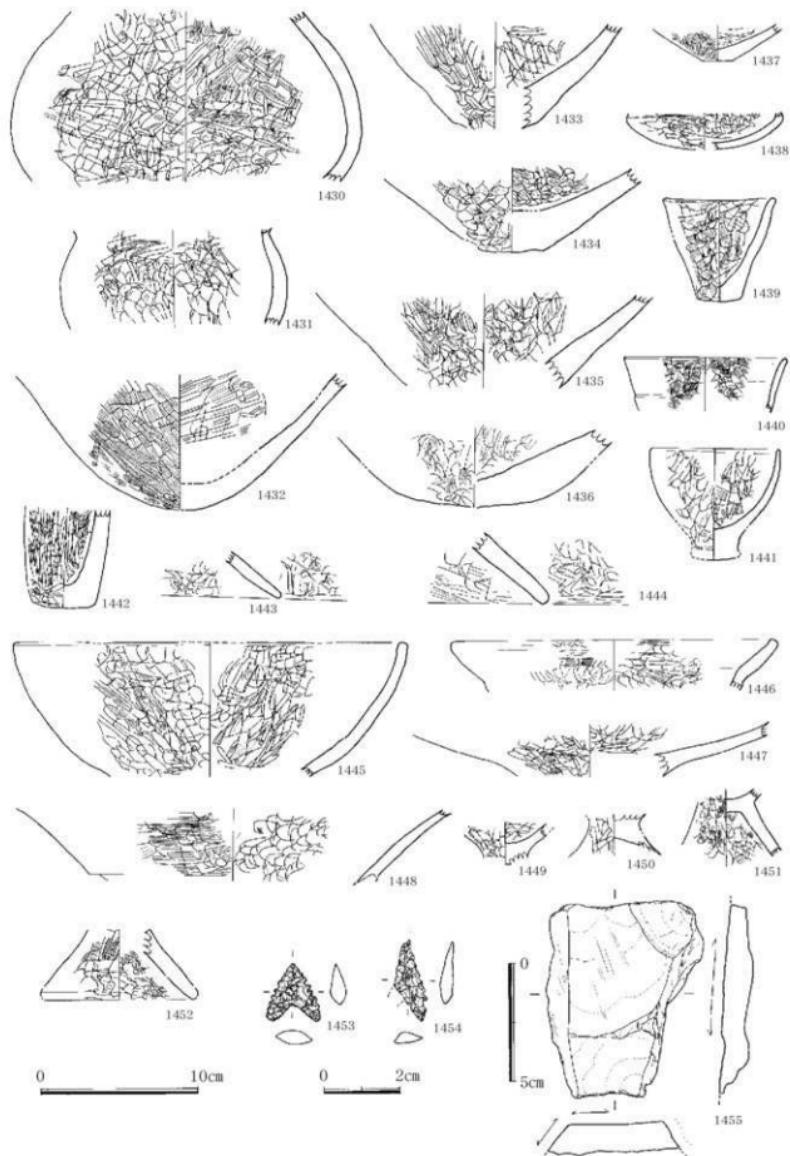
覆土は18～20cmで貼床の床面に達し、外区の床面はU字型で内区はさらに20cm下がる。削り出しと貼床によって09号住居と同様の環状土手を形成し、中央土坑を構築している。周縁帯は幅42



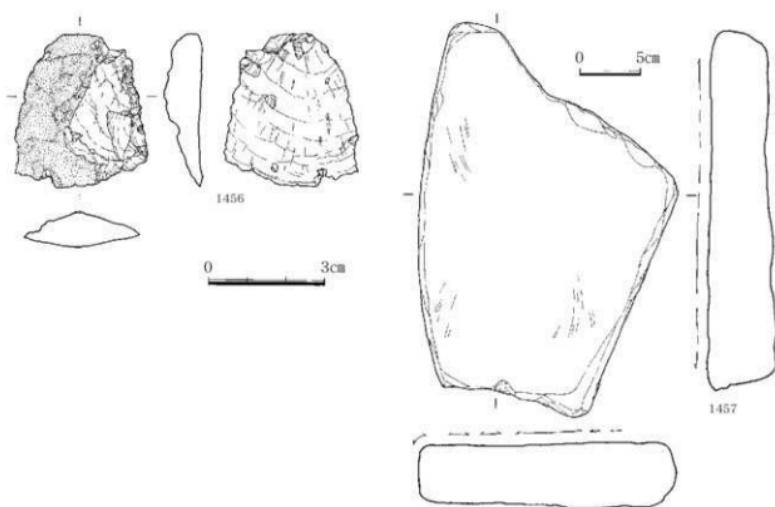
第92図 SA-08 出土遺物実測図(1)



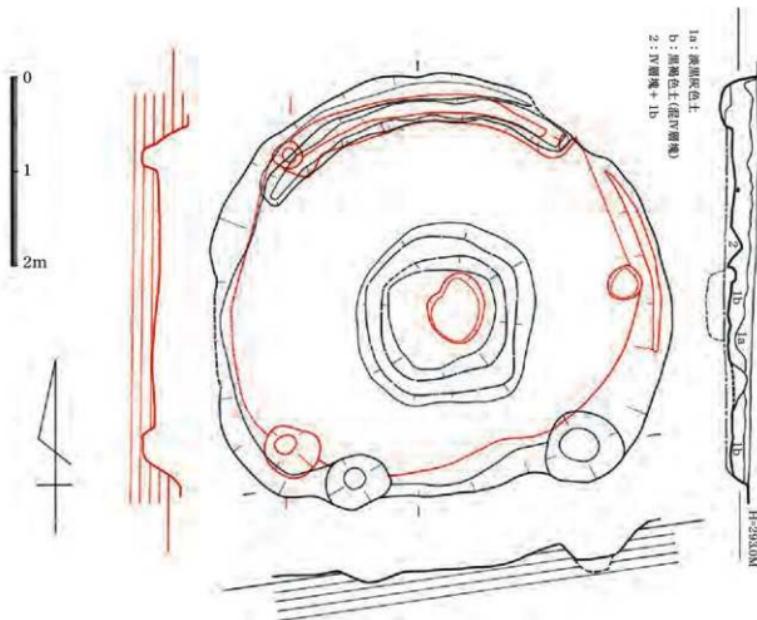
第93図 SA-08 出土遺物実測図(2)



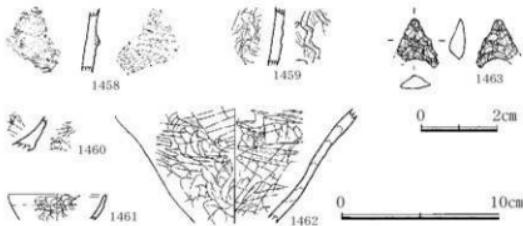
第94図 SA-08 出土遺物実測図(3)



第95図 SA-08 出土遺物実測図(4)



第96図 SA-09 遺構実測図



第97図 SA-09 出土遺物実測図

~75 cm・高さ 30 cm前後で内底は径 1.5mほどの不整圓丸五角形を呈し、北寄りに、長径 40 cm・短径 30 cm・深さ 61 cmの柱穴状遺構を検出した。

出土遺物は、縄文土器片 109 点のほか、弥生時代終末の土器片 510 点、鉄器 1 点、土器片加工円盤 1 点、石器・剥片 198 点のほか、多量の炭化物がある。図化できた遺物は少なく、縄文土器と石器の殆どは VI層掘削土内の遺物である。

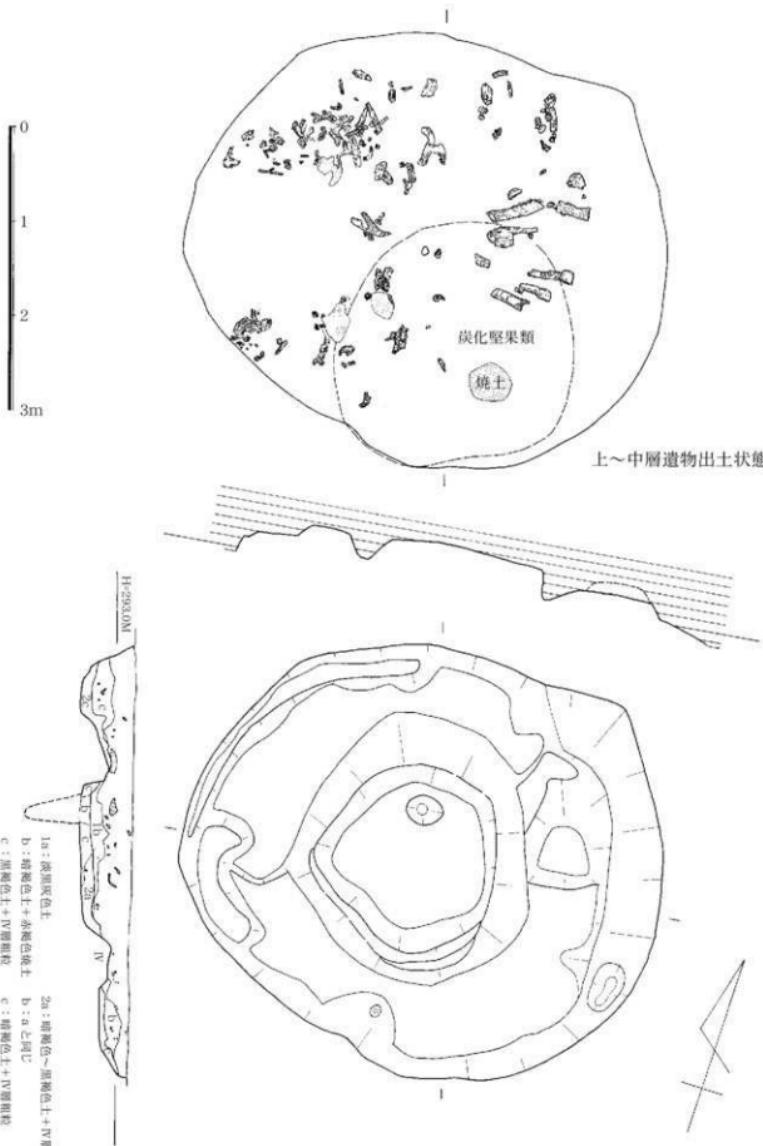
堅果類は、内法 53.6 cm × 33.6 cm × 9.8 cm のコンテナに 7 分目ほど出土した。残存率 1/2 ~ 1/8 程度のものも完形換算すると、総個体数は 14,000 個ほどである。果皮は 121 個と碎細片 277 片しか遺存していないが、天日乾燥による亀裂が見られないことから、採取・天井保管後まもなく火災に逢った感を受ける。樹種別分類は困難であるが、アラカシが半数を占め、ツブライジが約 2,500 個、スダジイ・シラカシ・イチイガシが約 4,500 個およびクヌギ 1 点である。このうちアラカシとシラカシ・イチイガシ・クヌギはアク抜きが必要なので、別々に収納されていた可能性が高いが、検出面では殆どがアラカシのように見え一括で取り上げるために推定の域を出ない。大粒でアク抜き不要のマテバシイや栗が出土していないのは、真先に消費したためと思われる。また、クヌギは現在では 2 cm 強のものもあり、薄い果皮で効率が良く、天日干し 2 ~ 3 日で三方に割裂して容易に渋皮まで除かれることからマテバシイに次ぐ採集・消費が想定される。

鉄鎌 (1500) は、凹基長五角形で長さ 28mm、幅 17mm を測る。中央付近には、4.5 mm 間隔に 2 孔を設けている。

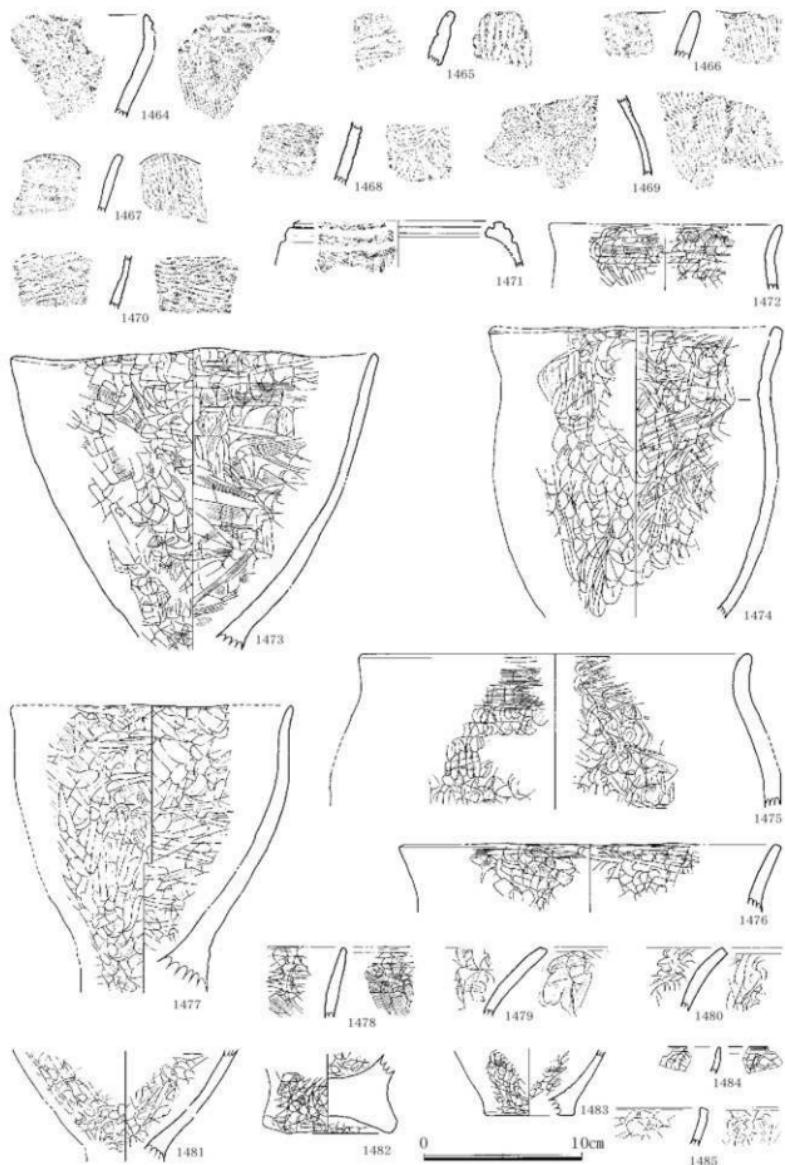
SA-11 (第 101 図)

東西 5.02 ~ 6.85m、南北 5.2 ~ 5.4m の台形基調の間仕切り住居で、南中央部は南へ 30 cmほど突出する。突出幅は、擾乱を受けて不明である。覆土は 30 ~ 40 cm 遺存するが、外区には貼床が無い。西中央部と東中央寄りに間仕切りがあり、北東隅にも突出がある。貼床は幅 4.2m で不整形方に 6 ~ 18 cm 施され、主柱穴 4 本が南寄りに検出された。主柱穴は、直径 26 ~ 40 cm・深さ 39 ~ 46 cm を測り P 1 と P 2 が中軸に設定され、P 3・4 が平面プランと相似の長方形の位置に設定されている。P 4 の南には長さ 94 cm・幅 50 cm・最深 27 cm の土坑状掘込があるが機能は不明である。

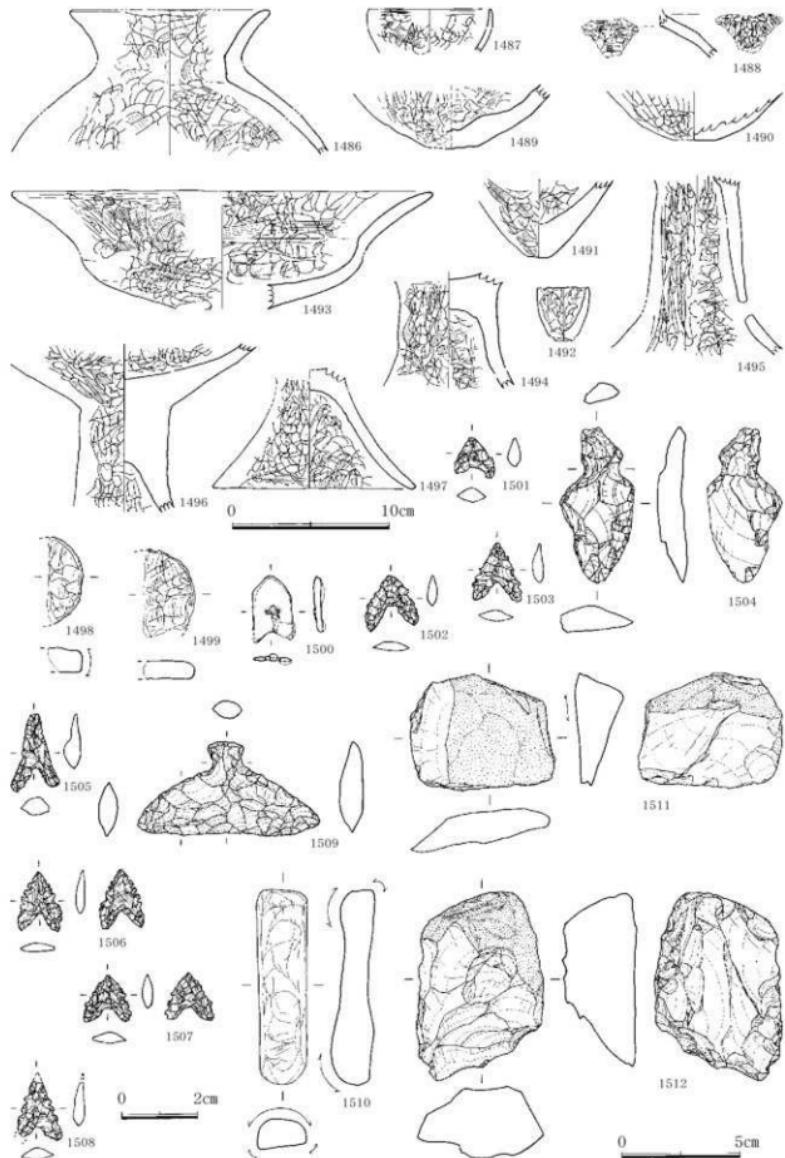
出土遺物は、縄文土器片 41 点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片 354 点、石器・剥片 190 点がある。縄文土器と石器の殆どは、VI層掘削土内の遺物である。



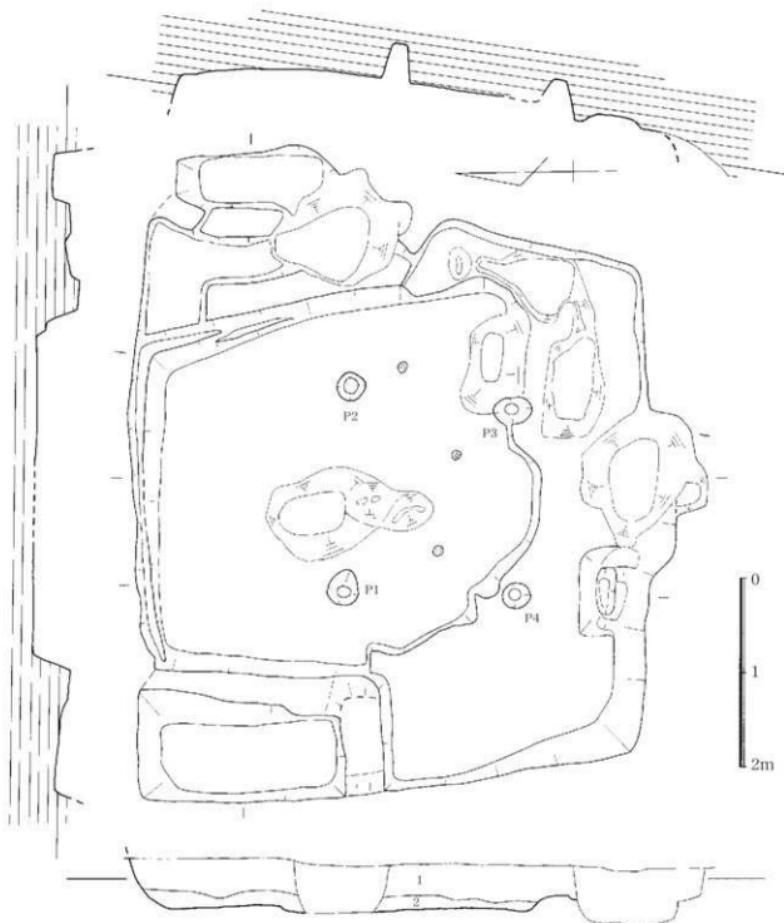
第98図 SA-10 遺構実測図



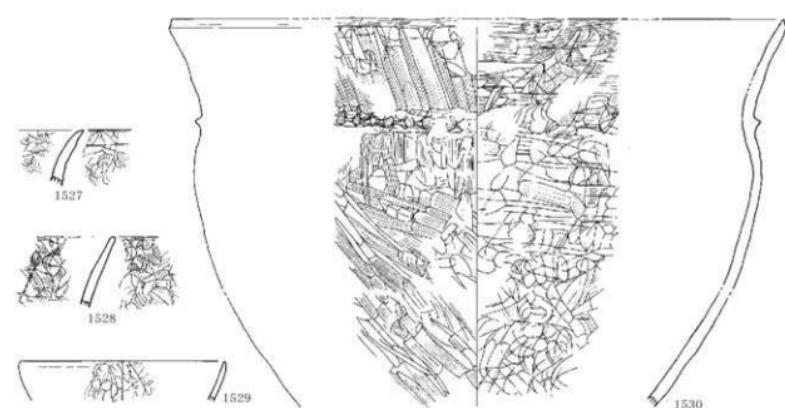
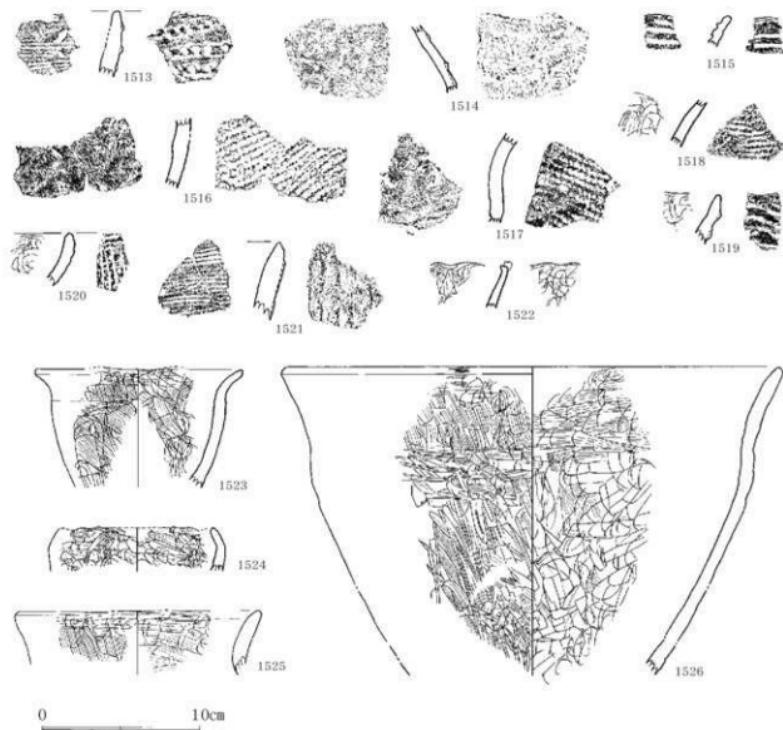
第99図 SA-10 出土遺物実測図(1)



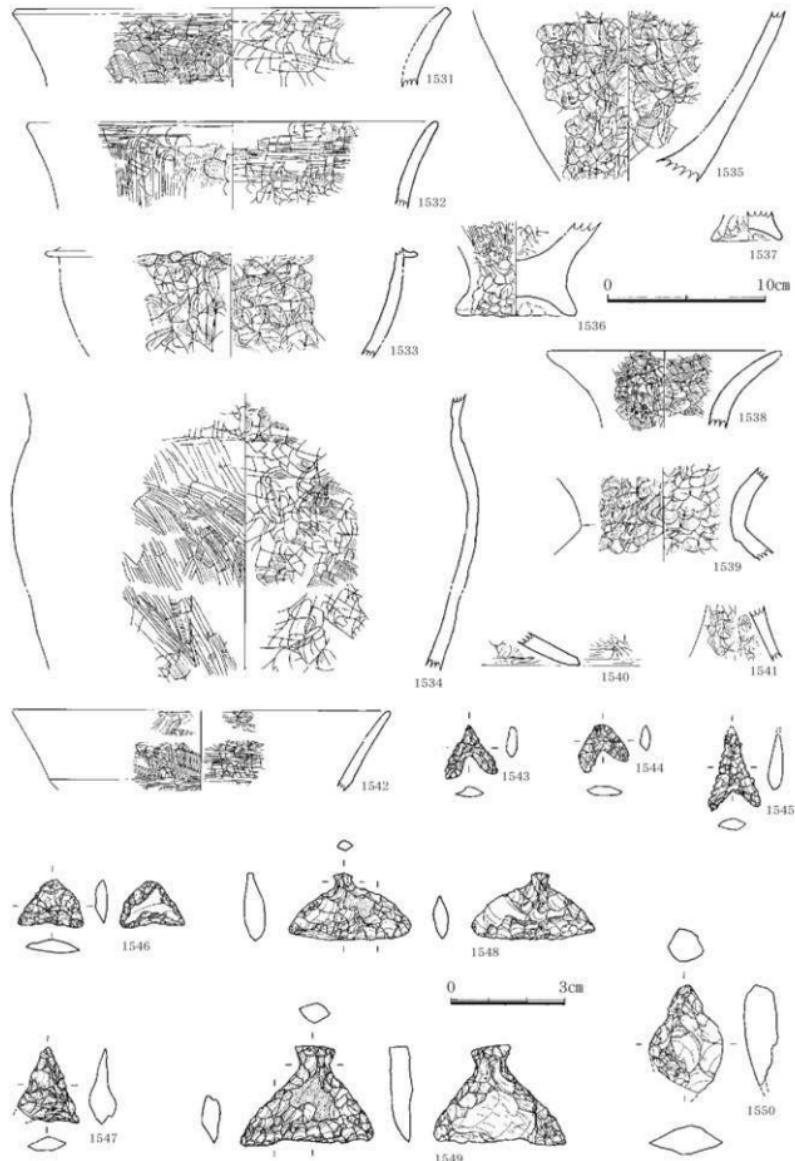
第100図 SA-10 出土遺物実測図(2)



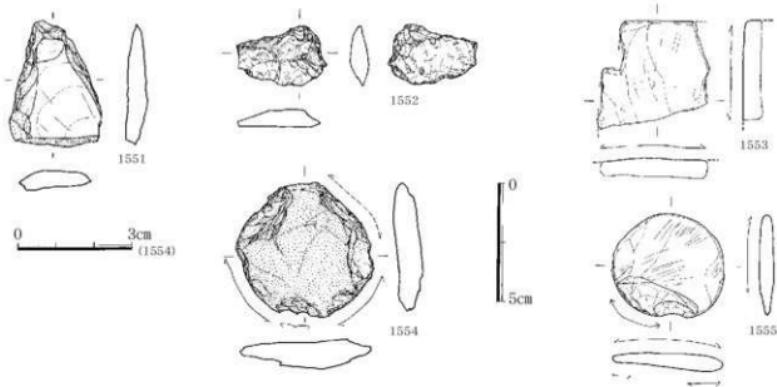
第101図 SA-11 遺構実測図



第102図 SA-11 出土遺物実測図(1)



第103図 SA-11 出土遺物実測図(2)



第104図 SA-11 出土遺物実測図(3)

SA-12 (第 105 図)

北東部を 11 号住居に切られ、西側 2/3 が 20 cm ほど削平され、1 筆境の構と 1 m おきの南北方向のトレンチャー・座棺墓に擾乱されているために、遺存状態が悪い。東西 6.6m 前後・南北 6.8m の方形基調の間仕切り住居で、東辺に 2ヶ所、南辺に 1ヶ所の突出部は認められたが、P 1 の北側以外の P 4 の南・南西方向・西方向の幅 20 cm ほどの突出形状は擾乱の影響を受けなかった可能性が強い。内区は、東西 3.2m・南北 2.5m の不整台形～五角形状に 43 cm 下げられ、10～17 cm の貼床がある。中央には、直径 64 cm・深さ 8 cm ほどの掘込炉を有する。主柱穴は 4 本 (P 1～4) で、直径 30～50 cm・深さ 54～86 cm を測る。

出土遺物は、縄文土器片 82 点のほか弥生時代終末～古墳時代前期の土器片が 283 点、石器・剥片が 121 点ある。縄文土器と石器の殆どは、VI 層掘削土内の遺物である。

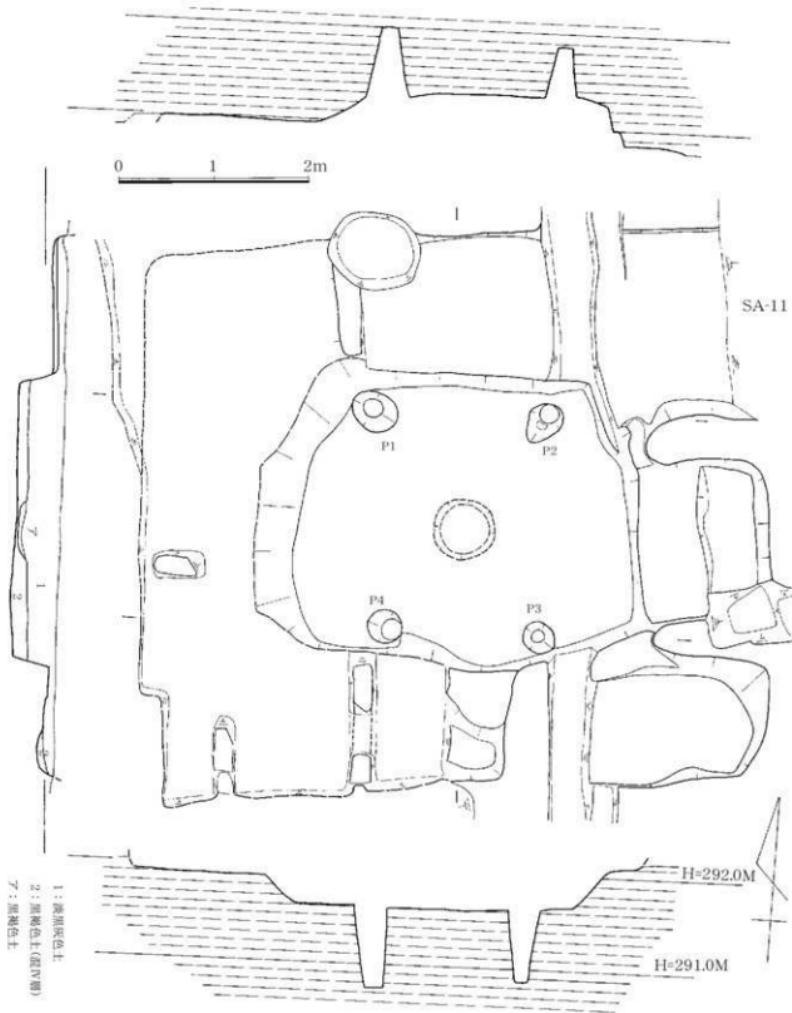
SA-13 (第 107 図)

平面プランは、10～20 cm の削失とトレンチャーと擾乱によって不明瞭であるが、検出時、東辺中央寄りに突出部があることは確認できている。覆土を 14 cm 下げると床面になり、内区が検出された。内区は、長さ 2.5m・幅 1.6m の長方形を呈し、4～10 cm の深さを測る。中央部は 8 cm 堀り下げられ、炉の存在を窺わせる。貼床は 10～20 cm 施され、除去すると、小 Pit 2 を検出したが、主柱穴の確証が無い。

出土遺物は、縄文土器片 32 点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片 403 点、石器・剥片 63 点がある。縄文土器と石器の殆どは、VI 層掘削土内の遺物である。

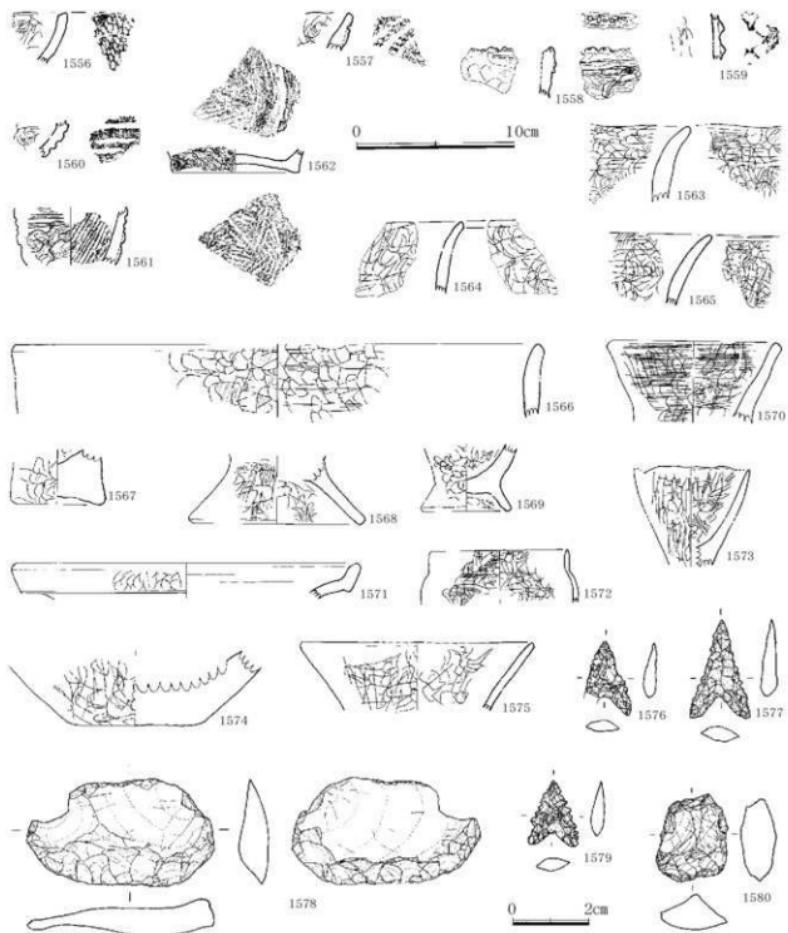
SA-14 (第 109 図)

12、13 号住居の南方に位置し、20 cm 程の削失とトレンチャーによって、内区と外区の一部のみ遺存していた。内区は南北 2.36m・東西 2.12m の長方形を呈し、20～30 cm の深さがある。底面の北



第105図 SA-12 遺構実測図

寄りに直径 24~34 cm、深さ 24・35 cm の主柱穴がある。内区の中心と南東部の外区とを勘案すると、東西 6.3m・南北 6.9m の方形基調の間仕切り住居と推定される。南中央の外区は奥行が 90 cm しかなく、出入口と推定される。



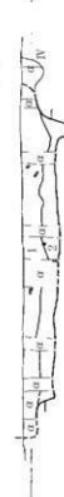
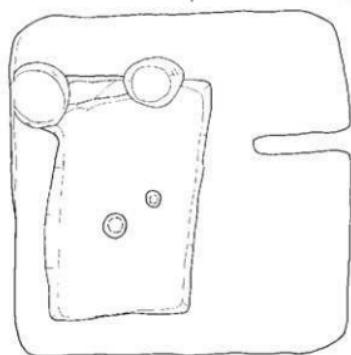
第106図 SA-12 出土遺物実測図

出土遺物は、縄文土器片3点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片103点、石器・剥片5点がある。

SA-15 (第111図)

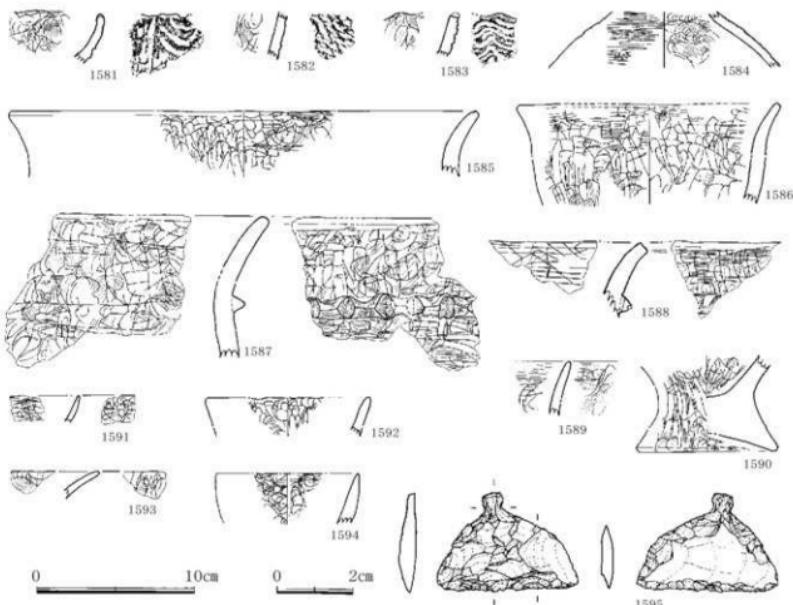
長さ2.91m・幅1.95mの隅丸長方形を呈し、深さ8～13cmで、貼床は無い。長軸の壁中央に主柱穴2(P1・2)を検出した。規模は、直径28～30cm・深さ57・61cmを測る。中央には長径55

0 1 2m

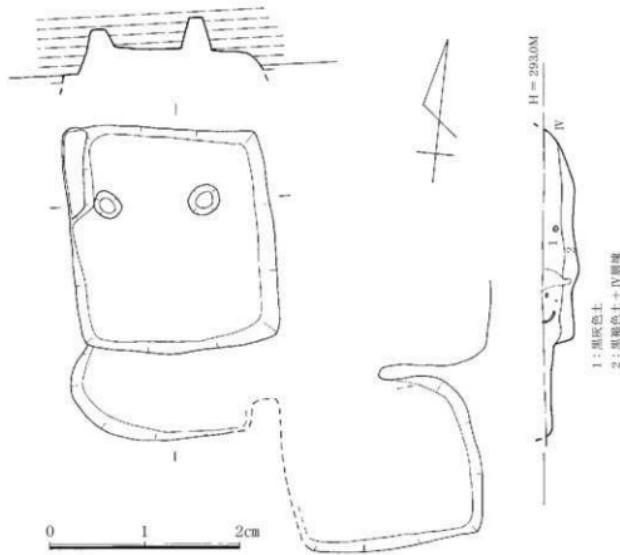


1: 黒灰色土 α: 混乱
2: 1 + IV層塊

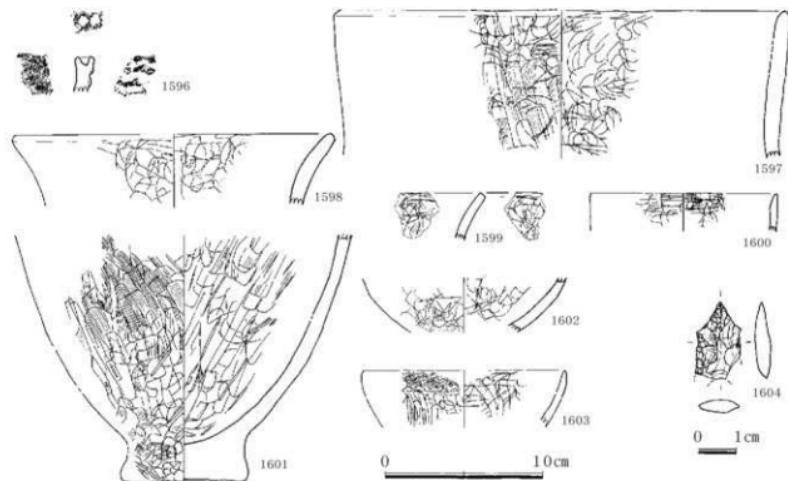
第107図 SA-13 遺構実測図



第108図 SA-13 出土遺構物実測図



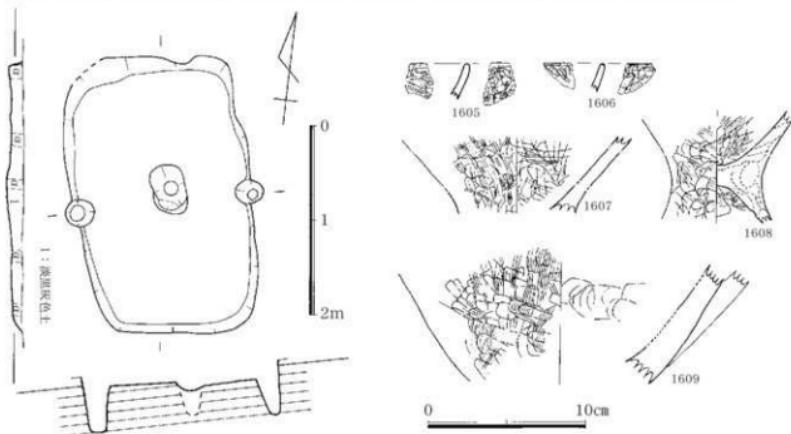
第109図 SA-14 遺構実測図



第110図 SA-14 出土遺物実測図

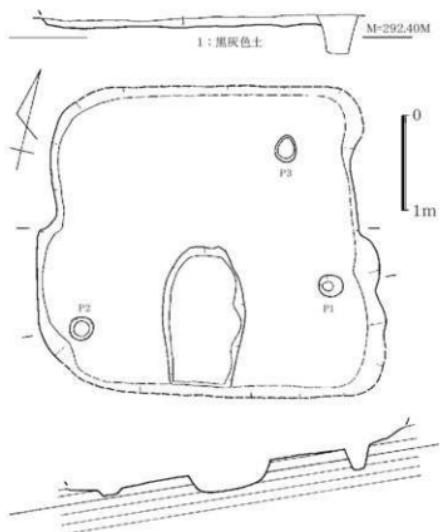
cm・短径32cm・深さ38cmのPitがあり、ロクロピットの可能性がある。主柱穴の間隔から、1辺5.6m程の方形基調の間仕切り住居と推定する。

出土遺物は、縄文土器2点のほか、弥生時代終末～古墳時代前期の土器小片50点がある。



第111図 SA-15 遺構実測図

第113図 SA-15-16 出土遺物実測図
1605・1606
SA-15



第112図 SA-16 遺構実測図

S A-16(第112図)

20cm程の削平とトレンチャーによつて北壁と南壁の掘形が消失している。遺存する壁も屈曲するが、東西3.6m・南北3.3mの隅丸方形プランと推定する。覆土は10cmほど遺存し、貼床は無い。
P 1は、直径21~26cm・深さ25cmで主柱穴と言えようが、P 2は深さ7cm・P 3は深さ4cmで、浅すぎる。南中央には、壁から中央付近まで達する長さ1.44m・幅62~86cm・深さ17~20cmの土坑があり、炉の一型態と思われる。

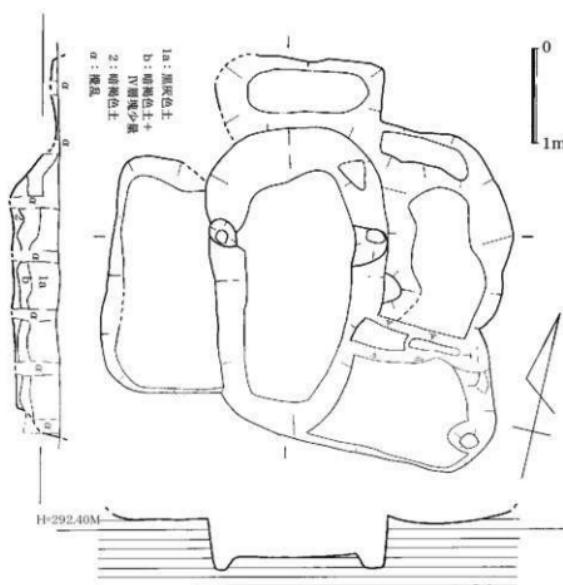
出土遺物は少なく、縄文土器片1点と弥生時代後期～古墳時代前期の土器片62点がある。

SA-17 (第 114 図)

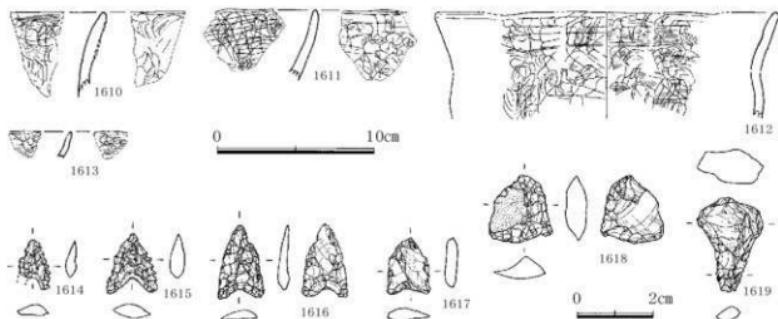
10 cm 程の削平を受けているが、形状は保っている。東西 4.1~4.2m、南北 4.04m の方形基調の間仕切り住居である。覆土は 6~15 cm 遺存し、内区は、長径 3.2m・短径 1.82m の北側が広い倒卵型を呈し、深さ 20~30 cm で床面になる。貼床は、5~10 cm の厚さがある。中央やや北寄りの肩部

に、深さ 13~17 cm の主柱穴が穿たれる。

出土遺物は、縄文土器片 34 点のほか、弥生時代終末～古墳時代前期の土器片 118 点、石器・剥片 135 点がある。縄文土器と石器・剥片の殆どは、VI 層掘削土内の遺物である。



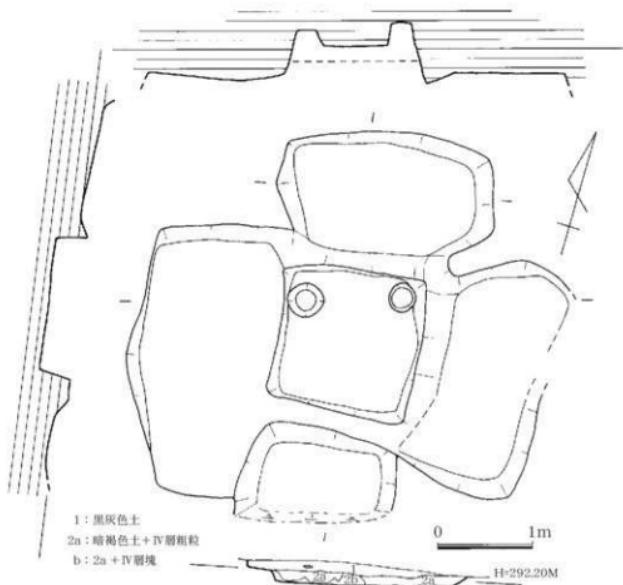
第 114 図 SA-17 遺構実測図



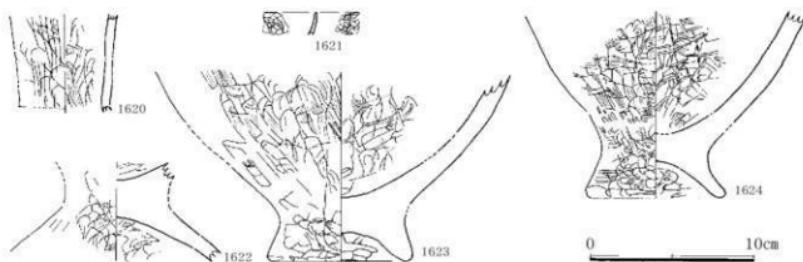
第 115 図 SA-17 出土遺物実測図

SA-18 (第116図)

10 cm程の削平と、近現代の坑やトレンチャーによって擾乱されているが、東西4.34m・南北4.1m以上の方形基調の堅穴建物である。四隅は掘削されず、北東部のみ突出部がある。内区は1辺1.36～1.6m、平均1.5mの方形を呈し、28～33 cmの深さがある。写真で見ると、遺物は中位にあり、下層はIV b 層塊が主であるので貼床と思われる。北寄りには、直径28～37 cm・深さ18・30 cmの主柱穴がある。



第116図 SA-18 遺構実測図



第117図 SA-18 出土遺物実測図

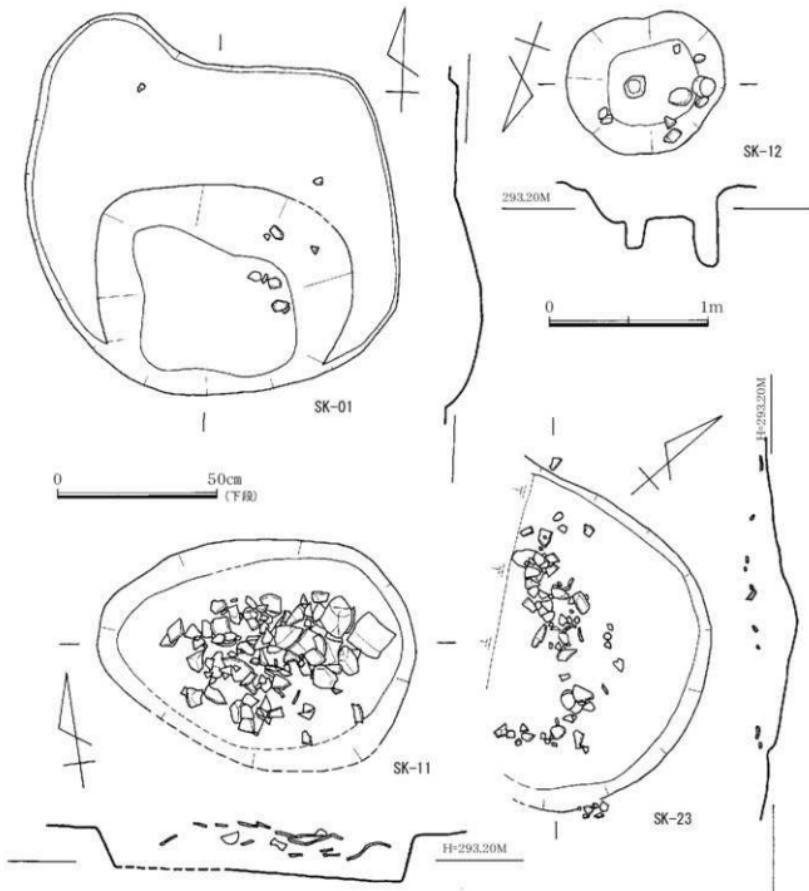
出土遺物は、弥生時代終末～古墳時代前期の土器片 50 点がある。

SK-16 (第 119 図)

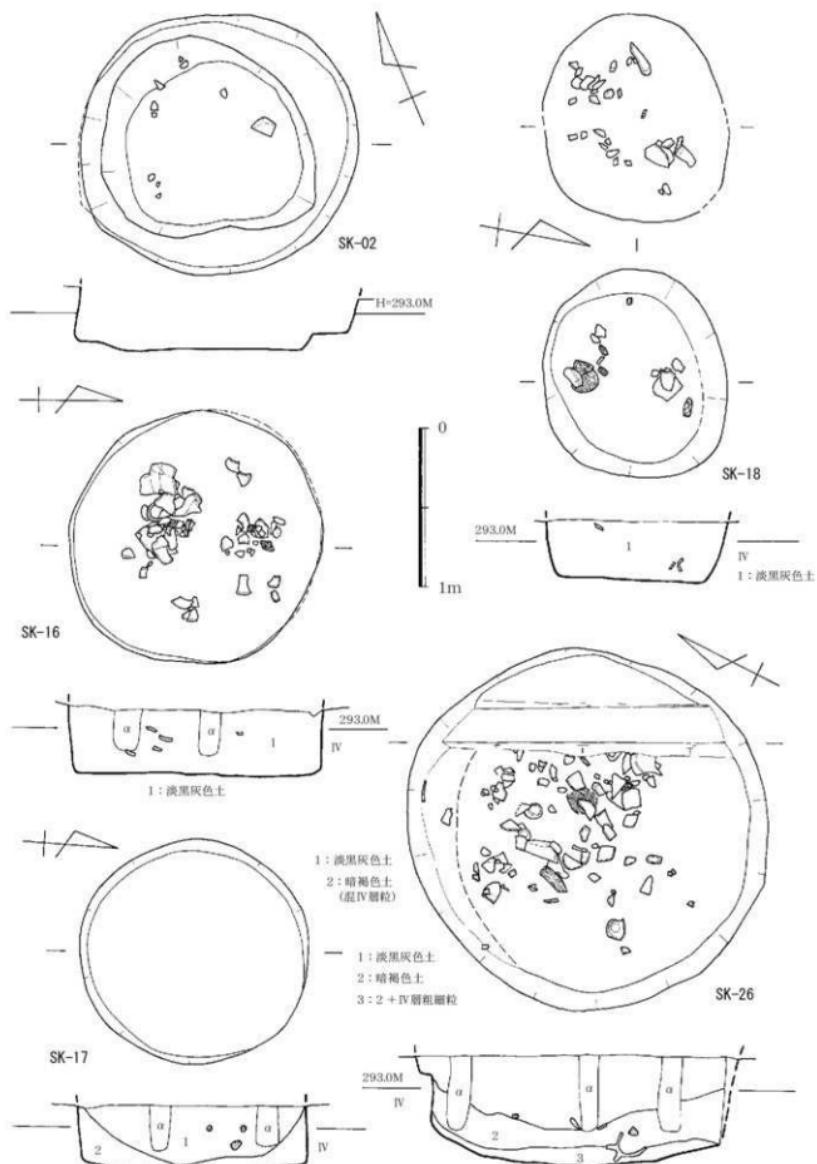
直径 1.52～1.66m の円形土坑で、深さ 40 cm が遺存する。覆土から、縄文土器片 3 点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器が 89 点出土している。

SK-17 (第 119 図)

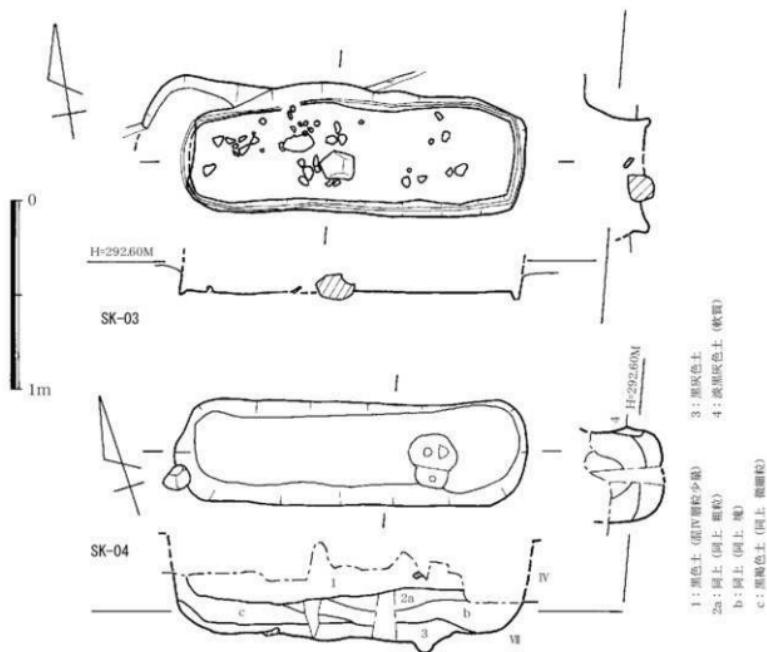
直径 1.4m の円形土坑で、深さは 42 cm である。覆土から、縄文土器片 4 点と弥生土器片 10 点が出土している。



第118図 SA-01・11・12・23 遺構実測図



第119図 SA-02・16~18・26 遺構実測図



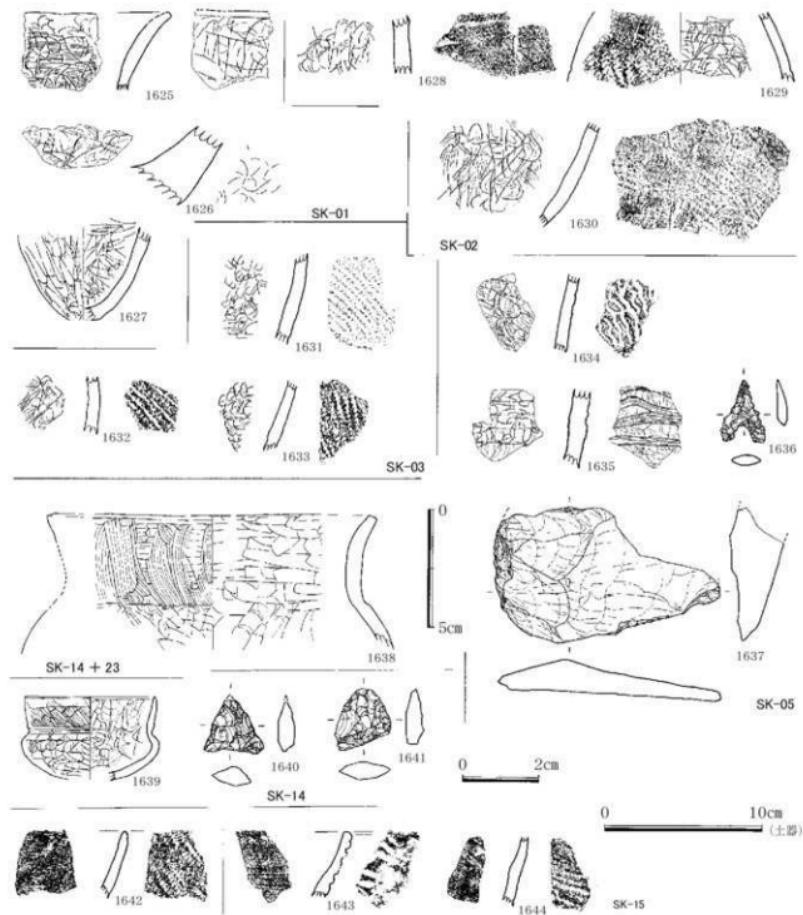
第120図 SK-03・4 遺構実測図

SK-18 (第119図)

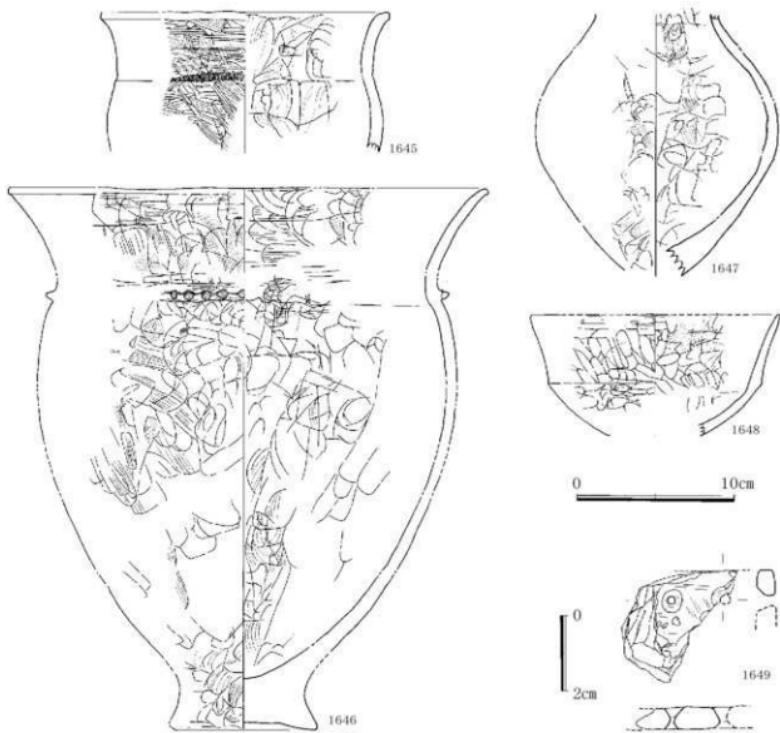
長径 1.34m・短径 1.15m の楕円形を呈し、深さ 34~38cm を測る。覆土から、縄文土器 2 点のほか、弥生時代後期～古墳時代前期の土器 77 点、剣片 13 点、石庖丁 1 点 (1665)、鐵鎌頭部と推定されるもの (1664) が出土している。

SK-26 (第119図)

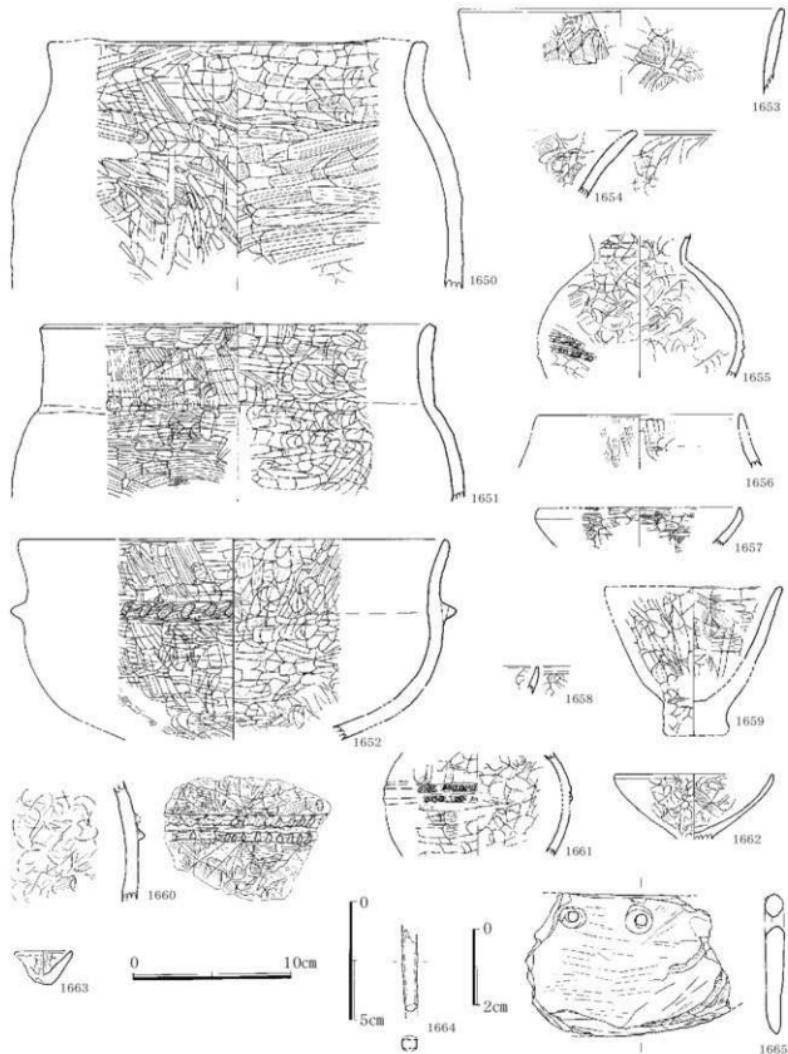
遺構検出の誤認により、セクションの位置が西に片寄った。直径 2.2m の円形を呈し、深さ 70 cm が遺存する。覆土から、弥生時代後期～古墳時代前期の土器片 90 点が出土しているが、殆どが流入である。



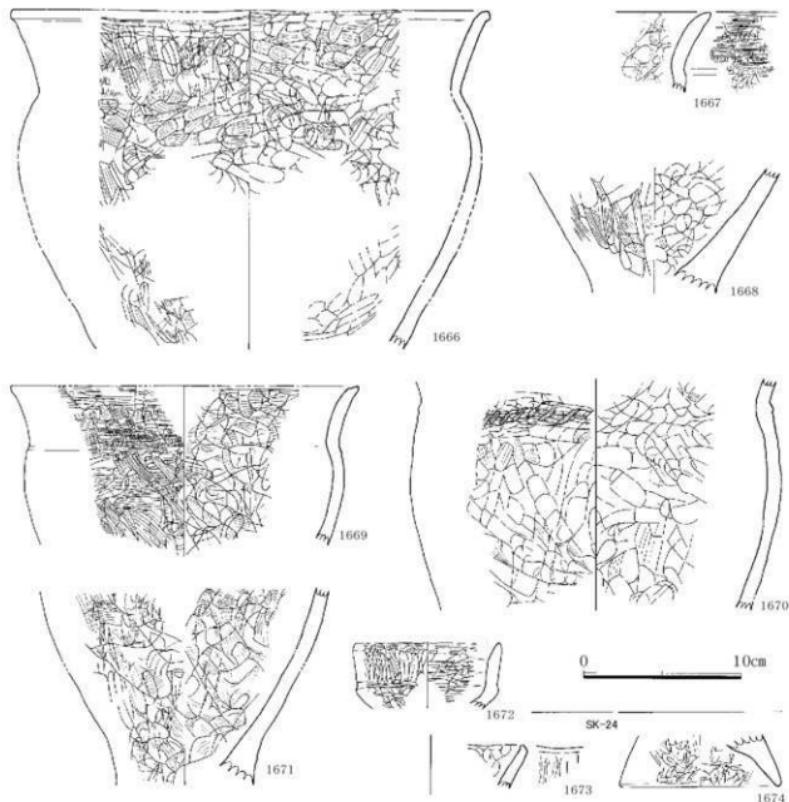
第121図 IV~VI区 SK 出土遺物実測図



第122図 SK-16 出土遺物実測図

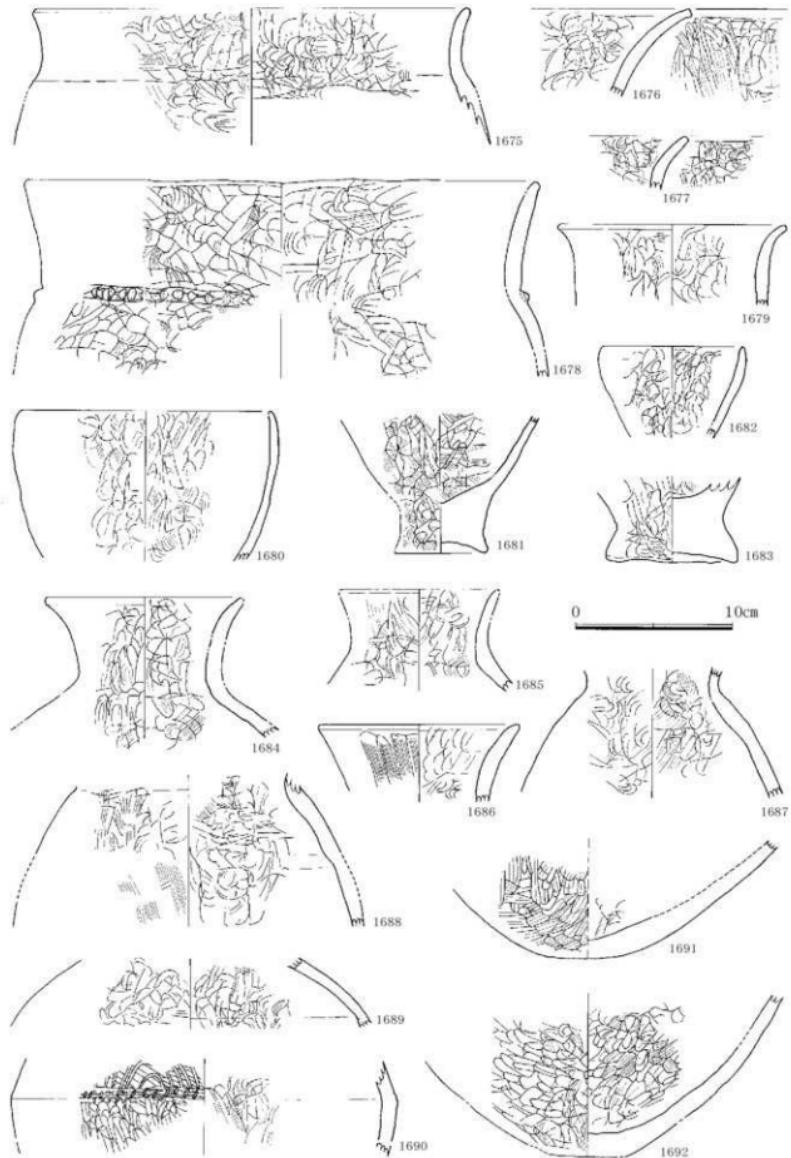


第123図 SK-18 出土遺物実測図

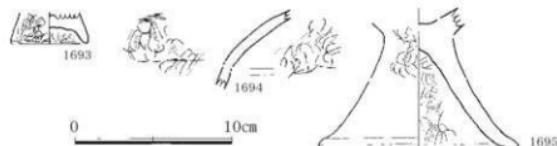


第124図 SK-23-24 出土遺物実測図

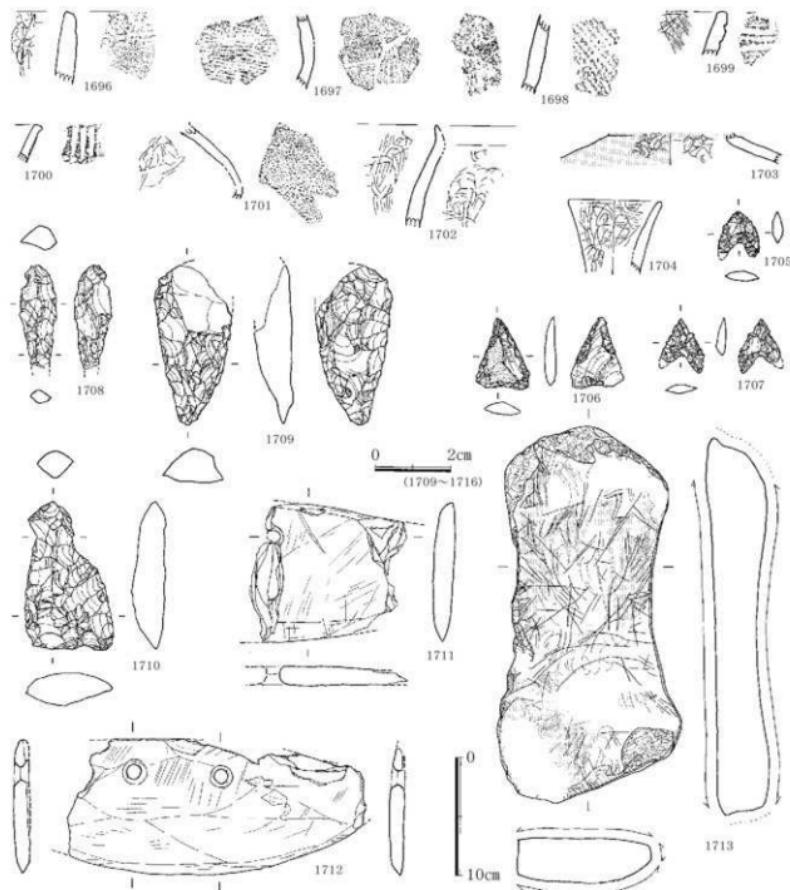
1666~1672:SK-23



第125図 SK-26 出土遺物実測図(1)



第126図 SK-26 出土遺構実測図(2)

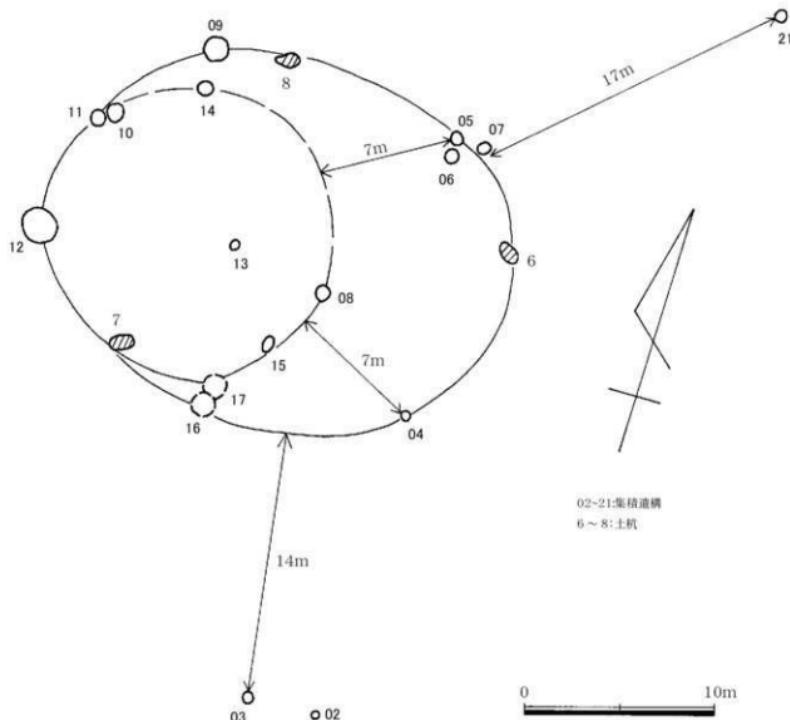


第127図 V~VII区 出土遺物実測図

第8節 まとめ

縄文時代草創期～早期初頭の岩本式土器の出土は本市で唯一の遺跡であり、早期前半の前平式・吉田式土器等の出土は妙見遺跡に次ぐものである。また、纏まつた数の集石遺構を検出した遺跡は、当遺跡だけであり、本市の縄文時代を語るうえでは重要な遺跡である。

集石の原材は 09 号集石の 12m 以西の斜面に露出しており、その殆どは砂岩質で、無限にある。04 号～07・09・11・12・16 号集石と 06～08 号土坑は、長径（東西）25m・短径（南北）20m の楕円形軌道に点在しているようにとらえることができて（第 128 図）、偶然とは言い難い。これが正しいとすれば、05～07・10・11・17 号集石は新旧があるものの、定位置に設定されたものといえる。環の軌道上にある 06～08 号土坑も何らかの機能をしていたはずで、未使用の基底土坑か焼窯再使用の為に殆ど持ち出された集石基底土坑の可能性が高い。環状分布集石群の中にある 08 と 14・15 号はさらに内側に環として存在した可能性もあるが、18 号や 21 号等と同様、環崩壊後もしくは環配置以前と考えられる。



第128図 I 区 縄文時代早期の集石と土坑 環状配置想定図

環状分布集石群と 03 号集石間は 14m、07 号集石と 21 号集石間は 17m あり、二重環になる可能性は低く、環状分布集石群以外の集石は年代が異なると推定される。04・06・07・10・11・14・18・19・21 号集石の周囲の礫は少なく、他の集石の礫を再利用した可能性もある。多量の焼礫に混じり、早期全般にわたる土器片と石器や剥片・チップが多量に出土したが、磨製石斧を伴わない集落としては珍しい遺跡と言える。石器づくりの簡易小屋は倒木や流木を利用し、伐採に要する労力を他に注ぐ様が想定される。

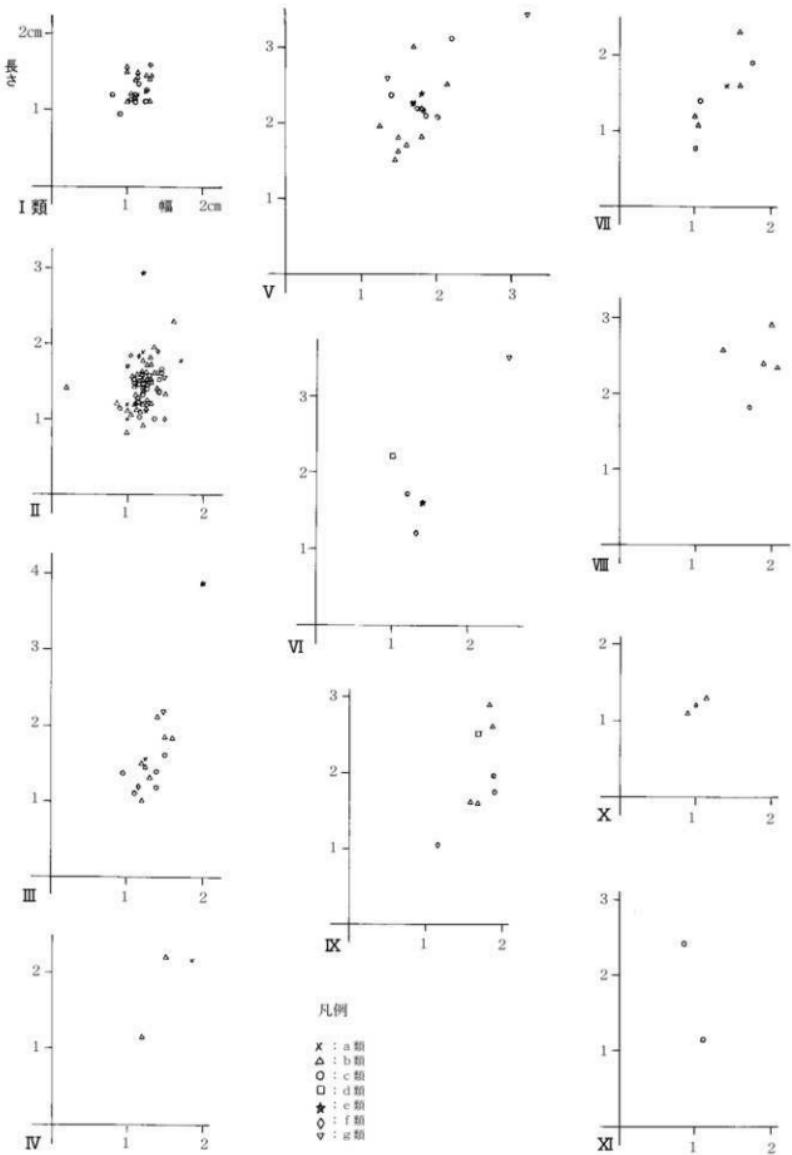
本遺跡の特異な遺物として石鎌模倣品および未製品が掲げられる。橢円形の扁平河原石の周辺加工を基本とし、大小様々であるが、IV 区出土の成品の平均長は 4.0 cm で、側辺は凸刃、茎部は平基～円茎で砲弾型を呈しエッジの鋭さや厚さ、研磨の度合いは様々である。機能的には石鎌とは言い難い。反面、出土地は限られ、管見では熊本県人吉市村山闇谷遺跡で 11 点出土しているのみである。加栗山遺跡では円基の磨製石鎌が出土しており、型態のみ類似する。I 区出土品は全て未製品もしくは失敗品と思われ、IV 区出土品が成品であることは重要であり、I 区（キャンプ）で製作したものを IV 区地点で消費していることも考えられるが、使用方法を推定させうる出土状態ではない。

縄文時代早期の遺跡における原石・石核・石器・剥片・チップの総計としては、当遺跡から 5.5 km 西北西に位置する妙見遺跡に次ぐものである。妙見遺跡では、打製石鎌 519 点（十約 100 点が現地説明会中に盗難）のほか石鎌未製品 251 点（うち 27 点は素材状原礫に直接押圧剥離）、原礫 1256 点、剥片・チップ 14766 点が出土している。これに相応するように縄文土器も大量に出土している。石器の実測図は極く一部であるが、扁平な小礫に直接剥離調整を加えるものがあることや素材剥片を生産できないほど小さい原石や、風化した小剥片の存在を指摘されている。⁽²⁾ 原石の採取や交易、石器生産を究明する時の重要な着眼点であり、本遺跡と同様の解釈である。

長さ 3.5 cm を越える大型利器はホルンフェルスや頁岩・粘板岩の転石を使用しており、段丘礫層や河原への直接採取であろう。

打製石鎌は小型の製品が多く、長さ 7 mm のものが最小である。法量によって狩猟対象物が異なる民族例もあるが、山腹においてトリカブトが採取できることから、縄文時代においても狩猟への利用が推定され、獲物を負傷できれば追尾して獲得できたと思われる。打製石鎌の未製品も多く、粗割と押圧剥離（第 1 次：粗整形）・第 2 次押圧剥離（仕上げ）の 3 工程における分業もしくは一定量ずつ製作していた可能性もあるが、全てが同時期の遺物ではないことから、推定の域を出ない。主として回帰的キャンプサイトとして理解される。黒曜石の原石には規格外の極小サイズもあり桑ノ木津留～間根ヶ平産の原石の入手は主として直接であり、しかも素材製作工程が省略・簡略できる小型のものを好んだと推定する。その中に、別の集団から入手した白浜産や日東・上牛鼻産の黒曜石、チャート・玉髓等が若干混じることが想定される。

縄文時代前期から弥生時代後期前半までは不毛の地である。アカホヤ火山灰降下後、クロボクが 10 cm 程度堆積し、土壤改良や施肥を行い穀物が生産できるようになった後期後半、間仕切り住居を構築する集落が営まれる。09・10 号住居中央で検出した環状土手（周縁帯をもつ土坑）は管見では



第129図 I区VI層出土 打製石器 基部タイプ別法量図

九州では1例⁽³⁾あるので将来的には増加するであろうが、稀少であることはまちがいないと思われ、伊予から直接波及したものであろうか。高坏の脚には円形透しがあり、市内では稀である。石庖丁の所有は、北面の谷水田もしくは段丘面での隣稲であろう。

註

- (1) 高野陽子「弥生時代における堅穴住居の炉形態に関する一考察」『同志社大学考古学シリーズIX考古学に学ぶ(III)』松藤和人編 2007
- (2) 宮崎県教育委員会『九州縱貫自動車道(人吉～えびの間)建設工事にともなう理藏文化財調査報告書第2集野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡』 1994
- (3) 秋成遺跡S.I 1650 江島伸彦編『秋成遺跡 第2次調査』久留米市教育委員会 2012

表1 調文土器觀察表(1)

No	出土地	机上灰面 (付銀)	器種	底径 (mm)	調査 外側 内側	施土	施成	色調		備考	
								外面	内面		
1	13 Trw VI層	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤や 赤褐色	暗黒灰~淡黒灰	赤黒灰~灰鵝	
2	26 Trw VI層	円筒深鉢	194	—	—	工具ナメ	無施砂少量	赤や 赤褐色	暗黒灰~淡黒	暗黒灰~暗茶鵝	
3	1区6 Trw VI層	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗黒灰~暗茶鵝	油相鵝	
4	1区9.0±1.5Trw	深鉢	—	—	ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝	油相鵝	
5	1区9 Trw VI層	深鉢	—	76	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	淡黄鵝	淡茶灰
6	12 Trw VI層	深鉢	—	100	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂量	赤	淡黃鵝	淡黃鵝
21	1区 VI層	—	深鉢	190	—	粗工具ナメ	粗工具ナメ	無施砂、赤や少い、粗砂。	赤	淡茶灰~淡鵝	暗茶灰~淡灰鵝
22	1区 VI層	F7	深鉢	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量、小砂量	赤	暗茶灰~暗茶灰	暗茶灰~暗茶鵝
23	1区 VI層	H13	壺か	76	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗鵝	系鵝~暗茶鵝
24	1区 VI層	F4	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘、黑色粘少量	赤	淡灰鵝	淡灰鵝
25	1区 VI層	G4	小型鉢	132	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘少量	赤	暗茶灰~暗茶灰	暗茶灰
26	1区 VI層	—	円筒深鉢	120	—	カワリ	無施砂少量	赤	淡黃鵝~	淡黃鵝	
27	1区 VI層	—	深鉢	138	—	粗工具ナメ	工具ナメ	無施砂量	赤	暗茶灰~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
28	1区 VI層	G2	小型鉢	134	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
29	1区 VI層	H13	小型深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	淡灰鵝~茶相	淡灰鵝~茶相
30	1区 VI層	H4	深鉢	100	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘少量	赤	暗茶鵝~淡黃鵝	暗茶灰~淡黃鵝
31	1区 VI層	H4	深鉢	約200	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤や 赤褐色	相鵝	相鵝
32	1区 VI層	G6	深鉢	約200	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
33	1区 VI層	H5	鉢	190	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
34	1区 VI層	D10	深鉢	約200	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘少量	赤や 赤褐色	暗茶鵝	暗茶鵝~心や暗減
35	1区 VI層	G4	深鉢	約250	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘や少い	赤	暗茶鵝~淡茶鵝	暗茶鵝~淡茶鵝
36	1区 VI層	E7	深鉢	約260	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	淡黑灰~淡茶灰	暗茶鵝~暗茶灰
37	1区 VI層	H10	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
38	1区 VI層	—	深鉢	約260	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
39	1区 VI層	F9	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗灰鵝	暗灰鵝~暗鵝
40	1区 VI層	J7	深鉢	—	—	カワリ	カワリ	無施砂や少い	赤	淡茶鵝~淡黃鵝	淡茶鵝
41	1区 VI層	—	深鉢	224	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	暗茶灰~茶鵝	暗茶灰~茶鵝
42	1区 VI層	F8	円筒深鉢	204	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	淡黃鵝~淡黃鵝	淡黃鵝~淡黃鵝
43	1区 VI層	F4	円筒深鉢	198	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
44	1区 VI層	E9	円筒深鉢	162	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗灰鵝~淡灰鵝	暗灰鵝~淡灰鵝
45	1区 VI層	H4	深鉢	156	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
46	1区 VI層	D5	深鉢	190	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘や少い	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
47	1区 VI層	G4	深鉢	約400	—	工具ナメ	粗工具ナメ	無施砂少量	赤	淡黃鵝	淡黃鵝
48	1区 VI層	D7	深鉢	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	淡茶鵝~淡茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
49	1区 VI層	F7	円筒深鉢	174	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶灰~暗茶鵝
50	1区 VI層	G4	深鉢	約200	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘無量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
51	1区 VI層か	—	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
52	1区 VI層	—	深鉢	約300	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
53	1区 VI層	E9	深鉢	約300	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤や 赤褐色	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
54	1区 VI層	F4	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微砂少量	赤や 赤褐色	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
55	1区 VI層	E9	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤や 赤褐色	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
56	1区 VI層	E9	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
57	1区 VI層	D14	円筒深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
58	1区 VI層	I5	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
59	1区 VI層	F8	深鉢	216	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
60	1区 VI層	K19	深鉢	176	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
61	1区 VI層	—	円筒深鉢	210	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
62	1区 VI層	—	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
63	1区 VI層	E13	円筒深鉢	約200	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤や 赤褐色	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
64	1区 VI層	H10	深鉢	約300	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
65	1区 VI層	—	深鉢	約300	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂や少い	赤	暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
66	1区 VI層	K19	円筒深鉢	約300	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
67	1区 VI層	I16	円筒深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
68	1区 VI層	—	円筒深鉢	約180	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	暗茶鵝~暗茶鵝	暗茶鵝~暗茶鵝
69	1区 VI層	H18	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	淡茶鵝~淡茶鵝	淡茶鵝~淡茶鵝
70	1区 VI層	H16	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無施砂少量	赤	淡茶鵝~淡茶鵝	淡茶鵝~淡茶鵝

表2 繩文土器觀察表(2)

No	出土地	地盤面 (付國)	種類	測量 (mm)		調査	鉢土	焼成	色調		備考		
				外径	内径				外 面	内 面			
71	I 区 VII期	—	円筒深鉢	約 200	—	貝殻	工具ナメ	粗粒・茶褐色粗微粒	良	茶褐	淡茶褐	斑熱	
72	I 区 VI期	G15	角削深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	暗茶褐~茶褐	茶褐	外:スズ黒微	
73	I 区 VII期	G15	圓筒深鉢	約 250	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	灰茶褐~暗茶褐	茶褐		
74	I 区 VII期	J18	角削深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少量	良	淡茶褐~暗茶褐	暗茶褐~暗灰	外:スズ黒微	
75	I 区 VII期	G15	圓筒深鉢	約 200	—	貝殻	粗工具ナメ	粗粒砂少量	良	淡灰茶褐	鼠仔~細灰色	淡茶褐	
76	I 区 VII期	G11	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少量	良	淡黄	淡黄		
77	I 区 VII期	G9	深鉢	約 190	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少量	良	淡茶褐~暗茶褐	暗茶褐~茶褐		
78	I 区 VII期	—	深鉢	約 300	—	工具ナメ	手ニガキ	茶褐色粗微粒	良	淡灰灰	淡灰灰		
79	I 区 VII期	—	深鉢	—	—	貝殻	ケツリ	粗砂少量	良	暗灰褐~暗茶褐	暗灰褐		
80	I 区 VII期	G10	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少量・粗粒砂飛散	良	暗茶褐~暗茶褐	淡灰灰~茶褐		
81	I 区 VII期	J18	円筒深鉢	—	—	貝殻	丁寧工具ナメ	粗粒砂少量	良	茶褐~淡茶褐	茶褐~細茶褐		
82	I 区 VII期	F8	小型 円筒深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	淡茶褐~茶褐	茶褐~茶褐		
83	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	細砂少量・小砂粗微粒	良	淡黄	細茶褐	油煙系	
84	I 区 VII期	K19	小型 円筒深鉢	—	—	貝殻	丁寧工具ナメ	粗粒砂少量	良	淡灰~淡茶褐	暗灰褐~淡黄		
85	I 区 VII期	G8, H1 10, 11	深鉢	—	—	工具ナメ	手ニガキ	粗粒砂少量	良	淡灰茶褐	淡灰~淡茶褐		
86	I 区 VII期	—	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ 手ニガキ	粗砂少々多い	良	暗茶褐~暗茶褐	茶褐~細茶褐	外:スズ黒微	
87	I 区 VII期	111	円筒深鉢	—	—	貝殻	手ニガキ	粗砂少々多い	良	淡灰褐~暗茶褐	暗茶褐~茶褐		
88	I 区 VII期	B9, H16, G8	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	灰褐~暗茶褐	淡灰褐~淡茶褐		
89	I 区 VII期	G13	角削深鉢	—	—	貝殻	引工具ナメ	粗砂少々多い	良	暗茶褐~暗茶褐	暗茶褐~茶褐	外:スズ少種	
90	I 区 VII期	F15	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少少	良	茶褐~茶褐	茶褐		
91	I 区 VII期	117	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	淡茶褐~茶褐	淡茶褐		
92	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少少・角削石微粒	良	淡茶褐~淡茶褐	茶褐~細茶褐		
93	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	貝殻	丁寧工具ナメ	粗砂少少	良	暗茶褐~茶褐	暗茶褐~茶褐		
94	I 区 VII期	J9	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	暗茶褐~茶褐	茶褐~茶褐		
95	I 区 VII期	J8	角削深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	粗粒砂少量	良	淡灰灰~淡茶褐	灰褐~暗茶褐		
96	I 区 VII期	—	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少量	良	暗茶褐~茶褐	暗茶褐~茶褐		
97	I 区 VII期	17	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗粒砂少量	良	暗茶褐~茶褐	暗茶褐~茶褐	外:スズ少種	
98	I 区 VII期	G9	円筒深鉢	—	—	壳灰・工具刷	手ニガキ	粗砂少々多い	良	暗茶褐~淡茶褐	淡茶褐~淡茶褐		
99	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	工具ナメ	— (剥落)	粗砂少量	良	茶褐	— (剥落)		
100	I 区 VII期	F9	深鉢	—	—	壳灰・工具ナメ	工具ナメ	粗粒砂少量粗微粒	良	淡茶褐~淡茶褐	黑灰		
101	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	粗砂少量	良	暗茶褐~茶褐	茶褐		
102	I 区 VII期	L18	円筒深鉢	—	—	壳灰・工具刷	丁寧工具ナメ	粗砂少々多い	良	淡茶褐~暗茶褐	黑褐~淡茶褐		
103	I 区 VII期	H16	円筒深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	粗砂少・粗少	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐~茶褐		
104	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	粗砂少・粗少	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐~茶褐		
105	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	壳灰・手ニガキ	工具ナメ	粗砂少少	良	淡黄褐~茶褐	淡黄褐		
106	I 区 VII期	D6	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少々多く・粗砂少量	良	淡茶褐~淡茶褐	淡黄褐~淡茶褐		
107	I 区 VII期	F13	円筒深鉢	—	—	手ニガキ・壳灰	工具ナメ	粗砂少少・小砂粗微粒	良	淡茶褐~淡茶褐	暗茶褐~茶褐	斑熱	
108	I 区 VII期	H7	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少少	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐		
109	I 区 VII期	—	円筒深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少少	良	暗茶褐~淡茶褐	暗茶褐~茶褐	斑熱	
110	I 区 VII期	H11	深鉢	—	—	手ニガキ	工具ナメ	粗砂少少	良	淡茶褐~茶褐	茶褐~淡茶褐	外:千手千手 卓上り型	
111	I 区 VII期	G11	深鉢	232	—	手ニガキ	手ニガキ	粗砂少少	良	暗茶褐~淡茶褐	暗灰褐~淡茶褐	卓上り型	
112	I 区 VII期	G13	深鉢	230	—	—	手ニガキ	粗砂少少	良	白色・角削石多	白色	斑熱	
113	I 区 VII期	H12	深鉢	220	—	壳灰・工具ナメ	丁寧工具ナメ	粗砂少量粗微粒	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐~茶褐		
114	I 区 VII期	—	深鉢	190	—	—	引工具	工具ナメ	粗砂少少	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐~茶褐	斑熱
115	I 区 VII期	H7	深鉢	—	—	壳灰	手ニガキ~ 壳灰	粗砂少少	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐~茶褐		
116	I 区 VII期	D6	深鉢	161	—	工具ナメ	手ニガキ	粗砂少少	良	淡茶褐~淡茶褐	暗灰褐~茶褐		
117	I 区 VII期	G11	深鉢	約 250	—	貝殻刷	手ニガキ	粗砂少量粗微粒	良	手ニガキ	淡茶褐~淡茶褐	外:スズ黒微	
118	I 区 VII期	G15	深鉢	238	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少少・壳灰少少粗微粒	良	暗灰褐~淡茶褐	暗茶褐~手ニガキ	斑熱	
119	I 区 VII期	H18	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少量粗微粒	良	暗茶褐~茶褐	手ニガキ		
120	I 区 VII期	G12	深鉢	—	—	壳灰	工具ナメ	粗砂少少	良	暗茶褐~暗茶褐	暗茶褐~茶褐		
121	I 区 VII期	L11	深鉢	約 300	—	工具ナメ	工具ナメ	粗砂少少・茶褐色少少粗微粒	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐~淡茶褐	内:手心觸感	
122	I 区 VII期	D8	深鉢	約 300	—	手ニガキ	手ニガキ	粗砂少少	良	淡茶褐~淡茶褐	淡茶褐		
123	I 区 VII期	E6	深鉢	—	—	貝殻	工具ナメ	粗砂少少	良	暗茶褐~淡茶褐	淡茶褐~淡茶褐	外:スズ黒微	
124	I 区 VII期	—	深鉢	—	—	貝殻刷	手ニガキ	粗砂少少	良	淡茶褐	淡茶褐		
125	I 区 VII期	H110	深鉢	—	—	手ニガキ	丁寧工具ナメ	粗砂少少・白褐色・角削石少少	良	淡茶褐~暗茶褐	暗茶褐~暗茶褐		
126	I 区 VII期	—	深鉢	—	—	手ニガキ	丁寧工具ナメ	粗砂多量粗微粒少量	良	手ニガキ	暗灰褐~暗茶褐		

表3 繩文土器觀察表(3)

No	出土地	机上区画 (付箇)	種類	地質 (mm)			調査	知土	構成	色調		備考
				石積	泥質	鉄板				外面	内面	
127	I 区 VI層	H15	深鉢	—	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	薄褐色・白色少々 無色少々無色	良	暗黃褐色～茶褐色	外：スス黒量
128	I 区 VI層	H9, 110	深鉢	252	—	—	束縛	束縛	白色・茶褐色 無色少々無色	良	淡黃褐色～茶褐色	外：スス少量
129	I 区 VI層	D11	深鉢	184	—	—	沈澱	工具ナメ	無色少々 無色少々無色	良	淡黃褐色	淡黒褐色
130	I 区 VI層	H18	深鉢	254	—	—	沈澱	工具ナメ	白色少々無色 無色少々無色	良	淡黃褐色～暗茶褐色	暗茶褐色、淡茶褐色
131	I 区 VI層	M10	小型深鉢	112	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々 白色少々無色	良	淡黒褐色～淡黃褐色	暗灰～灰
132	I 区 VI層	H11	深鉢	約 800	—	—	束縛	束縛	白色少々無色	良好	暗茶褐色～淡茶褐色	淡茶褐色
133	I 区 VI層	G5	深鉢	約 250	—	—	貝繩押引	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗灰～淡茶褐色	暗灰～淡茶褐色
134	I 区 VI層	G8	深鉢	約 300	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗灰褐色～淡茶褐色	外：無黒、 スス少量
135	I 区 VI層	G12	深鉢	—	—	—	沈澱	束縛	白色少々無色	良	淡褐色	淡茶褐色
136	I 区 VI層	C6	円筒深鉢	約 150	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	白色少々無色	良	淡褐色	淡茶褐色～暗茶褐色
137	I 区 VI層	18	深鉢	約 352	—	—	束縛	束縛	白色・赤褐色少々 無色少々無色	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡茶褐色
138	I 区 VI層	G8	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗灰褐色～淡茶褐色	暗灰褐色～淡茶褐色
139	I 区 VI層	H12	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～淡茶褐色	外：スス少量
140	I 区 VI層	D5	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色	良	淡褐色～淡茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
141	I 区 VI層	D4	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	白色少々無色 白色少々無色	良	淡褐色	茶褐色～暗茶褐色
142	I 区 VI層	H4	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	淡褐色～淡褐色	茶褐色～暗茶褐色
143	I 区 VI層	D6	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	淡茶褐色～暗茶褐色	外：スス黒量
144	I 区 VI層	G8	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	白色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
145	I 区 VI層	—	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ (表ケズ)	無色少々無色 白色少々無色	良	淡褐色～淡黃褐色	暗褐色～暗茶褐色
146	I 区 VI層	E10	深鉢	—	—	—	手縛	工具ナメ	無色少々無色	良	淡褐色	黑褐色
147	I 区 VI層	D16	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	淡褐色～淡黃褐色	暗茶褐色
148	I 区 VI層か	—	深鉢	—	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	無色少々無色	良	淡褐色～淡茶褐色	淡茶褐色
149	I 区 VI層	F9	深鉢	約 250	—	—	束縛	束縛	無色少々白色少々 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
150	I 区 VI層	F11	深鉢	228	—	—	貝繩押正	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
151	I 区 VI層	C6	深鉢	約 300	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	淡褐色	暗茶褐色
152	I 区 VI層	—	深鉢	—	—	—	貝繩押正	束縛	無色少々無色	良	淡茶褐色～暗茶褐色	暗茶褐色
153	I 区 VI層	L8	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々無色	良	淡褐色～淡茶褐色	淡茶褐色
154	I 区 VI層	H6	鉢	—	—	—	貝繩押正	工具ナメ	無色少々無色	良	暗茶褐色～淡茶褐色	淡茶褐色～暗茶褐色
155	I 区 VI層	F8	深鉢	—	—	—	貝繩押正	工具ナメ	無色少々無色	良	淡茶褐色	暗茶褐色
156	I 区 VI層	D14	深鉢	約 250	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	無色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
157	I 区 VI層	F8	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	外：スス少量
158	I 区 VI層	G11	深鉢	—	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	淡褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
159	I 区 VI層	D6	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
160	I 区 VI層	—	深鉢	—	—	—	束縛	丁寧工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
161	I 区 VI層	H5	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
162	I 区 VI層	—	深鉢	—	—	—	工具ナメ	丁寧工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
163	I 区 VI層	H6	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
164	I 区 VI層	D12	鉢	—	—	—	貝繩壓正	工具ナメ	無色少々無色	良	淡褐色～淡褐色	茶褐色～暗茶褐色
165	I 区 VI層	G16	円筒深鉢	—	—	—	貝繩押正	工具ナメ	無色少々無色	良	暗茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
166	I 区 VI層か	—	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色	良	—	—
167	I 区 VI層か	—	深鉢	—	—	—	山型文	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	淡黃褐色～淡茶褐色	暗茶褐色
168	I 区 VI層	E8	円筒深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々白色少々 白色少々無色	良	淡褐色～暗茶褐色	暗茶褐色
169	I 区 VI層	D13	深鉢	194	—	—	貝繩押正	束縛	白色少々無色	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
170	I 区 VI層	B5	小型鉢	88	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	暗茶褐色～淡茶褐色
171	I 区 VI層	I7	深鉢	約 300	—	—	貝繩壓文	束縛	無色少々無色	良	茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
172	I 区 VI層か	—	深鉢	約 300	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無色少々無色	良	—	—
173	I 区 VI層	F10	深鉢	—	—	—	椎形文	束縛	無色少々無色	良	淡褐色～淡茶褐色	暗茶褐色～暗茶褐色
174	I 区 VI層	I12	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	白色少々無色	良	茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
175	I 区 VI層	—	—	円筒深鉢	約 200	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
176	I 区 VI層	—	深鉢	—	—	—	粗角	粗角	無色少々無色 白色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
177	I 区 VI層	E14	深鉢	—	—	—	圓孔縫文	丁寧工具ナメ	無色少々無色 白色少々無色	良	茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
178	I 区 VI層か	—	把手付鉢か	—	—	—	手縛～工具ナメ	粗角	無色少々茶褐色少々無色	良	茶褐色～暗茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
179	I 区 VI層	M10	深鉢	—	—	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
180	I 区 VI層	—	—	小型深鉢	約 200	—	束縛	工具ナメ	無色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
181	I 区 VI層	D14	深鉢	約 300	—	—	(貝繩壓文)	工具ナメ	無色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～暗茶褐色
182	I 区 VI層	—	深鉢	—	—	—	貝繩押引	工具ナメ	無色少々無色	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色

表4 調文土器觀察表(4)

No	出土地	地表灰面 (付記)	層 離	地 帯 (m)	調 整	施 土	施成	色 調		備 考		
								外 面	内 面			
183	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	貝織ナゲ	ナゲ	白色無斑紋や多い	良	暗茶褐色～茶褐色	外：スズ少集	
184	I 区 VI帶	—	小型深鉢	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	白色少少集	良	淡黃～淡黃褐色	被熱	
185	I 区 VI帶	B5	深鉢	約 100	—	工具ナゲ	沈錆	無細砂少集	良	暗灰褐色～暗茶褐色	暗灰～淡黃褐色	
186	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	条板	条板	無砂少集	良	灰褐色	淡黃褐色	
187	I 区 VI帶	III 1.8	深鉢	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
188	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	無斑・白色紅褐色少集	良	淡褐色	外：スズ無集	
189	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	格子目押型文	格子目押型文	無細砂少集	良	淡褐色	暗褐色～淡灰褐色	
190	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文・ミガキ	山型文・ミガキ	無細砂少集茶褐色少集微變	良	淡黃褐色～暗褐色	淡黃褐色～暗褐色	
191	I 区 VI帶	G.3	深鉢	391	—	山型文	ミガキ	無細砂少集	良	茶褐色	暗褐色～暗茶褐色	
192	I 区 VI帶	II.9	深鉢	160	—	山型文	工具ナゲ	白色紅褐色少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
193	I 区 VI帶	—	深鉢	192	—	山型文	工具ナゲ	白色少少集青褐色少集	良	暗茶褐色～淡褐色	外：スズ無集	
194	I 区 VI帶	—	—	—	—	山型文・ミガキ	山型文・ミガキ	無細砂少集茶褐色少集微變	良	淡黃褐色～暗褐色	淡黃褐色～暗褐色	
195	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	工具ナゲ	手ニガキ	無細砂少集小孔微變	良	茶褐色～暗茶褐色	外：スズ無集	
196	I 区 VI帶	—	深鉢	約 450	—	山型文	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色	淡茶褐色	
197	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡褐色～暗褐色	淡褐色～暗褐色	
198	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文	工具ナゲ	無細砂少集開口少集	良	淡黃褐色	暗褐色～暗茶褐色	
199	I 区 VI帶	1.9	深鉢	—	—	条板	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡黃褐色	暗褐色	
200	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文・ミガキ	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
201	I 区 VI帶	—	深鉢	384	—	工具ナゲ	工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集微變	良	茶褐色～黑褐色	暗茶褐色～暗褐色	
202	I 区 VI帶	L.9	深鉢	—	—	山型文	工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集微變	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
203	I 区 VI帶	F.7	深鉢	—	—	条板	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色～淡褐色	暗茶褐色	
204	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文	丁寧工具ナゲ	西砂・白色斑	良	暗茶褐色	暗茶褐色～淡褐色	
205	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文	丁寧工具ナゲ	無細砂少集	良	暗茶褐色	暗茶褐色	
206	I 区 VI帶	F.7	深鉢	—	—	条板	工具ナゲ	無細砂	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
207	I 区 VI帶	F.7	深鉢	—	—	山型文	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡黃褐色～暗茶褐色	外：スズ無集	
208	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	山型文	丁寧工具ナゲ	無細砂少集小孔微變	良	淡茶褐色～暗茶褐色	暗茶褐色～暗茶褐色	
209	I 区 VI帶	F.8	深鉢	—	—	箭頭	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色	暗茶褐色	
210	I 区 VI帶	G.4	深鉢	—	—	押型文	手ニガキ	無細砂少集	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
211	I 区 VI帶	C.10	深鉢	—	—	山型押型文	工具ナゲ	無細砂・白色斑	良	淡茶褐色	淡茶褐色	
212	I 区 VI帶	F.6	素型	—	—	敲打押型文	工具ナゲ	白色斑・黑色少集	良	淡褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
213	I 区 VI帶	D.14	深鉢	218	—	条板	工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	被熱	
214	I 区 VI帶	D.12	深鉢	—	—	工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集微變	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
215	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	刺繩	手ニガキ	丁寧工具ナゲ	無細砂	良	茶褐色	外：スズ少集
216	I 区 VI帶	D.12	深鉢	約 340	—	圓錆起錆	工具ナゲ	無細砂	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
217	I 区 VI帶	D.12	深鉢	約 400	—	刺繩	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色	淡茶褐色	
218	I 区 VI帶	C.11	深鉢	—	—	手ニガキ	丁寧工具ナゲ	無細砂少集	良	暗灰褐色～暗褐色	基灰～茶褐色	
219	I 区 VI帶	C.12	深鉢	—	—	丁寧工具ナゲ	工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集	良	暗茶褐色～暗茶褐色	淡茶褐色～淡褐色	
220	I 区 VI帶	G.6	深鉢	—	—	条板	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色	暗茶褐色	
221	I 区 VI帶	G.6	深鉢	—	—	箭頭	工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集	良	淡茶褐色	淡茶褐色～淡黃褐色	
222	I 区 VI帶	—	円錆深鉢	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	無細砂・茶褐色少集	良	淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
223	I 区 VI帶	G.8	鉢	—	—	敲打押型文	工具ナゲ	無細砂・角開少少集	良	黃褐色	暗茶褐色	
224	I 区 VI帶	D.10	深鉢	—	—	圓錆文	工具ナゲ	無細砂・角開少少集	良	黃褐色	暗茶褐色	
225	I 区 VI帶	D.14	深鉢	—	—	工具ナゲ	—(割落)	無細砂	良	淡茶褐色	淡黃褐色	
226	I 区 VI帶	C.10	深鉢	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡黃褐色	淡黃褐色	
227	I 区 VI帶	D.10, 1.1	深鉢	—	—	圓錆文	工具ナゲ	角開少・白色紅褐色少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色～淡黃褐色	
228	I 区 VI帶	D.11	深鉢	—	—	工具ナゲ	工具ナゲ	無細砂少集	良	暗茶褐色～淡黃褐色	淡黃褐色	
229	I 区 VI帶	D.11	深鉢	—	—	無鉢	工具ナゲ	白色紅褐色少集	良	淡黃褐色	暗黃褐色～暗褐色	
230	I 区 VI帶	D.11	深鉢	—	—	押型文	工具ナゲ	無細砂少集	良	暗茶褐色～暗褐色	暗褐色～暗褐色	
231	I 区 VI帶	C.12	深鉢	約 450	—	圓錆縫文	工具ナゲ	無細砂少集	良	暗茶褐色	淡黃褐色	
232	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	圓錆文	丁寧工具ナゲ	白色少少集	良	淡灰褐色～淡褐色	淡褐色	
233	I 区 VI帶	J.7	深鉢	—	—	圓錆	丁寧工具ナゲ	白色少・無細砂少集	良	淡茶褐色	暗茶褐色	
234	I 区 VI帶	G.5	深鉢	—	—	条板	丁寧工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色	淡黃褐色	
235	I 区 VI帶	G.13	深鉢	—	—	条板	丁寧工具ナゲ	白色や少し茶褐色少集	良	淡茶褐色	暗茶褐色	
236	I 区 VI帶	H.8	深鉢	—	—	無鉢	工具ナゲ	無細砂少集	良	淡茶褐色	暗茶褐色	
237	I 区 VI帶	—	深鉢	—	—	圓錆文	工具ナゲ	無細砂や少集	良	淡茶褐色	暗茶褐色	
238	I 区 VI帶	E.9	深鉢	—	—	工具ナゲ	丁寧工具ナゲ	白色少少集・茶褐色少集	良	淡茶褐色	淡黃褐色～淡茶褐色	

表5 調文土器觀察表(5)

No	出土地	地表深度 (付箋)	器種	底面 径寸	底面 形状	表面 形状	調査		施土	施成	色調		備考
							外側	内面			外側	内面	
239	I区 VI層	L10	深鉢	—	—	圓頭	工具ナメ	無磁痕少量	良好	素面	暗茶	暗茶	
240	I区 VI層	F11	深鉢	—	—	圓頭	工具ナメ	無磁痕少々多く、粗め少量	良	馬	淡茶	淡茶	
241	I区 VI層	D10	深鉢	—	—	圓頭	工具ナメ	白色粘やや多い。	良	淡茶	素灰	暗茶	
242	I区 VI層	D6	深鉢	—	—	深鉢	工具ナメ	白色粘やや多い。	良	淡茶	深灰	暗茶	
243	I区 VI層	G8	深鉢	—	112	—	条板	— (剥落)	無磁痕少量	良	素面～暗茶灰	暗茶灰	
244	I区 VI層	H10	深鉢	—	—	条板	工具ナメ	白色粘やや多い。薄砂少し。 無磁痕少量	良	淡黄	素面	素面	
245	I区 VI層	—	小型深鉢	—	79	—	重ね工具ナメ	工具ナメ	無砂やや多い。	良	淡茶	暗茶	淡黄灰～暗茶
246	I区 VI層	E5	深鉢	—	120	—	条板	— (剥落)	無砂少量	良	黃	暗茶	
247	I区 VI層	C5	深鉢	約 80	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少量、黒粉微量	良	淡灰灰～淡黃	淡黃	竹小摺
248	I区 VI層	C5	深鉢	約 500	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無磁痕少量	良	素面	淡黃	淡黃
249	I区 VI層	C8	深鉢	約 400	—	—	ナメ	工具ナメ	良	良	淡茶	淡黃	内口：擦痕
250	I区 VI層	H11.7	円筒深鉢	—	—	条板	工具ナメ	無砂少量・角開石微量	良	淡棕灰～淡黃	黃	素根	
251	I区 VI層	J18	深鉢	約 270	—	—	橢円爪型支	工具ナメ	無磁痕少量	良	淡茶	暗茶灰	素灰
252	I区 VI層	—	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	黑褐色少量	良	淡黃	暗茶	
253	I区 VI層	G18	深鉢	—	—	—	貝殻押印	工具ナメ	相間砂や少量化	良	相間	黃	相間
254	I区 VI層	A4	深鉢	—	—	—	貝殻押印	丁寧工具ナメ	無砂少量、小鐵微量	良	相間～素灰	素根	
255	I区 VI層	D11	杯か	—	55	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少量	良	淡灰～淡黃	淡黃	淡黃
256	I区 VI層	—	深鉢	約 250	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少量	良	素面	淡黃	無文
257	I区 VI層	H18	深鉢	約 300	—	—	粗工具ナメ	手ぐさ	無砂少量・茶褐色細粒微着	良	淡茶	素灰	素灰
258	I区 VI層	G17	深鉢	約 300	—	—	工具	工具ナメ	無砂少、白色少量	良	淡黃灰～淡黃灰	淡	淡黃
259	I区 VI層	—	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少量	好	淡茶	素面	
260	I区 VI層	—	杯か	約 150	—	—	丁寧工具ナメ	丁寧工具ナメ	無砂少量	良	淡黃	淡黃	内：オコゲ
261	I区 VI層	G3	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	白色少量、茶褐色細粒微着	良	素面	淡黃	外：SS少量
262	I区 VI層	E12	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナメ	丁寧工具ナメ	白色少、小鐵や少量	良	素面	淡黃	無文
263	I区 VI層	H6	深鉢	—	—	—	手ぐさ	手ぐさ	無砂少量・茶褐色細粒微着	良	素面	淡黃灰	圓筒無文
264	I区 VI層	F9	深鉢	—	—	—	手ぐさ	工具ナメ	無砂少量	良	淡黃	淡茶	素面
265	I区 VI層	—	深鉢か	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	相間砂、角開石微量	良	素面	淡	素面
266	I区 VI層	G5	深鉢	—	—	—	手ぐさ	丁寧工具ナメ	無砂少量	良	淡茶	淡黃	素面
267	I区 VI層	E12	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	無砂少量・茶褐色細粒微着	良	淡灰	淡黃	素面
268	I区 VI層	E1.6	小型深鉢	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	高褐色少、白色少量	良	淡白紅	暗灰	無文
269	I区 VI層	G4	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナメ	条板	白色少、白色少量	良	素面	暗茶	素根
270	I区 VI層	H10.0	小型深鉢	—	86	—	ナメ (手ぐさ)	茶褐色少、相間微量	青	淡黃	素面	淡茶	—
271	I区 VI層	H6	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少、茶褐色細粒微着	良	淡灰	淡黃灰	暗茶～街
272	I区 VI層	—	深鉢	—	72	—	工具ナメ	工具ナメ	白色少、茶褐色細粒微着	良	淡茶	淡灰	素面
273	I区 VI層	C11	不明	—	—	—	手ぐさ	手ぐさ	無砂少、茶褐色細粒微着	良	素面	素面	無文
274	I区 VI層	—	深鉢	—	162	—	工具ナメ	丁寧工具ナメ	無砂少、茶褐色細粒微着	良	淡茶	淡黃	暗茶
275	I区 VI層	H11.0	小型深鉢	—	45	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少、角開石微量	良	素面	淡黃	—
276	I区 VI層	—	深鉢	—	118	—	手ぐさ	工具ナメ	無砂少、茶褐色細粒微着	良	淡白紅	淡黃	相間
277	I区 VI層	G8	小型深鉢	—	69	—	工具ナメ	工具ナメ	白色少、茶褐色細粒微着	良	淡茶	暗茶	暗茶～素面
278	I区 VI層	E6	深鉢	—	92	—	工具ナメ	工具ナメ	無砂少、白色少量	良	淡茶灰	淡黃	暗茶～相間
279	I区 VI層	F14	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナメ	工具ナメ	無砂少、相間微量	良	淡茶	暗茶	素面
280	I区 VI層	—	深鉢	—	132	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粘微量	良	素面	素面	— (剥落)
281	I区 VI層	—	深鉢	—	—	—	手ぐさ	工具ナメ	良	淡黃	暗茶	素面	
282	I区 VI層	—	杯か	—	72	—	手ぐさ	手ぐさ	無砂少量	良	素面	淡茶	素面
283	I区 VI層	G11	深鉢	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	無砂少量	良	淡茶	淡茶	被熱
284	I区 VI層	H9	深鉢	—	—	—	手ぐさ	丁寧工具ナメ	無砂少量	良	素面	素面	無文
285	I区 VI層	—	小型深鉢	—	56	—	丁寧工具ナメ	粗工具ナメ	無砂少量	良	淡黃	淡黃	被熱
286	I区 VI層	—	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	淡石少量	良	素面	淡茶	圓筒入
287	I区 VI層	—	深鉢	—	—	—	沈鉢	工具ナメ	淡石少、白色粘や多い。	良	淡茶	淡茶	被熱
288	IV区 VI層	—	深鉢	—	174	—	手ぐさ	工具ナメ	相間砂や少い。	良	暗茶	素面	被修丸・被熱
289	IV区 VI層	—	深鉢	—	234	—	河点	工具ナメ	白色粘少量	良	淡茶	淡黃	被修丸・被熱
290	IV区 VI層	—	角開深鉢	—	—	—	手ぐさ	工具ナメ	良	淡茶	淡黃	被修丸	
291	IV区 VI層	—	角開深鉢	130	—	—	手ぐさ	工具ナメ	相間砂少量	良	素面	暗灰	被修丸
292	IV区 VI層	—	深鉢	—	—	—	山型文	工具ナメ	小縦・茶褐色細粒微量	良	素面	淡茶	被修丸
293	IV区 VI層	—	角開深鉢	—	—	—	手ぐさ	丁寧工具ナメ	相間砂少量	良	素面	素面	— (手ぐさ)

表6 繩文土器観察表(6)

No	出土地	機上区画 (付番)	器種	寸法 (mm) 口径 底径 高さ	調査 外面 内面	胎土	施灰	色調		備考
								外面	内面	
1198	IV区 VI層	角削深鉢	—	—	条板	工具ナメ	微細砂少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色	茶～暗茶褐色
1199	IV区 VI層	深鉢	—	—	条板～ミガキ	不定方山彫	微細砂少量 不定方山彫 あり。	良	淡茶褐色～黃褐色	淡茶褐色
1200	IV区 VI層	円筒深鉢	—	—	条板	工具ナメ	微細砂少量	良	暗茶褐色	暗茶褐色
1201	IV区 純土	深鉢	—	—	条板	条板～工具ナメ	微細砂少量	良	輕茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～淡茶褐色
1202	IV区 VI層	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粒・角削不顯著	良	暗茶褐色～淡黃褐色	淡黃褐色
1203	IV区 純土	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂少量	良	暗茶褐色	暗茶褐色
1204	IV区 純土	約400	—	—	(風磨)	工具ナメ	微砂・白色と黒斑 あり。	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1205	IV区 純土	約300	—	—	工具ナメ	工具ナメ	白色砂少量	良	淡黑褐色	淡茶褐色 外：スヌ族
1206	SA-0.5	深鉢	—	—	圓錐・工具ナメ	工具ナメ	良	良	輕～淡褐色	淡褐色
1207	SA-0.6	深鉢	約400	—	条板	工具ナメ	粗細砂少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色	淡茶褐色
1208	SA-0.6	深鉢	約200	—	工具ナメ	条板	粗細砂少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～淡茶褐色
1209	SA-0.6	深鉢	—	—	条板	工具ナメ	微細砂少量	良	暗茶褐色	暗茶褐色
1210	SA-0.6	深鉢	—	—	条板	工具ナメ	良	良	淡茶褐色～淡黃褐色	淡黃褐色
1211	SA-0.6	深鉢	—	—	ミガキ	工具ナメ	黒褐色～淡褐色・微 粒・角削無	良	黑褐色	暗茶褐色～淡茶褐色
1212	SA-0.6	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	粗細砂・角削不顯著	良	淡黑褐色	淡茶褐色
1213	SA-0.6	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂・小圓點帶	良	淡黃褐色	淡茶褐色～茶褐色
1214	SA-0.6	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂・小圓點帶	良	茶褐色	茶褐色
1215	SA-0.4	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～茶褐色
1216	SA-0.6	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂少量	良	茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～茶褐色
1217	SA-0.6	深鉢	約300	—	条板	工具ナメ	白色粗細砂・少肉質有凹痕	良	淡茶褐色～深茶褐色	暗茶褐色～暗茶褐色
1218	SA-0.6	深鉢	—	—	条板	工具ナメ	微細砂少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～淡茶褐色
1219	SA-0.6	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粒・角削無	良	淡黃褐色	淡茶褐色
1220	SA-0.7	深鉢	約400	—	手縫	工具ナメ	微細砂少量	良	淡茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～淡茶褐色
1221	SA-0.7	深鉢	約250	—	手縫	工具ナメ	微細砂少量	良	淡茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～淡茶褐色
1222	SA-0.8	深鉢	約450	—	手縫	工具ナメ	微細砂多量	良	暗茶褐色	茶褐色～淡茶褐色
1223	SA-0.8	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂・少肉質・縫合・ 骨質石柱痕	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1224	SA-1.0	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粒・角削無	良	淡黃褐色	茶褐色～茶褐色
1225	SA-0.9	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂無	良	淡黃褐色	茶褐色～茶褐色
1226	SA-1.0	深鉢	約400	—	工具ナメ～ ハタ伏	工具ナメ	黒褐色・茶褐色粗砂少、無 縫合痕	良	淡茶褐色～淡茶褐色	茶褐色～茶褐色
1227	SA-1.0	深鉢	約200	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色	茶褐色～茶褐色
1228	SA-1.0	深鉢	約170	—	工具ナメ	工具ナメ	手縫・ミガキ	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1229	SA-1.0	深鉢	約350	—	条板	工具ナメ	微細砂少・縫合無	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1230	SA-1.0	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粒・縫合無	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1231	SA-1.0	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少・茶褐色粗砂無	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1232	SA-1.0	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂無	良	淡茶褐色	茶褐色～茶褐色
1233	SA-1.0	深鉢	約170	—	工具ナメ	工具ナメ	手縫・ミガキ	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1234	SA-1.0	深鉢	約350	—	条板	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1235	SA-1.0	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1236	SA-1.0	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1237	SA-1.0	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1238	SA-1.1	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少・茶褐色無	良好	淡茶褐色	暗茶褐色～茶褐色
1239	SA-1.1	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	淡茶褐色	茶褐色～茶褐色
1240	SA-1.1	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色・微細砂無	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1241	SA-1.1	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色	暗茶褐色
1242	SA-1.1	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1243	SA-1.1	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1244	SA-1.1	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1245	SA-1.1	深鉢	—	—	偏圓筒文	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1246	SA-1.1	深鉢	約300	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粒・粗砂無	良好	淡茶褐色	茶褐色～茶褐色
1247	SA-1.1	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1248	SA-1.1	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1249	SA-1.1	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1250	SA-1.1	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1251	SA-1.1	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色	茶褐色～茶褐色
1252	SA-1.1	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粗砂無	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1253	SA-1.2	深鉢	約150	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	淡茶褐色	茶褐色
1254	SA-1.2	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1255	SA-1.2	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1256	SA-1.2	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1257	SA-1.2	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1258	SA-1.2	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粗砂無	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1259	SA-1.2	深鉢	約400	—	工具ナメ	工具ナメ	薄茶褐色～微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1260	SA-1.2	深鉢	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1261	SA-1.2	小切248	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1262	SA-1.2	深鉢	—	80	—	条板	粗細砂少	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1263	SA-1.3	林	約200	—	偏圓	工具ナメ	向開口・微細砂少	良	暗茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色
1264	SA-1.3	深鉢	—	—	条板	工具ナメ	向開口・粗細砂少	良	淡茶褐色～茶褐色	茶褐色～茶褐色

表7 調査土器観察表(7)

No	出土地	器種	法量(cm)			調査		施土	焼成	色調		備考
			口径	底径	厚さ	外面	内面			外面	内面	
1563	SA-1.3	深鉢	—	—	—	沈縫	工具ナダ	粗面砂少量	良	茶褐色~暗茶褐色	淡灰灰~淡青褐色	
1596	SA-1.4	深鉢	約400	—	—	工具鉢江	工具ナダ	茶褐色短~小面微量	良	暗灰~淡墨灰	淡墨褐色	
1629	IV(K) SK-0.2	深鉢	—	—	—	条縫	工具ナダ	粗面砂少量	良	暗茶褐色	暗系褐色~暗灰	
1629	IV(K) SK-0.2	深鉢	—	—	—	陶板縫文	工具ナダ	粗面砂少量、茶褐色短~中多い	良	淡黄褐色~淡青褐色	暗灰灰	
1630	IV(K) SK-0.2	深鉢	—	—	—	陶板縫文	工具ナダ	粗面砂少量黑色短色少	良	茶褐色~暗茶褐色	淡青褐色~淡褐色	
1631	IV(K) SK-0.3	深鉢	—	—	—	陶板縫文	工具ナダ	良	良	淡褐色	暗灰灰~淡灰褐色	
1632	IV(K) SK-0.3	深鉢	—	—	—	黑条縫	工具ナダ	粗面砂少量茶褐色微量	良	淡墨褐色	暗系褐色~淡灰褐色	既熟
1633	IV(K) SK-0.3	深鉢	—	—	—	陶板縫文	工具ナダ	粗面砂少量小面微量	良	淡墨褐色~暗茶褐色	暗茶褐色	
1634	IV(K) SK-0.5	深鉢	—	—	—	山型文	工具ナダ	白色短~茶褐色短色少	良	茶褐色	茶褐色	
1635	IV(K) SK-0.5	深鉢	—	—	—	圓縫	工具ナダ	白色短茶褐色小面少量	良	淡褐色	淡褐色~橙	
1642	SK-1.7	深鉢	約400	—	—	陶板縫文	丁寧工具ナダ	粗面砂少量	良	淡灰灰~淡褐色	淡灰灰	
1643	SK-1.5	深鉢	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗面砂少量	良	墨褐色~茶褐色	暗褐色~暗系褐色	
1644	SK-1.5	深鉢	—	—	—	陶板縫文	粗工具ナダ	粗面砂少量、茶褐色短微量	良	茶褐色~淡茶褐色	暗系褐色~暗茶褐色	
1696	V区 VI層	深鉢	約400	—	—	貝縫骨付ヘビコキ	工具ナダ	粗面砂少量	良	茶褐色~暗茶褐色	暗灰灰~暗茶褐色	
1697	V区 V層	深鉢	—	—	—	工具ナダ	条縫	粗面砂少量	良	淡褐色~黃褐色	淡褐色~淡茶褐色	被熟
1698	V区 III層	深鉢	—	—	—	貝縫骨付	工具ナダ	粗面砂少量、茶褐色短~短色少	良	茶褐色~暗茶褐色	暗茶褐色~暗茶褐色	
1699	V区 III層	深鉢	約400	—	—	工具ナダ	丁寧工具ナダ	粗面砂少量	良	淡褐色	淡褐色~暗茶褐色	
1700	* 12层 周辺表土	深鉢	—	—	—	押引沈縫	工具ナダ	粗面砂少量	良	暗茶褐色~暗褐色	暗黃褐色~暗褐色	片:スヌ微酸

表8 弥生土器・土師器観察表(1)

No	出土地	器種	法量(cm)			調査		施土	焼成	色調		備考
			口径	底径	厚さ	外面	内面			外面	内面	
1166	Ⅳ区VI層	甕	約400	—	—	ハケ	ハケ	良	不明	淡褐色	淡褐色	
1167	Ⅴ区排土	甕	—	—	—	工具ナダ	ハケ	茶褐色短~白色短	良	茶褐色~暗茶褐色	淡白~淡褐色	
1168	Ⅴ区排土	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色短~や多い淡褐色	良	淡灰灰~淡黃褐色	淡黃褐色~淡茶褐色	
1169	Ⅴ区排土	甕	—	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	粗面砂少量	良好	淡黃褐色~淡茶褐色	淡褐色~淡灰灰	
1170	Ⅴ区排土	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗面砂少量	良	淡褐色~黃褐色	淡褐色~淡茶褐色	
1171	Ⅴ区排土	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	白色短少量	良	淡黃褐色~淡褐色	淡褐色~淡褐色	
1172	Ⅴ区排土	甕	—	—	—	工具ナダ~手もぎ台	工具ナダ~手もぎ台	良	良	茶褐色~淡灰褐色	暗茶褐色	
1173	Ⅳ区 SA19 地穴火	甕	—	—	—	工具ナダ	ケズリ工具ナダ	粗面砂~茶褐色短微量	良	淡黃褐色	淡褐色~淡茶褐色	
1178	Ⅲ区 SD-0.1	甕	190	—	—	工具ナダ	ハケ~工具ナダ	粗面砂微量、茶褐色少	良	淡黃褐色~暗茶褐色	淡褐色~SD A 19.5	
1180	Ⅲ区 SD-0.1	甕	—	—	—	ケズリ工具ナダ	工具ナダ~ミギサ	粗面砂少量	良	淡黑褐色~暗茶褐色	暗茶褐色~暗茶褐色	
1181	Ⅲ区 SD-0.1	甕	260	—	—	工具ナダ~ ハケ~工具ナダ	工具ナダ~ ハケ~工具ナダ	粗面砂~茶褐色短微量	良好	茶褐色~褐色	淡褐色~SD A 19.5 片:スヌ少量	
1182	Ⅲ区 SD-0.1	甕	約450	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗面砂多量	不良	淡褐色~淡褐色	淡褐色~淡灰褐色	SD A 19.5 片:スヌ少量
1183	Ⅲ区 SD-0.1	甕	約500	—	—	ハケ	工具ナダ	粗面砂~茶褐色少	良	淡褐色	淡褐色~暗茶褐色	SD A 19.5
1184	Ⅲ区 SD-0.1	甕	約400	—	—	工具ナダ	強けい寧工具ナダ	粗面砂少量	良	暗灰褐色~淡黑褐色	淡褐色~淡黑褐色	SD A 19.5
1185	Ⅲ区 SD-0.1	甕	—	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	粗面砂少量	良	淡黃褐色	淡褐色~SD A 19.5	
1186	Ⅲ区 SD-0.1	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	淡褐色~白色短微量	良	淡黃褐色~淡茶褐色	淡褐色~SD A 19.5 片:スヌ少量	
1187	Ⅲ区 SD-0.1 石付 砾付	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色~茶褐色少	良	淡茶褐色~淡茶褐色	淡黃褐色~SD A 19.5	
1188	Ⅲ区 SD-0.1	甕	—	—	—	丁寧工具ナダ	丁寧工具ナダ	粗面砂少量	良	淡黃褐色~淡黃褐色	淡褐色~淡茶褐色	SD A 19.5
1189	Ⅲ区 SD-0.1	甕	—	—	—	同心円タクナ	平行タクナ	良	良	暗灰褐色	淡褐色~SD A 19.5	
1206	VII区 III層	甕	—	—	—	ハケ	ハケ~工具ナダ	茶褐色短微量~茶褐色少	良好	淡黃褐色~淡黃褐色	暗茶褐色~淡黃褐色	
1207	IV区 C7	甕	279	64	110	工具ナダ~ ハケ~手もぎ台~手もぎ台	工具ナダ~ ハケ~手もぎ台~手もぎ台	茶褐色短微量~茶褐色少	良	淡黃褐色~淡茶褐色	淡褐色~淡茶褐色	
1208	SA-0.1	甕	—	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少	良	淡褐色~淡褐色	淡褐色~SD A 19.5	
1241	SA-0.1	甕	—	—	—	ハケ	ハケ~工具ナダ	白褐色少	良	淡褐色~淡褐色	淡褐色~淡黃褐色	片:スヌ少量
1242	SA-0.2	甕	170	—	—	ナダ~工具ナダ	ナダ~工具ナダ	粗面砂微量	良	淡褐色~暗茶褐色	暗茶褐色~暗茶褐色	
1243	SA-0.2	甕	—	—	—	ハケ~工具ナダ	ハケ~工具ナダ	白色短~茶褐色短微量	良好	暗茶褐色~茶褐色	茶褐色~淡茶褐色	片:スヌ少量
1244	SA-0.3	甕	—	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色短微量~茶褐色少	良	淡黃褐色~淡黃褐色	暗茶褐色~淡黃褐色	外:スヌ少量
1245	SA-0.2	小型甕	77	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗面砂少	良	淡褐色	暗褐色~褐色	
1246	SA-0.2	甕	—	—	—	ミギサ	ハケ	良	良	茶褐色	淡褐色	
1247	SA-0.2	甕	—	—	—	ミギサ	工具ナダ	粗面砂少	良	淡褐色~茶褐色	暗茶褐色~暗茶褐色	内:スヌ少量
1248	SA-0.2	甕	—	—	—	工具ナダ~手もぎ台	工具ナダ~手もぎ台	長褐色少	良	暗茶褐色~暗茶褐色	淡褐色~暗茶褐色	
1250	SA-0.3	甕	約400	—	—	工具ナダ	ハケ	粗面砂少	良	淡褐色~茶褐色	暗茶褐色~淡茶褐色	片:スヌ少量
1251	SA-0.3	甕	—	—	—	ハケ	工具ナダ	良	良	淡褐色~暗茶褐色	淡褐色~暗茶褐色	
1252	SA-0.3	甕	—	—	—	ハケ	ハケ~工具ナダ	粗面砂少	良	淡褐色~茶褐色	茶褐色~淡茶褐色	片:スヌ少量
1253	SA-0.3	小型甕	76	—	—	工具ナダ	工具ナダ	良	良	淡褐色	淡褐色~淡褐色	

表9 弥生土器・土師器觀察表（2）

No.	出土地	器種	寸法 (mm)		調査		胎土	焼成	色調	備考	
			口径	通径	高さ	外面					
1254	SA-0-3	小型壺	70	—	—	工具ナメ	工具ナメ	細緻微量	良	暗黄褐色～黃褐色 暗茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色	暗茶褐色～淡茶褐色 暗茶褐色～淡茶褐色
1255	SA-0-3	壺	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色細微量細緻少量	良	暗茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色	外：スズ少量
1257	SA-0-4	壺	207	—	—	ハケ	ハケ→工具ナメ	微細砂微量	良	淡黃褐色～淡黃褐色 淡黃褐色～淡黃褐色	外：スズ少量
1258	SA-0-4	壺	226	—	—	ハケ	ハケ	微細砂微量	良	暗茶褐色～淡茶褐色 暗茶褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1259	SA-0-4	壺	約200	—	—	ハケ	ハケ→カキアゲ	良	良	暗茶褐色	淡黃褐色
1260	SA-0-4	壺	約300	—	—	工具ナメ	ハケ→工具ナメ	茶褐色細粒。粗緻研磨量	良	淡黃褐色～淡黃褐色 淡黃褐色	淡黃褐色
1261	SA-0-4	壺	—	—	半辛口ガキ	粗ハケ	茶褐色細少量、 茶褐色細少量、 茶褐色細少量	良	淡黃褐色～淡茶褐色 淡黃褐色～淡茶褐色	外：スズ少量	
1262	SA-0-4	壺	160	—	—	工具ナメ	工具ナメ	良	良	淡褐色～黑褐色 暗茶褐色～淡茶褐色	無熱
1263	SA-0-4	高脚か	—	256	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色細粒微細少量	小少 あまし	淡黃褐色 淡茶褐色	外：中空△
1264	SA-0-4	小型盆	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	白色粒。黑褐色細少量	良	淡黃褐色～灰褐色 暗茶褐色～灰褐色	外：スズ少量
1267	SA-0-5	壺	287	—	—	ハケ・工具ナメ	工具ナメ→ハケ	茶褐色細少量	良	淡黃褐色～茶褐色 淡黃褐色～茶褐色	外：スズ少量
1268	SA-0-5	壺	約400	—	—	工具ナメ	ハケ	茶褐色細粒。粗緻研磨量	良	暗茶褐色～茶褐色 淡黃褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1269	SA-0-5	壺	225	—	—	ハケ	丁寧工具ナメ	微細微量	良	淡褐色～淡黃褐色 淡褐色～淡黃褐色	外：スズ少量
1270	SA-0-5	壺	—	—	—	ハケ	工具ナメ	微細少量	良	淡茶褐色～暗茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1271	SA-0-5	壺	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色細少量。白褐色細少量	良	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1272	SA-0-5	壺	約200	—	—	ハケ・工具ナメ	工具ナメ→ハケ	茶褐色細少量	良	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1273	SA-0-5	壺	284	—	—	工具ナメ→ハケ	工具ナメ	白色細少量茶褐色微量	良	淡黃褐色～粗粒 暗茶褐色	外：スズ少量
1274	SA-0-5	壺	254	—	—	ハケ	ハケ→工具ナメ	茶褐色細少量	良	淡褐色～茶褐色 淡褐色～茶褐色	外：スズ少量
1275	SA-0-5	壺	—	—	—	ハケ・工具ナメ	工具ナメ	微細研磨量	良好	暗褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1276	SA-0-5	壺	—	—	—	ハケ→工具ナメ	工具ナメ→カキアゲ 工具ナメ→カキアゲ	微細少量	良好	暗茶褐色～暗茶褐色 暗褐色～暗茶褐色	外：スズ少量
1277	SA-0-5	小型壺	—	38	× 33	粗工具ナメ	工具ナメ	白色粒や少い。	良好	淡褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	内：オカゲ少量
1278	SA-0-5	壺	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	粗研磨。白色細微量	小少 あまし	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1279	SA-0-5	壺	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	粗細少量化	良	淡黃褐色～淡茶褐色 暗茶褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1280	SA-0-5	壺	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色細粒。白色細少量	良	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：中空△
1281	SA-0-5	壺	75	—	—	ハケ・ミガキ	工具ナメ	良	良	暗褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1282	SA-0-5	壺	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色細少量や多い。	小少 あまし	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	内：オカゲ少量
1283	SA-0-5	壺	—	—	—	強工具ナメ	ハケ	赤褐色細少量	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：無熱
1284	SA-0-5	壺	約400	—	—	半辛口ガキ	ミガキ	微細少量	良	淡茶褐色～淡茶褐色 暗茶褐色～淡茶褐色	内：無熱
1285	SA-0-5	壺	316	—	—	ミガキ	ミガキ	良	暗茶褐色～淡茶褐色 暗茶褐色～淡茶褐色	外：無熱	
1286	SA-0-5	壺	—	—	—	ハケ	工具ナメ	微細少量化	良	淡黃褐色～淡茶褐色 暗茶褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1287	SA-0-5	壺	—	160	—	ミガキ	ハケ	微細少量化	良	暗茶褐色～茶褐色 暗茶褐色～茶褐色	外：中空△
1288	SA-0-6	壺	370	—	—	ハケ	ハケ→粗工具ナメ 粗工具ナメ	茶褐色細粒。白色細少量	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	内：オカゲ少量
1289	SA-0-6	壺	約350	—	—	ハケ	ハケ	赤褐色細少量化	良好	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：無熱
1290	SA-0-6	壺	約400	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量化	良	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1291	SA-0-6	壺	約250	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色細少量化	良	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	内：無熱外 スズや少量化
1292	SA-0-6	壺	約300	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色細少量化	良	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1293	SA-0-6	壺	298	—	—	強工具ナメ	カギリ→工具ナメ	茶褐色細粒。白色細少量化	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1294	SA-0-6	壺	約400	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色細少量化	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1295	SA-0-6	壺	186	—	—	ハケ	工具ナメ	微細少量化	良	淡茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色	外：スズ少量
1296	SA-0-6	壺	453	—	—	ハケ	工具ナメ	微細少量化や多い。	小少 あまし	暗茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色	外：スズ少量
1311	SA-0-6	壺	202	—	—	工具ナメ	ハケ	茶褐色細少量化	良好	暗茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色	外：無熱
1312	SA-0-6	壺	約362	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微細少量化茶褐色細少量化や多い。	良	暗茶褐色～暗茶褐色 暗茶褐色～暗茶褐色	墨△
1313	SA-0-6	壺	約400	—	—	ハケ	ハケ	良	良	淡茶褐色～茶褐色 淡茶褐色～茶褐色	外：スズ少量
1314	SA-0-6	壺	約400	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色細少量化	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1315	SA-0-6	壺	約400	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色細少量化	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1316	SA-0-6	壺	—	—	—	ハケ→カキアゲ	ハケ→強工具ナメ	白色細少量化	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1317	SA-0-6	壺	約400	—	—	工具ナメ	ハケ	白色細少量化	良好	暗茶褐色～茶褐色 暗茶褐色～茶褐色	外：スズ少量
1318	SA-0-6	壺	約500	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色細少量化	良好	暗茶褐色～茶褐色 暗褐色～茶褐色	外：スズ少量
1319	SA-0-6	壺	約400	—	—	半辛口ガキ	工具ナメ	粗緻砂少量化	良好	暗茶褐色～淡茶褐色 暗褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1320	SA-0-6	壺	約500	—	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色細少量化白色細少量化や多い。	良	淡茶褐色～暗茶褐色 淡褐色～暗茶褐色	外：スズ少量
1321	SA-0-6	壺	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色細少量化白色細少量化	良	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：スズ少量
1322	SA-0-6	壺	—	50	—	ハケ・工具ナメ	ハケ・粗工具ナメ	茶褐色細少量化白色細少量化	良	淡黃褐色～茶褐色 淡褐色～茶褐色	外：スズ少量
1323	SA-0-6	壺	416	—	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色細少量化白色細少量化や多い。 粗緻砂少量化	良好	暗茶褐色～茶褐色 暗褐色～茶褐色	外：スズ少量
1324	SA-0-6	壺	315	—	—	工具ナメ	ハケ・ミガキ 工具ナメ	茶褐色細少量化白色細少量化	良好	暗茶褐色～暗茶褐色 暗褐色～暗茶褐色	外：無熱
1325	SA-0-6	壺	245	—	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色細少量化白色細少量化	良好	淡黃褐色～茶褐色 淡褐色～茶褐色	外：スズ少量
1326	SA-0-6	壺	—	—	—	ハケ→カキアゲ	ハケ→カキアゲ	茶褐色細少量化	良好	暗茶褐色～茶褐色 暗褐色～茶褐色	外：スズ少量
1327	SA-0-6	壺	約250	—	—	ハケ	ハケ→カキアゲ	茶褐色細少量化白色細少量化	小少 あまし	黃褐色	暗茶褐色～茶褐色
1328	SA-0-6	壺	217	—	—	工具ナメ→工具ナメ	工具ナメ→粗ハケ	茶褐色細少量化白色細少量化	良	淡黃褐色～淡茶褐色 淡褐色～淡茶褐色	外：スズや多い

表 10 弥生土器・土師器観察表(3)

No.	出土地	器種	寸法 (cm)		調査		胎土	焼成	色調		備考		
			口径	通径	深さ	外面	内面		外面	内面			
1229	SA-0-6	甕	236	—	—	工具ナメ	工具ナメ・半ケズ リ	白色粗面微細砂少量	良好	茶灰褐～淡褐	赤褐色～淡黃褐		
1230	SA-0-6	甕	241	—	—	ハケ	ハケ・ヨコケズリナメ	粗細砂少量	良	暗茶褐～暗灰	淡黃～淡灰		
1231	SA-0-6	甕	238	—	—	工具ナメ	ハケ～半ケズナメ	赤褐色粗面量	良	淡黃褐～暗系褐	赤：ヌス多量 外：灰～灰黑		
1232	SA-0-6	甕	194	—	—	工具ナメ	工具ナメ	赤褐色粗面量	良	淡黃褐	淡黃～淡系褐		
1233	SA-0-6	甕	248	—	—	ハケ	工具ナメ	微細砂少量	良	淡茶灰～淡褐	茶灰～淡系褐	内：ヌス少量	
1234	SA-0-6	甕	204	—	—	工具ナメ	ハケ～工具ナメ	微細砂や多い	良	茶褐～暗褐	淡黃褐～暗系褐	内：ヌス少量	
1235	SA-0-6	甕	215	—	—	ハケ	工具ナメ	微細砂少量・褐色粗面	良	暗茶灰～暗系褐	暗茶灰～暗系褐	内：ヌス少量	
1236	SA-0-6	甕	—	—	—	ハケ	工具ナメ	赤褐色粗面量	良	黃褐	暗灰～黑灰		
1237	SA-0-6	甕	—	—	—	ハケ	工具ナメ	良	良	淡黃	暗灰		
1238	SA-0-6	甕	—	—	—	工具ナメ	ハケ	粗砂少量	少 少 良	灰～淡黃灰	灰～淡黃灰		
1239	SA-0-6	甕	—	—	—	粗工具ナメ	—	微細砂少量	良	淡黃褐～黃褐	淡黃褐		
1240	SA-0-6	甕	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	赤褐色粗面・微砂少量	良	淡黃	淡灰褐		
1241	SA-0-6	甕	—	—	62	—	半ケズナメ	工具ナメ	微細砂少量・赤褐色少量	良	淡黃～暗褐	淡黃	
1242	SA-0-6	甕	—	37×98	—	工具ナメ	ハケ	粗細砂・赤褐色粗面や多い	良	褐～淡褐	暗茶灰～暗系褐		
1243	SA-0-6	甕	—	35×60	—	工具ナメ	工具ナメ	白色粗面量	良	淡黃灰～暗系褐	黃褐～淡褐		
1244	SA-0-6	甕	—	64	—	ハケ	ハケ・工具ナメ	赤褐色粗面少量	良	淡黃灰～淡黃褐	淡黃灰		
1245	SA-0-6	子口付上皿	49	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	微細砂少量	良	粗細砂～暗系褐	暗茶褐		
1246	SA-0-6	小平腹	62	—	—	ハケ～工具ナメ	ハケ～工具ナメ	良	良	茶灰～暗褐	茶灰～暗褐		
1247	SA-0-6	甕	141	—	—	ハケ	工具ナメ	良	不 良 良	淡黃褐	淡黃～淡褐		
1248	SA-0-6	甕	136	—	—	ハケ	工具ナメ	白色粗面量	少 少 良	淡黃灰～暗系褐	黃褐～淡褐		
1249	SA-0-6	甕	171	—	—	ハケ	ハケ	白色粗面少量	不 良 良	淡黃灰～淡黃褐	淡黃灰		
1250	SA-0-6	甕	145	—	—	ハケ	ハケ	白色粗面少量	不 良 良	粗細砂	内外板熱		
1251	SA-0-6	甕	—	—	—	—	—	微細砂少量・角閃石粗面	良	淡黃灰～淡黃褐	淡黃灰～系灰		
1252	SA-0-6	甕	68	—	—	工具ナメ	粗工具ナメ	良	良	茶灰～淡褐	淡黃～淡褐		
1253	SA-0-6	甕	—	—	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色粗面微砂や多い あまい	不 良 良	淡黃灰～淡褐	暗系褐～暗褐		
1254	SA-0-6	甕	130	—	—	工具ナメ	ナメ	微細砂少量	良	淡黃～淡系褐	黃褐		
1255	SA-0-6	甕	—	—	—	ミ字型	工具ナメ	赤褐色少量	良	淡灰褐	淡黃褐		
1256	SA-0-6	甕	—	—	—	ミ字型	ハケ	赤褐色粗面少量	良	灰～淡灰褐	淡黃～暗系褐	被熱	
1257	SA-0-6	甕	—	—	—	ミ字型(ヨココリタマ)	工具ナメ	粗細砂少量	良	淡黃褐～黃褐	暗灰褐		
1258	SA-0-6	甕	—	—	—	ハケ	丁寧工具ナメ	赤褐色・白色粗面量	良	淡黃～淡褐	淡黃褐		
1259	SA-0-6	甕	23～26	—	—	ハケ	ハケ	赤褐色粗面や多い 白芯・粗細砂少量 あまい	不 良 良	茶灰～淡黃褐	淡黃灰		
1260	SA-0-6	甕	68	—	—	ケズリ～工具ナメ	工具ナメ	赤褐色粗面微細砂少量	良好	淡黃灰～淡灰	高鐵		
1261	SA-0-6	甕	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	赤褐色粗面・白色粗面少量	良	淡黃灰～暗褐	淡黃褐		
1262	SA-0-6	甕	—	28×32	—	丁寧工具ナメ・半ミガキ	工具ナメ	赤褐色粗面・微細砂少量	良	茶灰～淡褐	淡黃		
1263	SA-0-6	甕	—	—	—	工具ナメ	ハケ	茶褐色粗面少量白色粗面量	良	黃褐～淡黃	淡黃褐		
1264	SA-0-6	甕	—	173	—	粗工具ナメ	—《落葉》	微細砂粗面	良	黃褐～淡黃褐	—	外斑：木葉斑	
1265	SA-0-6	甕	—	—	—	工具ナメ・ミガキ	ハケ	茶褐色粗面少量 少 少 良	淡黃～淡褐	淡黃～淡黃褐	淡黃～淡黃褐		
1266	SA-0-6	甕	—	62×65	—	工具ナメ	半ミガキ	微細砂・白色粗面少量	不 良 良	淡黃～淡褐	淡黃～淡褐	被熱	
1267	SA-0-6	錐形	約100	—	—	工具ナメ	工具ナメ	粗細砂や多い	良	粗細砂	暗茶褐～暗系褐	外：ヌス微量	
1268	SA-0-6	錐形	—	—	—	ハケ	工具ナメ	赤褐色粗面量	良	淡黃～淡黃褐	淡黃～淡黃褐		
1269	SA-0-6	台付鉢	184	—	—	工具ナメ	工具ナメ～ハケ	粗細砂少量	良	淡黃～茶灰～黑	淡黃褐		
1270	SA-0-6	高耳	約500	—	—	ミガキ	ミガキ	良	不 良 良	茶灰褐～淡黃褐	淡黃～相反		
1271	SA-0-6	高耳	133	—	—	手ミガキ～ミガキ	ミガキ	微細砂少量	良	淡黃褐～黃褐	淡黃褐		
1272	SA-0-6	高耳	283	—	—	ハケ	ハケ～手ミガキ	赤褐色粗面量	良	淡黃～淡黃褐	淡黃～相反		
1273	SA-0-6	高耳	—	—	—	ミガキ	井・ミガキ・手ミガキ	茶褐色粗面・白色粗面量	良	淡黃～淡黃褐	井：淡黃～相反 手：淡黃～相反		
1274	SA-0-6	高耳	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粗面・微細砂粗面	良	淡黃褐	黃褐		
1275	SA-0-6	高耳	107	—	—	(脚)工具ナメ	工具ナメ	白色粗面少量 少 少 良	不 良 良	茶灰～淡黃褐	淡黃～相		
1276	SA-0-6	高耳	—	約150	—	ハケ	工具ナメ	微細砂少量	良	茶褐	相反	内：乍々堅城	
1277	SA-0-7	甕	約400	—	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色粗面量・茶褐色少量	良	暗褐～淡黃褐	淡黃褐	外：ヌス少量	
1278	SA-0-7	甕	266	—	—	工具ナメ	工具ナメ～半ケズリ 工具ナメ	研磨石多量・茶褐色少量	良	茶褐～暗茶褐	茶褐～暗系褐	外：ヌス少量	
1279	SA-0-7	甕	約100	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粗面少量・粗細砂粗面	良	暗茶褐	暗茶褐～淡黃褐	外：ヌス少量	
1280	SA-0-7	甕	約200	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粗面少量	良	暗茶褐～黑灰	暗茶褐～淡黃褐		
1281	SA-0-8	甕	約100	—	—	ハケ・工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粗面少量	良	良	良		
1282	SA-0-8	甕	203	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色粗面・白色粗面少量	不 良 良	淡黃	淡黃		

表11 弥生土器・土器類複観表(4)

No	出土地	器種	法 單 (cm)		圖 案		胎 土	焼成	色 調	備 考	
			口径	底径	器高	外面					
1406	SA-O-8	甕	228	—	—	ハケ	ハケ	白色粘少量	良	淡黄灰～淡黄 胎：淡黄胎	
1407	SA-O-8	甕	224	—	—	ハケ	工具ナメ	微細刷少量	良	淡黄灰～淡黄 胎：淡黄胎	
1408	SA-O-8	甕	224	—	—	ハケ	ナメ～ハケ	熟練砂・小量、白色粘微量	良	淡黄灰～淡黄 胎：淡黄灰	
1409	SA-O-8	甕	216	—	—	ハケ	工具ナメ	茶褐色少、微砂微量	良	淡黄灰 胎：淡黄灰	
1410	SA-O-8	甕	273	—	—	ハケ～工具ナメ	ハケ・工具ナメ	熟練砂・赤褐色少量	良好	茶灰～淡褐 胎：淡黄灰	
1411	SA-O-8	甕	196	—	—	ハケ	(ヨコノツリ)	工具ナメ～淡黄 胎：茶褐色少量	良	淡黄灰～淡黄 胎：淡黄灰	
1412	SA-O-8	甕	26×26	85	321	工具ナメ～工具ナメ	ナメ～工具ナメ	熟練砂・少量、茶褐色粘微量	良	淡黄灰～淡灰 胎：淡黄灰	
1413	SA-O-8	甕	215	—	—	ハケ	工具ナメ	熟練砂少量、茶褐色粘微量	良好	茶灰～淡黄灰 胎：淡黄灰	
1414	SA-O-8	甕	249	—	—	タリキ～工具ナメ	ハケ	微細砂・茶褐色粘少量	良	淡黄灰～淡黄 胎：淡黄灰	
1415	SA-O-8	甕	—	—	—	手ミガキ	ハケ	白色粘少量	良	棕褐色～淡褐 胎：淡黄灰	
1416	SA-O-8	甕	—	—	—	ハケ	手ミガキ～手ミガキ	熟練砂少量、茶褐色粘微量	良好	淡黄灰～淡黄 胎：淡黄灰	
1417	SA-O-8	甕	—	—	—	丁寧工具ナメ	工具ナメ	茶褐色少、白褐色、微砂微量	良	淡黄灰～淡灰 胎：茶褐色	
1418	SA-O-8	甕	—	—	—	ハケ(手ミガキ)	ハケ～手ミガキ	茶褐色少、茶褐色粘微量	少量	良 胎：茶褐色	
1419	SA-O-8	甕	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粘少、白色粘微量	良	淡黄灰 胎：茶褐色	
1420	SA-O-8	甕	—	100	—	ハケ	工具ナメ	白色粘少量	良	淡黄～茶褐色 胎：淡黄灰	
1421	SA-O-8	甕	—	—	—	丁寧工具ナメ	ハケ	茶褐色粘、微砂少量	良	淡黄灰～淡黄 胎：茶褐色	
1422	SA-O-8	小型甕	120	—	—	手ミガキ	手ミガキ	茶褐色粘、白色和少量	少量 良	淡黄灰～淡黄 胎：茶褐色	
1423	SA-O-8	甕	94	—	—	ハケ	工具ナメ	良	暗茶褐色～茶褐色		
1424	SA-O-8	甕	84	—	—	手ミガキ	ミガキ	良	暗茶褐色～茶褐色		
1425	SA-O-8	甕	135	—	—	工具ナメ	強い工具ナメ	茶褐色粘、白色粘微量	良	淡黄灰 胎：茶褐色	
1426	SA-O-8	甕	140	—	—	ハケ	工具ナメ	淡黄灰～白色粘 胎：茶褐色	少量小颗粒 良	淡黄灰～淡黄 胎：茶褐色	
1427	SA-O-8	甕	128	—	—	ハケ～工具ナメ	工具ナメ	良	淡黄灰		
1428	SA-O-8	甕	131	—	—	手ミガキ～手ミガキ	工具ナメ	茶褐色粘、微砂微量	良	暗茶褐色～茶褐色	
1429	SA-O-8	甕	223×176	—	—	ナメ～ハケ～手ミガキ	ナメ～工具ナメ	茶褐色粘少量	良	淡黄～淡灰 胎：淡黄灰	
1430	SA-O-8	甕	—	—	—	手ミガキ	強い工具ナメ～手ミガキ	微砂微量、粗砂微量	良	暗茶褐色～茶褐色 胎：暗茶褐色	
1431	SA-O-8	甕	—	—	—	手ミガキ	強い工具ナメ	白色粘少量	良	棕褐色～黄褐色 胎：淡黄灰	
1432	SA-O-8	甕	—	—	—	ハケ～工具ナメ	ハケ	粗砂少、茶褐色粘少量	良	淡黄灰～多砂 胎：淡黄灰	
1433	SA-O-8	甕	—	—	—	ミガキ	ミガキ～工具ナメ	微砂微量	良好	暗茶褐色～茶褐色	
1434	SA-O-8	甕	—	42	—	粗工具ナメ	粗工具ナメ	茶褐色粘少量	良	淡黄褐色～茶褐色 胎：暗茶褐色	
1435	SA-O-8	甕	—	—	—	工具ナメ～ミガキ	丁寧工具ナメ	茶褐色粘、白色粘、粗砂微量	良	暗茶褐色～茶褐色 胎：暗茶褐色	
1436	SA-O-8	甕	—	—	—	手ミガキ	工具ナメ	茶褐色粘少量	良	暗茶褐色～茶褐色 胎：暗茶褐色	
1437	SA-O-8	小型甕	20	—	—	ハケ	工具ナメ	白色粘、茶褐色粘少量	良	良 胎：茶褐色	
1438	SA-O-8	小型甕	—	—	—	ハケ～手ミガキ	工具ナメ	微砂少量	良	暗茶褐色～淡黄灰 胎：茶褐色	
1439	SA-O-8	小型甕	69	27	26	66	粗工具ナメ	ナメ～粗工具ナメ	茶褐色粘少量	良	茶褐色～茶褐色 胎：茶褐色
1440	SA-O-8	小型甕	102	—	—	ハケ～手ミガキ	工具ナメ	茶褐色粘少量	良	淡黄～淡灰 胎：淡黄灰	
1441	SA-O-8	小型甕	80	39	72	瓶ミガキ～手ミガキ	手ミガキ	茶褐色粘少量	良好	淡黄灰～淡灰 胎：茶褐色	
1442	SA-O-8	小型甕	—	36×48	—	ミガキ～工具ナメ	粗工具ナメ	白色粘微量	良好	淡黄～淡灰 胎：茶褐色	
1443	SA-O-8	甕	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナメ	白色粘少量	良	暗茶褐色～茶褐色 胎：茶褐色	
1444	SA-O-8	甕	—	—	—	粗工具ナメ～ハケ	強い工具ナメ	微砂微量	良好	淡黄～淡灰 胎：茶褐色	
1445	SA-O-8	林	246	—	—	工具ナメ	粗工具ナメ～工具ナメ	微砂少、小量、白褐色微量	良	淡黄褐色～暗茶褐色 胎：茶褐色	
1446	SA-O-8	林	200	—	—	手ミガキ	工具ナメ	茶褐色粘少量	良	暗茶褐色～茶褐色 胎：茶褐色	
1447	SA-O-8	甕	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナメ	微砂微量	良好	淡黄～茶褐色 胎：茶褐色	
1448	SA-O-8	甕	—	—	—	ハケ	丁寧工具ナメ	良	茶褐色～茶褐色 胎：茶褐色		
1449	SA-O-8	甕	—	—	—	ミガキ	工具ナメ	良	茶褐色～茶褐色 胎：茶褐色		
1450	SA-O-8	甕	—	—	—	手ミガキ	工具ナメ	茶褐色粘微量	良好	淡黄～茶褐色 胎：茶褐色	
1451	SA-O-8	甕	—	—	—	工具ナメ	环：手ミガキ	茶褐色粘、白色粘微量	良	茶褐色～茶褐色 胎：茶褐色	
1452	SA-O-8	甕	—	96	—	ハケ～工具ナメ	工具ナメ	良	良		
1453	SA-O-9	深鉢	—	—	—	工具ナメ	工具ナメ	微砂微量	良	淡黄褐色～淡黄 胎：茶褐色	
1460	SA-O-9	—	—	—	—	粗工具ナメ	工具ナメ	微砂微量	良	淡黄～淡黄 胎：茶褐色	
1461	SA-O-9	小型甕	62	—	—	工具ナメ	工具ナメ	良	良	淡黄褐色～茶褐色 胎：茶褐色	
1462	SA-O-9	甕	—	—	—	粗工具ナメ	粗工具ナメ	良	良	淡黄～茶褐色 胎：茶褐色	
1472	SA-I-0	甕	144	—	—	工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粘少、白色粘微量	良好	暗茶褐色～淡黄 胎：茶褐色	
1473	SA-I-0	甕	990×228	—	—	丁寧工具ナメ	丁寧工具ナメ	微砂少、茶褐色粘微量	良	淡黄～茶褐色 胎：茶褐色	
1474	SA-I-0	甕	178	—	—	ハケ～粗工具ナメ	工具ナメ～ミガキ	粗砂少、中量、白褐色微量	良好	淡黄～暗茶褐色 胎：茶褐色	
1475	SA-I-0	甕	241	—	—	ハケ～工具ナメ	工具ナメ	茶褐色粘、白色粘少量	良	淡黄～茶褐色 胎：茶褐色	

表12 弥生土器・土師器観察表(5)

No	出土地	器種	寸法 (mm)		調査		黏土	焼成	色調		備考		
			口径	通径	底面	内面			外面	内面			
1476	SA-1-0	甕	236	—	—	工具ナダ	丁寧工具ナダ	微細砂少集	良	暗黄褐色～深灰褐色	基部～淡褐色		
1477	SA-1-0	甕	175	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	微細砂・白色粘微量	良	淡黃褐色～淡褐色	淡黃～淡褐色	焼成	
1478	SA-1-0	甕	約400	—	—	ハケ	工具ナダ	白色粘少集	良	灰褐色～淡灰褐色	淡系褐色～黃褐色	外：オコゲ少量 内：スヌ少量	
1479	SA-1-0	甕	約400	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	暗系褐色～淡黃褐色	堆集部～淡黃褐色	
1480	SA-1-0	甕	約400	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂微集	小不良 あまし	燒成	淡灰褐色	小火燒制	
1481	SA-1-0	甕	—	—	—	粗工具ナダ	丁寧工具ナダ	白色粘少集・墨褐色	良	淡黃褐色～深灰褐色	淡黃褐色～深系褐色		
1482	SA-1-0	甕	—	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少集・墨褐色	良	黃褐色～淡褐色	堆灰	内：オコゲ少量	
1483	SA-1-0	小型甕	—	54	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少集	良	暗黃褐色～暗褐色	堆集部～暗褐色	外：スヌ少量	
1484	SA-1-0	甕	約400	—	—	ハケ～工具ナダ	工具ナダ	良	暗灰褐色～暗茶褐色	堆灰			
1485	SA-1-0	盆	約350	—	—	コガキ	丁寧工具ナダ	良	黃褐色	燒成	輕制		
1486	SA-1-0	甕	124	—	—	工具ナダ～コガキ	丁寧工具ナダ	深褐色～淡黃褐色	小不良 あまし	淡黃褐色～淡黃褐色	堆灰	燒成	
1487	SA-1-0	小型甕	78	—	—	工具ナダ	工具ナダ	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆灰	内：オコゲ少量		
1488	SA-1-0	甕	—	—	—	コガキ	工具ナダ	微細砂少集	良	淡黃褐色～暗灰褐色	堆灰		
1489	SA-1-0	甕	—	32	—	半くがき～工具ナダ	粗工具ナダ	深褐色死皮・白色粘微量	良	暗黃褐色～深灰褐色	堆灰	燒成	
1490	SA-1-0	小型甕	—	25	—	コガキ	粗工具ナダ	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆灰	燒成		
1491	SA-1-0	甕	—	19	—	半くがき～工具ナダ	ハケ	多颗粒状・墨褐色、白色粘微量	良	暗灰褐色～淡褐色	堆灰	内：小火燒制	
1492	SA-1-0	甕	117±7	31	11	24	粗工具ナダ	工具ナダ	白色粘微量	良	淡黃褐色～淡茶褐色	堆灰	
1493	SA-1-0	甕	264	—	—	三分合～ハケ～工具ナダ	丁寧工具ナダ	微細砂少集	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色	燒成	
1494	SA-1-0	甕	—	—	—	ハケ	堆茶褐色～工具ナダ	堆茶褐色	良	淡黃褐色	堆茶褐色	燒成	
1495	SA-1-0	甕	—	—	—	堆くがき～コガキ	丁寧工具ナダ	微細砂少集	良	淡黃褐色～淡褐色	堆茶褐色～淡褐色	4万方尺	
1496	SA-1-0	甕	—	—	—	堆くがき～コガキ	堆くがき～工具ナダ	微細砂少集赤褐色微微量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～此無類	外：被熱	
1497	SA-1-0	甕	—	25±13	—	コガキ～工具ナダ	工具ナダ	深褐色少集・微細砂多量	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：中重、被熱	
1521	SA-1-1	甕	130	—	—	ハケ	粗工具ナダ	微細砂少集	良好	堆茶褐色～暗褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	
1524	SA-1-1	林	97	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少集	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色	内：スヌ少量	
1525	SA-1-1	甕	153	—	—	工具ナダ・ハケ	ハケ	多颗粒状少集	良	淡褐色	堆茶褐色		
1526	SA-1-1	甕	314	—	—	ハケ	ハケ～工具ナダ	微細砂・深褐色少集	良	淡黃褐色～深灰褐色	堆茶褐色～淡褐色	内：オコゲ少量 外：スヌ少量	
1527	SA-1-1	甕	30×30	—	—	ハケ	工具ナダ	鐵砂少集	小不良 あまし	堆茶褐色～淡褐色	堆茶褐色～堆茶褐色		
1528	SA-1-2	甕	約400	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂・深褐色少集	良	堆茶褐色～淡褐色	堆茶褐色～淡褐色	内：スヌ少量	
1529	SA-1-1	甕	130	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少集	小不良 あまし	暗茶褐色～堆茶褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：スヌ無	
1530	SA-1-1	甕	360	—	—	ハケ	ハケ～工具ナダ	深褐色少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：スヌ少量	
1531	SA-1-1	甕	272	—	—	ハケ	工具ナダ	深褐色～黑色少集褐色	良	淡褐色	堆茶褐色		
1532	SA-1-1	甕	260	—	—	ハケ	ハケ	微細砂少集	良	淡褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：スヌ多量	
1533	SA-1-2	甕	—	—	—	工具ナダ	ハケ・工具ナダ	微細砂少集	小不良 あまし	黃褐色～棕褐色	堆茶褐色～淡茶褐色	堆茶褐色～淡茶褐色	
1534	SA-1-1	甕	—	—	—	ハケ	堆くがき～工具ナダ	深褐色少集・深褐色少集	良好	堆茶褐色～堆茶褐色	堆茶褐色～堆茶褐色		
1535	SA-1-1	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	堆茶褐色～黑色少集褐色	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色		
1536	SA-1-1	甕	—	79	—	—	堆くがき～工具ナダ	堆茶褐色～黑色少集褐色	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：オコゲ少量 内：十分厚	
1537	SA-1-1	甕	272	—	—	ハケ	工具ナダ	多颗粒状少集	良	堆茶褐色～淡茶褐色	堆茶褐色		
1538	SA-1-1	甕	260	—	—	ハケ	ハケ	堆くがき少集	良	淡褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：スヌ多量	
1539	SA-1-2	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少集	小不良 あまし	黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	
1540	SA-1-1	甕	—	—	—	ハケ～工具ナダ	堆くがき～工具ナダ	堆茶褐色～黑色少集褐色	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	内：スヌ少量	
1541	SA-1-1	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	堆茶褐色少集	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	燒成	
1542	SA-1-1	甕	210	—	—	ハケ	ハケ	良	良	堆茶褐色～堆茶褐色	堆茶褐色～堆茶褐色		
1543	SA-1-2	甕	320	—	—	工具ナダ	丁寧工具ナダ	堆茶褐色少集	良好	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色	基づ	
1543	SA-1-2	甕	約200	—	—	工具ナダ	ハケ	微細砂少集	良	淡黃褐色～黃褐色	堆茶褐色～淡茶褐色		
1545	SA-1-2	甕	約400	—	—	工具ナダ・ハケ	工具ナダ	堆茶褐色少集白色粘微量	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色		
1546	SA-1-2	甕	332	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少集	良	淡黃褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色		
1547	SA-1-2	甕	—	24×94	—	工具ナダ～粗工具ナダ	粗工具ナダ	堆茶褐色少集	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色		
1548	SA-1-2	甕	—	105	—	ハケ	工具ナダ	堆茶褐色少集白色粘微量	良	堆茶褐色	堆茶褐色		
1549	SA-1-2	小型甕	—	80×54	—	工具ナダ	工具ナダ	堆茶褐色少集白色粘微量	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	
1550	SA-1-2	甕	—	105	—	ハケ～工具ナダ	堆くがき～工具ナダ	堆茶褐色少集	良	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	
1551	SA-1-2	甕	—	218	—	—	コガキ	良	良	堆茶褐色～淡茶褐色	堆茶褐色～淡茶褐色	堆茶褐色～堆茶褐色	
1552	SA-1-3	小型甕	85	—	—	工具ナダ	工具ナダ	堆茶褐色少集	良	堆茶褐色	堆茶褐色		
1573	SA-1-2	盆	52	72	—	—	コガキ	堆茶褐色少集	良	淡黃褐色	堆茶褐色～堆茶褐色		
1574	SA-1-2	甕	—	74	—	工具ナダ	工具ナダ	堆茶褐色少集	不不良 あまし	淡黃褐色	堆茶褐色		
1575	SA-1-2	甕	146	—	—	コガキ	丁寧工具ナダ	堆茶褐色無量	不不良 あまし	淡黃褐色	堆茶褐色～淡黃褐色		

表13 弥生土器・土師器複表(6)

No	出土地	器種	法量(cm)			調査	胎土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ				外	内	
1581	SA-1.3	束	—	—	—	ミガキ	ハケ	微細砂・白色粘土少量	小火 赤茶 黄褐色	灰褐色	—
1585	SA-1.2	束	295	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量	火候不 良	淡黃～淡褐	淡黃～淡褐
1586	SA-1.3	束	163	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量多量	良	灰褐色～灰褐色	淡黃～淡褐
1587	SA-1.4	束	300 ~ 350	—	—	ハケ	ハケ	粗緻砂・茶褐色少量	良	茶～淡黃	淡黃～茶褐色
1588	SA-1.3	束	160	112	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂・角閃石微量	良	茶～暗茶褐色	暗茶褐色
1589	SA-1.3	束	300 ~ 350	—	—	ナダ	ナダ・工具ナダ	良	不規 形	淡黃褐色	淡黃褐色
1590	SA-1.3	束	36	20	85	工具ナダ	工具ナダ	微細砂・茶褐色少量	良好	洪褐色～淡黃・暗灰	淡褐色～淡褐
1591	SA-1.2	束か	約400	—	—	工具ナダ	ハケ・工具ナダ	良	良	淡黃	淡黃
1592	SA-1.2	束か	64 ~ 106	—	—	ミガキ	工具ナダ	赤褐色少量	良	褐褐色～褐色	洪褐色～洪茶褐色
1593	SA-1.2	高輪か	約180	—	—	ハケ	ハケ	白褐色少量	小火 良	理褐色～淡褐	淡黃～黃褐色
1594	SA-1.2	小型杯	90	—	—	半ミガキ	工具ナダ	良	良	理褐色～茶褐色	理茶褐色
1595	SA-1.1	束	283	—	—	ハケ	ハケ・工具ナダ	微細砂の茶褐色少量	良	茶褐色～淡黃	淡黃
1598	SA-1.4	束	209	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量・微細砂少量	良	洪褐色～淡黃褐色	暗茶褐色
1599	SA-1.4	束	約200	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂・茶褐色少量微量	良	茶～茶褐色	茶褐色
1600	SA-1.4	杯	117	—	—	工具ナダ	ナダ・工具ナダ	茶褐色少量	良	淡黃～淡黃褐色	淡黃褐色
1601	SA-1.4	束	—	—	—	ハケ・工具ナダ	ケリビリ状	粗緻砂・茶褐色少量	良	淡茶褐色～淡黃褐色	淡褐色～細茶褐色 内：火炎内底部 含水率
1602	SA-1.4	束	—	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂微量	良好	淡褐色～淡黃褐色	淡茶褐色～黃褐色 内：寸ヶ谷数量
1603	SA-1.4	杯か	128	—	—	ミガキ	丁寧・工具ナダ	良	不規 形	淡黃褐色～暗灰褐色	灰～暗灰褐色
1605	SA-1.5	束か	約100	—	—	工具ナダ	ハケ	茶褐色少量・白色少量	良	淡黃褐色	淡黃
1606	SA-1.5	杯か	約200	—	—	工具ナダ	ミガキ	良	良	淡褐	淡褐
1607	SA-1.6	束	—	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量・微細砂少量	良	洪褐色～暗茶褐色	暗茶褐色～暗茶褐色
1608	SA-1.6	束	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～黃褐色	淡黃褐色
1609	SA-1.6	束か	—	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少量	良	洪褐色～茶褐色	淡褐色～暗茶褐色 内：少々火炎 少量化
1610	SA-1.7	束	約400	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量・白色少量微量	良	茶褐色	茶褐色
1611	SA-1.7	束	199以上	—	—	工具ナダ	丁寧・工具ナダ	微細砂少量	良	淡黃褐色	洪褐色～暗茶褐色
1612	SA-1.7	束	214	—	—	工具ナダ	ハケ・工具ナダ	茶褐色少量化	良	茶褐色～細茶褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：スズ少量化
1613	SA-1.7	杯か	約150	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～黃褐色	淡黃褐色
1620	SA-1.8	長柄曲	—	—	—	ミガキ	工具ナダ	黑色褐色少量化	良	黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色
1621	SA-1.8	杯	約200	—	—	工具ナダ	工具ナダ	良	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡黃褐色
1622	SA-1.8	杯	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化・白色少量化微量	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：スズ吸現 化物少量
1623	SA-1.8	束	約27.7厘米	—	—	ミガキ・工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色
1624	SA-1.8	束	—	約19.7厘米	—	ミガキ・工具ナダ	丁寧・工具ナダ	茶褐色少量化	良好	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：オサノマ等 カルトニク 内：スズ少量化
1625	SK-0.1	束	約100	—	—	工具ナダ	ハケ	微細砂少量化	不規 形	淡褐色系	淡褐色
1626	SA-0.1	束	—	—	—	工具ナダ	ハケ	白色少量化茶褐色微量	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色
1627	SK-0.1	束	18	—	—	粗ミガキ	半ミガキ	粗緻砂・茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色 内：淡褐色
1628	SK-4	束	199 × 20	—	—	ハケ・工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～系統	淡褐色～系統
1629	SK-4	束	20	—	—	ハケ・工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～洪褐色	淡褐色～洪褐色 内：火炎
1630	SK-4	束	20	—	—	ハケ・工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～洪褐色	淡褐色～洪褐色 内：火炎
1631	SK-1.4	小型杯	81	—	—	ハケ・工具ナダ	丁寧・工具ナダ	微細砂少量化	火候不 良	洪褐色～淡黃褐色	淡褐色～洪褐色 内：火候不 良
1635	SK-1.6	束	183	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良好	淡褐色～系統	淡褐色～系統
1646	SK-1.6	束	363	95	246	ハケ・工具ナダ	ハケ・工具ナダ	茶褐色少量化・微細砂少量化	良	洪褐色～淡褐	洪褐色～淡褐 内：火炎
1647	SK-1.6	束	—	—	—	工具ナダ	—	茶褐色少量化・茶褐色少量化 白褐色少量化	不規 形	暗褐色～黃褐色	暗褐色～淡黃褐色 内：火炎
1648	SK-1.6	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1650	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1651	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1652	SK-1.8	鑿型	270	—	—	工具ナダへミガキ	ミガキ・半ミガキ	白褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1653	SK-1.8	束	204	—	—	ハケ	ハケ	微細砂・茶褐色少量化	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：火炎
1654	SK-1.8	束	約100	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化・白色少量化 白褐色少量化	良	黃褐色	淡褐色～黃褐色 内：スズ少量化
1655	SK-1.8	束	38	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗緻砂少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1656	SK-1.8	盤型	129	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色
1657	SK-1.8	盤	128	—	—	ハケ・工具ナダ	ハケ・ミガキ	良	良	淡褐色	淡褐色
1658	SK-1.8	盤	約150	—	—	工具ナダ	ミガキ	微細砂少量化	良	淡褐色	淡褐色
1659	SK-1.8	束	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1660	SK-1.8	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1661	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1662	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1663	SK-1.8	鑿型	270	—	—	工具ナダへミガキ	ミガキ・半ミガキ	白褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1664	SK-1.8	束	204	—	—	ハケ	ハケ	微細砂・茶褐色少量化	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：火炎
1665	SK-1.8	束	約100	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化・白色少量化 白褐色少量化	良	黃褐色	淡褐色～黃褐色 内：スズ少量化
1666	SK-1.8	束	38	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗緻砂少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1667	SK-1.8	盤型	129	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色
1668	SK-1.8	盤	128	—	—	ハケ・工具ナダ	ハケ・ミガキ	良	良	淡褐色	淡褐色
1669	SK-1.8	盤	約150	—	—	工具ナダ	ミガキ	微細砂少量化	良	淡褐色	淡褐色
1670	SK-1.8	束	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	淡褐色	淡褐色
1671	SK-1.8	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1672	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1673	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1674	SK-1.8	鑿型	270	—	—	工具ナダへミガキ	ミガキ・半ミガキ	白褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1675	SK-1.8	束	204	—	—	ハケ	ハケ	微細砂・茶褐色少量化	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：火炎
1676	SK-1.8	束	約100	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化・白色少量化 白褐色少量化	良	黃褐色	淡褐色～黃褐色 内：スズ少量化
1677	SK-1.8	束	38	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗緻砂少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1678	SK-1.8	盤型	129	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色
1679	SK-1.8	盤	128	—	—	ハケ・工具ナダ	ハケ・ミガキ	良	良	淡褐色	淡褐色
1680	SK-1.8	盤	約150	—	—	工具ナダ	ミガキ	微細砂少量化	良	淡褐色	淡褐色
1681	SK-1.8	束	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	淡褐色	淡褐色
1682	SK-1.8	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1683	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1684	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1685	SK-1.8	鑿型	270	—	—	工具ナダへミガキ	ミガキ・半ミガキ	白褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1686	SK-1.8	束	204	—	—	ハケ	ハケ	微細砂・茶褐色少量化	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：火炎
1687	SK-1.8	束	約100	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化・白色少量化 白褐色少量化	良	黃褐色	淡褐色～黃褐色 内：スズ少量化
1688	SK-1.8	束	38	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗緻砂少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1689	SK-1.8	盤型	129	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色
1690	SK-1.8	盤	128	—	—	ハケ・工具ナダ	ハケ・ミガキ	良	良	淡褐色	淡褐色
1691	SK-1.8	盤	約150	—	—	工具ナダ	ミガキ	微細砂少量化	良	淡褐色	淡褐色
1692	SK-1.8	束	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	淡褐色	淡褐色
1693	SK-1.8	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1694	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1695	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1696	SK-1.8	鑿型	270	—	—	工具ナダへミガキ	ミガキ・半ミガキ	白褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1697	SK-1.8	束	204	—	—	ハケ	ハケ	微細砂少量化	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：火炎
1698	SK-1.8	束	約100	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化・白色少量化 白褐色少量化	良	黃褐色	淡褐色～黃褐色 内：スズ少量化
1699	SK-1.8	束	38	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗緻砂少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1700	SK-1.8	盤型	129	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色
1701	SK-1.8	盤	128	—	—	ハケ・工具ナダ	ハケ・ミガキ	良	良	淡褐色	淡褐色
1702	SK-1.8	盤	約150	—	—	工具ナダ	ミガキ	微細砂少量化	良	淡褐色	淡褐色
1703	SK-1.8	束	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1704	SK-1.8	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1705	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1706	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1707	SK-1.8	鑿型	270	—	—	工具ナダへミガキ	ミガキ・半ミガキ	白褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1708	SK-1.8	束	204	—	—	ハケ	ハケ	微細砂少量化	良	淡褐色～淡黃褐色	淡褐色～淡黃褐色 内：火炎
1709	SK-1.8	束	約100	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	黃褐色	淡褐色～黃褐色 内：スズ少量化
1710	SK-1.8	束	38	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗緻砂少量化	良	粗緻砂少量化	粗緻砂少量化
1711	SK-1.8	盤型	129	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡黃褐色～黃褐色	淡黃褐色～黃褐色
1712	SK-1.8	盤	128	—	—	ハケ・工具ナダ	ハケ・ミガキ	良	良	淡褐色	淡褐色
1713	SK-1.8	盤	約150	—	—	工具ナダ	ミガキ	微細砂少量化	良	淡褐色	淡褐色
1714	SK-1.8	束	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	良	淡褐色	淡褐色
1715	SK-1.8	束	157	—	—	ハケ・粗ミガキ	ミガキ	茶褐色少量化	良	洪褐色	洪褐色
1716	SK-1.8	束	238	—	—	粗工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：火炎
1717	SK-1.8	束	216	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐色～茶褐色	淡褐色～茶褐色 内：スズ少量化
1718	SK-1.8	鑿型	270	—	—</td						

表 1-4 弥生土器・土師器観察表(7)

No	出土地	器種	法量 (mm)			調査 内面	胎土	後成	色調		備考
			口径	底径	高さ				外 面	内 面	
1666	SK-2-3	甕	200	—	—	ハケ～工具ナダ	ハケ～工具ナダ	微細砂微量・茶褐色少量	良	灰黒～灰黄～黄青	灰黒～灰黄
1667	SK-2-3	甕	約400	—	—	タツメナガ～工具ナダ	工具ナダ	微細砂微量	良好	淡黄～淡黄褐	淡灰
1668	SK-2-3	甕	—	—	—	ハケ	工具ナダ	茶褐色少量・白褐色・小縫微量	良	淡灰灰～黄褐	淡灰黄 内：オカ少量
1669	SK-2-3	甕	—	—	—	—	—	茶褐色・白色少少量	良	暗茶褐～茶褐	淡灰褐～淡灰
1670	SK-2-3	甕	—	—	—	工具ナダ～ケヅリ	丁寧工具ナダ	茶褐色少量化	少少 良好	灰黒～淡灰～黄青灰	淡灰～灰灰
1671	SK-2-3	甕	—	—	—	工具ナダ	丁寧工具ナダ	茶褐色少量化	良好	淡黄～淡茶褐～ 淡灰褐	被熱
1672	SK-2-3	小型甕	90	—	—	ハケ～ミガキ	ハケ	良好	良好	淡粉青～暗灰	淡灰褐～糊
1673	SK-2-4	甕	約500	—	—	丁寧工具ナダ	丁寧工具ナダ	白色少量化	良	暗茶褐～淡灰	黑灰～糊 外：スズ無
1674	SK-2-4	甕	—	100	—	工具ナダ	ハケ～工具ナダ	茶褐色粗量	良	黄褐～淡粉褐	淡粉褐
1675	SK-2-6	甕	274	—	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良	淡褐	淡褐
1676	SK-2-6	甕	約400	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少量化	良	淡黄～淡粉褐	暗茶褐～内：被熱
1677	SK-2-6	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	微細砂少量化	良	淡黃～淡茶褐～ 淡粉褐	淡灰～淡灰
1678	SK-2-6	甕	322	—	—	工具ナダ	ハケ	微細砂・茶褐色少量化	少少 良好	淡灰褐～淡黄～ 淡灰褐～淡灰	少少被熱
1679	SK-2-6	甕	143	—	—	ハケ	ハケ	良好	良好	暗茶褐	少少被熱
1680	SK-2-6	甕	158	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色反復量・白色少量化 多い・泡継続少量化	少少 良好	黄褐	淡褐～糊
1681	SK-2-6	甕	—	36×68	—	粗工具ナダ	工具ナダ～ハケ	粗細砂・白色少量化	良	灰～暗灰	淡灰～母貝 内：被熱
1682	SK-2-6	小型甕	89	—	—	—	工具ナダ	粗細砂・白色少量化	少少 良好	黄褐～糊	少少被熱
1683	SK-2-6	甕	—	29×82	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化・白色少量化	良好	淡黄～黄褐	淡褐
1684	SK-2-6	甕	—	122× 126	—	半ミガキ～工具ナダ	工具ナダ	微細砂	少少 良好	淡黄～黄褐	少少被熱
1685	SK-2-6	甕	100	—	—	ハケ	ハケ	白色・茶褐色少量化	少少 良好	淡褐	少少被熱
1686	SK-2-6	甕	—	125× 132	—	—	ハケ	茶褐色少量化	少少 良好	淡黄褐	淡褐～糊
1687	SK-2-6	甕	—	—	—	ハケ	工具ナダ	微細砂少量化	良好	淡黄褐	暗灰
1688	SK-2-6	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	茶褐色少量化	少少 良好	淡褐	少少被熱
1689	SK-2-6	甕	—	—	—	工具ナダ	工具ナダ	粗細砂少量化	良好	淡灰～淡黄	淡褐～糊
1690	SK-2-6	甕	—	—	半ミガキ	ハケ	粗細砂少量化	良好	淡灰～暗灰	淡褐～糊	
1691	SK-2-6	甕	—	—	—	丁寧工具ナダ	丁寧工具ナダ	茶褐色少量化	良好	淡褐～淡灰、黒灰	淡黄～淡灰、黒灰
1692	SK-2-6	甕	—	80×12	—	半ミガキ～工具ナダ	工具ナダ	粗細砂少量化・白色少量化	良	灰褐～淡黄	淡褐～粗柄
1693	SK-2-6	小形甕	47	—	—	ハケ	ハケ	微細砂少量化	良好	淡黄褐	暗灰
1694	SK-2-6	甕	—	—	—	ハケ～工具ナダ	工具ナダ	白色少量化・粗細砂少量化	少少 良好	黄褐～黄褐	少少被熱
1695	SK-2-6	甕	—	120	—	工具ナダ～ハケ	工具ナダ～ハケ	白色少量化	少少 良好	淡灰～淡褐	暗灰～糊
1701	V区の窓の 側面	甕	—	半ミガキ	—	工具ナダ	工具ナダ	茶褐色少量化	良好	淡褐～淡灰	外側：丹塗り
1702	V区の窓の 側面	小形甕	58	—	—	工具ナダ	ハケ	茶褐色粗量	良好	淡黄褐	淡粉褐
1703	VII区 IV番 側面	甕	約200	—	—	ハケ	ハケ	微細砂少量化	少少 良好	淡褐～淡黄褐	淡粉褐
1704	VII区の窓の 側面	小形甕	約200	—	—	工具ナダ	ハケ	茶褐色粗量	良好	淡黄褐	淡粉褐

表 1-5 石器観察表(1)

No	出土地	種類	法量 (mm)			重さ (g)	石材	備考	法量 (mm)		備考	
			長さ	幅さ	厚さ				長さ	幅さ		
8	S-A-0-3 北斜面	—	石器	11.5	10.5	3	0.7	チャコード （白色）	中位～ 右脇骨再生部	11 (8)	3 0.2	碧螺石・A
9	—	—	石器	12.0	11.0	2.0	0.2	墨離石・A	—	—	—	—
10	S-A-0-3 北斜面	—	石器	18	16	4	0.7	墨離石（白色）	—	—	—	—
11	6-TE-1層	—	石器	12	11	2	0.2	铁石	—	—	—	—
12	9-TW-VI層	—	精製した 墨離石	18.4	15.5	1	0.9	粘状物	—	—	—	—
208	I区 VI層	H10	石器	12.5	12.5	2.0	0.2	墨離石・A	—	—	—	—
209	I区 VI層	F9	石器	14	13	4	0.3	墨離石・A・C	—	—	—	—
290	I区 VI層	—	石器	14	12	2	0.5	墨離石・A	—	—	—	—
291	I区 VI層	F8	石器	12	11.5	2.5	0.3	墨離石・A・C	—	—	—	—
292	I区 VI層	F10	石器	11	10	2	0.1	墨離石・A	—	—	—	—
293	I区 VI層	H19	石器	19.0	17	4.5	1.1	墨離石・A	—	—	—	—
294	I区 VI層	—	石器	14	12.5	2.5	0.4	墨離石・A	—	—	—	—
295	I区 VI層	P13	石器	12.0	10.5	2.0	0.2	墨離石・A	—	—	—	—
296	I区 VI層	P7	石器	15.0	10	2.5	0.6	墨離石・A	—	—	—	—
297	I区 VI層	—	石器	15	10	3	0.6	墨離石・A	跡石側再生部	—	—	—
298	I区 VI層	—	石器	13	11.5	3	0.3	墨離石・G-1	—	—	—	—
299	I区 VI層	D9	石器	12.5	10.0	1.5	0.3	墨離石・A	—	—	—	—
300	I区 VI層	P13	石器	14	11	3	0.2	碧螺石・A	—	—	—	—
301	I区 VI層	P11	石器	10.0	16	3.5	0.4	碧螺石・C・D	—	—	—	—
302	I区 VI層	G11	石器	11	11	3	0.3	碧螺石・A	—	—	—	—
303	I区 VI層	H11	石器	13	12	4	0.4	碧螺石・A	—	—	—	—
304	I区 VI層	P8	石器	12	8	2.5	0.2	石英（半透明 一塊岩質）	—	—	—	—
305	I区 VI層	—	石器	11	12.0	3	0.3	碧螺石・A	—	—	—	—
306	I区 VI層	—	石器	11	11	2.5	0.3	碧螺石・A・C	—	—	—	—
307	I区 VI層	P14	石器	13	12	2.5	0.5	碧螺石・A	—	—	—	—
308	I区 VI層	D8	石器	12.5	12.5	3	0.2	碧螺石・A	—	—	—	—
309	I区 VI層	P13	石器	14	11	3	0.4	碧螺石・A	—	—	—	—
310	I区 VI層	G8	石器	16	13	3	0.5	碧螺石・A	—	—	—	—
311	I区 VI層	G13	石器	17	11	4	0.7	碧螺石～墨離石	—	—	—	—
312	I区 VI層	E5	石器	(12)	(11)	3	0.9	碧螺石・C・D	—	—	—	—
313	I区 VI層	—	石器	9.5	9	2	0.2	碧螺石・C・D	—	—	—	—
314	I区 VI層	J14	石器	11	12.5	2.5	0.3	碧螺石・A	—	—	—	—
315	I区 VI層	—	石器	12	10.5	4	0.5	碧螺石・A	—	—	—	—
316	I区 VI層	117	石器	10	9	2.5	0.2	碧螺石・A	—	—	—	—

表 16 石器觀察表 (2)

NO	出 土 地 址[地]	器 類	尺 寸 (mm) 長×寬×厚	重 量 (g)	石 材	備 考	第 1 次的 測量			
							長	寬	厚	重
317	I 区 VI 层	D6	石鏽	12.11	2.0	0.3	黑曜石·A			
318	I 区 VI 层	G8	石鏽刮削器	12.10	3.0	0.1	黑曜石·A			
319	I 区 VI 层	—	石鏽	14.0 (14)	3	0.4	黑曜石·A			
320	I 区 VI 层	E6	石鏽	13 (12)	2	0.2	黑曜石·A			
321	I 区 VI 层	E9	石鏽	15.5 (10.5)	3	0.5	黑曜石·A·S			
322	I 区 VI 层	D13	石鏽	15.5 (12)	2.0	0.2	黑曜石·A			
323	I 区 VI 层	D9	石鏽	13.0 (13.5)	3.0	0.5	黑曜石·A			
324	I 区 VI 层	G11	石鏽	18 (10.5)	3.0	0.8	黑曜石·A	右側刃 兩尖端半切		
325	I 区 VI 层	F8	石鏽刮削器	16 (12.5)	3.0	0.5	黑曜石 (乳白)	鷹嘴突?		
326	I 区 VI 层	F9	石鏽	9 (12)	3	0.2	八寶岩質砂岩			
327	I 区 VI 层	—	石鏽	6.0 (6.0)	3	0.2	黑曜石·A			
328	I 区 VI 层	—	石鏽	10.0 (10)	2.0	0.2	黑曜石·A			
329	I 区 VI 层	J7	石鏽	12 (15)	3	0.3	黑曜石·A			
330	I 区 VI 层	E7	石鏽	11.5 (11)	2	0.2	黑曜石·A·S			
331	I 区 VI 层	D14	石鏽	12 (6.5)	2.0	0.1	黑曜石·A·S			
332	I 区 VI 层	G12	石鏽	13 (12)	2	0.1	黑曜石·A			
333	I 区 VI 层	G11	石鏽	13 (12)	3	0.3	石鏽 (淡褐色)			
334	I 区 VI 层	I10	石鏽	13 (11)	3	0.2	黑曜石·A·S			
335	I 区 VI 层	G10	石鏽	11 (10)	2	0.1	黑曜石·A			
336	I 区 VI 层	E12	石鏽	12 (12.5)	3.0	0.4	黑曜石·A			
337	I 区 VI 层	G8	石鏽	12.5 (11.5)	2	0.1	黑曜石·A	圓曲		
338	I 区 VI 层	C4	石鏽	12.5 (12)	2.0	0.2	黑曜石·C·S			
339	I 区 VI 层	—	石鏽	12 (11)	3.0	0.4	鐵石英 (黑鐵英)			
340	I 区 VI 层	J17	石鏽	11 (12)	2.0	0.1	黑曜石·A			
341	I 区 VI 层	—	石鏽	12.0 (8)	2	0.3	黑曜石·A			
342	I 区 VI 层	E13	石鏽	13 (16)	4	0.6	石鏽 (黑鐵英)			
343	I 区 VI 层	H9	石鏽	13.5 (12)	2	0.2	黑曜石·A·S			
344	I 区 VI 层	G14	石鏽	11.0 (11.5)	2.0	0.2	黑曜石·A			
345	I 区 VI 层	F11	石鏽	14 (10)	3	0.4	黑曜石·A			
346	I 区 VI 层	J18	石鏽	13 (10)	2	0.1	黑曜石·A			
347	I 区 VI 层	—	石鏽	15 (15.5)	2.0	0.4	黑曜石·C·S			
348	I 区 VI 层	G7	石鏽	14 (11)	3	0.1	黑曜石·A			
349	I 区 VI 层	G7	石鏽	13.0 (12.0)	3	0.4	黑曜石·A			
350	I 区 VI 层	D15	石鏽	14.0 (10)	2.0	0.2	黑曜石·A			
351	I 区 VI 层	D6	石鏽	14 (11)	2	0.1	黑曜石·A			
352	I 区 VI 层	—	石鏽	19.0 (14.5)	4	0.8	黑曜石·G 1			
353	I 区 VI 层	E8	石鏽	14 (12)	3	0.2	黑曜石·A·S			
354	I 区 VI 层	E5	石鏽	10.0 (14)	3	0.2	黑曜石·A			
355	I 区 VI 层	F6	石鏽	14.5 (12)	3	0.5	黑曜石·A			
356	I 区 VI 层	D8	石鏽	15 (12)	2.5	0.4	黑曜石·A			
357	I 区 VI 层	—	石鏽	14 (11.5)	2	0.2	黑曜石·A			
358	I 区 VI 层	F10	石鏽	15 (12)	2.0	0.1	黑曜石·A·S			
359	I 区 VI 层	I9	石鏽	14 (12.5)	3.0	0.6	黑曜石·A·S			
360	I 区 VI 层	E8	石鏽	14.0 (11)	2.0	0.2	黑曜石·A			
361	I 区 VI 层	B7	石鏽	13 (11)	2.0	0.2	黑曜石·G 1			
362	I 区 VI 层	B5	石鏽	15 (12)	2.0	0.4	黑曜石·A·S			
363	I 区 VI 层	I4	石鏽	13 (15)	2.0	0.2	黑曜石·A			
364	I 区 VI 层	D10	石鏽	12 (11.5)	3.0	0.1	黑曜石·A			
365	I 区 VI 层	P7	石鏽刮削器	15 (11.5)	2	0.5	黑曜石·A			
366	I 区 VI 层	P7	石鏽	14.5 (11.5)	3	0.2	黑曜石·A			
367	I 区 VI 层	E7	石鏽	16 (10.5)	2.0	0.2	黑曜石·G 1			
368	I 区 VI 层	—	石鏽	14 (12)	2.0	0.2	黑曜石·E 2.0			
369	I 区 VI 层	G10	石鏽	16.5 (12)	2	0.5	鐵石英			
370	I 区 VI 层	E11	石鏽	15 (12)	2.0	0.2	黑曜石·A			
371	I 区 VI 层	—	石鏽	15.5 (10)	2	0.3	黑曜石·G 1			

NO	出 土 地 址[地]	器 類	尺 寸 (mm) 長×寬×厚	重 量 (g)	石 材	備 考	第 1 次的 測量			
							長	寬	厚	重
372	I 区 VI 层	—	石鏽	16	14	2	0.4	黑曜石·A·S		
373	I 区 VI 层	D 1.3	石鏽	20	11.5	3	0.2	黑曜石·A		
374	I 区 VI 层	G 9	石鏽	15.0	11.5	3	0.4	黑曜石·E·S		
375	I 区 VI 层	—	石鏽	14.0	13.5	3	0.6	黑曜石·E·S		
376	I 区 VI 层	—	石鏽	16	13.5	4	0.4	黑曜石·A·S		
377	I 区 VI 层	—	石鏽	16	14	2	0.4	黑曜石·A·S		
378	I 区 VI 层	G 6	石鏽	11	13	3	0.6	黑曜石·A		
379	I 区 VI 层	H 1.0	石鏽	16	12	2.5	0.4	黑曜石·A		
380	I 区 VI 层	D 1.4	石鏽刮削器	16.0	13	2	0.3	黑曜石·A		
381	I 区 VI 层	G 7	石鏽刮削器	15	11.5	3	0.2	黑曜石·A		
382	I 区 VI 层	P 6	石鏽	15.5	13.5	2.5	0.2	黑曜石·A		
383	I 区 VI 层	H 1.9	石鏽	17.5	12	2.5	0.3	黑曜石·A		
384	I 区 VI 层	E 7	石鏽	16	14	4.5	0.7	手打一下 (黑 色)		
385	I 区 VI 层	—	石鏽	17	13	2.5	0.4	玉髓 (半透明)		
386	I 区 VI 层	G 7	石鏽	20	14	2.5	0.4	黑曜石·A·S		
387	I 区 VI 层	F 8	石鏽	19.0	13.5	3	0.5	手打一下 (黃 色)		
388	I 区 VI 层	F 1.1	石鏽	19	12	3	0.5	黑曜石·A		
389	I 区 VI 层	J 8	石鏽	19	14.5	4	0.7	黑曜石·A		
390	I 区 VI 层	D 1.3	石鏽	19	12	3	0.5	半透明	A	
391	I 区 VI 层	E 8	石鏽	17.0	11.5	3	0.4	半透明	A	
392	I 区 VI 层	G 8	石鏽	18	13	3	0.5	手打 (灰黃)		
393	I 区 VI 层	P 6	石鏽	23	16	3	0.9	半透明	A	
394	I 区 VI 层	G 7	石鏽	8	10	2	0.1	半透明	A	
395	I 区 VI 层	—	石鏽	14	11	3	0.2	黑曜石·E·S		
396	I 区 VI 层	D 7	石鏽刮削器	13	10	2.5	0.3	黑曜石·A		
397	I 区 VI 层	D 1.3	石鏽	10	11.5	2	0.2	黑曜石·A		
398	I 区 VI 层	P 7	石鏽	11.0	9	2	0.1	黑曜石·A		
399	I 区 VI 层	E 6	石鏽	13.0	12.5	3	0.5	黑曜石·A		
400	I 区 VI 层	D 6	石鏽	15	12.0	2.5	0.3	黑曜石·A·S		
401	I 区 VI 层	F 8	石鏽刮削器	13 (9)	2.5	0.3	黑曜石·A			
402	I 区 VI 层	J 1.4	石鏽	12	9	2	0.2	黑曜石·A		
403	I 区 VI 层	G 9	石鏽	12.0	11.5	2	0.2	手打一下		
404	I 区 VI 层	—	石鏽	13.0	9.5	2	0.2	手打 (灰黃)		
405	I 区 VI 层	P 1.3	石鏽	13.5	14	2	0.6	黑曜石·A		
406	I 区 VI 层	—	石鏽	12	13	3	0.3	黑曜石·A·S		
407	I 区 VI 层	J 1.4	石鏽	16	13.5	2.5	0.2	黑曜石·A		
408	I 区 VI 层	P 1.7	石鏽	12	11	3	0.3	黑曜石·A		
409	I 区 VI 层	E 1.4	石鏽	13.0	11.5	3	0.3	黑曜石·A		
410	I 区 VI 层	G 9	石鏽	11.0	10.5	2.0	0.2	黑曜石·A		
411	I 区 VI 层	H 1.7	石鏽	15	11	3	0.3	手打一下 (乳白 色)		
412	I 区 VI 层	L 1.1	石鏽	13.0	12.0	2.5	0.4	黑曜石·A		
413	I 区 VI 层	I 1.4	石鏽	14	10	2.5	0.2	黑曜石·A		
414	I 区 VI 层	P 6	石鏽	14	14	2	0.1	黑曜石·A·S		
415	I 区 VI 层	—	石鏽	14.0	12.0	3	0.1	(暗褐色)		
416	I 区 VI 层	G 8	石鏽	15	11.5	3.5	0.5	手打一下 (黃 色)		
417	I 区 VI 层	E 5	石鏽	15	14	2.5	0.5	黑曜石·A		
418	I 区 VI 层	G 7	石鏽	17	15	2.5	0.5	黑曜石·A·S		
419	I 区 VI 层	I 9	石鏽	16.0	15	4	0.9	黑曜石·G 1		
420	I 区 VI 层	D 1.0	石鏽	13.0	16	4	0.6	黑曜石·A		
421	I 区 VI 层	E 6	石鏽	22	16	3	0.8	手打一下 (灰 色)		
422	I 区 VI 层	P 1.0	石鏽	11	11.5	2.5	0.2	黑曜石·A		
423	I 区 VI 层	P 8	石鏽	12	12	2	0.2	黑曜石·A		
424	I 区 VI 层	D 1.4	石鏽	12	11.5	2	0.2	黑曜石·A		
425	I 区 VI 层	G 4	石鏽	13.0	10.5	2.5	0.1	黑曜石·A		
426	I 区 VI 层	—	石鏽	12	12	2	0.2	黑曜石·A		
427	I 区 VI 层	I 7	石鏽	17	16	4	0.5	黑曜石·A		

表 17 石器觀察表(3)

NO	出 土 地 [地名]	器 類	尺 厘 (cm)	重 量 [g]	石 材	備 考
427	I 区 VI層	E.9	石器形器皿	12.5 11 2 0.3	黑曜石・A	
428	I 区 VI層	E.7	石器形器皿	(11) (10) 3.5 0.2	黑曜石・A	
429	I 区 VI層	H.8	石器	14 15 3.5 0.4	铁石英	
430	I 区 VI層	E.8	石器	10.5 (12) 4 0.2	黑曜石・A	
431	I 区 VI層	G.1.0	石器	12 (12) 2 0.3	黑曜石・A	
432	I 区 VI層	D.1.3	石器形器皿	(10) (12) 2 0.3	黑曜石・A	
433	I 区 VI層	E.1.1	石器形器皿	18 (11) 3 0.5	黑曜石・A	
434	I 区 VI層	G.1.1	石器	14 12.5 3.5 0.4	铁石英 (灰色)	
435	I 区 VI層	G.7	石器形器皿	16 14 3 0.5	黑曜石・A	
436	I 区 VI層	H.8	石器	15 14.5 2.5 0.8	铁石英(灰-茶色)	
437	I 区 VI層	—	石器	10 (10) 2 0.2	黑曜石・A	
438	I 区 VI層	E.9	石器形器皿	(9) (12) 4 0.2	黑曜石・A	
439	I 区 VI層	I.8	石器	17 12 1 0.6	黑曜石・A	
440	I 区 VI層	H.7	石器形器皿	16.5 16 4.5 1	铁石英	
441	I 区 VI層	—	石器形器皿	22 15 (15) 2.5 0.8	黑曜石・A	
442	I 区 VI層	E.6	石器	18 11.5 2.5 0.5	黑曜石・A	
443	I 区 VI層	G.6	石器	28.5 12 2 0.8	— (直觀-深灰色)	
444	I 区 VI層	—	石器	(20) 10.5 3 1	— (黑色-白色)	
445	I 区 VI層	—	石器	16 14 2 0.5 (赤茶)	石器 (赤茶)	
446	I 区 VI層	—	石器	15.5 15 3 0.7	黑曜石・A	
447	I 区 VI層	F.7	石器形器皿	15 10 2.5 0.3	黑曜石・G.1	
448	I 区 VI層	F.1.4	石器	(7) (10) 2.5 0.4	黑曜石・A	
449	I 区 VI層	B.4	石器	15.5 (12) 2.5 0.4	黑曜石・E.5	
450	I 区 VI層	G.9	石器	(12) 13.5 2.5 0.2	玉髓(暗灰褐色)	
451	I 区 VI層	—	石器	15.5 12.5 2.5 0.1	黑曜石・A	
452	I 区 VI層	C.1.0	石器	19 19 3 0.4	黑曜石・A	
453	I 区 VI層	F.8	石器	(9) (9) 12.5 2.5 0.2	黑曜石・A	
454	I 区 VI層	H.8	石器	13 13 2 0.4	黑曜石・A	
455	I 区 VI層	D.1.0	石器	12 13 4 0.3	黑曜石・A	
456	I 区 VI層	H.4	石器	12.5 12.5 3 0.2	— (深灰色)	
457	I 区 VI層	E.9	石器形器皿	14 9 2 0.2	黑曜石・A	
458	I 区 VI層	F.12	石器	14.5 13.5 2.5 0.6	黑曜石・A	
459	I 区 VI層	E.1.4	石器	(6) (11) 3.5 0.3	黑曜石・A	
460	I 区 VI層	H.8	石器形器皿	15 12 3 0.4	— (暗灰褐色)	
461	I 区 VI層	—	石器	18.5 10 2.5 0.3	黑曜石・A	
462	I 区 VI層	G.1.6	石器	13 13 2.5 0.5	黑曜石・A	
463	I 区 VI層	C.6	石器	19 (12) 2 0.6	黑曜石・E.2	
464	I 区 VI層	H.1.1	石器	18.5 15 3.5 0.7	— (深灰色-黑色)	
465	I 区 VI層	B.5	石器	28.5 (14) 4 0.9	黑曜石・A	
466	I 区 VI層	G.1.1	石器	15 15 4 0.5	黑曜石・E.2	
467	I 区 VI層	G.7	石器	21 14 3.5 0.4	— (暗灰褐色)	
468	I 区 VI層	B.5	石器	21 14 2.5 0.4	半透明・A	
469	I 区 VI層	F.1.1	石器	18.5 (15.5) 2.5 0.5	黑曜石・A	
470	I 区 VI層	—	石器	22 10 3.5 0.7	黑曜石・A 下半再生途中	
471	I 区 VI層	B.6	石器	22 (15) 3.5 0.9	黑曜石・A	
472	I 区 VI層	B.5	石器	19 14 3 0.6	— (暗灰色)	
473	I 区 VI層	E.8	石器	(2) 16.5 4.5 1.4	三棱(灰色)	
474	I 区 VI層	C.8	石器	20 17.5 4.5 1.4	黑曜石・A	
475	I 区 VI層	C.1.3	石器	11 11 2.5 0.2	黑曜石・G.1	
476	I 区 VI層	I.7	石器	12 9 2 0.3	黑曜石・A	
477	I 区 VI層	D.9	石器	15.5 11 2.5 0.3	黑曜石・E.2	
478	I 区 VI層	G.7	石器	15 (10) 2.5 0.7	黑曜石・A	
479	I 区 VI層	F.6	石器	12 (12) 2 0.2	黑曜石・A	
480	I 区 VI層	E.6	石器	12 (12) 4 0.2	— (深灰褐色-黑色)	
481	I 区 VI層	G.8	石器	17.5 (15) 3 0.6	黑曜石・A	

NO	出 土 地 [地名]	器 類	尺 厘 (cm)	法 面 底面 側面 厚 (mm)	重 量 [g]	石 材	備 考
482	I 区 VI層	G.1.3	石器	13 12 3 0.2	黑曜石・A		
483	I 区 VI層	P.9	石器	15 (11.5) 3 0.3	黑曜石・A		
484	I 区 VI層	G.6	石器	16 12.5 2.5 0.5	黑曜石・A		
485	I 区 VI層	G.4	石器	15 (12) 4 0.2	黑曜石・A		
486	I 区 VI層	C.6	石器	14 (11) 4.5 0.8	黑曜石・A		
487	I 区 VI層	C.1.2	石器	12 12 3 0.6	黑曜石・A		
488	I 区 VI層	E.8	石器	12 (10.5) 2 0.2	— (暗灰色)		
489	I 区 VI層	E.9	石器	(15) (11.5) 4 0.5	黑曜石・A		
490	I 区 VI層	D.9	石器	22 15 3.5 0.7	— (浅灰色褐色)		
491	I 区 VI層	E.8	石器	23.5 (12) 4 0.7	黑曜石・A		
492	I 区 VI層	G.9	石器	23 (18.5) 4 0.9	— (深灰色)		
493	I 区 VI層	G.1.3	石器	17 16 4 0.6	黑曜石・A		
494	I 区 VI層	E.8	石器	15 14.5 2.5 0.2	半透明・A		
495	I 区 VI層	G.9	石器	16 15 4 0.4	— (暗灰色)		
496	I 区 VI層	E.4	石器	19.5 12.5 2.5 0.8	黑曜石・A		
497	I 区 VI層	F.1.1	石器	18 15 3 0.6	— (深灰色)		
498	I 区 VI層	E.7	石器	20 18 4 1.1	黑曜石・A		
499	I 区 VI層	E.8	石器	18 18 4 1	— (深灰色)		
500	I 区 VI層	— 石器	— 底面	23 (10) 4 1.4	黑曜石・E.2		
501	I 区 VI層	D.5	石器	29 (16) 5 1.2	— (深灰色)		
502	I 区 VI層	P.6	石器	(20) (14.5) 4 0.9	— (深灰色-暗灰色)		
503	I 区 VI層	E.6	石器	(25) (13) 3 1	— (深灰-黑曜石)		
504	I 区 VI層	—	石器	30 17 5 1.3	— (深灰-黑色)		
505	I 区 VI層	D.7	石器	31 (12) (2) 3 1.4	— (深灰-黑色)		
506	I 区 VI層	E.1.4	石器	(22) 14 4 0.8	— (深黑色)		
507	I 区 VI層	—	石器	22 18 4 1	黑曜石・A		
508	I 区 VI層	P.8	石器	21 18.5 6.5 1.1	— (浅灰色-深灰色)		
509	I 区 VI層	G.4	石器	21 (14) 3.5 1	玉髓(深灰色)		
510	I 区 VI層	—	石器	22 (18) 6.5 1.3	黑曜石・C.5		
511	I 区 VI層	H.1.0	石器	34.5 16 2 1.4	— (深黑色-黑色)		
512	I 区 VI層	H.1.6	刮片	33 25 12 16.8	石英(1孔-乳白色) 刮削器-小木器		
513	I 区 VI層	C.5	石器	10.5 10.5 3 0.2	黑曜石・A		
514	I 区 VI層	—	石器	10 12 2 0.2	黑曜石・A.5		
515	I 区 VI層	F.1.2	石器	(18) 17.5 6 1	黑曜石・A		
516	I 区 VI層	G.1.8	石器	26 (13) 4 1	— 山砂岩		
517	I 区 VI層	P.9	石器	11.5 (11) 2.5 0.2	黑曜石・A.5		
518	I 区 VI層	D.4	石器	12 19 2.5 0.1	黑曜石・A		
519	I 区 VI層	G.1.2	石器	16 (10) 3.5 0.4	— (深灰色)		
520	I 区 VI層	—	石器	(7) (12) 2 0.1	黑曜石・A		
521	I 区 VI層	G.1.1	石器	(15) (11.5) 3.5 0.3	— (暗灰色)		
522	I 区 VI層	—	石器	14 16.5 2.5 0.5	— (暗色)		
523	I 区 VI層	L.1.4	石器	(16) (17) 4 0.8	黑曜石・A		
524	I 区 VI層	P.8	石器	7.5 19 3 0.2	— (暗色)		
525	I 区 VI層	—	石器	14 14 3 0.2	黑曜石・A		
526	I 区 VI層	E.8	石器	9 13 1.5 0.3	黑曜石・A		
527	I 区 VI層	G.9	石器	17 (12) 3 0.8	黑曜石・A		
528	I 区 VI層	P.9	石器	16.5 11.5 2.5 0.2	黑曜石・A		
529	I 区 VI層	F.7	石器	12 13 3 0.4	— (深灰色-黑曜石)		
530	I 区 VI層	—	石器	(16) 14 2.5 0.5	— (深灰色-黑曜石)		
531	I 区 VI層	C.6	石器	36 26 6.5 2.8	— (深灰色-黑色)		
532	I 区 VI層	—	石器	29 (16) 5 1.4	— (深灰色-黑色)		
533	I 区 VI層	P.1.0	石器	(14) (8) (2) 0.5	— (深灰色)		
534	I 区 VI層	G.6	石器	(13) 13.5 2.5 0.2	玉髓(黄褐色)		
535	I 区 VI層	—	石器	(14) B 5 1.4	— (深黑色)		
536	I 区 VI層	C.5	石器	18 17 4 0.8	— (深灰色褐色)		

表18 石器觀察表(4)

NO	出土地	地表面 (付近)	器種	他 長さ 幅さ 厚さ	重さ (g)	石材	備考
527	I区 VI層	D 1.5	石器	16. 11.5 3 0.5	0.5	黒曜石・A	
538	I区 VI層	D 5	石器	16. 11.5 4.5 0.3	0.2	黒曜石・A	
539	I区 VI層	D 6	石器	16. 11.6 3 0.6	0.5	黒曜石・A	
540	I区 VI層	F 3	石器	23.5 (23) 9.0 1.8	ハサウエ安山岩 （火成岩）	鷲島層+	
541	I区 VI層	F 7	石器	26. (12) 3 0.7	0.7	（火成岩・火成岩）	
542	I区 VI層	D 8	石器	29. (17) 4 1.5	1.5	（火成岩・火成岩）	
543	I区 VI層	G 9	石器	29. 19 4 1.1	1.1	（火成岩）	
544	I区 VI層	D 6	石器	22. (12) 3 0.5	0.5	チャート （火成岩・火成岩）	
545	I区 VI層	—	石器	22. (16) 5 0.9	0.9	黒曜石・A	
546	I区 VI層	—	石器	17. 11.5 3 0.2	0.2	チャート （火成岩・火成岩）	
547	I区 VI層	I 1.4	石器	13. 11.5 2 0.2	0.2	黒曜石・A	
548	I区 VI層	—	石器	11. 9 2.0 0.2	0.2	黒曜石・A	
549	I区 VI層	F 9	石器	12. 10 3 0.4	0.4	チャート （火成岩・火成岩）	
550	I区 VI層	C 6	石器	24.0 (14) 4.5 1.4	1.4	黒曜石・A	
551	I区 VI層	—	石器	24.0 (12.5) 4 2.2	2.2	チャート （火成岩・火成岩）	
552	I区 VI層	—	石器	11.0 (10) 2.0 0.2	0.2	黒曜石・A	
553	I区 VI層	F 6	石器	11.0 (12.5) 4.0 0.7	0.7	黒曜石・A	
554	I区 VI層	—	石器	11.0 (9) 3.5 0.4	0.4	チャート・A	
555	I区 VI層	—	石器	11.0 (10) 3 0.3	0.3	黒曜石・A	
556	I区 VI層	—	石器	11.0 (7.5) 2.0 0.1	0.1	黒曜石・A	
557	I区 VI層	F 6	石器	11.0 (10) 2.5 0.2	0.2	黒曜石・E 2.5	
558	I区 VI層	G 1.0	石器	10. (7.5) 2 0.1	0.1	黒曜石・A	
559	I区 VI層	—	石器	10. (10.5) 2.0 0.1	0.1	黒曜石・A	
560	I区 VI層	—	石器	10. (11) 3 0.1	0.1	黒曜石・A	
561	I区 VI層	—	石器	15. 8.5 2 0.1	0.1	黒曜石・A	
562	I区 VI層	—	石器	11.7 9 3 0.4	0.4	チャート	
563	I区 VI層	—	石器	11.0 (19) 4 0.7	0.7	黒曜石・A	
564	I区 VI層	D 1.5	石器	13. 12 4.5 0.6	0.6	黒曜石・A	
565	I区 VI層	—	石器	31. 22.5 7 4	4	黒曜石・A	
566	I区 VI層	E 1.6	石器	22. 21 10 3.6	3.6	黒曜石・C 2.5	
567	I区 VI層	—	石器	31. 21 10 7	7	黒曜石・A	
568	I区 VI層	—	石器	23. 22.5 9.5 6.5	6.5	黒曜石・D （不純物多い）	
569	I区 VI層	—	石器	25. 15.5 7 2.8	2.8	黒曜石・A	
570	I区 VI層	G 8	石器	22. 22.5 7.5 4.1	4.1	黒曜石・A	
571	I区 VI層	—	石器	21. 22 9 4.2	4.2	黒曜石・A	
572	I区 VI層	F 7	石器	19.5 20 9.5 3.4	3.4	黒曜石・A	
573	I区 VI層	—	石器	17. 21 13 4.2	4.2	黒曜石・A	
574	I区 VI層	E 1.1	石器	20. 18 8 3	3	黒曜石・A	
575	I区 VI層	H 1.1	石器	23. 23 7.5 4.3	4.3	黒曜石・A	
576	I区 VI層	F 8	石器	21.5 16.5 9.5 3.8	3.8	黒曜石・A	
577	I区 VI層	—	石器	20. 21 6.5 2.8	2.8	黒曜石・A	
578	I区 VI層	G 1.0	石器	17.5 22 11.5 4.1	4.1	黒曜石・A	
579	I区 VI層	H 1.9	石器	22 24 6.5 3.1	3.1	黒曜石・A	
580	I区 VI層	G 1.2	石器	29. 20 10 4.2	4.2	黒曜石・A	
581	I区 VI層	G 1.1	石器	24. 19 7 3	3	黒曜石・A	
582	I区 VI層	E 6	石器	34. 19.5 8 4.8	4.8	黒曜石・A	
583	I区 VI層	B 5	石器	34. 14.0 9 4.7	4.7	黒曜石・C 5.5 （不純物少）	
584	I区 VI層	D 8	石器	27. 28 6.5 3.4	3.4	黒曜石・A	
585	I区 VI層	G 5	石器	31. 26 10 7.1	7.1	黒曜石・A	
586	I区 VI層	G 1.1	石器	20. 25.5 12 6.1	6.1	黒曜石・A	
587	I区 VI層	E 1.0	石器	31. 16.5 8 2.1	2.1	黒曜石・A	
588	I区 VI層	B 6	石器	31. 17.5 5 2.7	2.7	黒曜石・A	
589	I区 VI層	G 1.2	石器	27. 29 12 6.8	6.8	黒曜石・C 5.5	
590	I区 VI層	—	石器	33. 23.5 9.5 6.5	6.5	黒曜石・A	
591	I区 VI層	G 1.0	石器	31. 16.5 8 4.7	4.7	黒曜石・A	

NO	出土地	地表面 (付近)	器種	他 長さ 幅さ 厚さ	重さ (g)	石材	備考
592	I区 VI層	H 1.2	石器	26. 17	7 3.6	黒曜石・A	
593	I区 VI層	H 1.9	石器	26.5 21.5	9 4.4	黒曜石・C 5.5	
594	I区 VI層	D 1.0	石器	27 20	8 3	黒曜石・C 5.5	
595	I区 VI層	G 1.1	石器	31 22	10.5 6.7	黒曜石・A	
596	I区 VI層	J 1.7	石器	27 16.5	7 4.2	黒曜石・A	
597	I区 VI層	—	石器	24 23	10 4	黒曜石・A	
598	I区 VI層	I 1.8	石器	26.5 16	6.5 2.9	黒曜石・G 1	
599	I区 VI層	G 1.0	石器	27 16	5.5 2.9	黒曜石・A	
600	I区 VI層	H 1.4	石器	19 21	8 3.3	黒曜石・A	
601	I区 VI層	G 1.2	石器	31 16.5	10 4.8	黒曜石・A	
602	I区 VI層	I 1.9	石器	22 14.5	5.5 1.6	黒曜石・C 5.5	
603	I区 VI層	C 6	石器	25 16.5	8 3.8	黒曜石・A	
604	I区 VI層	—	石器	21 17	10 2.9	黒曜石・B	
605	I区 VI層	H 1.2	石器	27 15.5	8.5 3.2	黒曜石・A	
606	I区 VI層	P 8	石器	28 15	8 2.8	黒曜石・A	
607	I区 VI層	G 9	石器	24 15	6.5 2.8	黒曜石・B	
608	I区 VI層	I 1.4	石器	28 22	7 4.3	黒曜石・G	
609	I区 VI層	F 6	石器	25 21	9.5 3.5	黒曜石・A （不純物多い）	
610	I区 VI層	C 4	石器	21 17	8 2.8	黒曜石・C 5.5 （不純物少）	
611	I区 VI層	—	石器	23 23	6.5 3.5	黒曜石・A	
612	I区 VI層	I 1.4	石器	23 21	9 4.8	黒曜石・A	
613	I区 VI層	E 8	石器	17 17.5	6 3.7	黒曜石・B (浮遊)	
614	I区 VI層	P 8	石器	23 18.5	7.5 3.7	黒曜石・A	
615	I区 VI層	D 4	石器	23 18	6 3.7	黒曜石・A	
616	I区 VI層	D 1.2	石器	22 20	8.5 3	黒曜石・C	
617	I区 VI層	B 6	石器	19.5 19.5	6 2.5	黒曜石・A	
618	I区 VI層	G 7	石器	22 20	8 2.6	黒曜石・A	
619	I区 VI層	I 1.5	石器	26.5 21.5	7.5 3.1	黒曜石・A	
620	I区 VI層	D 4	石器	12 16	6 1.3	黒曜石・A	
621	I区 VI層	F 1.2	石器	23 20	9 0.5	黒曜石・A	
622	I区 VI層	E 1.0	石器	28 16	10 3.7	黒曜石・A	
623	I区 VI層	H 1.0	石器	16 14	5.5 1.3	黒曜石・A	
624	I区 VI層	J 1.4	石器	22 15	6 2	黒曜石・C	
625	I区 VI層	D 1.1	石器	23.5 15	6 3.9	黒曜石・A	
626	I区 VI層	F 1.4	石器	22 14	6.5 1.9	黒曜石・A	
627	I区 VI層	E 8	石器	23 20	5.5 2.7	黒曜石・A	
628	I区 VI層	E 9	石器	22 19	6 2.3	黒曜石・A	
629	I区 VI層	D 9	石器	23 15	6.5 1.8	黒曜石・A	
630	I区 VI層	I 1.9	石器	22.5 15.5	8 2.6	黒曜石・A	
631	I区 VI層	F 1.0	石器	20 20	5 2	黒曜石・A	
632	I区 VI層	H 1.0	石器	25 19.5	8.5 3.2	黒曜石・A	
633	I区 VI層	G 3	石器	25 18	8.5 3.3	黒曜石・B （不純物少）	
634	I区 VI層	G 1.1	石器	25 21	6.5 3.8	黒曜石・C	
635	I区 VI層	E 9	石器	23 17	10.5 3	黒曜石・B	
636	I区 VI層	B 7	石器	20 17	6 1.8	黒曜石・A	
637	I区 VI層	I 7	石器	17.5 19	7 3.3	（火成岩・黒 曜石）	
638	I区 VI層	E 1.2	石器	22 17	7 2.2	黒曜石・A	
639	I区 VI層	—	石器	13 12.5	5 0.8	（火成岩・黒 曜石）	
640	I区 VI層	—	石器	14	5 6.5 1.7	黒曜石・A	
641	I区 VI層	—	石器	15 12	6.5 1.1	黒曜石・A	
642	I区 VI層	B 6	石器	16 14.5	6.5 1.1	黒曜石・C （不純物少）	
643	I区 VI層	E 1.0	石器	17 14	6 1.5	黒曜石・B	
644	I区 VI層	—	石器	15	12 6 0.9	黒曜石・A	
645	I区 VI層	C 6	石器	20 16	10 2.3	黒曜石・A	
646	I区 VI層	F 1.1	石器	23.5 15	5.5 1.5	黒曜石・A	

表 19 石器觀察表 (5)

MN	出土地 名	出土層 次	器種	估 量 (ml)	重 量 (g)	石材	備考	
647	I 区 VI層	H 4	石鏟形器	20	15	6.5	2.1	黑曜石・A
648	I 区 VI層	G 7	石鏟形器	19	13	6	1.8	黑曜石・A+B
649	I 区 VI層	G 7	石鏟形器	21	14	7	1.6	黑曜石・G 1
650	I 区 VI層	I 1.0	石鏟形器	21	12.5	5	1.2	黑曜石・A
651	I 区 VI層	I 1.0	石鏟形器	12.5	12	4	0.8	黑曜石・A+B
652	I 区 VI層	G 7	石鏟形器	15	15.5	7	1.5	黑曜石・A
653	I 区 VI層	F 1.1	石鏟形器	18.5	15	5	1.2	黑曜石・A
654	I 区 VI層	B 6	石鏟形器	18	15.5	8	2.2	黑曜石・A
655	I 区 VI層	—	石鏟形器	22.5	15	7.5	2.5	黑曜石・A
656	I 区 VI層	—	石鏟形器	14	16	6.5	1.5	黑曜石・A+B
657	I 区 VI層	F 1.2	石鏟形器	16	23	5.5	1.6	黑曜石・A
658	I 区 VI層	G 7	石鏟形器	21.5	14	5	2	黑曜石・A
659	I 区 VI層	—	石鏟形器	25.5	28	6	4.1	黑曜石・C+B
660	I 区 VI層	D 4	石鏟形器	24	20	7	3	黑曜石・A (小重量)
661	I 区 VI層	—	石鏟形器	18.5	14	5.5	1.5	黑曜石・A
662	I 区 VI層	G 1.1	石鏟形器	21	21	4.5	2.8	黑曜石・A
663	I 区 VI層	F 1.0	石鏟形器	21	17	5.5	1.7	黑曜石・A
664	I 区 VI層	D 5	石鏟形器	27	21	9.5	3.8	黑曜石・A
665	I 区 VI層	F 6	石鏟形器	16	18	7.5	1.8	黑曜石・A
666	I 区 VI層	—	石鏟形器	20.5	14	5	1.5	黑曜石・A
667	I 区 VI層	I 6	石鏟形器	19.5	13.5	5.5	1.5	黑曜石・A
668	I 区 VI層	—	石鏟形器	17	10	6	1.8	黑曜石・A
669	I 区 VI層	J 1.1	石鏟形器	27	20	7	3	黑曜石・C+B 不純物少量
670	I 区 VI層	G 1.2	石鏟形器	25	17	8	2.6	黑曜石・A
671	I 区 VI層	F 6	石鏟形器	32	14	5.5	2.8	黑曜石・A
672	I 区 VI層	F 9	石鏟形器	25.5	19.5	7.5	4.1	黑曜石・A
673	I 区 VI層	—	石鏟形器	19	16	6.5	1.4	黑曜石・A
674	I 区 VI層	J 1.6	石鏟形器	20	17.5	5.5	2	黑曜石・A
675	I 区 VI層	E 9	石鏟形器	15.5	13.5	5	1.1	黑曜石・A
676	I 区 VI層	—	石鏟形器	19	15	5.5	2.1	黑曜石・D
677	I 区 VI層	H 1.7	石鏟形器	21	16	6	1.4	黑曜石・A
678	I 区 VI層	H 1.1	石鏟形器	23	13.5	4	0.9	黑曜石・A
679	I 区 VI層	I 1.6	石鏟形器	19	14	4.5	1.4	黑曜石・A
680	I 区 VI層	D 1.2	石鏟形器	25	19.5	5	2.6	黑曜石・A
681	I 区 VI層	—	石鏟形器	20	17	4	1.2	黑曜石・A
682	I 区 VI層	—	石鏟形器	11	13	4.5	0.6	黑曜石・A
683	I 区 VI層	—	石鏟形器	12	10.5	2.5	0.2	黑曜石・A (小重量)
684	I 区 VI層	—	石鏟形器	24	21	6	2.8	黑曜石・A
685	I 区 VI層	—	石鏟形器	20.5	20	5	2.6	黑曜石・A
686	I 区 VI層	I 8	石鏟形器	23	16.5	7	2.6	黑曜石・G 1
687	I 区 VI層	G 1.4	石鏟形器	24.5	16.5	7	1.9	黑曜石・C+B
688	I 区 VI層	D 6	石鏟形器	22	19	8	3	黑曜石・A
689	I 区 VI層	—	石鏟形器	26.5	16	6	2.4	黑曜石・A
690	I 区 VI層	D 6	石鏟形器	18	17	5	1.5	黑曜石・A
691	I 区 VI層	—	石鏟形器	19	16	5	1.6	黑曜石・A
692	I 区 VI層	I 6	石鏟形器	14.5	16	4	0.9	黑曜石・A
693	I 区 VI層	H 1.8	石鏟形器	14.5	15	2.5	1.1	黑曜石・A
694	I 区 VI層	E 9	石鏟形器	15.5	16	6	1.4	黑曜石・A
695	I 区 VI層	—	石鏟形器	16	12	7.5	1.3	黑曜石・A
696	I 区 VI層	G 1.1	石鏟形器	29	22	8	3.3	黑曜石・A
697	I 区 VI層	D 6	石鏟形器	21	18	6	2.1	黑曜石・A
698	I 区 VI層	D 1.0	石鏟形器	19.5	13.5	4	0.9	黑曜石・A
699	I 区 VI層	J 1.8	石鏟形器	17	16	5.5	1.3	黑曜石・G 1
700	I 区 VI層	E 9	石鏟形器	18	19.5	7.5	2.5	黑曜石・A
701	I 区 VI層	E 8	石鏟形器	18.5	15.5	4.5	1.2	黑曜石・A

MN	出土地 名	出土層 次	器種	估 量 (ml)	重 量 (g)	石材	備考	
702	I 区 VI層	—	石鏟形器	18	14	6	1.5	黑曜石・A
703	I 区 VI層	F 6	石鏟形器	18	16	5	1.1	黑曜石・A
704	I 区 VI層	B 7	石鏟形器	16.5	17.5	6	2.6	黑曜石・A
705	I 区 VI層	H 1.0	石鏟形器	18	17	5	1.2	黑曜石・A
706	I 区 VI層	J 1.0	石鏟形器	16	12	6.5	1.1	黑曜石・A
707	I 区 VI層	G 5	石鏟形器	14	14	4.5	0.6	黑曜石・A
708	I 区 VI層	G 1.0	石鏟形器	12	10.5	5	0.5	黑曜石・A
709	I 区 VI層	C 5	石鏟形器	17	13.5	5	0.8	黑曜石・A
710	I 区 VI層	F 1.1	石鏟形器	15	15	7	1.1	黑曜石・A
711	I 区 VI層	—	石鏟形器	14	13	4	0.7	黑曜石・A
712	I 区 VI層	D 5	石鏟形器	16.5	14.5	6	1.5	黑曜石・A
713	I 区 VI層	—	石鏟形器	15.5	12.5	4	0.6	黑曜石・A
714	I 区 VI層	—	石鏟形器	17	15	3.5	0.8	黑曜石・A
715	I 区 VI層	—	石鏟形器	17	17.5	4	0.8	黑曜石・A
716	I 区 VI層	—	石鏟形器	18	11	4	0.7	黑曜石・A
717	I 区 VI層	C 4	石鏟形器	13	12	3	0.3	黑曜石・A
718	I 区 VI層	G 7	石鏟形器	12.5	13.5	5	0.5	黑曜石 (黑斑)
719	I 区 VI層	—	石鏟形器	16	12	3	0.6	黑曜石・A
720	I 区 VI層	—	石鏟形器	13.5	12.5	4.5	0.6	黑曜石・A
721	I 区 VI層	—	石鏟形器	12.5	11.5	3.5	0.5	黑曜石・A
722	I 区 VI層	G 8	石鏟形器	13.5	17	5	0.7	黑曜石・A
723	I 区 VI層	C 7	石鏟形器	23	17	5	1	黑曜石・A
724	I 区 VI層	E 8	石鏟	10	10.5	3	0.2	黑曜石・A
725	I 区 VI層	G 1.6	石鏟形器	10	9.5	2.5	0.2	黑曜石・A
726	I 区 VI層	G 8	石鏟形器	10	9.5	3	0.1	黑曜石・A
727	I 区 VI層	—	石鏟形器	11	12	3	0.2	黑曜石・A
728	I 区 VI層	G 7	石鏟	15	11	3.5	0.2	黑曜石・A 再生
729	I 区 VI層	E 7	石鏟	13.5	11	2	0.2	石鏟 (下斜削) 黑 斑 (灰) A (C)
730	I 区 VI層	D 4.4	石鏟形器	12	11.5	3	0.3	黑曜石・A
731	I 区 VI層	F 9	石鏟形器	12	10	3	0.3	黑曜石・A
732	I 区 VI層	C 5	石鏟形器	12.5	6	3.5	0.2	黑曜石・A
733	I 区 VI層	J 7	石鏟形器	(11)	12.5	3	0.4	黑曜石・A
734	I 区 VI層	P 7	石鏟形器	12	10	3	0.4	黑曜石・A (小)
735	I 区 VI層	H 9	石鏟形器	16	9	4	0.5	黑曜石・A
736	I 区 VI層	H 1.7	石鏟形器	14	13	3	0.5	黑曜石・A
737	I 区 VI層	C 6	石鏟形器	(12)	14	5	0.5	黑曜石・A
738	I 区 VI層	H 1.9	石鏟形器	14	12	3.5	0.4	黑曜石・A
739	I 区 VI層	G 7	石鏟形器	12	11	3.5	0.2	黑曜石・A
740	I 区 VI層	—	石鏟	11.5	10	3	0.2	黑曜石・A
741	I 区 VI層	K 1.4	石鏟形器	13	12	3.5	0.3	黑曜石・A
742	I 区 VI層	H 1.1	石鏟形器	12	13	3	0.3	黑曜石・A
743	I 区 VI層	P 8	石鏟形器	(9)	9.5	3	0.2	黑曜石・A
744	I 区 VI層	—	石鏟	12	11	3.5	0.3	黑曜石・A 再生 (斜削)
745	I 区 VI層	D 6	石鏟形器	(13)	14.5	4	0.9	黑曜石・A
746	I 区 VI層	L 9	石鏟形器	(10)	11	5	1.1	黑曜石・A
747	I 区 VI層	F 6	石鏟形器	(13)	11.5	2	0.5	黑曜石・C (小)
748	I 区 VI層	—	石鏟	(14)	10.5	2.5	0.3	黑曜石・A
749	I 区 VI層	—	石鏟形器	(13)	9.5	3	0.3	黑曜石 (灰) A (小)
750	I 区 VI層	D 6	石鏟形器	10.5	12	4.5	0.5	黑曜石・A
751	I 区 VI層	—	石鏟形器	(14)	10	4	0.4	黑曜石・A
752	I 区 VI層	C 5	石鏟形器	(15)	16.5	4.5	0.8	黑曜石・A
753	I 区 VI層	J 1.6	石鏟形器	(17)	9.5	4.5	0.7	黑曜石・A
754	I 区 VI層	I 1.7	石鏟形器	15.5	11	5	0.9	黑曜石・A
755	I 区 VI層	—	石鏟形器	22	(14)	4.5	1.2	黑曜石・A
756	I 区 VI層	D 6	石鏟形器	16	(17)	5	1.1	黑曜石・A

表 20 石器觀察表(6)

NO	出 土 地 所 在 地	地 方 名	器 類	法 長 (mm)	寬 (mm)	厚 (mm)	石 材	備 考
757	I 区 VI層	—	石砍木製品	20	(9)	5	6.6	黑曜石・A
758	I 区 VI層	D 6	石砍木製品	20	17	7	1.9	黑曜石・A
759	I 区 VI層	B 6	石砍木製品	(1.0)	21	1	0.9	黑曜石・A
760	I 区 VI層	—	石砍木製品	19	(1.0)	3.0	0.9	黑曜石・A
761	I 区 VI層	F 1.1	石砍木製品	(1.2)	15	5	0.7	黑曜石・A
762	I 区 VI層	B 7	石砍木製品	20	(16)	4	1.7	テトランジア 石砍木製品
763	I 区 VI層	G 7	石砍木製品	23	11	6	2.4	黑曜石・A
764	I 区 VI層	H 1.0	石砍木製品	20	17.5	8	2.4	黑曜石・A
765	I 区 VI層	G 8	石砍木製品	20.5	20	7.5	4.3	黑曜石・C・D
766	I 区 VI層	B 7	石砍木製品	20	9	6.9	黑曜石・C・D	先端・不規則 少量
767	I 区 VI層	H 1.0	石砍木製品	24.5	19	8	4.4	黑曜石・A・D
768	I 区 VI層	D 4	石砍木製品	25	19.5	13	6.2	黑曜石・C
769	I 区 VI層	G 1.0	石砍木製品	23	14	6	2.6	黑曜石・B・D
770	I 区 VI層	D 8	石砍木製品	20	15.5	9.5	6.3	黑曜石・A
771	I 区 VI層	—	石砍木製品	25	20	6.5	3	黑曜石・A 先端・不規則 少量
772	I 区 VI層	D 1.3	石砍木製品	24.5	17.5	8	2.1	黑曜石・C
773	I 区 VI層	F 1.3	石砍木製品	22.5	16	7.5	4	黑曜石・A
774	I 区 VI層	J 9	石砍木製品	23	15.5	6	1.4	黑曜石・A・D
775	I 区 VI層	D 1.3	石砍木製品	17.5	13	11	2.6	黑曜石・A
776	I 区 VI層	H 1.1	石砍木製品	22.5	17	7.5	2.3	黑曜石・B・D
777	I 区 VI層	G 1.3	石砍木製品	21	15	6	1.8	黑曜石・A
778	I 区 VI層	D 1.0	石砍木製品	20	16	6	1.4	黑曜石・A
779	I 区 VI層	E 1.1	石砍木製品	24	13	7	1.8	黑曜石・C
780	I 区 VI層	C 4	石砍木製品	15	18	7.5	1.9	黑曜石・A
781	I 区 VI層	G 1.0	石砍木製品	20.5	12	6.5	1.2	黑曜石・A・D
782	I 区 VI層	E 1.0	石砍木製品	22	9.5	4	0.6	黑曜石・C・D
783	I 区 VI層	—	石砍木製品	13.5	11.5	5	0.6	黑曜石・C
784	I 区 VI層	H 1.2	石砍木製品	18	21.5	11	3.6	黑曜石・D 不規則少量
785	I 区 VI層	C 4	石砍木製品	19	14	7.5	1.8	黑曜石・A
786	I 区 VI層	D 1.3	石砍木製品	17.5	16	1.0	1.5	黑曜石・B・D
787	I 区 VI層	H 1.0	石砍木製品	16	14	5	1.2	黑曜石・A
788	I 区 VI層	F 1.1	石砍木製品	13	14	3.5	0.5	黑曜石・A
789	I 区 VI層	—	石砍木製品	19	18	9	2.3	黑曜石・C・D
790	I 区 VI層	—	石砍木製品	14	16	10	2	黑曜石・A
791	I 区 VI層	—	石砍木製品	15	14	7	1.4	黑曜石・G
792	I 区 VI層	J 6	石砍木製品	14.5	14.5	6.5	1.2	黑曜石・A
793	I 区 VI層	P 9	石砍木製品	17	13	11	2.1	黑曜石・B・D
794	I 区 VI層	I 7	石砍木製品	18.5	16	6.5	1.7	(テトランジア・G)
795	I 区 VI層	—	石砍木製品	22	18.5	9	3.6	黑曜石・A
796	I 区 VI層	—	石砍木製品	21	19.5	11	4	黑曜石・B
797	I 区 VI層	C 5	石砍木製品	19	18	7.5	2.2	黑曜石・G
798	I 区 VI層	—	石砍木製品	16	16	10.5	3.2	黑曜石・A
799	I 区 VI層	G 9	石砍木製品	18	12	3.4	2.9	黑曜石・A
800	I 区 VI層	D 1.1	石砍木製品	20	19.5	9.5	6.2	黑曜石・C
801	I 区 VI層	—	石砍木製品	19	17	11	2.8	黑曜石・A
802	I 区 VI層	E 6	石砍木製品	23	18	12.5	4.6	黑曜石・A
803	I 区 VI層	H 7	石砍木製品	22	22	8.5	2.9	黑曜石・A
804	I 区 VI層	H 1.0	石砍木製品	26.5	22	11	6.7	黑曜石・G
805	I 区 VI層	G 1.2	石砍木製品	19	17.5	9.5	2.9	黑曜石・A
806	I 区 VI層	C 5	石砍木製品	20	18	11.6	2.2	黑曜石・A
807	I 区 VI層	D 1.3	石砍木製品	17.5	13	11	2.6	黑曜石・A・D
808	I 区 VI層	G 1.1	石砍木製品	21	16	8	2.7	黑曜石・C・D
809	I 区 VI層	J 1.4	石砍木製品	29	22	9	3.5	黑曜石・A
810	I 区 VI層	H 1.1	石砍木製品	17.5	17	11	3	黑曜石・A
811	I 区 VI層	F 8	石砍木製品	17.5	16.5	9	3	黑曜石・A

NO	出 土 地 所 在 地	地 方 名	器 類	法 長 (mm)	寬 (mm)	厚 (mm)	石 材	備 考
812	I 区 VI層	II 9	石砍木製品	20.5	14.5	8	1.9	黑曜石・A
813	I 区 VI層	G 1.3	石砍木製品	28	(23)	4	3.6	黑曜石・A
814	I 区 VI層	—	石砍木製品	27	22.5	6	3.5	黑曜石・A
815	I 区 VI層	I 4	石砍木製品	27	18	4	3.6	黑曜石・A
816	I 区 VI層	J 1.4	石砍木製品	26	23	5	3.2	黑曜石・A
817	I 区 VI層	P 1.0	石砍木製品	22	15	6	3.5	黑曜石・A
818	I 区 VI層	P 1.3	石砍木製品	25	16	4	3.2	黑曜石・A
819	I 区 VI層	D 1.4	石砍木製品	18.5	15	3.5	1.2	黑曜石・B
820	I 区 VI層	J 1.4	石砍木製品	22	16	2	3.3	黑曜石・A
821	I 区 VI層	I 1.0	石砍木製品	19.5	16	7	1.9	黑曜石・A
822	I 区 VI層	—	石砍木製品	24	20	3.5	1.5	黑曜石・G
823	I 区 VI層	P 1.0	石砍木製品	23.5	16	3.5	1.6	黑曜石・A
824	I 区 VI層	I 1.4	石砍木製品	22	16	4	3.2	黑曜石・A
825	I 区 VI層	I 1.9	石砍木製品	18	15	5	3.6	黑曜石・A
826	I 区 VI層	G 1.2	石砍木製品	27	12	4	3.1	黑曜石・A
827	I 区 VI層	C 1.3	石砍	17	15	5	3.5	黑曜石・A
828	I 区 VI層	E 1.3	石砍木製品	19	17	2.5	0.6	黑曜石・A
829	I 区 VI層	I 1.6	石砍木製品	18	11	5	0.9	黑曜石・A
830	I 区 VI層	—	石砍木製品	20	13.5	2.5	1.1	黑曜石・A
831	I 区 VI層	B 7	石砍木製品	19	18	5	3.5	黑曜石・A
832	I 区 VI層	D 4	石砍木製品	17.5	14	3	0.8	黑曜石・A
833	I 区 VI層	H 4.4	石砍木製品	17.5	13.5	3.5	1	黑曜石・A
834	I 区 VI層	—	石砍木製品	17	19	3	0.4	黑曜石・A
835	I 区 VI層	—	石砍木製品	16	15	3	0.6	黑曜石・A
836	I 区 VI層	J 1.7	石砍木製品	19	14	4.5	0.9	黑曜石・A
837	I 区 VI層	D 6	石砍木製品	20	16	3.5	1	黑曜石・G
838	I 区 VI層	II 9	石砍木製品	16	11	4.5	0.3	黑曜石・A
839	I 区 VI層	H 1.7	石砍木製品	18.5	14.5	3	0.8	黑曜石・A
840	I 区 VI層	—	石砍木製品	16.5	13	4	0.5	黑曜石・A
841	I 区 VI層	—	石砍木製品	16	11	4	0.6	黑曜石・A
842	I 区 VI層	D 1.4	石砍木製品	16	11	13.5	0.6	黑曜石・A
843	I 区 VI層	D 7	石砍木製品	15	14	4	0.8	黑曜石・A
844	I 区 VI層	P 1.4	石砍木製品	14	12.5	2.5	0.3	黑曜石・A
845	I 区 VI層	—	石砍木製品	15.5	13.5	4	0.4	黑曜石・A
846	I 区 VI層	J 9	石砍木製品	15	12.5	4	0.6	黑曜石・A
847	I 区 VI層	—	石砍木製品	16	17	3	0.8	黑曜石・A
848	I 区 VI層	I 1.6	石砍木製品	16.5	12.5	3	0.7	黑曜石・A
849	I 区 VI層	—	石砍木製品	9	12	2.5	0.1	黑曜石・A
850	I 区 VI層	II 1.8	石砍木製品	14	11	3.5	0.4	黑曜石・A
851	I 区 VI層	—	石砍木製品	11	12	2.5	0.4	黑曜石・A
852	I 区 VI層	—	石砍木製品	11	19	1.5	0.2	黑曜石・A・D
853	I 区 VI層	—	石砍木製品	12	10	3.5	0.5	黑曜石・A
854	I 区 VI層	—	石砍木製品	9	11	3	0.2	黑曜石・A
855	I 区 VI層	—	石砍木製品	11	11	1.5	0.2	黑曜石・A
856	I 区 VI層	P 1.4	石砍木製品	13	12	1.5	0.2	黑曜石・A
857	I 区 VI層	—	石砍木製品	12	8	3	0.2	黑曜石・A
858	I 区 VI層	—	石砍木製品	12.5	12.5	3	0.5	黑曜石・A
859	I 区 VI層	J 1.4	石砍木製品	17.5	11(11)	2	0.4	黑曜石・A
860	I 区 VI層	G 1.1	石砍木製品	12	13	3	0.4	黑曜石・A
861	I 区 VI層	P 1.5	石砍木製品	14.5	10(10)	2.5	0.3	黑曜石・A
862	I 区 VI層	G 8	石砍木製品	26	21.5	4	—	黑曜石・A
863	I 区 VI層	—	石砍木製品	34	31	10	15.1	黑曜石・B
864	I 区 VI層	—	石砍木製品	21.5	14.5	5	1.4	黑曜石・A
865	I 区 VI層	II 1.0	石砍木製品	16	13.5	8.5	2	黑曜石・A・D
866	I 区 VI層	C 4	石砍木製品	19	18	3	0.7	黑曜石・A

表 2-1 石器觀察表 (7)

NO	出 土 地 所 在 地	地 球	器 形	法 長 (mm)	寬 宽 (mm)	高 高 (mm)	石 材	備 考
867	I 区 VI 層	—	石砍打制器	14	12.5	3.5	0.6	黑曜石・A
868	I 区 VI 層	—	石砍打制器	14	10	4	0.5	黑曜石・A
869	I 区 VI 層	—	石砍打制器	16.0	12.0	2	—	黑曜石・A
870	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(17)	15	5	0.9	黑曜石・A
871	I 区 VI 层	—	石砍打制器	24	(16)	5	2	玉髓(淡灰绿)
872	I 区 VI 层	F 6	石砍打制器	19	17.5	3	1	(淡灰绿)- (深灰绿)
873	I 区 VI 层	E 6	石砍打制器	17	15	4	1.3	— (深灰绿)- (浅灰绿)
874	I 区 VI 层	F 7	石砍打制器	26	27	8	6.2	— (深灰绿)- (浅灰绿)
875	I 区 VI 层	F 6	石砍打制器	28	23	7.5	3.7	— (深灰绿)
876	I 区 VI 层	H 4	石砍打制器	26	18	7.5	3.4	— (深灰绿)- (深灰绿)
877	I 区 VI 层	—	石砍打制器	25	20	7	4.1	玉髓(淡灰绿)
878	I 区 VI 层	—	石砍打制器	26.5	22	10.0	6.0	玉髓(深灰绿)
879	I 区 VI 层	G 8	石砍打制器	34	22	12.0	6.7	— (深灰绿)- (深灰绿)
880	I 区 VI 层	H 1.1	石砍打制器	26	27	8	5.5	玉髓(深灰绿)- (深灰绿)
881	I 区 VI 层	D 6	石砍打制器	24	26.0	6.5	2.2	— (深灰绿)
882	I 区 VI 层	I 6	石砍打制器	26.5	20.5	6	3.4	— (深灰绿)- (深灰绿)
883	I 区 VI 层	I 1.6	石砍打制器	18.5	19	4	—	玉髓(深灰绿)
884	I 区 VI 层	E 7	石砍打制器	23	15	5	2	— (深灰绿)
885	I 区 VI 层	C 4	石砍打制器	26	24	8	5.3	— (深灰绿)- (深灰绿)
886	I 区 VI 层	E 6	石砍打制器	19.5	15	5.5	2.1	— (深灰绿)
887	I 区 VI 层	—	石砍打制器	16	16.5	4	0.9	— (深灰绿)- (深灰绿)
888	I 区 VI 层	F 7	石砍打制器	27	21	9	5.1	— (深灰绿)- (深灰绿)
889	I 区 VI 层	—	石砍打制器	23	17	9	3.9	— (深灰绿)
890	I 区 VI 层	F 7	石砍打制器	28	17	8	3.2	— (深灰绿)
891	I 区 VI 层	E 5	石砍打制器	25	16.5	7.5	3	— (深灰绿)
892	I 区 VI 层	C 4	石砍打制器	21	15.5	7	2.7	— (黑灰分)
893	I 区 VI 层	G 6	石砍打制器	22	16.0	6	2	— (深灰绿)- (深灰绿)
894	I 区 VI 层	—	石砍打制器	18	13	5	1.5	— (深灰绿)- (深灰绿)
895	I 区 VI 层	C 4	石砍打制器	18.5	14	5	1	— (深灰绿)
896	I 区 VI 层	C 6	石砍打制器	22	15	4	1.6	— (深灰绿)- (深灰绿)
897	I 区 VI 层	—	石砍打制器	25	15.5	6	2.3	— (深灰绿)- (深灰绿)
898	I 区 VI 层	H 1.8	石砍打制器	21	(15)	5	1.6	— (深灰绿)- (深灰绿)
899	I 区 VI 层	E 6	石砍打制器	28	16.5	4	1.6	— (深灰绿)- (深灰绿)
900	I 区 VI 层	E 9	石砍打制器	25	16	7.5	2.7	— (深灰绿)- (深灰绿)
901	I 区 VI 层	F 5	石砍	16	15.5	7	0.1	— (深灰绿)- (深灰绿)
902	I 区 VI 层	G 1.1	石砍打制器	29	27	5	3.3	— (深灰绿)- (深灰绿)
903	I 区 VI 层	C 1.0	石砍打制器	27	26	16	17.1	— (深灰绿)- (深灰绿)
904	I 区 VI 层	F 6	石砍打制器	27	24	8	6	玉髓(深灰绿)
905	I 区 VI 层	—	石砍打制器	27	22	6	—	玉髓(深灰绿)
906	I 区 VI 层	H 1.8	石砍打制器	23	20	4	1.6	— (深灰绿)- (深灰绿)
907	I 区 VI 层	C 4	石砍打制器	17	29	5	2.1	石英(乳白)
908	I 区 VI 层	G 1.1	石砍打制器	28	23.5	5.5	4	玉髓(深灰绿)
909	I 区 VI 层	H 9	石砍打制器	23	18	6	2.3	— (深灰绿)
910	I 区 VI 层	G 7	石砍打制器	27	17.5	3.5	1.2	— (深灰绿)
911	I 区 VI 层	E 6	石砍打制器	22	17	4	—	玉髓(深灰绿)
912	I 区 VI 层	E 8	石砍打制器	13	14.5	4	0.6	玉髓(中透绿)
913	I 区 VI 层	H 7	石砍打制器	24	20	12	5.5	— (深灰绿)
914	I 区 VI 层	—	石砍打制器	13	14.5	1.5	0.2	— (深灰绿)
915	I 区 VI 层	—	石砍打制器	16	15.5	7	1.7	— (深灰绿)
916	I 区 VI 层	G 9	石砍打制器	22	14	4	0.8	— (深灰绿)
917	I 区 VI 层	H 7	石砍打制器	26	18	6.5	4.3	— (深黄褐色)
918	I 区 VI 层	—	石砍打制器	17	17.5	6	1.9	— (深黄褐色)
919	I 区 VI 层	H 1.7	石砍打制器	32	25	8	6.8	— (深黄褐色)
920	I 区 VI 层	F 8	石砍打制器	25.5	23	4	3.3	— (深黄褐色)
921	I 区 VI 层	D 1.0	石砍打制器	19	18.5	4.5	1.6	铁石英(深灰)

NO	出 土 地 所 在 地	地 球	器 形	法 長 (mm)	寬 宽 (mm)	高 高 (mm)	石 材	備 考
922	I 区 VI 层	—	石砍打制器	29	17	6	1.9	铁石英 (赤黄色)
923	I 区 VI 层	G 8	石砍打制器	15	12	3	0.6	— (深黄褐色)
924	I 区 VI 层	J 1.1	石砍打制器	14.5	11.5	4	0.5	铁石英 (深灰)
925	I 区 VI 层	—	石砍打制器	14.5	12.5	3	0.5	铁石英 (深灰)
926	I 区 VI 层	—	石砍打制器	13.5	13	3	0.3	— (深黄褐色)
927	I 区 VI 层	G 1.1	石砍	18.3	15	5	1.2	铁石英
928	I 区 VI 层	E 8	石砍打制器	19.5	12	4.5	0.4	铁石英 (赤色)
929	I 区 VI 层	—	石砍打制器	15	14	0.6	—	黑曜石・A
930	I 区 VI 层	—	石砍打制器	19	(16)	2.5	0.2	玉髓 (深灰)- 黑曜石
931	I 区 VI 层	—	石砍打制器	13	(10)	3	0.4	黑曜石・A
932	I 区 VI 层	H 1.3	石砍打制器	(13)	13	2.5	0.2	黑曜石・A
933	I 区 VI 层	L 1.4	石砍打制器	(13)	13	2.5	0.1	黑曜石・A
934	I 区 VI 层	—	石砍打制器	17	(13)	5	0.4	黑曜石・A
935	I 区 VI 层	H 8	石砍打制器	16	12	7	1.2	玉髓 (深灰)- 黑曜石
936	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(16)	16	2	0.4	黑曜石・A
937	I 区 VI 层	—	石砍打制器	18	13.5	3	0.5	黑曜石・A
938	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(17)	18	4	0.5	黑曜石・A 小 型
939	I 区 VI 层	—	石砍打制器	12	10	1.5	0.2	黑曜石・A
940	I 区 VI 层	H 9	石砍打制器	19	(7.5)	2.5	0.3	黑曜石・A
941	I 区 VI 层	P 8	石砍打制器	16	(12)	4	0.6	(玉髓)- (深灰绿)
942	I 区 VI 层	—	石砍打制器	13.5	(18.5)	4	0.5	铁石英 (赤色)
943	I 区 VI 层	—	石砍打制器	12.5	9.5	2	0.2	黑曜石・A
944	I 区 VI 层	G 7	石砍打制器	14	13	2.5	0.4	黑曜石・A
945	I 区 VI 层	B 5	石砍打制器	(18.5)	12	5	0.5	黑曜石・A
946	I 区 VI 层	I 1.6	石砍	14.5	(8)	3	0.4	玉髓 (暗灰)
947	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(14)	(11)	12	0.3	玉髓(黑)
948	I 区 VI 层	—	石砍打制器	14	9	2	0.2	黑曜石・A
949	I 区 VI 层	G 7	石砍打制器	11	11.5	2.5	0.1	黑曜石・A
950	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(12)	17	5	0.8	黑曜石・C 小 型
951	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(17)	(10)	3.5	0.5	黑曜石・A
952	I 区 VI 层	—	石砍打制器	16.5	14.5	5	1.3	玉髓 (深灰)- (深灰)
953	I 区 VI 层	D 1.2	石砍打制器	(21)	(11)	4.5	1.1	— (深灰)- (深灰)
954	I 区 VI 层	B 6	石砍打制器	(13)	(12)	0.2	—	黑曜石・A
955	I 区 VI 层	E 1.6	石砍打制器	20.5	(14)	2	0.4	(深灰)- (深灰)
956	I 区 VI 层	I 1.1	石砍打制器	19	(14)	5	0.8	黑曜石・A
957	I 区 VI 层	D 7	石砍打制器	(18)	(20)	4	1.3	黑曜石・A
958	I 区 VI 层	P 6	石砍打制器	24	(16)	4	1.2	— (深灰)- (深灰)
959	I 区 VI 层	—	石砍打制器	(22)	(17.5)	4	1.2	— (深灰)- (深灰)
960	I 区 VI 层	H 1.7	石砍打制器	30	(19)	5.5	2.3	— (深灰)- (深灰)
961	I 区 VI 层	D 6	石砍打制器	27	23	10	4.3	黑曜石・B
962	I 区 VI 层	D 1.3	石砍打制器	27	15.5	6	2	铁石英 (赤色)
963	I 区 VI 层	B 7	石砍打制器	32	25	7	5.1	— (深灰)
964	I 区 VI 层	G 1.1	石砍打制器	29	22.5	4.5	2	玉髓 (深灰)- (深灰)
965	I 区 VI 层	H 1.7	石砍打制器	23	19.5	5	2	黑曜石・C
966	I 区 VI 层	F 1.0	石砍打制器	23	20	5.5	1.5	— (深灰)
967	I 区 VI 层	H 7	石砍打制器	34	24	7	6.3	黑曜石・B
968	I 区 VI 层	H 8	石砍打制器	25	22.5	4.5	2.3	黑曜石・A
969	I 区 VI 层	G 1.0	石砍打制器	36	23	5.5	4.8	碧玉 (暗青色)
970	I 区 VI 层	P 1.1	石砍打制器	26.5	17	7	2.9	黑曜石・C
971	I 区 VI 层	E 1.0	石砍打制器	26.5	15.5	5.5	2.1	黑曜石・C
972	I 区 VI 层	C 5	石砍打制器	22	21	7	4.1	— (深灰)
973	I 区 VI 层	H 8	石砍打制器	28	18	3	1.2	铁石英
974	I 区 VI 层	E 7	石砍打制器	24	15.5	4	1.3	铁石英
975	I 区 VI 层	I 1.4	石砍打制器	19	17	3	—	黑曜石・E 2.0
976	I 区 VI 层	F 1.0	石砍	24	9.5	4	0.8	黑曜石・A

表 22 石器観察表(8)

No	出土地	出土場所 (付番)	器種	径 (mm) 長さ 幅	厚さ 高さ 幅	石材	備考	
977	I 区 VI層	E.6	骨質器	26. 22	4. 6	粘板岩		
978	I 区 VI層	E.1.0	磨擦器	26. 26	3. 3	粘板岩		
979	I 区 VI層	H.1.1	骨質器	24. 19.5	3. 2. 2.2	粘板岩(黒)		
980	I 区 VI層	F.7	石器	(22) 20	9. 4. 1. 1.1(側)(灰褐色)			
981	I 区 VI層	—	石器	17. 29	5. 1.7	黑曜石・A		
982	I 区 VI層	G.6	石器	26. 26	3. 8	黑曜石・A		
983	I 区 VI層	H.1.7	骨質器	14 (12)	4. 0.4	黑曜石・A		
984	I 区 VI層	E.1.4	チサツ 石器	17. 18	8. 2.6 (20.2)	チサツ 石器		
985	I 区 VI層	—	チサツ 石器	23. 19	3. 1.6	粘板岩(赤)(灰褐色) 灰褐色	上面も少し研 磨	
986	I 区 VI層	—	石器	(20) 18	8. 2.6	黑曜石・A		
987	I 区 VI層	H.1.8	チサツ 石器	27. 17	6. 7.4	粘板岩 (灰褐色)		
988	I 区 VI層	J.1.6	石器	42. 23	5. 2.3(縦)	粘板岩(緑褐色)		
989	I 区 VI層	H.1.6	石器	45. 47	7. 5.19.3 (側灰褐色)	粘板岩		
990	I 区 VI層	—	石器	45. 38	4. 5.9.9 (側灰褐色)	粘板岩		
991	I 区 VI層	D.5	石器	54. 46	8. 25.2	粘板岩		
992	I 区 VI層	H.1.3	石器	56. 55	9. 36.7	粘板岩		
993	I 区 VI層	E.5	石器	61. 51	6. 24	粘板岩		
994	I 区 VI層	E.7	石器	55. 44	8. 26.2	粘板岩		
995	I 区 VI層	—	石器	55. 51	8. 27.8	粘板岩		
996	I 区 VI層	D.1.2	石器	49 (53) 11	49.1	粘板岩		
997	I 区 VI層	F.6	石器	56. 55	8. 35.8	粘板岩		
998	I 区 VI層	G.7	石器	77. 49	10. 32.3 (側灰褐色)	粘板岩 芯は淡黒灰色		
999	I 区 VI層	B.1.0	石器	65. 67	8. 39.7	粘板岩		
1000	I 区 VI層	H.4.8	石器	70. 53	12. 52.4	粘板岩 (側灰褐色)		
1001	I 区 VI層	B.7	石器	54. 51	8. 25.9	粘板岩		
1002	I 区 VI層	M.9	石器	49. 47	6. 5.32.6	粘板岩		
1003	I 区 VI層	C.1.2	石器	74. 41	10. 42.7	砂質灰岩		
1004	I 区 VI層	D.7	石器	71. 35	10. 25.5	粘板岩 (側灰褐色)		
1005	I 区 VI層	E.1.1	石器	67 (71) 20	8. 22.1	粘板岩		
1006	I 区 VI層	F.8	石器	78. 56	12. 70.4	粘板岩(淡黄 褐色)		
1007	I 区 VI層	B.1.0	石器	49. 42	5. 15.18	粘板岩		
1008	I 区 VI層	G.1.7	石器	57. 47	11. 35.8	粘板岩		
1009	I 区 VI層	H.1.6	石器	52. 43	6. 16.3	粘板岩		
1010	I 区 VI層	E.6	石器	47. 37	7. 13.1	粘板岩		
1011	I 区 VI層	I.1.0	石器	46. 43	5. 12.7	粘板岩		
1012	I 区 VI層	F.1.0	石器	29. 27	6. 4.4(側) (側灰褐色)	粘板岩(淡黃 褐色)		
1013	I 区 VI層	E.7	石器	48. 43	6. 14	粘板岩		
1014	I 区 VI層	C.9	石器	53. 43	8. 27.2	粘板岩少 量扁平円錐		
1015	I 区 VI層	D.7	石器	42. 43	5. 16.1	粘板岩 (側灰褐色)		
1016	I 区 VI層	C.8	石器	37. 28	4. 6.3	粘板岩		
1017	I 区 VI層	—	石器	48. 39.5	7. 18.7	粘板岩 一帆船上		
1018	I 区 VI層	D.1.1	石器	41. 26	6. 5.8.5 (側灰褐色)	粘板岩 (側灰褐色)		
1019	I 区 VI層	C.1.0	石器	45. 29	8. 14	粘板岩		
1020	I 区 VI層	D.5	石器	(74) (26)	6. 15.2 (側灰褐色)	粘板岩		
1021	I 区 VI層	—	石器	(50) (46)	6. 25.8	粘板岩(側灰褐色)		
1022	I 区 VI層	F.3	石器	42. 43	8. 16.5	粘板岩		
1023	I 区 VI層	—	石器	(27) (26)	5. 2.2	粘板岩(灰褐色)		
1024	I 区 VI層	—	石器	(60) (35)	23. 4.1	粘板岩		
1025	I 区 VI層	L.1.2	石器	25. 49	14. 48.1 (側灰褐色)	チサツ(チサツ 石器)		
1026	I 区 VI層	—	石器	123. 118	39. 32.9	砂質		
1027	I 区 VI層	H.4	石器	78. 72	22. 34.2	安山岩(側灰 褐色)		
1028	I 区 VI層	H.1.6	打製器	73. 40	15. 26.8	石器(側灰 褐色)		
1029	I 区 VI層	—	石器	34. 34	10. 16.8	安山岩・ 漂砾・ 漂砾漂浮		
1030	I 区 VI層	—	チサツ	(67) (27)	7. 5. 0.2	チサツ(側灰 褐色)		
1031	I 区 VI層	G.7	チサツ	31. 26	9. 6.3	チサツ (赤・黒青色)		
1032	I 区 VI層	C.4	石器	32. 32	16. 15.2	チサツ(側灰 褐色)		
1033	I 区 VI層	E.1.0	石器	22. 23	7. 2.9	チサツ(側 褐色)		
1034	I 区 VI層	H.1.4	石器	19.5	14.5	4. 1.2	黑曜石・A	
1035	I 区 VI層	H.8	石器	27. 26.5	3. 3.4	鷹石岩		
1036	I 区 VI層	P.6	2枚貝の 壳(側灰 褐色)	38	28	13. 13.7	チサツ (側灰褐色)	
1037	I 区 VI層	D.7	石器	33	23	6. 3.8(側 褐色)		
1038	I 区 VI層	H.1.0	使用痕の 壳(側灰 褐色)	46	25	11. 12.5	チサツ(側 褐色)	
1039	I 区 VI層	G.1.3	石器	57	47	12. 91.4	粘板岩(淡 綠褐色)	
1040	I 区 VI層	D.1.0	刃端+	64	22.5	10.5.7	自然石混 合(灰褐色)	
1041	I 区 VI層	J.1.4	石器	96	42	9. 38.2	粘板岩 頂上手彌散 面(灰褐色)	
1042	I 区 VI層	H.7	刃端+	42	18	5. 4.2	粘板岩	
1043	I 区 VI層	E.6	刃端+	92	54	12. 79.6	粘板岩 (側面調整)	
1044	I 区 VI層	—	刃端+	33	18	2.5. 1.7	チサツ(側 面調整)	
1045	I 区 VI層	—	刃端	55	70	17. 26.6	粘板岩 頂上手彌散 面(灰褐色)	
1046	I 区 VI層	C.1.3 E.8	刃端	91	44	18. 90.6	チサツ(側 面調整)	
1047	I 区 VI層	C.1.3	刃端	67	50.0	16. 80.5	砂質	
1048	I 区 VI層	E.7	刃端	56	65	14. 43	粘板岩(側 面・黒色)	
1049	I 区 VI層	—	刃端	41	56	15. 47.1	チサツ (側面調整)	
1050	I 区 VI層	G.1.3 E.8	刃端	60	34	8. 44.1	チサツ(側 面調整)	
1051	I 区 VI層	—	刃端	630	800	24. 32.1	粘板岩(研磨)	
1052	I 区 VI層	I.4	刃端	53.5	64	6. 5.20.9	粘板岩 (側面調整)	
1053	I 区 VI層	—	刃端	29	62	9. 19.5	チサツ (側面調整)	
1054	I 区 VI層	E.7	刃端	56	68	7. 23	チサツ (側面調整)	
1055	I 区 VI層	E.8	刃端	43	59	12. 28.2	チサツ (側面調整)	
1056	I 区 VI層	H.7	刃端	60	66	20. 69.8	チサツ (側面調整)	
1057	I 区 VI層	E.4	刃端	69.5	54.5	6. 23.1	粘板岩(側 面)	
1058	I 区 VI層	D.5	刃端	52	84	11. 89.7	粘板岩 (側面調整)	
1059	I 区 VI層	F.6	刃端	51	51	9. 20.8	粘板岩(側 面調整)	
1060	I 区 VI層	E.1.2	刃端	80	73.0	16.5.18.6	粘板岩(側 面)	
1061	I 区 VI層	H.6	刃端	61	49	18. 64.7	砂質(側 面)	
1062	I 区 VI層	F.7	刃端	61	37	11. 38.2	粘板岩 (側面)	
1063	I 区 VI層	K.9	刃端	41	39	6. 12.7	粘板岩 (側面)	
1064	I 区 VI層	C.6	刃端	72	44	16. 47.4	チサツ (側面)	
1065	I 区 VI層	E.5	刃端	80	52	7. 31.8	粘板岩	
1066	I 区 VI層	—	刃端	53	66	10.5.67.9	チサツ (側面)	
1067	I 区 VI層	H.8	刃端	94	42	17. 83.3	粘板岩	
1068	I 区 VI層	—	刃端	59	62	13. 68.4	チサツ (側面)	
1069	I 区 VI層	J.1.0	刃端	(30)	(52)	12. 12.7	粘板岩 (側面)	
1070	I 区 VI層	H.6	刃端	82	77	22. 15.1	粘板岩 (側面)	
1071	I 区 VI層	K.9	刃端	47	(37)	4. 8.1	粘板岩 (側面)	
1072	I 区 VI層	H.1.0	刃端	69	112	17.5.93.8	チサツ (側面)	
1073	I 区 VI層	D.1.0	刃端+	60	64	11. 55.12.1	粘板岩 (側面)	
1074	I 区 VI層	—	刃端+	79	45	17. 52.4	チサツ (側面)	
1075	I 区 VI層	G.6	刃端	41	36	10. 11	チサツ (側面調整)	
1076	I 区 VI層	I.6	刃端	69	30	7. 19.6	粘板岩	
1077	I 区 VI層	—	刃端	45	62	7. 18.6	チサツ (側面)	
1078	I 区 VI層	—	刃端	50	43	13. 22.9	チサツ (側面)	
1079	I 区 VI層	E.1.2	刃端	51	23	16.1	粘板岩(側 色)	
1080	I 区 VI層	I.8	刃端+	105	70	29	0.8	粘板岩 (側・淡褐色)
1081	I 区 VI層	E.8	刃端	41	23	7. 4.8	チサツ (側面)	
1082	I 区 VI層	F.4.6	刃端+	32	30	6. 5.1	粘板岩	
1083	I 区 VI層	E.7	刃端	92	89	24. 25.7	粘板岩 (側面)	
1084	I 区 VI層	F.2	刃端	86.5	66.5	17. 94.6	砂質灰岩	
1085	I 区 VI層	—	刃端	38	72	8. 20.6	粘板岩(側 色)	
1086	I 区 VI層	G.8	刃端	799	37	11. 61.1	淡褐色和灰岩	

表23 石器觀察表(9)

M	出土地	地主場所 (付箇)	器種	地 高(m) (±)	標高 (±)	石 材	備考	M	出土地	地主場所 (付箇)	器種	地 高(m) (±)	標高 (±)	石 材	備考		
1087	I 区 VI層	—	刀鉗	25.50	6	26.8	黑曜石(多面)	1142	I 区 VI層	P 1.3	原石	16	14	11	2.6	黑曜石・A	
1088	I 区 VI層	F 7	刀頭	81.48	14	74.2	砂岩頭(波紋)	1143	I 区 VI層	J 1.6	原石	28	30	27	25.5	黑曜石・A	
1089	I 区 VI層	F 1.4	刀頭	80.76	13	70.5	砂岩頭	1144	I 区 VI層	J 1.9	原石	32	29	30	30.8	黑曜石・A	
1090	I 区 VI層	—	石核	59	26	20	28.4	黑曜石・A	1145	I 区 VI層	—	原石	49	20	16	20.5	表面加工アサヒ
1091	I 区 VI層	F 5	石核	20	24	26.5	24	黑曜石・A+カ	1146	I 区 VI層	H 1.4	原石	33	29	26	6.6	黑曜石・B+カ
1092	I 区 VI層	G 1.0	石核	47	17	34	11.6	黒曜石(少剥離 少尖)・C+	1147	I 区 VI層	J 1.7	原石	28	30	22	23.9	黒曜石・B+カ 表面加工アサヒ
1093	I 区 VI層	H 1.6	石核	42	49	18	21.1	黒曜石・C	1148	I 区 VI層	—	原石	31	17	8.5	8.4	黒曜石・C+カ 風化削片
1094	I 区 VI層	D 1.5	石核	44	27	21	24.8	黒曜石・C	1149	I 区 VI層	—	原石	36	16.5	4	2.9	黒曜石・C+カ
1095	I 区 VI層	—	石核	28	21	17	24	黒曜石・G	1150	I 区 VI層	I 5	原石	37	21	17	12.7	黒曜石・C+カ
1096	I 区 VI層	—	石核	57	31	17	24.6	黒曜石・C+カ	1151	I 区 VI層	P 1.3	麻痺石	82	73	46	23.8	多孔質斜面
1097	I 区 VI層	I 7	石核	42	26	10	12.8	黒曜石・A	1152	I 区 VI層	D 7	麻痺石	100	74	46	23.3	弱
1098	I 区 VI層	G 1.1	石核	58	49	27	68.7	黒曜石・C	1153	I 区 VI層	G 6	麻痺石	56	50	17.5	16.8	砂岩
1099	I 区 VI層	C 7	石核	26	29	18	22.2	石核 (直角・直角底 斜面+直角側面)	1154	I 区 VI層	E 1.3	麻痺石	101	85	24	0.2	麻痺石
1100	I 区 VI層	F 4	石核	42	30	36	25.9	黒曜石(少剥離 少尖)	1155	I 区 VI層	G 3	麻石	930	633	(49)	208.4	新潟安山岩 (風化)
1101	I 区 VI層	F 8	石核	25	29	20	19.8	黒曜石(少剥離 少尖)	1156	I 区 VI層	D 9	麻痺石	95	79	42	11.7	砂岩
1102	I 区 VI層	F 6	石核	33	23	16	9.5	チート	1157	I 区 VI層	E 8	麻痺石	134	82	45	23.6	砂岩(軟質)
1103	I 区 VI層	K 1.9	石核	100	90	56	80.1	黒曜石・C+カ	1158	I 区 VI層	K 1.9	磨石	102	86	51	0.7	鶴雄山石小
1104	I 区 VI層	—	石核	44	20	14	14.5	チート	1159	I 区 VI層	I 7	麻痺石	930	53	32	12.7	砂岩
1105	I 区 VI層	J 1.7	石核	36	28	8	8.6	チート(直角 斜面+直角側面)	1160	I 区 VI層	D 1.5	台形	(226)	(162)	63.0	20.0	麻縫斑灰岩
1106	I 区 VI層	—	石核	19	22	13	4.8	麻石(赤色)	1161	I 区 VI層	P 6	台形	309	188	51	31.0	麻縫斑灰岩 上側面のみ赤色
1107	I 区 VI層	I 1.7	石核	54	25	12	15.4	石英 (白)～乳白色	1162	I 区 VI層	G 1.4	台形	302	215	49	56.0	砂岩
1108	I 区 VI層	H 1.7	石核	33	18	15	14.4	石核 (直角・直角底 斜面+直角側面)	1163	I 区 VI層	—	台形	35	30	7	11.1	板状砂岩 (多孔質)
1109	I 区 VI層	G 1.1	石核	40	31	24	31.1	粗粒質	1164	I 区 VI層	—	台形	33	5.5	8.6	0.2	板状砂岩 (直角底・直角側面)
1110	I 区 VI層	H 1.7	石核	35	20	11	2.6	チート(直角 斜面+直角側面)	1165	I 区 VI層	—	台形	56	53	9	31.4	板状砂岩 (直角底・直角側面)
1111	I 区 VI層	H 1.7	石核	(28)	32	12	11.1	チート(直角 斜面+直角側面)	1171	III 区 塵土	—	石核	42	19	16	14.5	チート(直角 斜面+直角側面)
1112	I 区 VI層	H 1.3	石核	53	39	26	12.2	鐵石(肉瘤)	1175	III 区	—	石核	48.5	18	7	5.5	砂岩
1113	I 区 VI層	H 1.6	石核	21	32	11	31.5	踏石 (直角～直角)	1176	III 区	—	石核	(11)	3.5	6.2	0.2	ハラ賀安山岩 (黒色)
1114	I 区 VI層	H 1.7	石核	23	32	9	7.6	踏石 (直角～直角)	1177	III 区 塵土	—	石核	36	13.5	3.5	0.7	黒曜石・C+カ 不純物少量
1115	I 区 VI層	H 1.1	石核	32	20	15	10.8	踏石 (直角底)	1178	III 区	—	チート	39	17	8	2.5	黒曜石・A+カ
1116	I 区 VI層	C 7	石核	28	27	13	9.4	黒石(赤色)	1190	IV 区 SD-05	—	石核	(12)	(12)	3.5	0.3	切妻再生 黒曜石(黒色)
1117	I 区 VI層	H 1.6	石核	29	20	18	10.6	踏石 (直角底)	1191	SD-10	—	石核	14.5	(11)	3.5	0.4	細粒再生 黒曜石・カ
1118	I 区 VI層	H 1.7	石核	25	24	12	13.3	踏石 (直角底)	1206	IV 区	—	石核	38	13	3	0.3	黒曜石・C+カ
1119	I 区 VI層	N 1.1	石核	24	23	23	13.8	踏石 (直角底)	1209	IV 区 —Ⅲ层	—	石核	36	13	3	0.4	黒曜石・E+カ
1120	I 区 VI層	H 7	石核	22	23	16	8.5	踏石 (直角底)	1210	IV 区 —Ⅲ层	—	石核	(8.0)	12.5	3.5	0.5	黒曜石・E+カ
1121	I 区 VI層	P 9	石核	23	23	10	6.4	踏石 (直角底) チート (直角底)	1211	IV 区 SD-05	—	石核	9	9.5	2	0.3	ハリツヤ 安山岩小島島
1122	I 区 VI層	H 7	石核	29	19	15	4.6	踏石 (直角底)	1212	IV 区	—	石核	11	12.5	2	0.2	黒曜石・カ
1123	I 区 VI層	D 7	石核	25	24	12	6.2	踏石 (直角底)	1213	IV 区	—	石核	11	13.5	2.5	0.2	黒曜石・A
1124	I 区 VI層	G 5	石核	87	71	30	9.6	チート (直角底)	1214	IV 区	—	石核	10.5	10	3.5	0.2	三輪
1125	I 区 VI層	—	石核	125	43	17	89.9	含シラバシス (直角底)	1215	IV 区 SD-05	—	石核	11	11.0	2.5	0.2	黒曜石・A
1126	I 区 VI層	D 8	石核	51	64	11	44.6	含シラバシス (直角底)	1216	IV 区 SD-05	—	石核	12	10.5	3	0.3	チート
1127	I 区 VI層	—	石核	43	42	21	42.1	黒曜石・D	1217	IV 区	—	石核	12	(9)	2	0.1	三輪(赤色)
1128	I 区 VI層	I 8	石核	34	22	15	9.4	黒曜石・A	1218	IV 区 SD-05	—	石核	16	12.0	3	0.3	黒曜石・A
1129	I 区 VI層	—	石核	128	67.5	24	220.5	夏目灰質 (赤色)	1219	IV 区 SD-05	—	石核	20	5	2.4	0.2	黒曜石・D+カ
1130	I 区 VI層	G 9	石核	82	65	26	17.8	砂岩頭(直角 斜面+直角底)	1220	IV 区 塵土	—	石核	15	10.5	4.5	0.2	三輪(乳白色)
1131	I 区 VI層	F 1.0	石核	25	20	17	2.5	黒曜石・B+カ	1221	IV 区 SD-05	—	石核	16	13	4	0.7	透明白三輪 黒・A
1132	I 区 VI層	J 1.1	石核	17.5	13.5	7	1.7	(透明白・直角 斜面)	1222	IV 区 SD-05	—	石核	(13)	15.5	3.5	0.6	黒曜石・A
1133	I 区 VI層	H 7	原石	18	12	10	2.6	黒曜石・A	1223	IV 区 SD-05	—	石核	(12.5)	3	0.3	安山岩	
1134	I 区 VI層	—	原石	17	13.5	8.5	2.1	(透明白)・A	1224	IV 区 塵土	—	石核	(24)	4.5	2.3	チート (透明白)	
1135	I 区 VI層	—	原石	13	10	8.5	1.5	黒曜石・A+カ	1225	IV 区	—	石核	20	19	8	2	三輪(白色)
1136	I 区 VI層	D 1.3	石核	26.5	21	3.5	2.3	黒曜石・B	1226	IV 区 SD-05	—	石核	8	6.5	7.2	0.2	三輪(乳白色)
1137	I 区 VI層	I 1.1	原石	25.5	17.5	9	3.3	(透明白・直角 斜面)・A	1227	IV 区 SD-05	—	石核	32	9	6	2.2	板状砂岩
1138	I 区 VI層	H 1.0	原石	25	17	7	2.7	黒曜石・B	1228	IV 区 SD-05	—	石核	27	25	6	5.3	板状砂岩
1139	I 区 VI層	I 1.0	原石	19	12	8	2.4	黒曜石・A	1229	IV 区 SD-05	—	石核	40	34	5	10	板状砂岩 直面中央凹凸 若干削離
1140	I 区 VI層	G 1.3	原石	12.5	13.5	9	1.9	(透明白・直角 斜面)・A	1230	IV 区 SD-05	—	石核	45	(26)	4	6.6	板状砂岩 直面若干下部 若干削離
1141	I 区 VI層	—	原石	22	20.5	13.5	4.7	黒曜石・C	1231	IV 区 SD-05	—	石核	36	36	4	7.2	板状砂岩

表24 石器観察表(10)

No	出土地	器種	法 長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重さ (g)	石材	備考
1232	V区 VI層	石核	41	20	16	14.5	黒曜石・D	
1233	V区 VI層	石核端頭部	49	16	8	21.3	粘板岩	基部剥離
1234	V区 VI層	石核端頭部	50	49	9	25.3	粘板岩	A面たる 若干研磨
1235	IV区 III-VI層	石核	41	19.5	17	16.8	玉髓(乳白色)	
1236	IV区 VI層	石核	45	29	16	30.5	チャート(燧凹)	
1237	IV区 I～IV層	石核	32	26	12	11.6	黒曜石(乳白色)	
1238	IV区 VI層	石核	29	25	22	22.3	黒曜石・D	
1239	IV区 III-VI層	黒曜石	107	84	60	816.4	砂岩	
1240	SA-02	黒曜石	300	22	3	2.1	粘板岩	
1256	SA-03-C35	石核丁	89	43	5	30.7	粘板岩	
1288	SA-05	石核	16	(11.5)	2.5	6.5	黒曜石・E点	
1289	SA-05	打火石端部	40	32	9	15.3	粘板岩	
1377	SA-06	石核	12	(11)	2	6.2	黒曜石・G	
1378	SA-06	石核	20	(13)	6	0.7	玉髓(白色)	
1379	SA-06-5	石核	(22)	16	3.5	1.4	ハリ留 安山岩(黒曜石)	
1380	SA-06	石核	21	17	3	0.8	チャート(灰白色)	
1381	SA-06	石核	14.5	5	0.6	玉髓	薄再生	
1382	SA-06	石核端頭部	15	11	4	0.6	チャート(浅灰黑色) ~暗青褐色(底)	
1383	SA-06	石核端頭部	21	15	4	1.5	黒曜石・E点	
1384	SA-07	石核端頭部	24	19	9	3.9	黒曜石・D点	不純物多い
1385	SA-06	石核	34.5	19	9	4.3	安山岩	
1386	SA-06	石核	17	31	6	1.6	玉髓	
1387	SA-06	石核端頭部	27	29	5	5.2	粘板岩	
1388	SA-07	刀跡	82	76	17	112.1	砂岩	
1389	SA-06	刀跡	83	88	26	195.2	粘板岩(灰色)	
1390	SA-06	原石	65	40	25	72.1	黒曜石・D	
1391	SA-06	石核	58	37	23	26.9	玉髓(白・淡黄)	
1392	SA-06	石核丁	080	47	7	33.5	粘板岩	光沢無
1393	SA-06	刀跡	15.5	(10.3)	33	696.1	粘板岩(灰色)	
1399	SA-07	打火石	19	12	3	0.3	黒曜石	
1400	SA-07	石核末尾部分	14	13	3	0.3	チャート	
1401	SA-07	鉄床石	(208)	(195)	(86)	3190	砂岩	口ばき面使用
1453	SA-08	石核	15.5	14	4	0.4	チャート	
1454	SA-08	石核	22	18	3	0.3	黒曜石	
1455	SA-08	石核	(92.6)	(93.9)	(13)	80.5	隕石質砂岩	隕石層も使用
1456	SA-08	スクレイパー	40	34	9.5	10	黒曜石・D	
1457	SA-08	石核	303	212	52	610.9	凝結結晶灰岩	
1463	SA-09	石核	13	(11)	6	0.3	黒曜石・C点	
1501	SA-10	石核	10	10.5	3.5	0.3	チャート	刀跡再生
1502	SA-10	石核	15	13	2.5	0.3	黒曜石・E点	
1503	SA-10	石核	15	12.5	3	0.4	黒曜石・C点	
1504	SA-10	石核	41	19	6.5	4.9	チャート	
1505	SA-10	石核	20	12.5	4.5	0.5	玉髓	未製品
1506	SA-10	石核	16	11.5	2.5	0.3	黒曜石(灰褐色)	
1507	SA-10	石核	12	13	3	0.3	チャート	切先・漆刷 再生点
1508	SA-10	石核	(15)	(11.5)	3	0.4	黒曜石・A	

No	出土地	器種	法 長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重さ (g)	石材	備考
1509	SA-10?	石核	24	16	6	5.9	ハリ留安山岩 シート巣か	
1510	SA-10	隕石質砂岩	82	23.5	17	56.6	砂質粘板岩	隕石は全て円み
1511	SA-10	砾石か	(61)	(60)	(20)	54.9	粘質砂岩	
1512	SA-10	石核	69	37	31	147.6	黒色真貝 (複数・鉛筆)	
1513	SA-11	石核	14	14	3	0.3	玉髓	
1514	SA-11	隕石質砂岩	12.5	13	3	0.3	黒曜石・A	
1515	SA-11	石核	(30.0)	14	3.5	6.5	チャート	
1516	SA-11	石核末尾部	12.5	17.5	3	0.5	チャート	
1517	SA-11	石核	20	(16)	7.5	1.2	安山岩 (灰褐色に風化)	
1518	SA-11	石核	17	32	8	2.3	玉髓	
1519	SA-11	石核	25.5	34.5	5.5	4.5	チャート	
1520	SA-11	石核	(28)	19	8.5	3.4	玉髓風化(白色)	
1521	SA-11	石核	33	24	5	4.6	粘板岩	
1522	SA-11	石核	25	37	8	6.6	黒曜石・D	
1523	SA-11	砾石	(40)	(64)	00	25.1	砂岩	被 熟
1524	SA-11	刀跡	56	32	12	44.1	粘板岩	
1525	SA-11	刀鋸か	47	43.5	6.5	18.3	粘板岩	左下縁は 再生点
1526	SA-12	石核	20	(11)	3.5	0.5	チャート	
1527	SA-12	石核	26.9	16	4.5	0.9	安山岩	(茶灰褐色に風化)
1528	SA-12	スクレイパー	49.5	28	8	12.6	安山岩	
1529	SA-12	石核	17.5	13.5	3.5	0.4	黒曜石・A	
1530	SA-12	隕石質砂岩	23	18	9	3.9	チャート	
1595	SA-13	石核	26.5	37	8	3.9	安山岩	
1604	SA-14	石核	(20.5)	(11.5)	4	1	チャート	
1611	SA-17	石核	13	(8.5)	3	0.2	玉髓	刀跡再生
1615	SA-17	石核	16	14	4	0.5	黒曜石・A	
1616	SA-17	石核	19	12	3	0.5	チャート	
1617	SA-17	石核末尾部	15	11.5	3.5	0.5	黒曜石・E点	
1618	SA-17	石核末尾部	18	16	5.5	1.4	玉髓	
1619	SA-17	石核	25	17.5	9	3	玉髓	
1630	SA-05	石核	16.5	11.5	3	0.5	黒曜石・A	
1637	SA-05下部	刀跡	93	(37)	22.5	84.8	粘板岩	底板岩(暗灰色)
1640	SA-14	石核末尾部	(14)	16	8	0.9	黒曜石・E点	
1641	SA-14	隕石質砂岩	16	14.5	4.5	1.1	玉髓(白)	
1649	SK-16	石核丁	(29)	(29)	6	5.2	黑色質砂	
1665	SK-18	石核丁	(53)	(37.5)	5	13.9	粘板岩	
1705	V区 褐瓦	石核	12.5	11	3	0.3	チャート	
1706	V区	石核末尾部	19	14	3	0.7	黒曜石	
1707	V区 棕瓦	石核	14	(11.5)	2.5	0.2	黒曜石・C点	
1708	I-2TR 間引瓦	石核	(27.5)	10	6	1.4	黒曜石・A	
1709	V区 褐瓦	石核か	(42)	(19)	10	6.5	チャート	
1710	V区 褐瓦	石核	29	23	8.5	7.4	チャート	
1711	V区 褐瓦	石核丁	(41)	(27)	5	11.4	石核丁粘板岩	
1712	V区 Iva 瓦	石核丁	(79)	36	4	16.6	粘板岩	洞刃
1713	V区～VI区点	石核	317	155	89	3240	褐灰質砂岩	A面光面断面

元 巢 塚

第5章 元塚塚

第1節 はじめに

氾濫原の中央を西流する川内川の左岸、本市のほぼ中央部に“木崎原古戦場跡”(B)がある。当地は、平成10年3月に県指定史跡になった所で、元亀三(1572)年に伊東氏と島津氏が決戦した地である。勝者の島津義弘が、戦死者を弔つた六地蔵塔や戦死者を埋葬した首塚(C)や、太刀を洗ったと言われる太刀洗川(現在は沢状回地)がある。

JR吉都線を挟んだ北東部には“元塚塚”と呼ぶ石積基壇の石塔(A)がある。碑文には、慶長十八



第1図 元塚塚と木崎原古戦場跡・首塚・太刀洗川 位置図(1:5,000)

発丑三月十五日 奉供養大乘妙典一千部施主－雄元巣庵主壽位 伊集院肥前入道逆修也とあり、自分の為に 1000 回読経し生前供養として建立したものと解釈される。しかし、後の世に、合戦の戦死者の靈や牛馬の病気等を鎮める為に元巣が建立したという物語になった。

平成 7 年（1995）、古戦場跡を公園化し、基壇が崩壊しつつある元巣塚も整備するという計画が立ち上がり、塚の構造と規模を解明する基礎資料を得るために、発掘調査を実施した。調査は平成 7 年 10 月 2 日から 25 日に実施した。

第2節 遺跡の位置と調査前の状況

元巣塚は、えびの市大字池島の最低位段丘に立地する。碑文と寄進塔は南面にあるが、幾度もの補修の結果である。基壇は 2 段で、下段は北辺が長さ 4.3m、南辺が 4.8m、西・東辺が 4.9m を測り、北西隅と南辺中央部、東辺北部が崩壊している。平均的高さは 0.9m である。上段は崩壊が著しいが北・南辺は 2.7m、西辺 3.1m、東辺 2.8m 位である。特に西辺は弧状になるほど崩壊著しい。下段の北辺が短いのは、菩提樹として植えられた椎の木の成長が、石垣崩壊の一要因と考えられ、伐採せずに再建された結果と思われる。下段の南東部には、元巣塚建立から 186 年後、寛政 9（1797）年銘の寄進塔が建てられている。1613 年建立以降、市内における災害も多く、特に、享保元（1716）年の 3・11 月の 2 回と翌年 2 月と 9 月の 2 回の噴火と地震は大災害をもたらせたようである。霧島は文献に残るだけでも 17 世紀代に 17 回、18 世紀代に 9 回噴火し、度重なる地震によって基壇が崩壊したと考えられ、寛政 9（1797）年に修復され、石塔が寄進されたことが推定される。それ以後も天災は続き、樹木も大きくなり、常に崩壊の危機にあった。特に昭和 43（1968）年のえびの地震は M6.1 で甚大な被害をもたらし、元巣塚の東側面が著しく崩壊したと思われる。⁽¹⁾

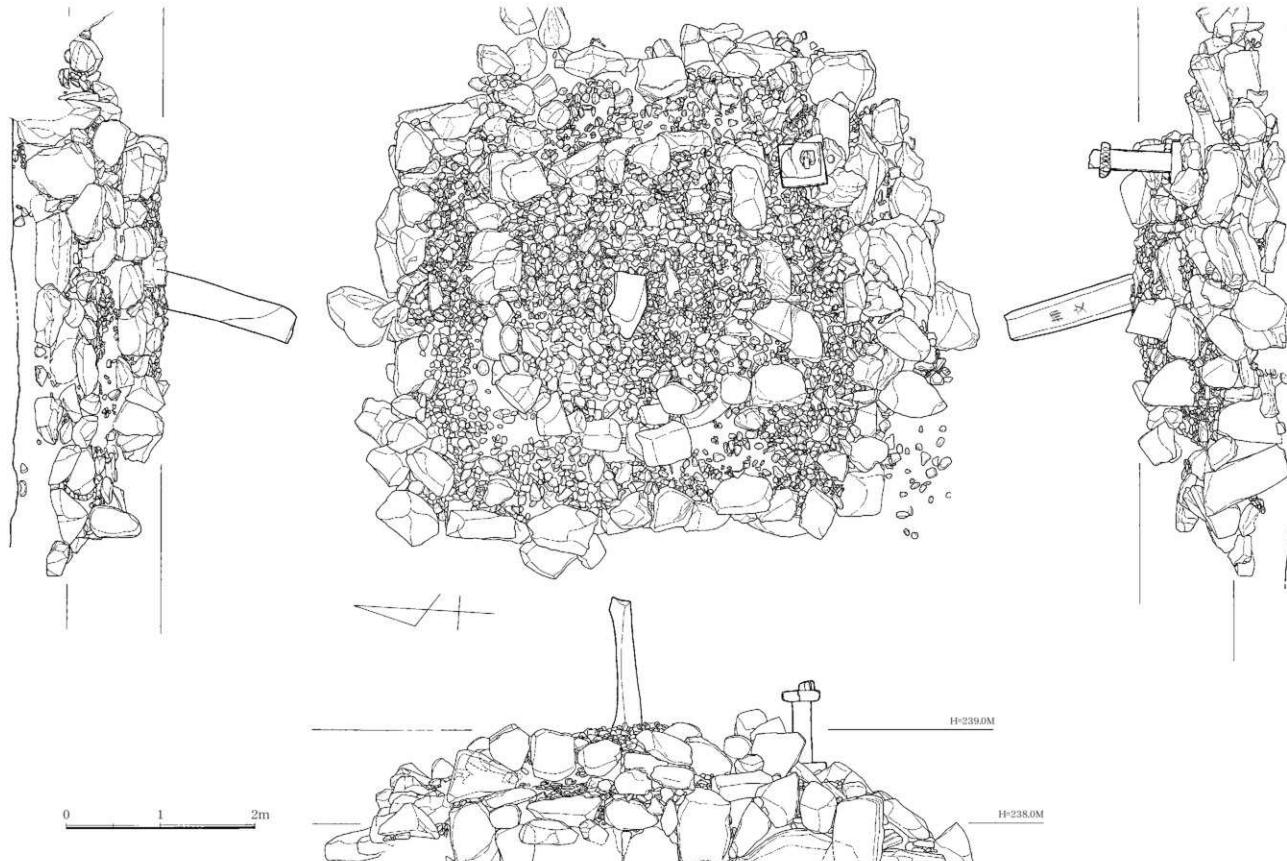
第3節 調査方法

縦横断面と四隅に基準杭を設定し、現況の平面図と側面図を作成し、試掘溝を設定した。東面は著しい崩壊のため、図化していない。第 1 試掘溝の掘り込みにおいて区画溝を検出したことから全体の把握に勤めた。

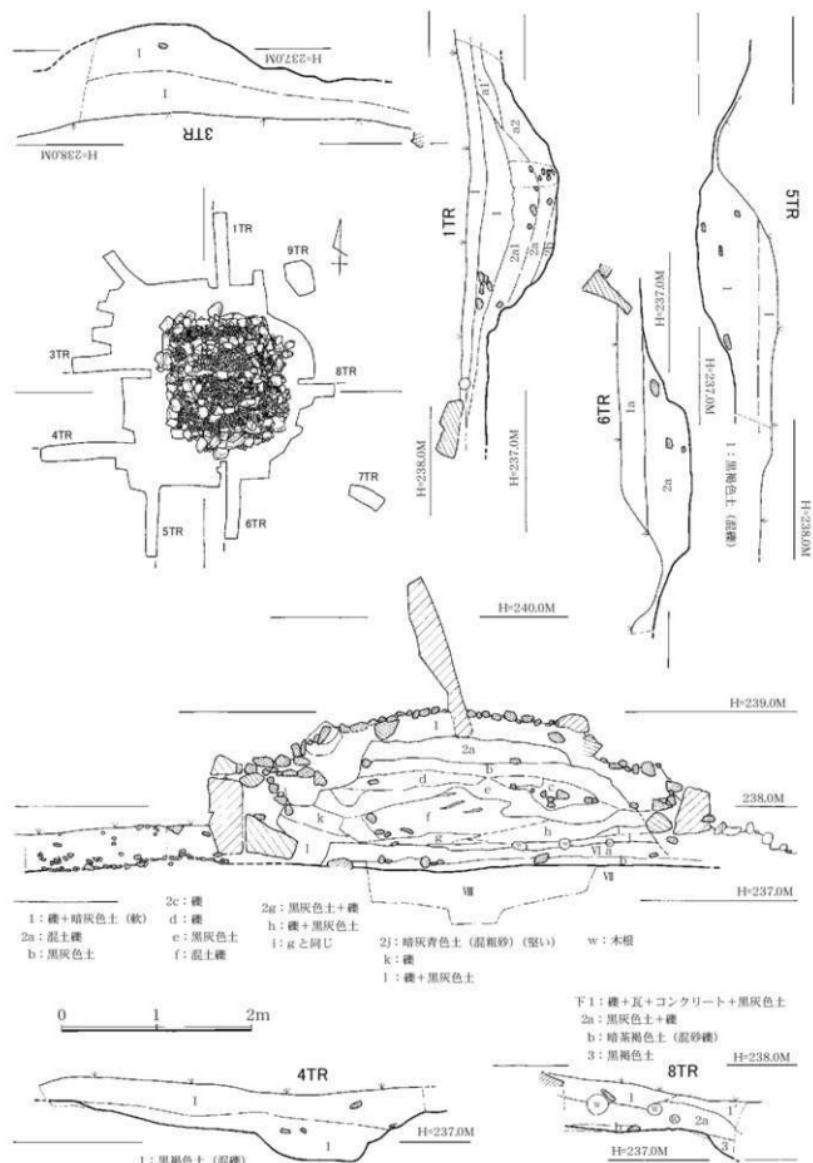
第4節 発掘調査

試掘溝を周囲に設けて掘り下げると、表土下は全面低位段丘の礫層で、礫層を掘り込んだ周溝を検出した。礫層上面までの軟質土を除去すれば地業の必要はないので意図的削平と思われる。基壇から 1.3~1.5m 離れて幅 2.5~3.5m・深さ 0.5~0.7m の溝を隅丸方形に区画し、排出礫を裏込石として使用したと思われる。明瞭な出入口は検出されなかったが、東辺中央付近にのみ、幅 1 m 強の陸橋が想定できる。

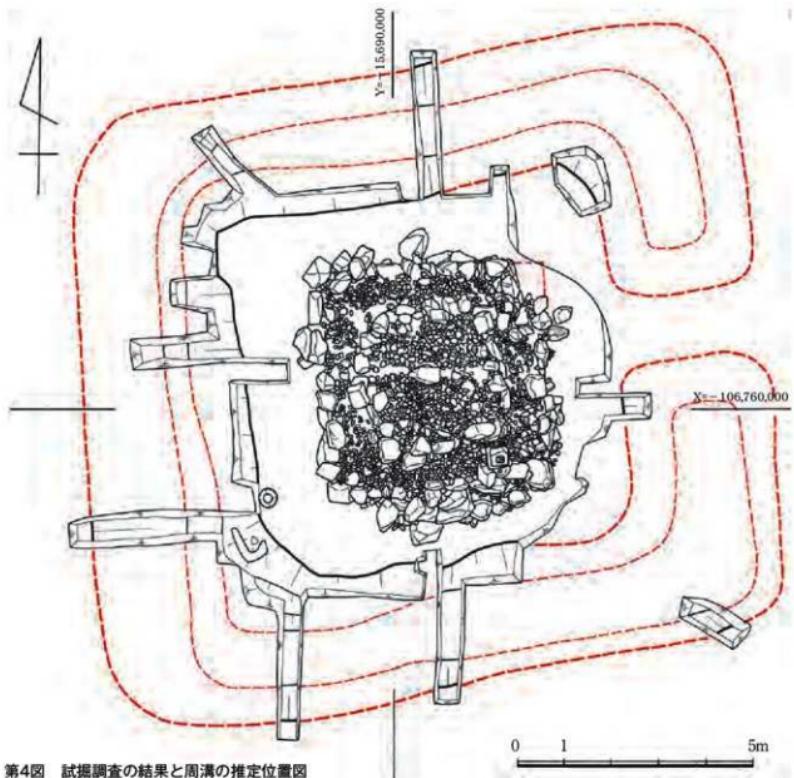
碑文より、一字一石経の出土が予想されたが、基壇を半截して精査しても人為的遺物は出土しなかった。



第2図 調査前の状態 実測図



第3図 断面実測図



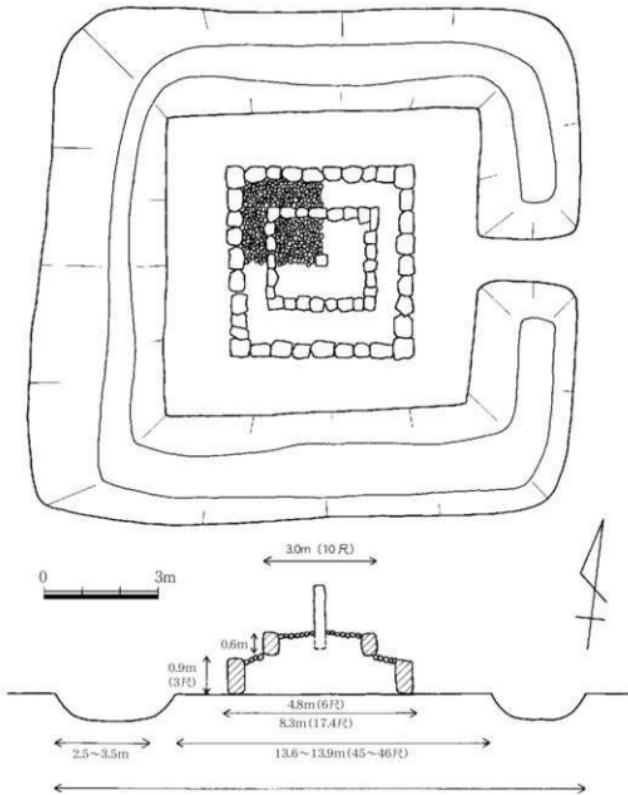
第4図 試掘調査の結果と周溝の推定位図

第5節 復元

当時は、微高地であったとみられ、数10cm削平すれば礎層になる所に立地している。築造当初に復元していくと、尺を単位とする規格性がみられた。下段は、1辺4.80m（方16尺）、高さ0.9m（3尺）に組まれ、上段は1辺3m（方10尺）、高さ0.6m（2尺）に組まれていたであろうと推定される。石碑の碑文は、土橋が推定される東面だった可能性がある。ただし、確定しないことから、調査前と同じ南向きで復元している。

註

(1) 高原町『高原町史』1984、宮崎県『宮崎県史 通史編 原史古代1』1997所収、新曆で表記。



第5図 元巣塚 復元図

付 篇

調査当時は縄文時代晩期後半～終末としていたが、本報告では弥生時代早期に改めている。しかし、本稿に限っては原文のまま載せている。

桑田遺跡におけるプラント・オパール分析結果について

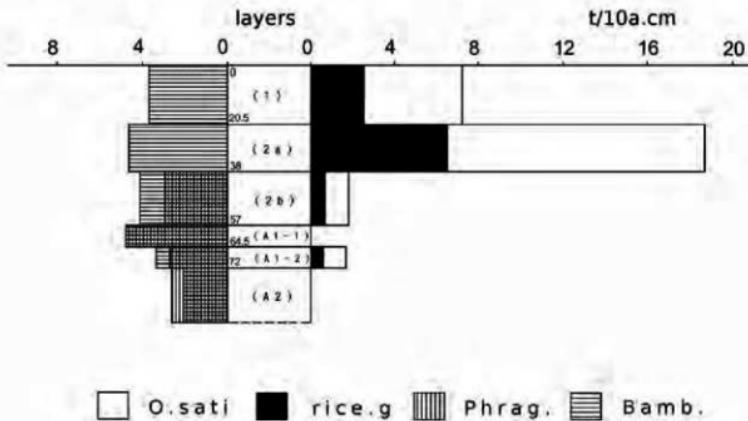
宮崎大学 藤原宏志

1 分析結果

分析結果は表および図に示した。

2 分析結果に関するコメント

- (1) 1-2 b 層は新しい時代の堆積層であるが、イネが検出され稲作生産址であったと思われる。
- (2) A 1 層は縄文晩期終末の遺物を包含する溝内部の堆積物である。遺構の状況からみると、この溝は生活址の一部と判断される。この溝からヨシやタケとともにイネが検出された。おそらく、生活域にイネが持ち込まれ、調整あるいは利用された結果堆積したものであろう。この時代は西北九州に水田稲作が伝えられた時期であり、南九州でも水田稲作が行なわれていたとすると予想外に速く伝播したことになる。
- (3) ここで栽培されたイネが水田作によるものか、あるいは畑作によるものは生産址の発掘をみなければ判らない。遺跡の立地をみると、水田作を想定するのが自然のようであるが、やはり同時代の水田址を発掘して、これを確認する必要があろう。
- (4) 当該遺跡は縄文終末期の遺跡で稲作の可能性がみとめられた南九州最初の遺跡であり、周辺域に生産址が埋蔵されていることが予想され、今後の調査が注目される。



層	植物体乾重 (t/10a. cm)						
	イネ (O sati)	イネ粉 (rice g)	キビ族 (Pani)	キビ族種実 (Pani. Seed)	ヨシ (Phrag)	タケ亜科 (Bamb.)	ウシクサ族 (Androp.)
1	7230	2533	36.004	16.349	0.000	3.659	2.135
2a	18.658	6537	49.274	22.375	0.000	4.570	3.577
2b	1.823	0.639	40.346	18.321	2.865	4.068	1.538
A1-1	0.000	0.000	24.887	11.301	4.712	4.569	4.778
A1-2	1.678	0.568	18.563	8.429	2.636	3.287	2.584
A2	0.000	0.000	6.913	3.139	2.618	1.995	1.639

桑田遺跡におけるプラント・オバール形状解析

宮崎大学 藤原宏志

1. 桑田遺跡（A1層：縄文晩期遺物包含層）試料の形状解析データを表および図にしめした。
2. 亜種判別得点は1. 4.6であり、典型的な *japonica* である。

分析結果に関するコメント

1. 当該試料から検出されたイネのプラント・オバールは縦長、側長値の平均がそれぞれ4.5 μm, 3.0 μm を越えるものであり、熱帶型 *japonica* に多くみられるものである。

現在、日本で栽培されているイネの品種群は温帯型 *japonica* に属し、縦長、側長値の平均はそれぞれ4.0 μm, 2.8 μm 前後である。

2. 平安時代以前の水田址では、縦長、側長の大きなプラント・オバールが多く含まれる傾向が認められる。

当該試料の場合はより典型的にこうした大型のプラント・オバールが検出されており、当時のイネ系統を考えるうえで興味深い。

3. 热帶型 *japonica* に類似したプラント・オバールが検出されたが、その結果をイネの渡来ルートに結びつけて論じるためにもう少しデータを蓄積する必要があろう。

No	縦長	横長	側長	B/A
1	36.96	36.69	40.28	1.126
2	42.41	44.97	45.61	1.065
3	32.05	34.46	20.42	1.287
4	51.65	52.57	22.31	1.002
5	49.51	44.96	18.23	0.775
6	38.10	39.13	25.96	0.481
7	31.30	28.39	28.32	0.541
8	32.88	31.27	24.57	0.804
9	26.09	31.10	27.46	0.832
10	55.32	42.76	30.93	0.630
11	52.81	41.82	22.14	0.513
12	43.96	36.74	28.39	0.663
13	40.71	43.96	26.43	0.572
14	35.67	40.44	47.85	0.735
15	41.18	40.52	30.08	0.440
16	37.19	33.66	44.16	0.930
17	54.88	44.60	22.14	0.749
18	50.90	39.49	27.72	0.856
19	34.76	34.20	42.01	0.953
20	26.64	29.68	32.78	1.038
21	41.91	40.70	45.69	0.583
22	33.14	28.32	36.69	0.387
23	48.27	37.63	36.50	0.620
24	32.05	29.72	38.95	0.802
25	44.33	51.08	29.86	0.637

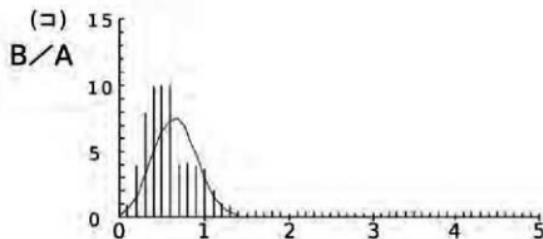
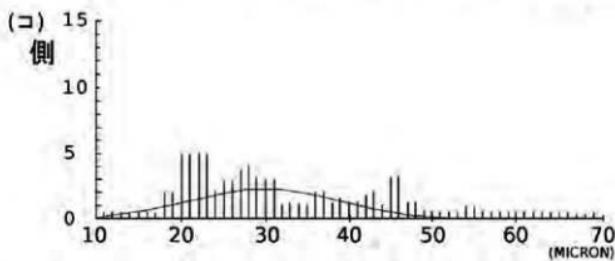
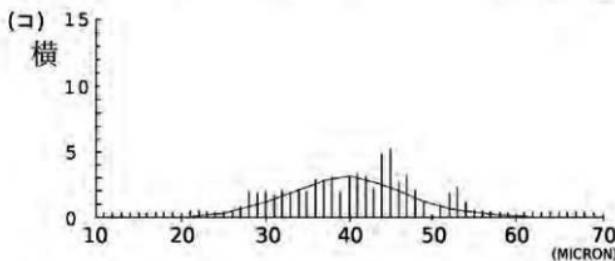
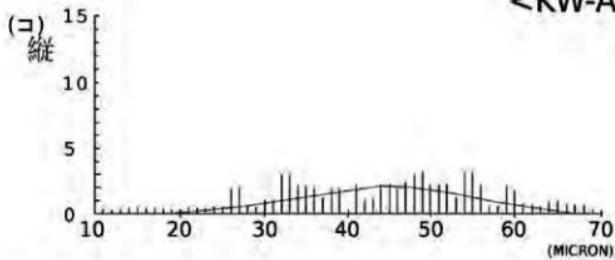
No	縦長	横長	側長	B/A
26	59.16	52.37	20.73	0.536
27	46.67	46.91	20.19	0.677
28	64.61	47.74	24.85	0.621
29	53.71	44.51	27.13	0.843
30	48.63	41.32	26.72	0.509
31	45.99	32.27	25.05	0.380
32	49.43	38.63	20.94	0.549
33	51.57	42.46	20.80	0.378
34	45.39	36.90	30.37	0.687
35	38.10	37.03	29.37	0.488
36	46.73	47.22	23.31	0.557
37	41.32	40.04	23.86	1.070
38	55.83	43.74	34.92	0.553
39	44.16	45.32	18.24	0.437
40	66.21	46.07	54.82	0.673
41	34.37	30.66	25.57	0.546
42	54.42	46.91	37.54	0.672
43	62.16	53.73	27.80	0.431
44	50.76	27.67	45.12	0.178
45	63.61	41.53	31.61	0.461
46	48.48	35.81	21.11	0.412
47	54.39	44.07	28.76	0.634
48	59.35	48.07	22.82	0.472
49	30.08	32.51	22.31	1.140
50	35.33	37.69	42.22	1.397

	個数	合計	平均	平方合計	偏差	CV
縦長	50	2265.1	45.3022	107777.0	10.2647	22.6582
横長	50	2000.0	40.0003	82289.9	6.8345	17.0802
側長	50	1501.3	30.0250	48924.9	8.8639	29.5216
B/A	50	33.8	0.6763	26.2	0.2602	38.4744

〔判別得点〕

判別式によるZ2=1.461700 C. E. 値(熱帯ジャボニカ基準)
(ジャボニカ) C. E. =()

<KW-A12U>

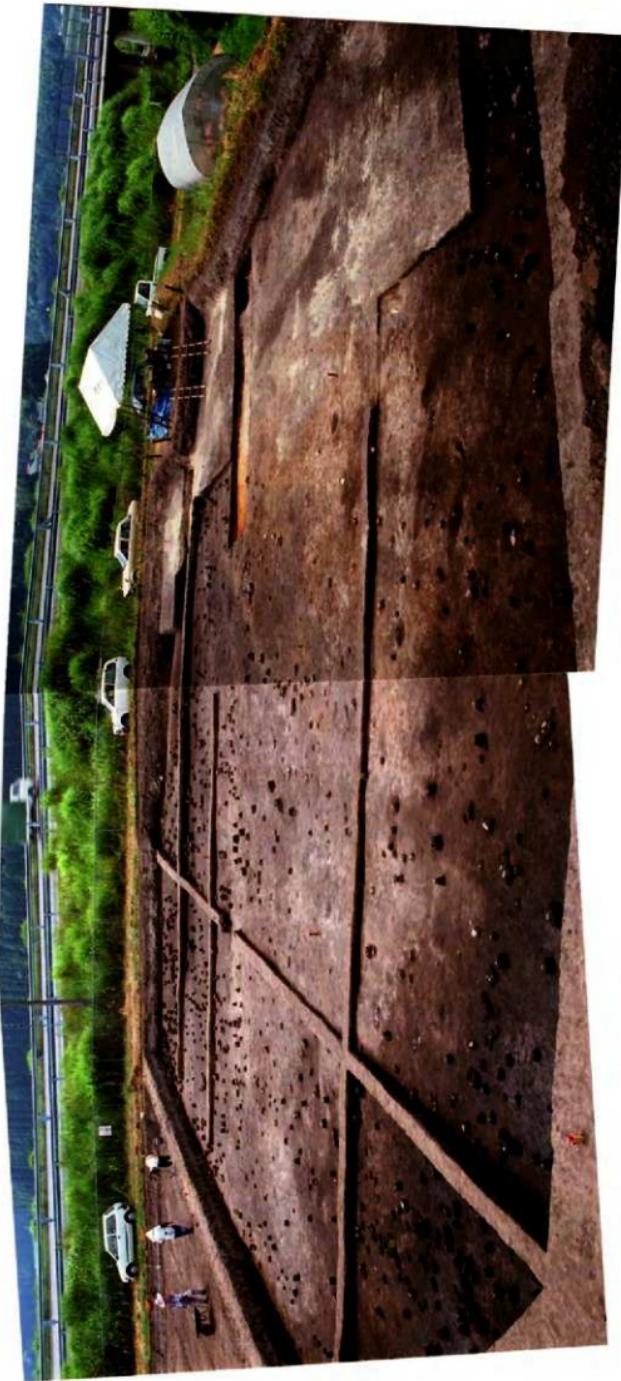


桑田遺跡
写真図版

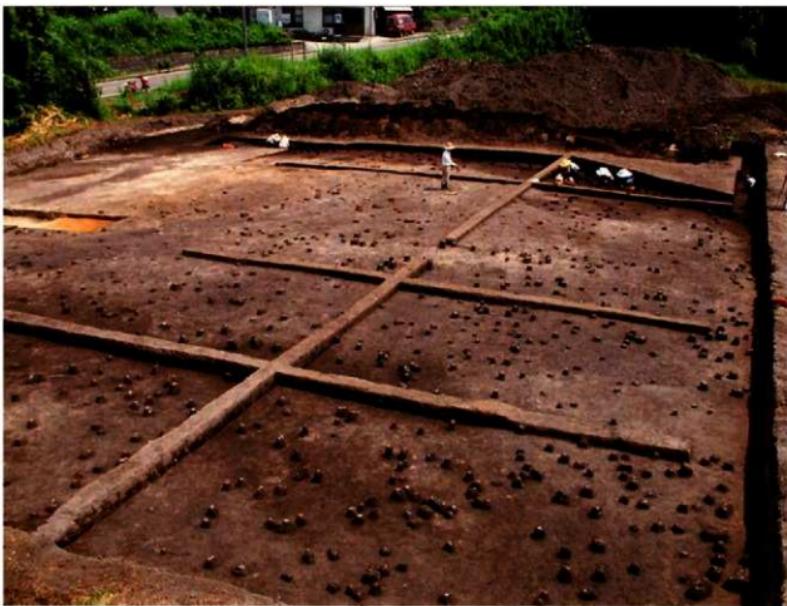
調査終了時の状況（西から）



図版 2



I区 IIIa層 遺物出土状態（北東から）



I 区 IIIa層 遺物出土状態（南から）



同上 北西部 接写（南西から）

図版 4



II区 SZ-01 西南部 遺物出土状態（北東から）



同上 接写



II区 SZ-01 南半 遺物出土状態（南東から）



同上 SZ-01 挖込, SD-01検出状態（西から）

図版 6



II区 SD-01 遺物出土状態（北から）



II区 SD-01 遺物出土状態（北から）



同上 中央部セクション西壁層序（西から）

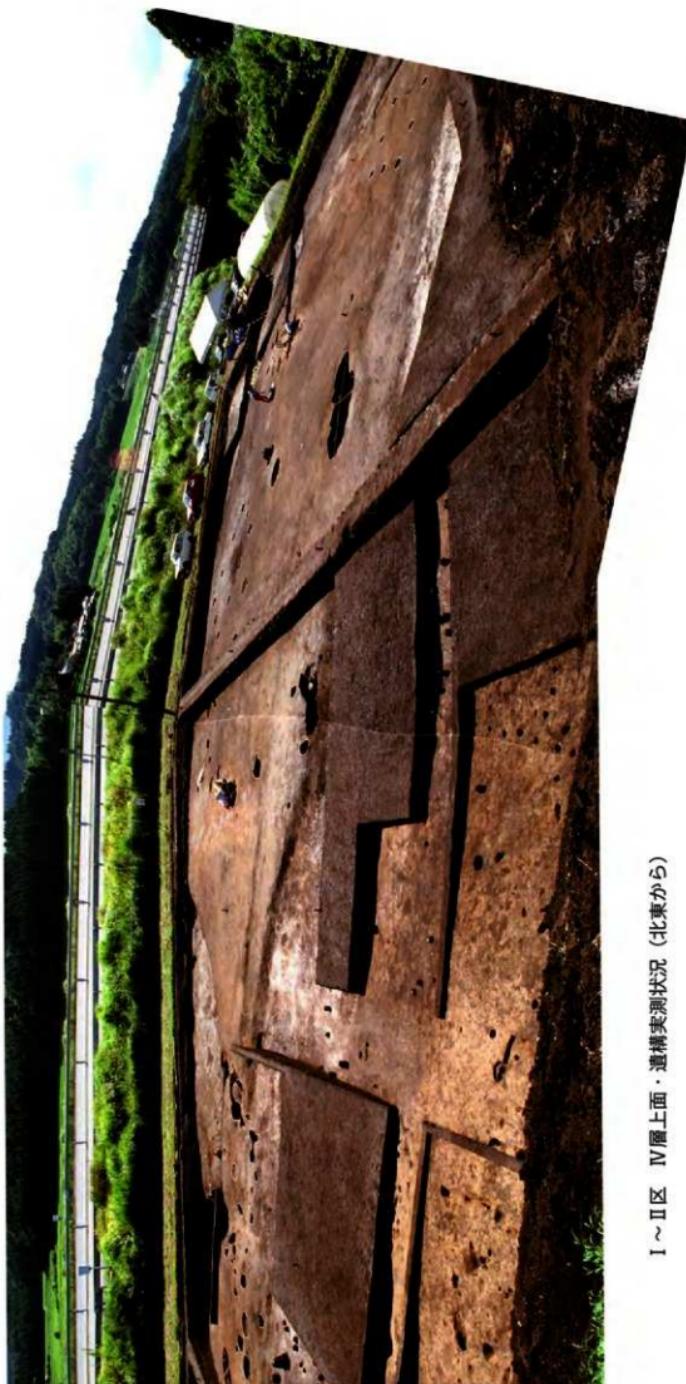
図版 8



SD-01
西南端
南壁
プラントオバール分析
土壤採取地点
採取前の状況
(北東から)



II区東半～III区 IV層上面の状況（北から）（図版 9へ続く）

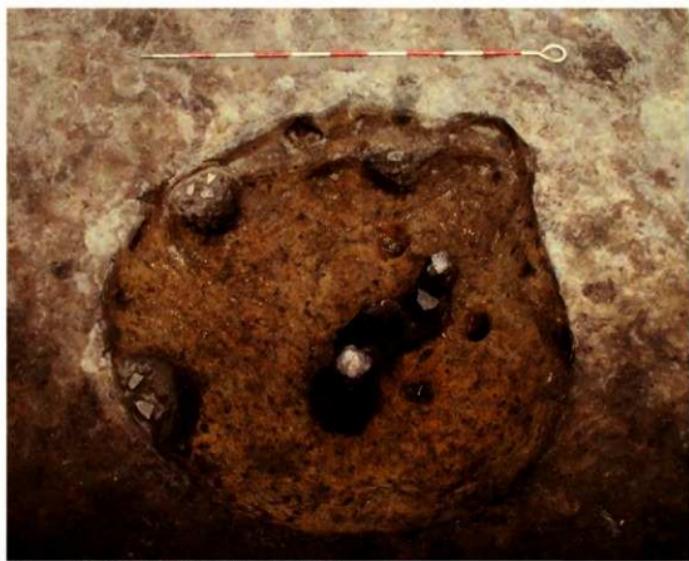


I ~ II区 IV層上面・遺構実測状況（北東から）

図版 10



I 区 SK-01 遺物出土状態（北から）



同上 SK-02 遺物出土状態（東から）

II区
SK-03
遺物出土状態
(北から)



同上 SK-07 遺物出土状態・断面層序 (東から)

同上
SK-09
遺物出土状態
(南から)



図版 12



I 区 SB-03 柱穴半截, SZ-02 遺構実測風景 (南から)



同上 SB-03 完掘 (南から)

I 区
PP-35
墨書き器
出土状態



同上
SZ-02
遺物出土状態
(北東から)



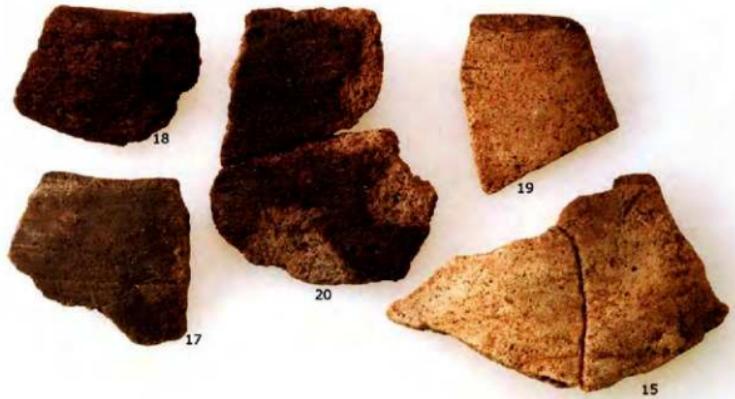
図版 14



III層・SK-01 出土 精製深鉢



SK-01 出土 精製鉢 外底 木葉痕



III層・SK-01 出土 薄手の粗製深鉢



SK-01 · Ⅲ層出土 刻目突帶文土器



SD-01 出土 刻目突帶文土器

图版 16



III层·SZ-01出土 刻目突带文土器



SK-01·SZ-01 ·
III层出土 刻目突
带文土器



同上
口缘部欠损片



SD-01 出土 壺・鉢



SZ-01 出土
組織痕土器



SZ-01 出土
壺・高环

図版 18



SZ-01・Ⅲ層出土 粗製深鉢・高坏・壺



SD-01 上面の弥生土器



SZ-01・Ⅲ層出土 弥生土器



上：土師器 瓢

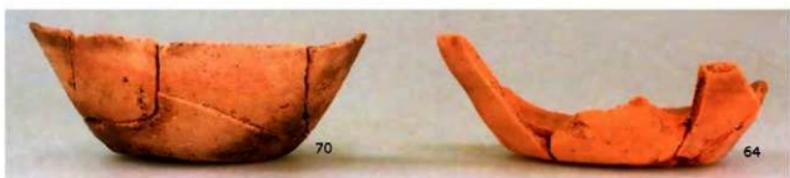
中：同

下：墨書土器

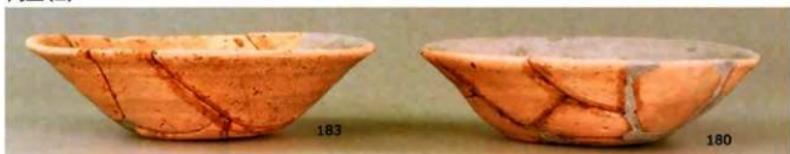


図版 20

SZ-01 出土 土師器 坯 (1)



同上(2)



III層出土 土師器 坯



III層ほか出土 土師器 坯 (1)



III層ほか出土 土師器 壁(2)



同上(3)

図版 22



III層ほか出土 土師器 壁(4)



III層ほか出土 硬質土師器



SZ-01 出土 硬質土師器 皿

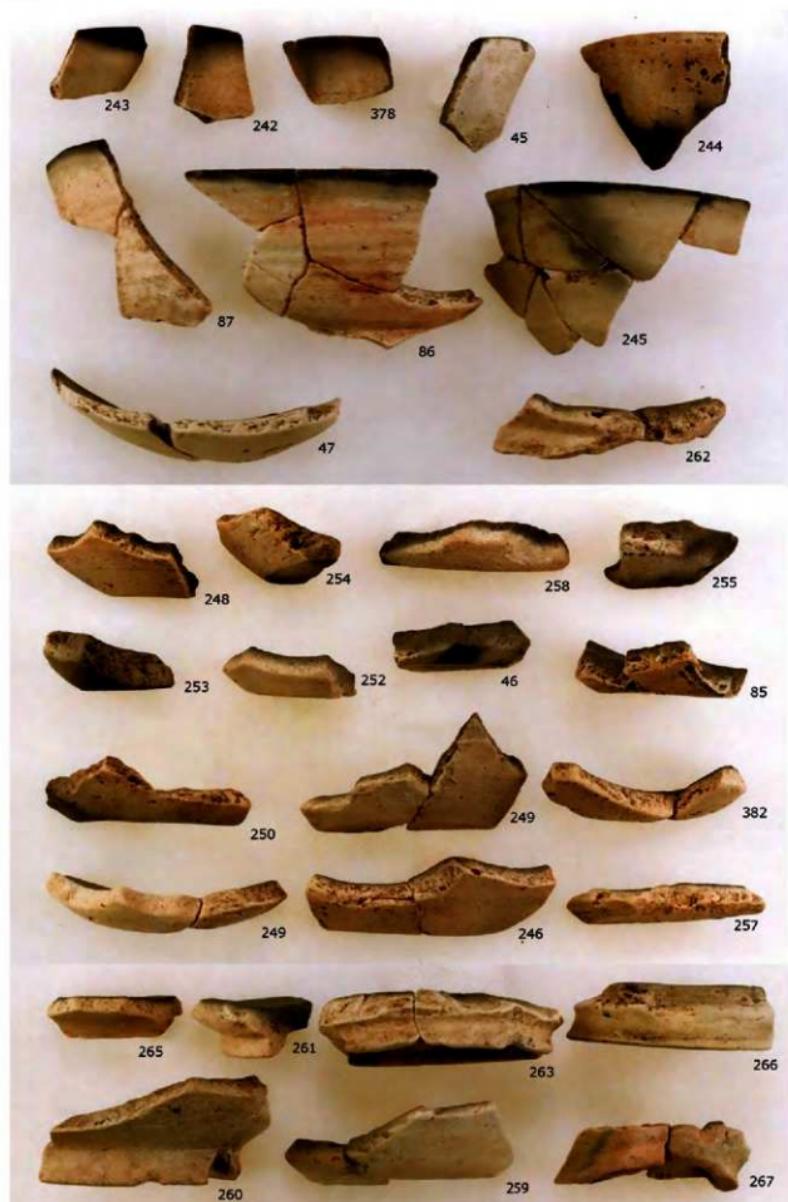


初殻圧痕, 甌(右), 糸切り底坏



III層・SZ-01 出土 土師器 皿

図版 24



III層ほか出土 黒色土器



III層ほか出土 須恵器（1）

图版 26



Ⅲ層ほか出土 須恵器(2)



同上(3),
東播系須恵器



Ⅲ層出土
綠釉陶器、
中世国産陶器

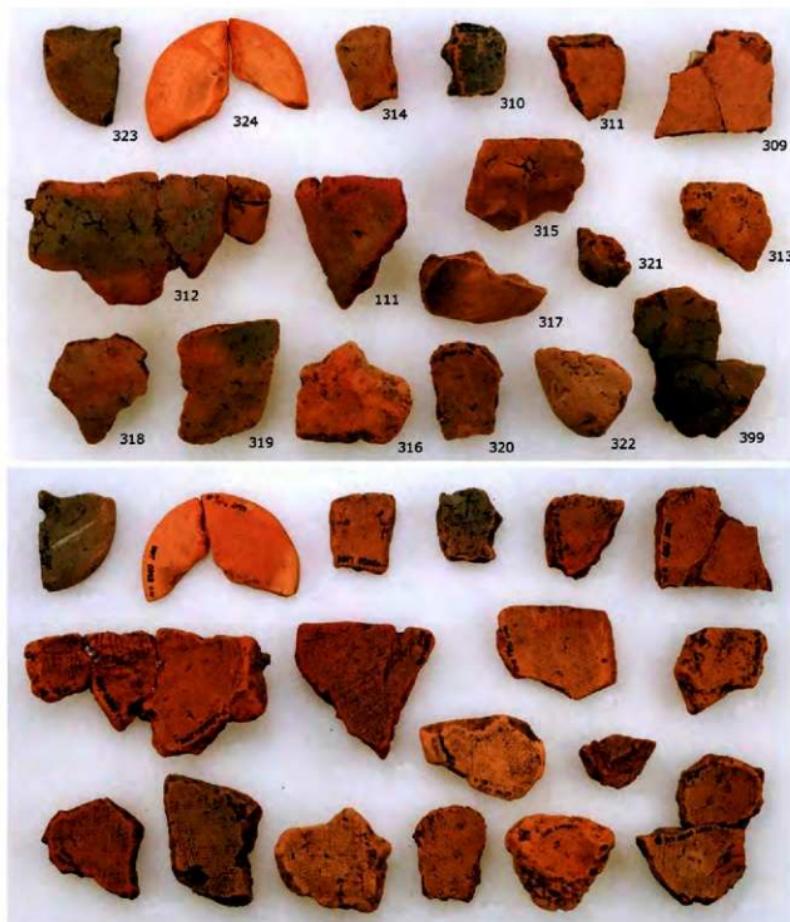


III層ほか出土 输入陶磁器 外面



同上 内面

図版 28



上：紡錘車と布
痕土器 外面

中：内面



銅製品、錢貨、
鉄滓



III層ほか出土 打製石斧

図版 30



III層ほか出土 打製石斧・未製品



III層ほか出土 刀器

III層ほか出土

打製石鎌,

石錐ほか



同 打製石斧未製品ほか



同

礫器, 延石

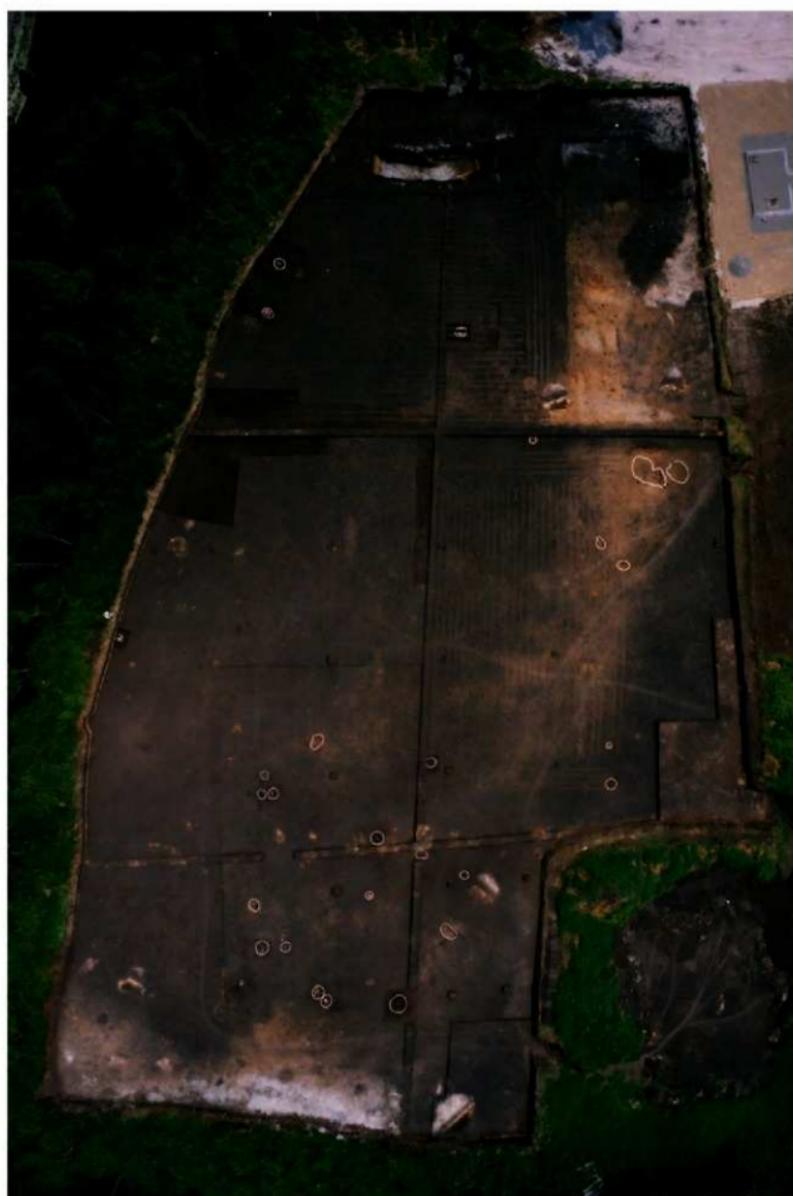
二本杉遺跡
写真図版

図版 1



調査地近景（西から）

図版 2



I区 完掘全景（左が北）



I 区 東南部 VI層掘り下げ・遺物出土状態（東から）



同上

図版 4



18号集石遺構と周辺遺物出土状態（南から）



南東部遺物出土状態、東部平板測量



山形押型文土器 出土状態



尖頭器 出土状態



上：SS-21 と
北壁層序（南から）
左：SK-08 完振
(北東から)



図版 6



北西部平板測量、南西部掘り下げ状況（南から）



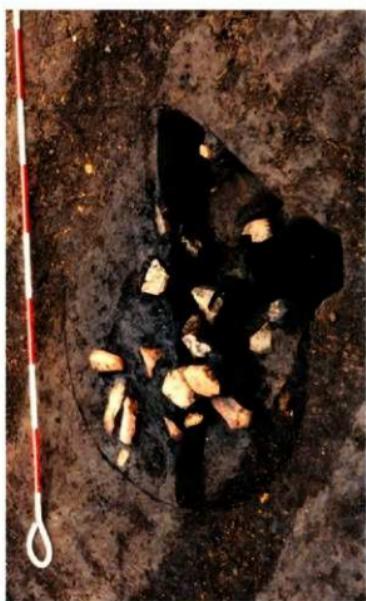
西北部VI層 遺物出土状態（南から）



北西部Ⅵ層露呈と南西部VI層掘り下げ状況（北から）



西部VI層 遺物出土状態（南から）



図版 8



SS-04 (南から)

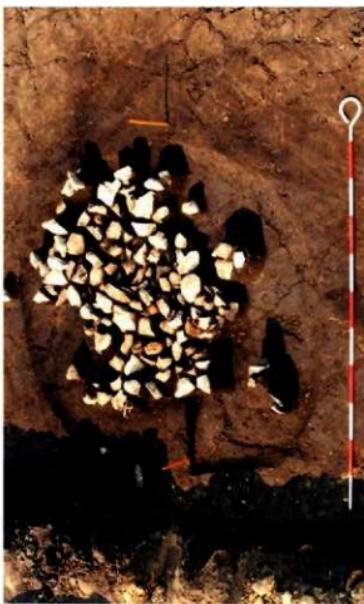


SS-05・06 (西から)





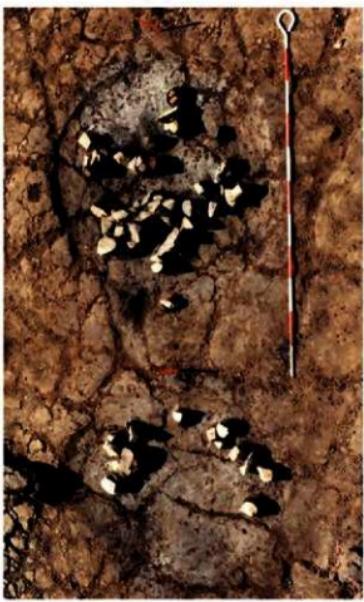
SS-08 (東から)



同上 基底土坑と底面の焼石 (西から)



SS-05・06 焼石 2段目 (西から)

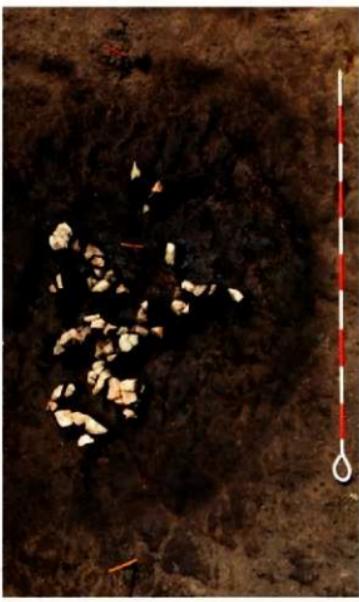


同上 基底土坑と底面の焼石 (西から)

図版 10



SS-09 基底土坑と中層焼石（西から）



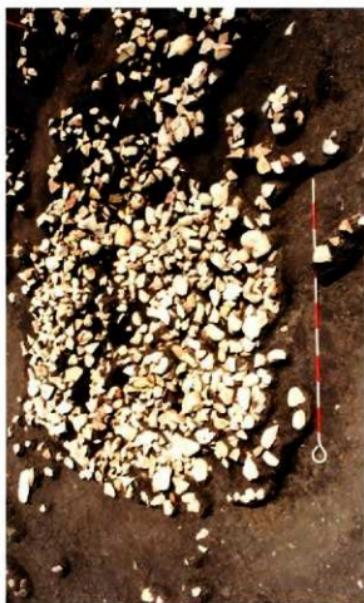
同上 底面の焼石（南から）



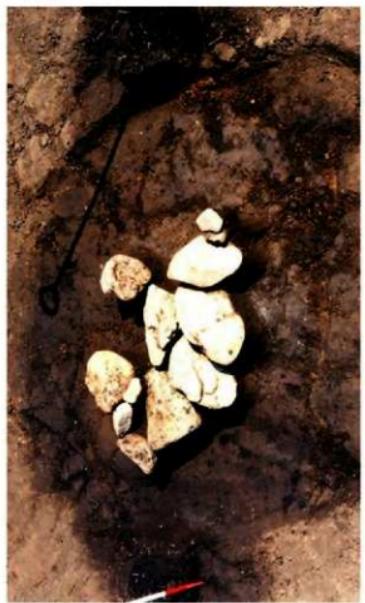
SS-08 最底面の焼石（西から）



SS-09 (南から)

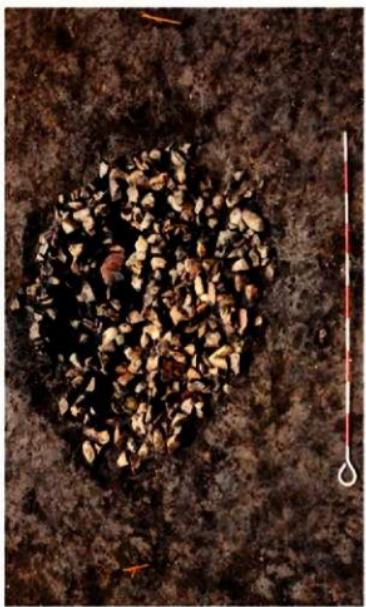


同上 上部除去 (北西から)

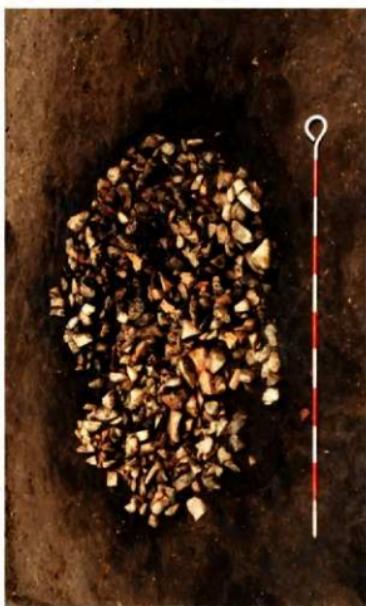


SS-11 基底土坑と配石

図版 12



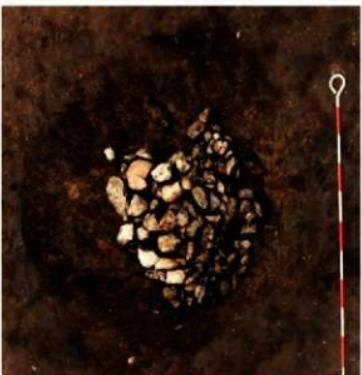
同左



SS-12 除去、振り下げ (北西から)



同左 最低位焼石



同左



同右上



図版 14



同左 基底土坑と焼石（南から）



SS-19（西から）



SS-18（西から）



SS-21 基底土坑と配石



SS-20（西から）



SK-06 遺物出土状態（南から）



上：SK-03～05 断面層序（西から） 下：完掘状態



SK-06 断面層序（南から）

上：SK-07 断面層序（南東から） 下：完掘状態

図版 16



IV区 全景（左が北）



V～VII区 全景（左が北）

図版 18



V～VI区 遺構分布状態（左が北）



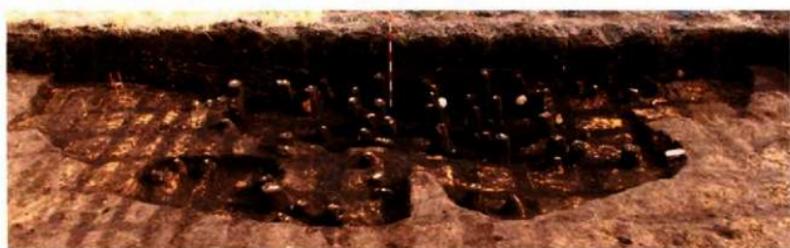
上：SA-01 遺物出土状態
(北から)

右：同上 完掘状態



SA-02 底面、1層遺物出土状態（北東から）

図版 20



上：同上 断面層序
(北から)

左：同上 完掘状態
(下が北)



SA-04 底面、遺物出土状態（北から）

右：同上
完掘全景
(下が北)



SA-05
遺物出土状態
(南から)



図版 22



上:SA-06掘り込み(南西から) 中:同上 断面層序 下:SA-06・05周辺 完掘状況(右が北)

SA-05・06
および周辺
完掘状況

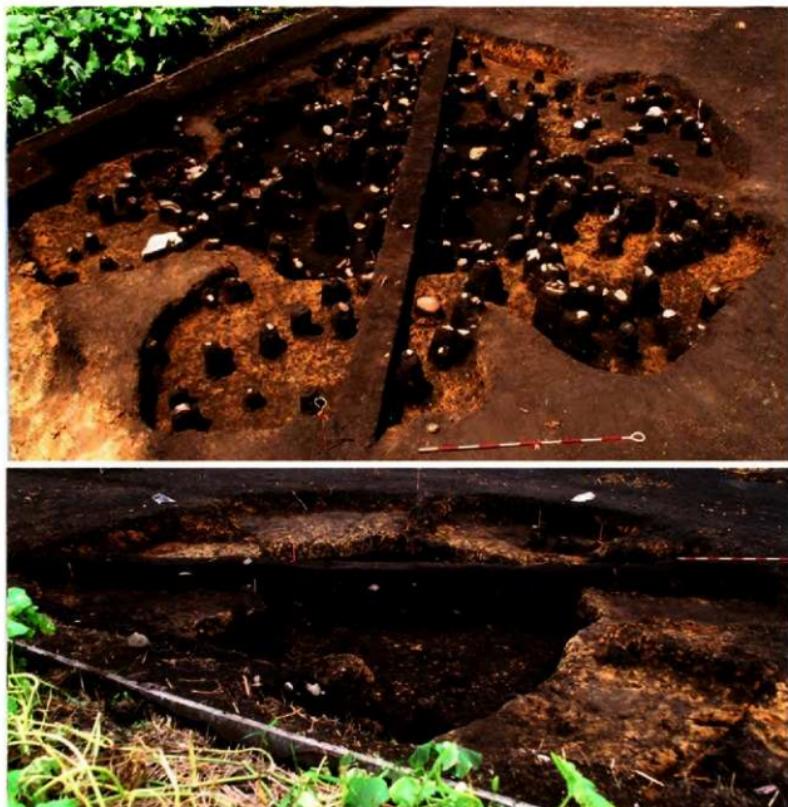


SA-07 遺物出土状態
(南から)

右：同上
完掘状態
(北から)



図版 24



上：SA-08 遺物出土状態（北東から） 下：同上 断面層序（南東から）



同上 完掘状態（北から）



上：SA-09 遺物出土状態（東から） 中：同上 断面層序（西から） 下：底面（東から）

図版 26



SA-10 遺物出土状態（南から）



同上 南側の焼土塊・炭化材・炭化堅果類 出土状態（南から）



SA-10 南東部 炭化堅果類 出土状態（南から）



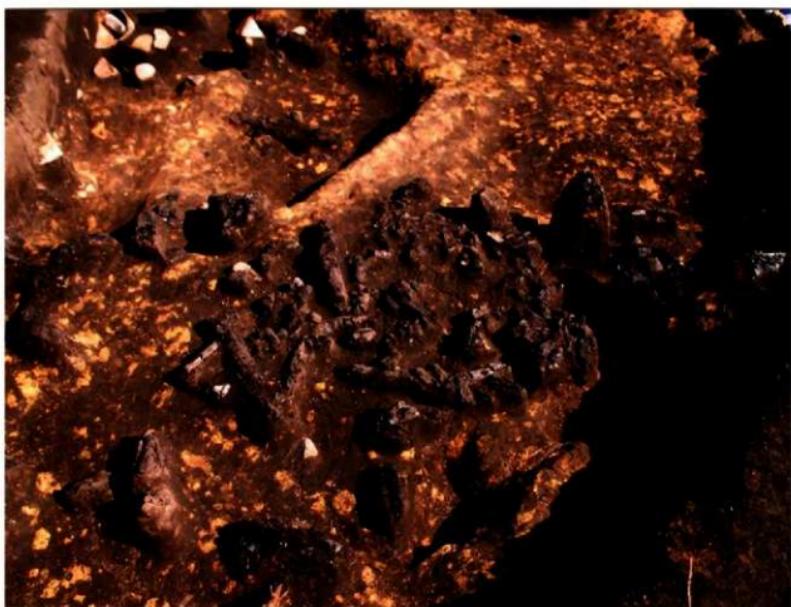
同上 北東部 炭化材 出土状態（東から）



SA-10 北側 炭化材等出土状態（北から）



同上 底面、下層炭化材・中央土坑検出状態（南から）



SA-10 北西部 炭化材と中央土坑（北から）

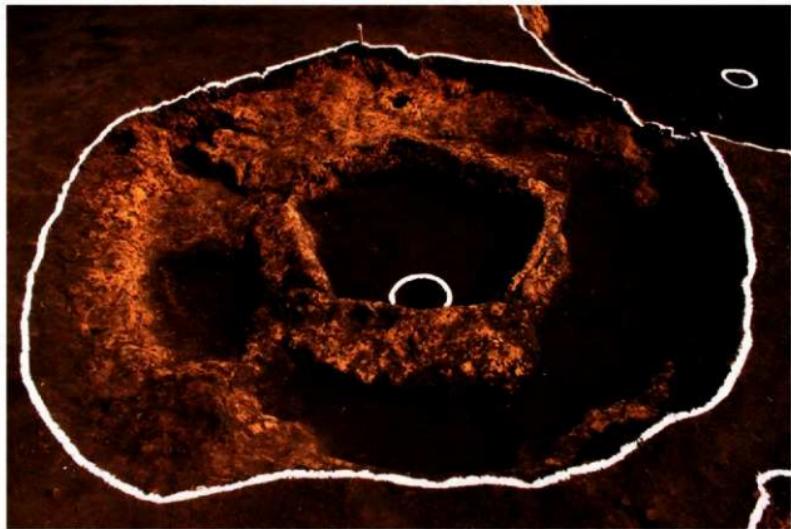


同上（南から）

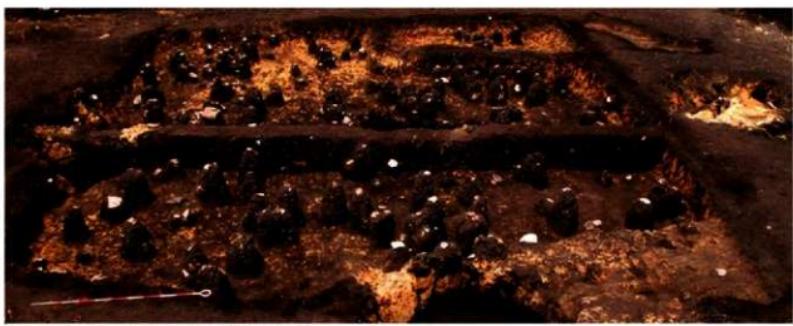
図版 30



上：SA-10 床面・断面（西から） 下：2層除去・断面層序



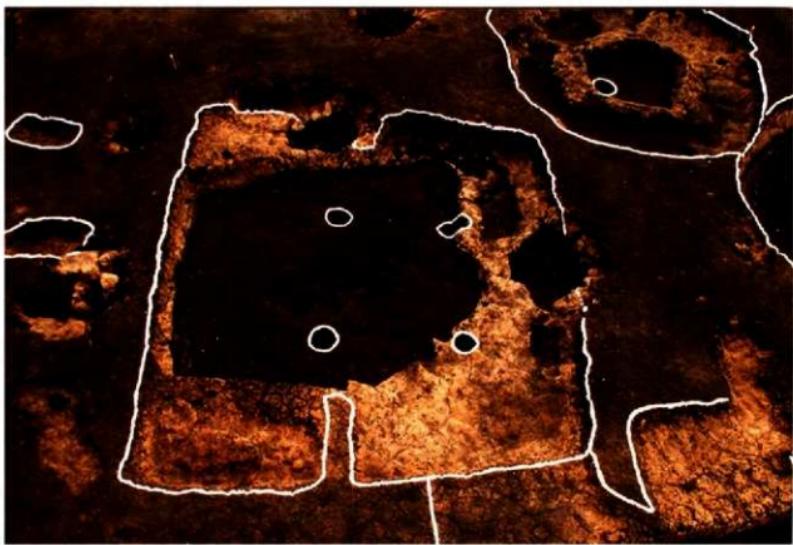
同上 完掘全景（北から）



SA-11 遺物出土状態（南東から）

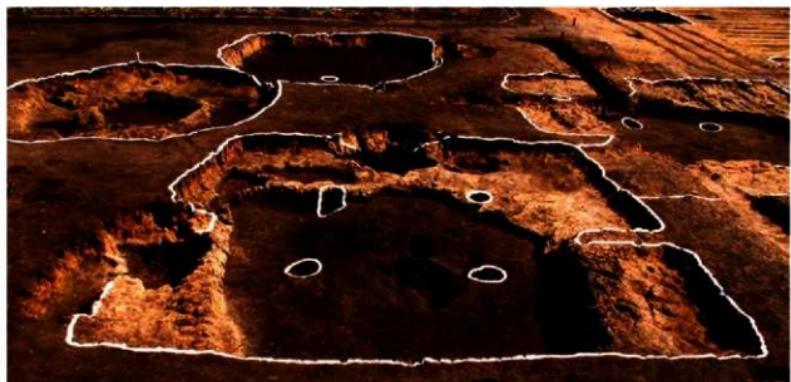


同上 断面層序（西から）



同上 完掘全景（北から）

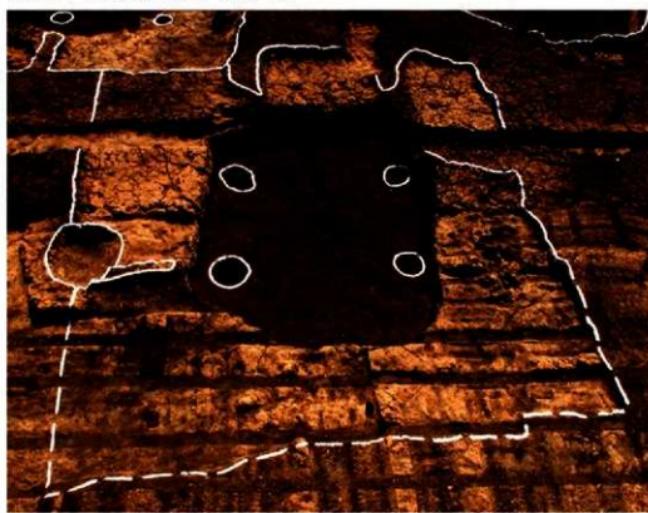
図版 32



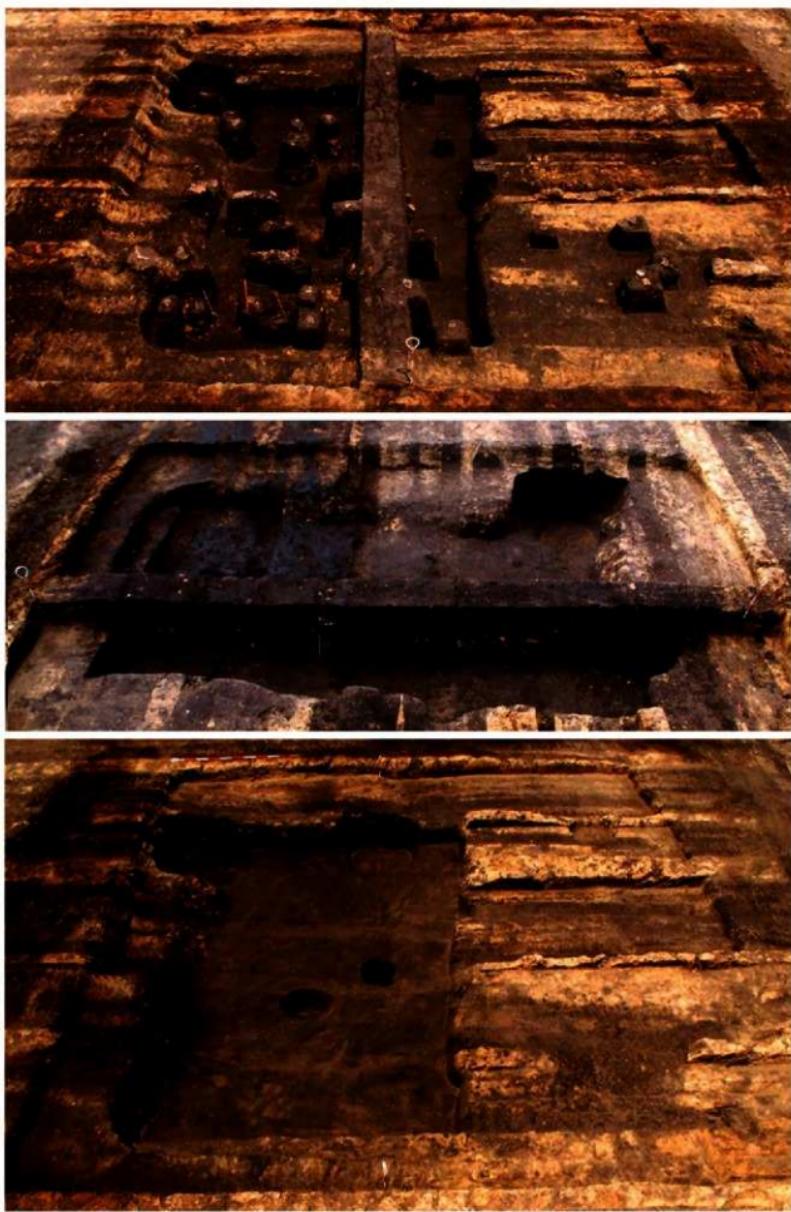
SA-09～11 完掘全景（北から）



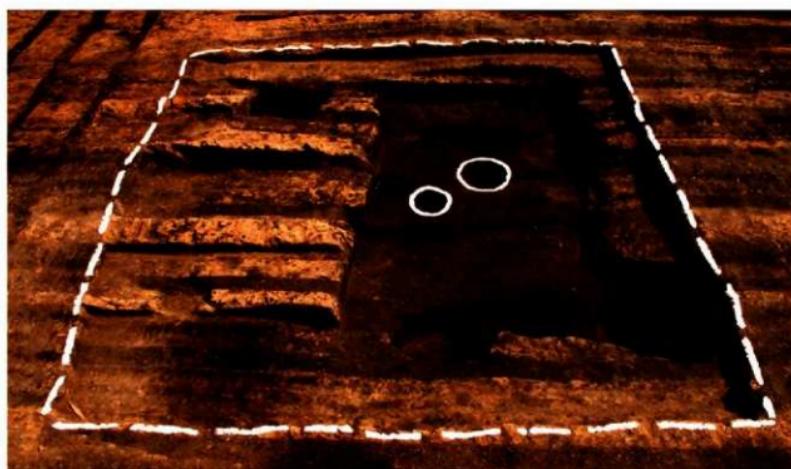
SA-12 遺物出土状態（南から）



同上
完掘状態
(西から)



上：SA-13 遺物出土状態（南から） 中：断面層序（東から） 下：完掘全景（南から）



上 : SA-13
完掘全景
(北から)



左 : SA-14
遺物出土状態
(北から)



同上 断面層序 (東から)



SA-15 完掘全景（南から）



SA-16 遺物出土状態（北から）

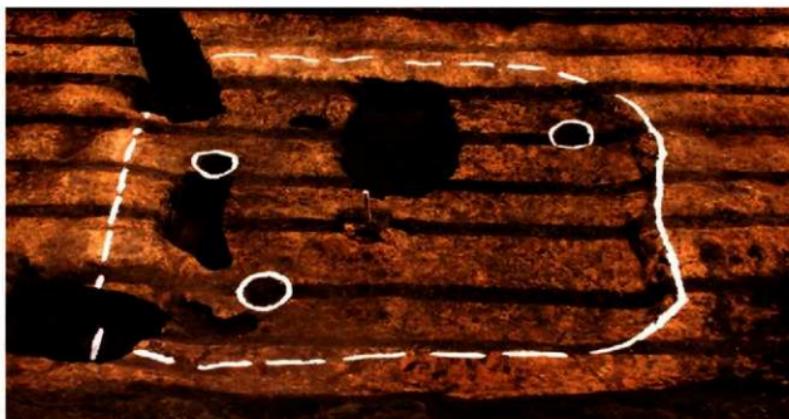


SA-14 完掘全景（北から）

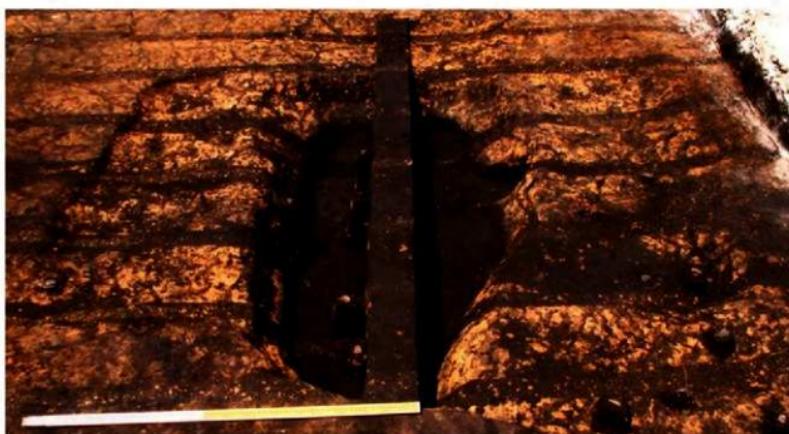


SA-15 断面・遺物出土状態（西から）

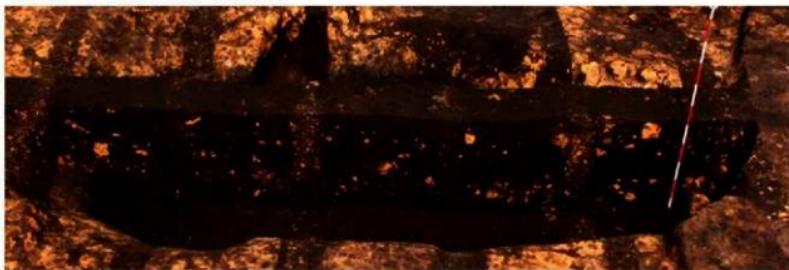
図版 36



SA-16 完掘全景（北から）



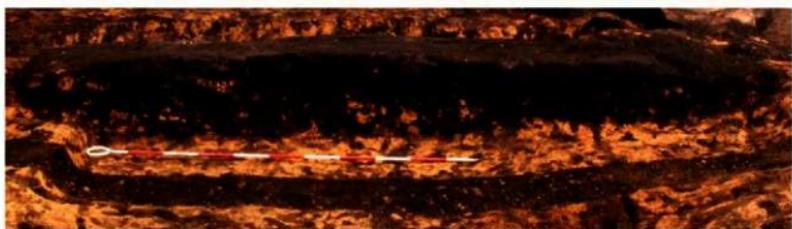
SA-17 遺物出土状態（南から）



同上 断面層序（西から）



SA-17 完掘全景（北から）

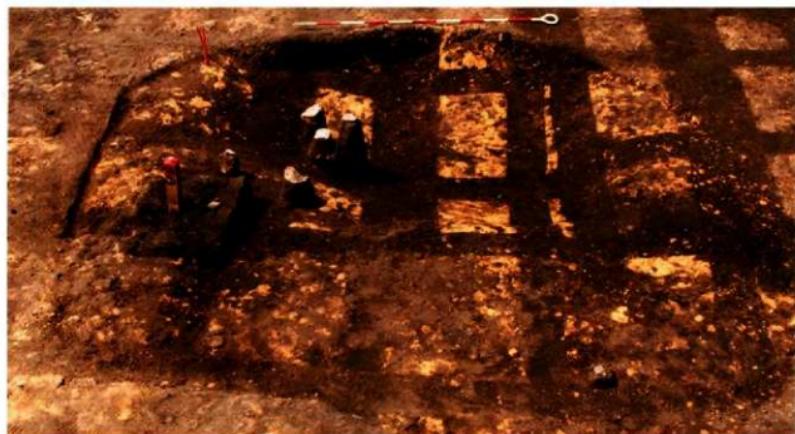


上：SA-18 遺物出土状態（南から） 下：断面層序（東から）

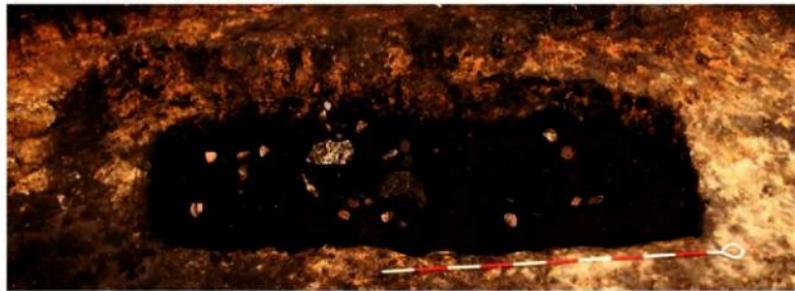
図版 38



SA-18
完掘全景
(西から)



SK-01 遺物出土状態（北から）



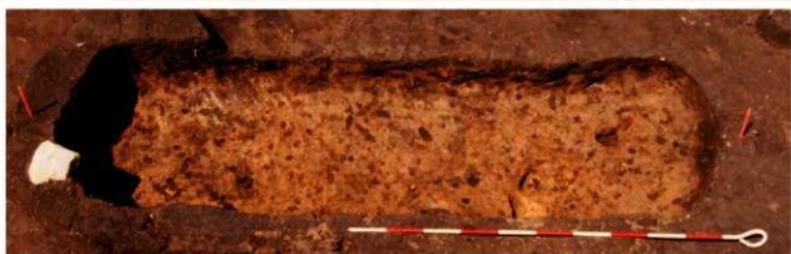
SK-03 遺物出土状態（南から）

SK-04

断面層序
(南から)



下：完掘状態
(南から)



SK-16 遺物出土状態 (東から)

図版 40



SK-18
遺物出土状態
(西から)



上 : SK-23
遺物出土状態
(南西から)



左 : SK-26
遺物出土状態
(南から)



SK-26 断面層序（西から）

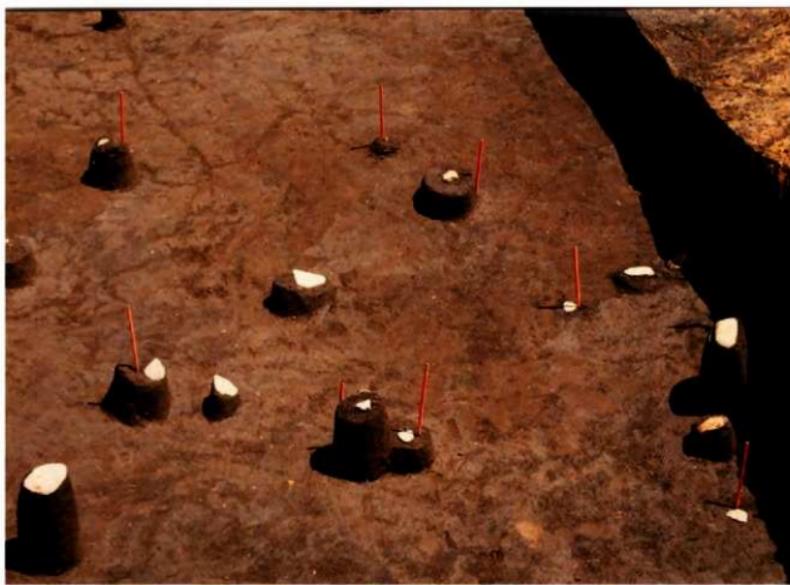


上：Ⅲ区 SD-01・SA-19 完掘全景（南から） 下：（北から）

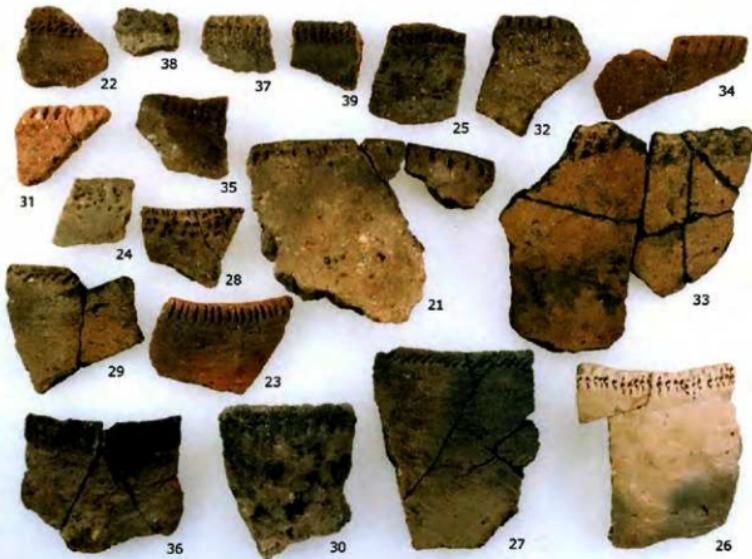
図版 42



IV区 SK-03・04、VI層遺物出土状態（南から）



同上 石錫模倣品 出土状況（南から）



I区 VI層出土 縄文土器 (1)

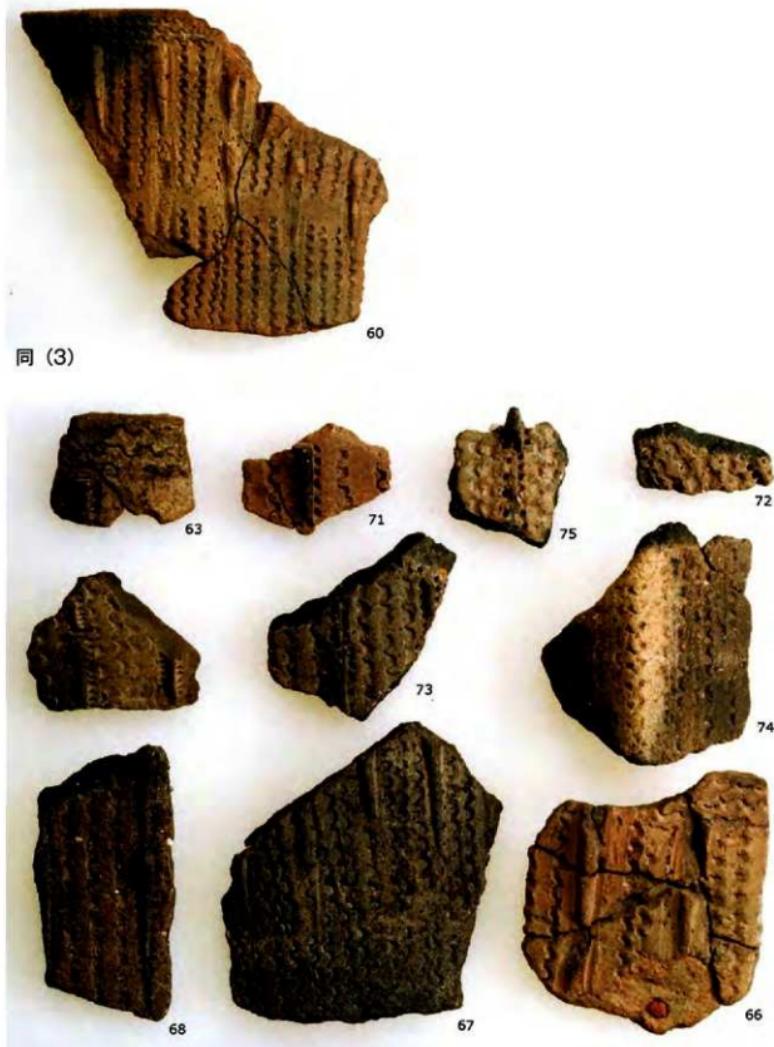
水迫式系・岩本式



同上 (2)

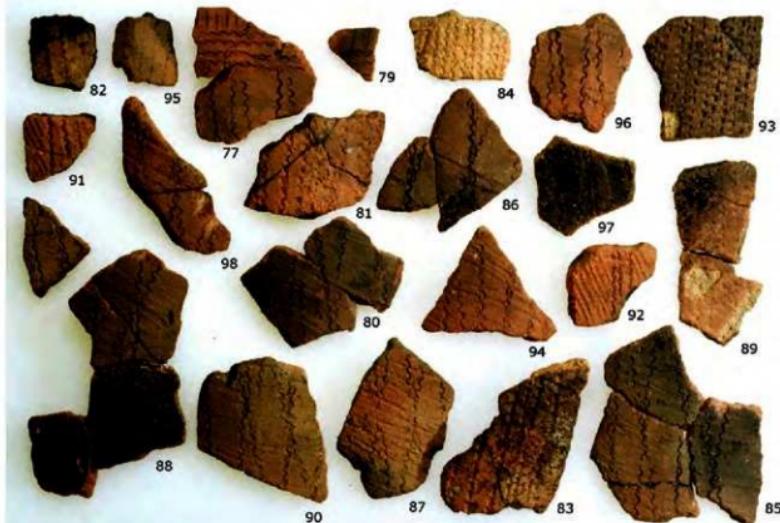
前平式

图版 44

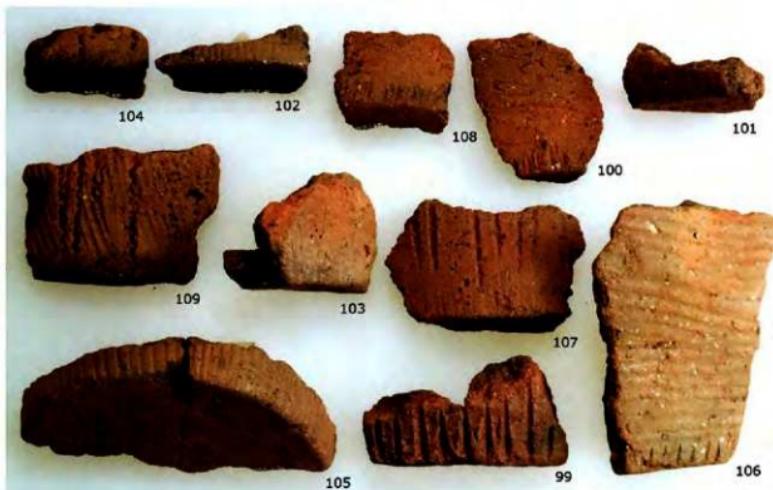


同 (3)

同 (4)

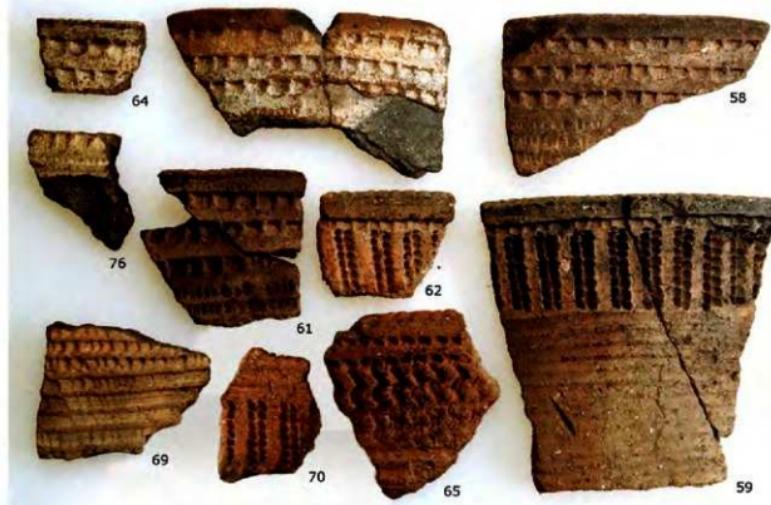


I 区VI層出土 繩文土器 (5)



同 (6)

图版 46



I 区VI層出土 繩文土器 (7)

吉田式



同 (8)

政所式

I 区 VI 層出土
縄文土器 (9)



128

同 (10)



115

112

113

114

111

同 (11)



110

图版 48



I 区VI層出土 繩文土器 (12)



同 (13)



同 (14)

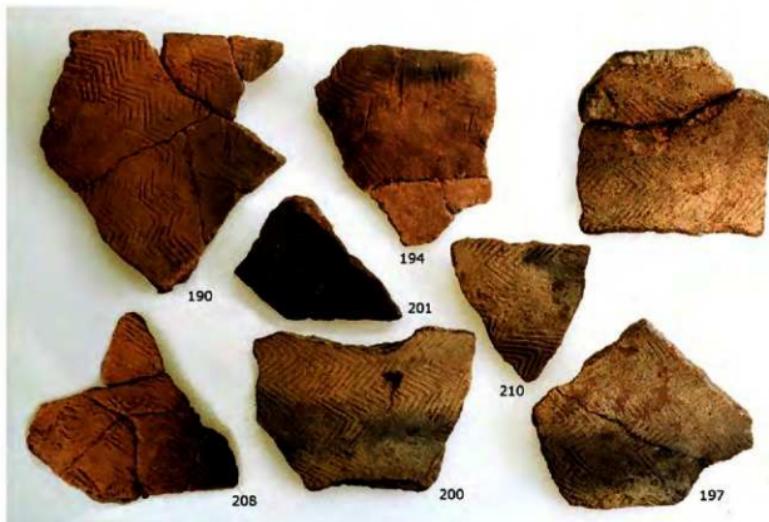


I VI層出土 繩文土器 (15)



同 (16)

图版 50



I 区VI層出土 繩文土器 (17) 外面



内面

I 区 VI 層出土

縄文土器 (18)

外面



191

内面



图版 52



I 区VI層出土 繩文土器 (19)

同 (20)



同 (21)



I 区VI層出土 縄文土器 (22)



同 (23)



同 (24)

図版 54



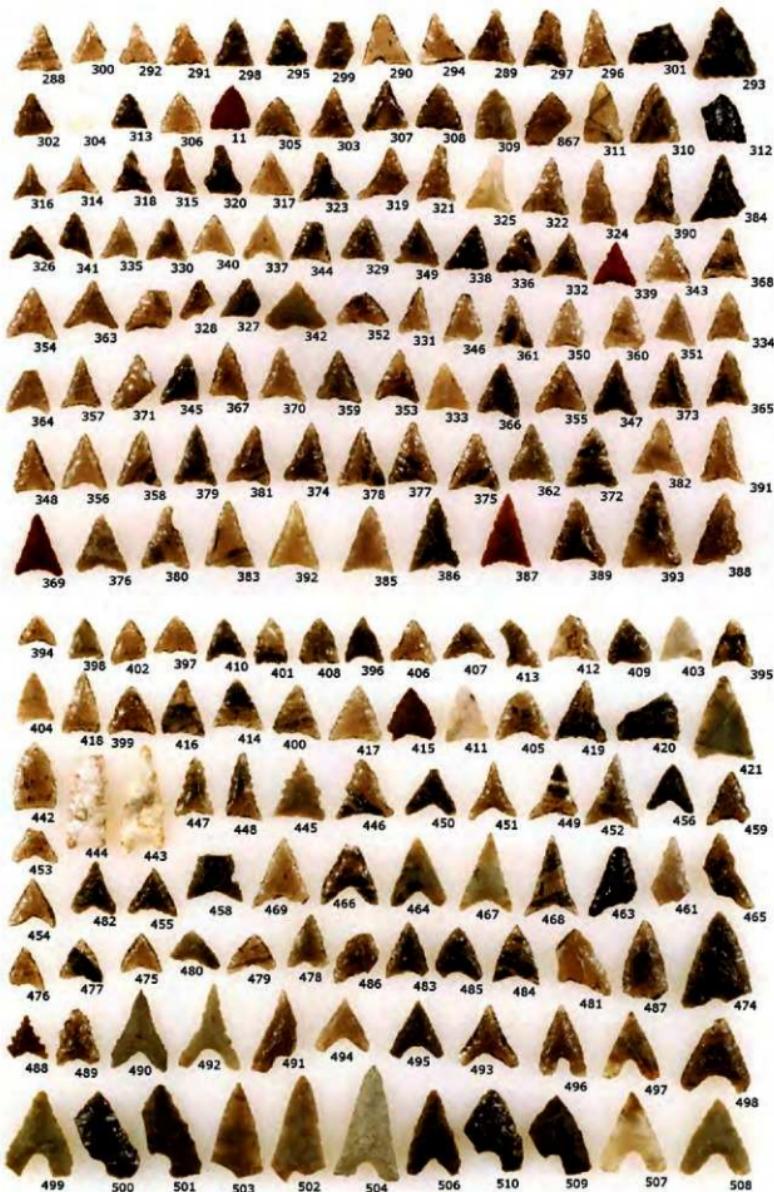
I区 SS-06, SK-06 ほか出土 縄文土器

I区
SS-08・12・18 出土
縄文土器



I区VI層出土
縄文土器 (25)





I 区 VI 層出土 打製石鏃 (1)

図版 56



I 区 VI 層出土 打製石鏃 (2)



同 未製品 I 桑ノ木津留産黒曜石 厚手石材 粗割り 1



同 II 粗割り 2



同 III 調整 1



同 IV 調整 2



同 V 調整 3 完成直前

図版 58



同 調整失敗品



同 石錫未製品 剥片様素材 粗割り 1



同 粗割り 2

図版 59



同 調整 1



同 調整 2



同 失敗作



1091

1090

I 区VI層 桑ノ木津留産黒曜石 石核



1103

間根ヶ平産（？）黒曜石 石核



I 区VI層 間根ヶ平産黒曜石 石核



同 桑ノ木津留系黒曜石 石核

図版 62



同 灰色縞入り黒曜石 石核



同 桑ノ木津留産黒曜石 原石・素材



I 区VI層 桑ノ木津留系黒曜石 原石・素材



1127

同 白浜産黒曜石 石核



同 產地不詳黒曜石 石核・原石

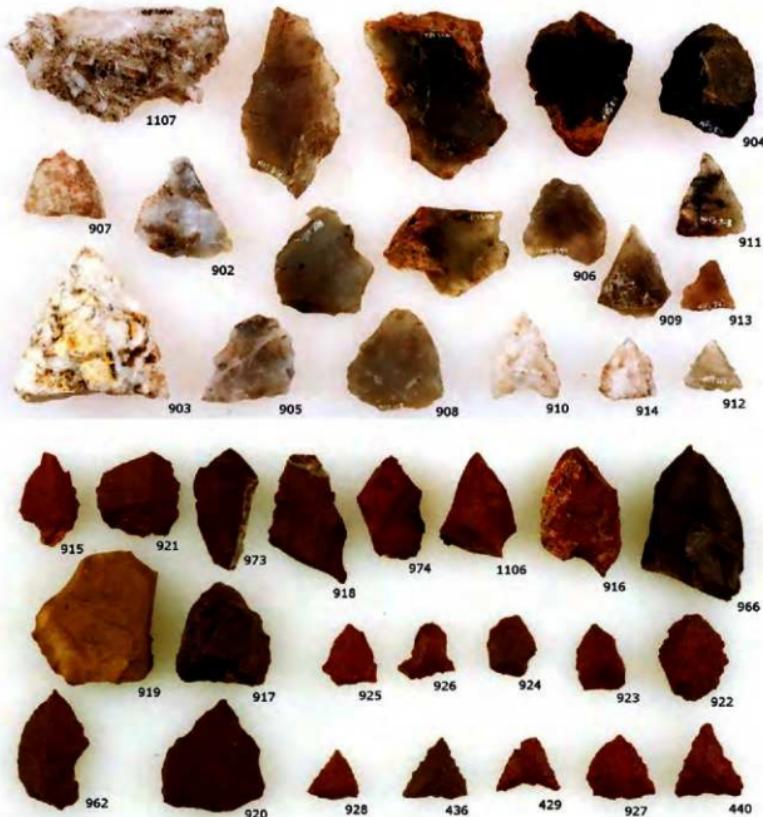
図版 64



I 区VI層出土 チャート製石器 素材～未製品



同 石核・剥片・素材



同 石英・玉隨・紅簾石
(鉄赤英) 剥片～石鎚
未製品



同
紅簾石製石核

図版 66



I 区 VI 層出土 石鐵模做品未製品 (1)



同 (2)



同 刃器



同 未製品・製品・欠損品

図版 68



I 区 VI 層 刀器未製品



同 石核・剥片



同 石核



I 区VI層出土 小形石器

図版 70



I 区VI層出土 円形打製石器ほか



同 敲磨石

同 台石 (1)



台石 (2)



台石 (3)



図版 72



SA-06 出土 繩文土器



SA-07 ~ 10 出土 繩文土器



SA-11 ~ 14 出土 繩文土器



SA-11 出土 繩文土器



IV区 SK 出土 繩文土器

図版 74



IV区VI層出土 繩文土器 (1)



同上 (2)



IV～VI区出土 繩文土器

IV区
SA-01 出土 土器



1240



1244

1253

1242

1251

1243

1246

1245

1247

1248

SA-02 出土 土器

1251・1253 : SA-03



1250

1254

1255

1252

SA-03 出土 土器



IV区
SA-04 出土 土器 (1)



同 (2)

1261



1257



1258



1259



1262



1260



1264



1263

同 (3)



SA-05 出土 土器 (1)



同 (2)

图版 78



SA-05 出土 土器 (3)



同 (4)



1328

SA-06出土 土器 (1)



1329
1330

同 (2) (3)



1323



1327



1332



1331



1320



1333

同 (4)

図版 80



SA-06 出土 遺物 (5 ~ 7)



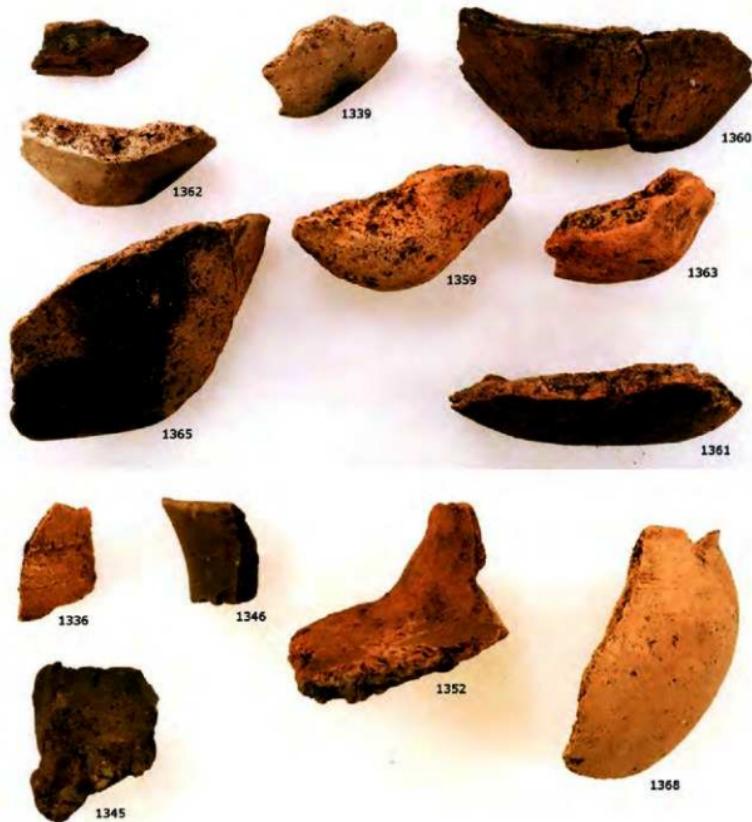


SA-06 出土 土器 (7)



同 (8)

图版 82



SA-06 出土 土器 (9), (10)



同 (11)

外底



SA-06 出土土器 (12)



SA-07 出土土器



SA-08 出土土器 (1)

同 (2)

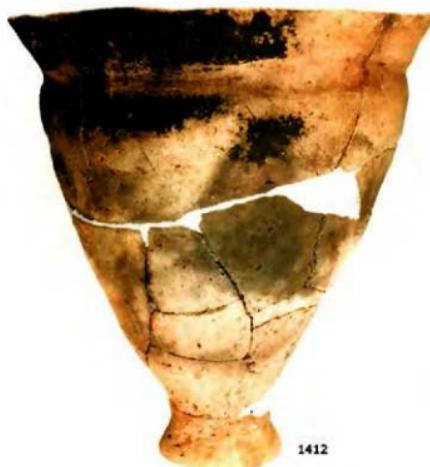
图版 84



SA-08 出土土器 (3)



同 (4)



同 (6)



SA-08 出土土器 (5)

同 (7)



同 (8)

图版 86



SA-08 出土土器 (9)



同 (10)



同 (11)

SA-10
出土土器 (1)



同
(2)

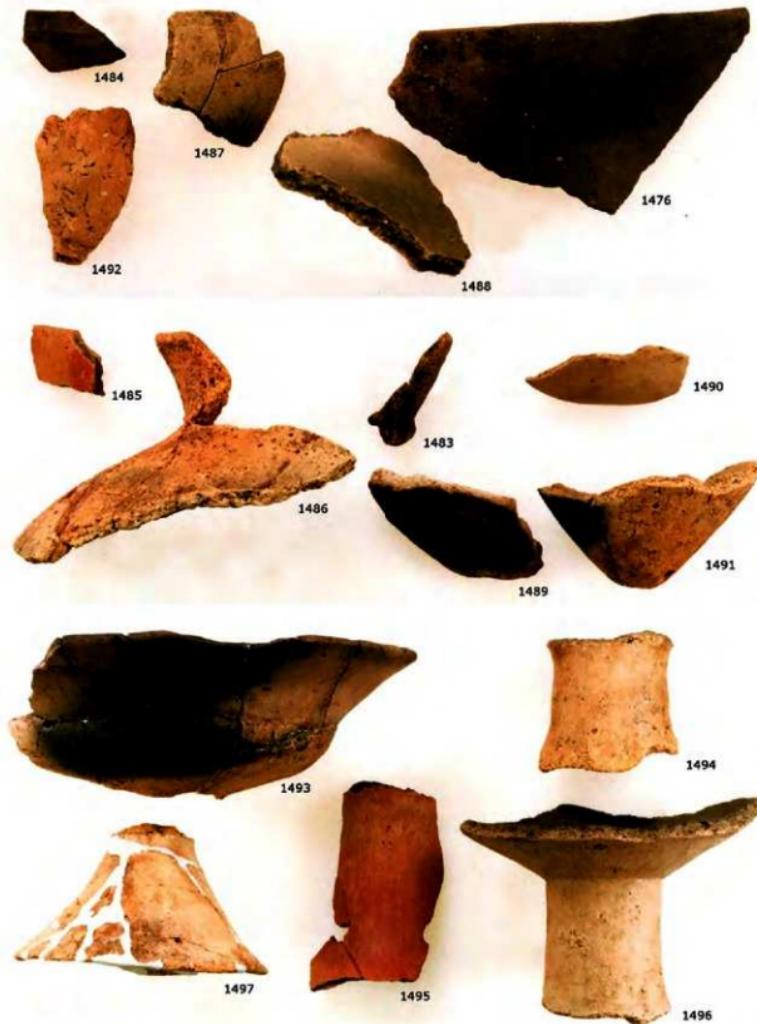


SA-09 出土土器



SA-10 出土土器 (3)

図版 88



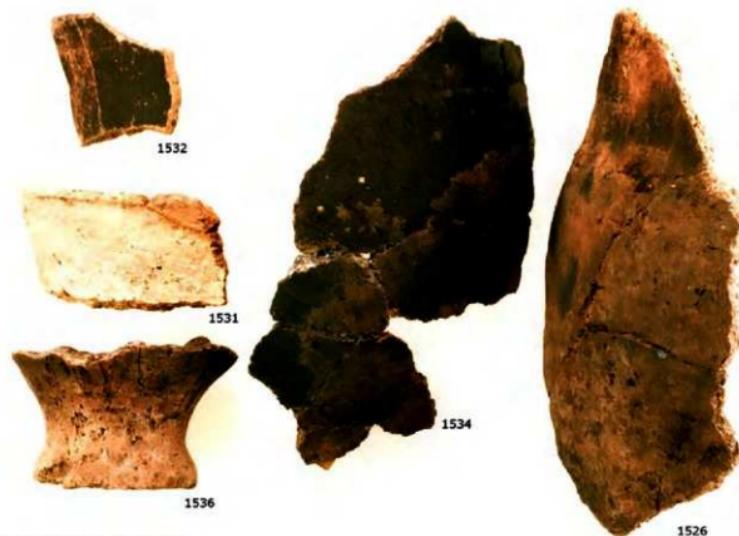
SA-10 出土土器 (4) ~ (6)

SA-11
出土土器
(1)



同 (2)

图版 90



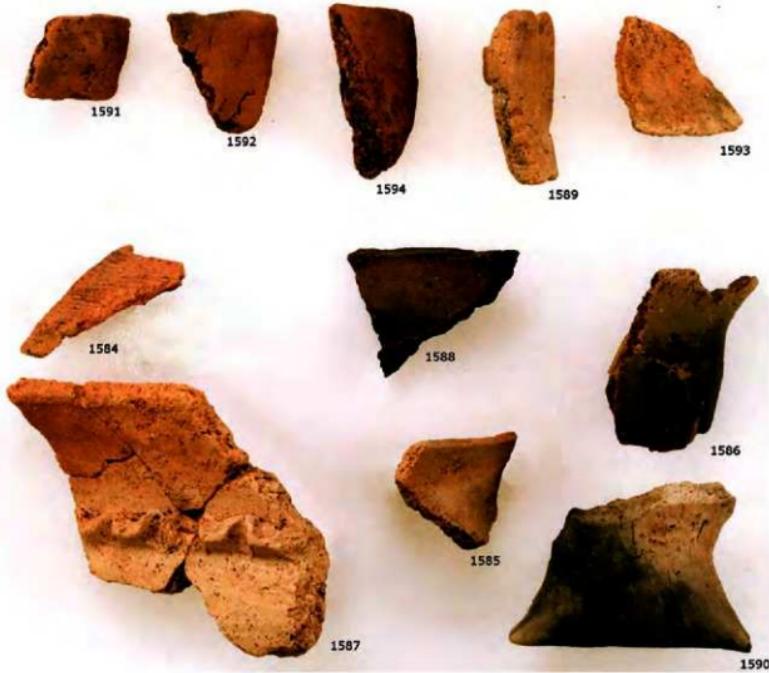
SA-11 出土土器 (3)



同 (4)



SA-12 出土土器



SA-13 出土土器

图版 92



SA-14 出土土器



SA-15
出土土器



SA-16
出土土器



SA-17 出土土器

SA-18

出土土器

(1)



同
(2)



III区 SD-01 出土土器（ほとんどが SA-19 に帰属）

図版 94



SK-14

出土土器

1639



1638

SK-14 ほか出土 土器



1646



1645

1648

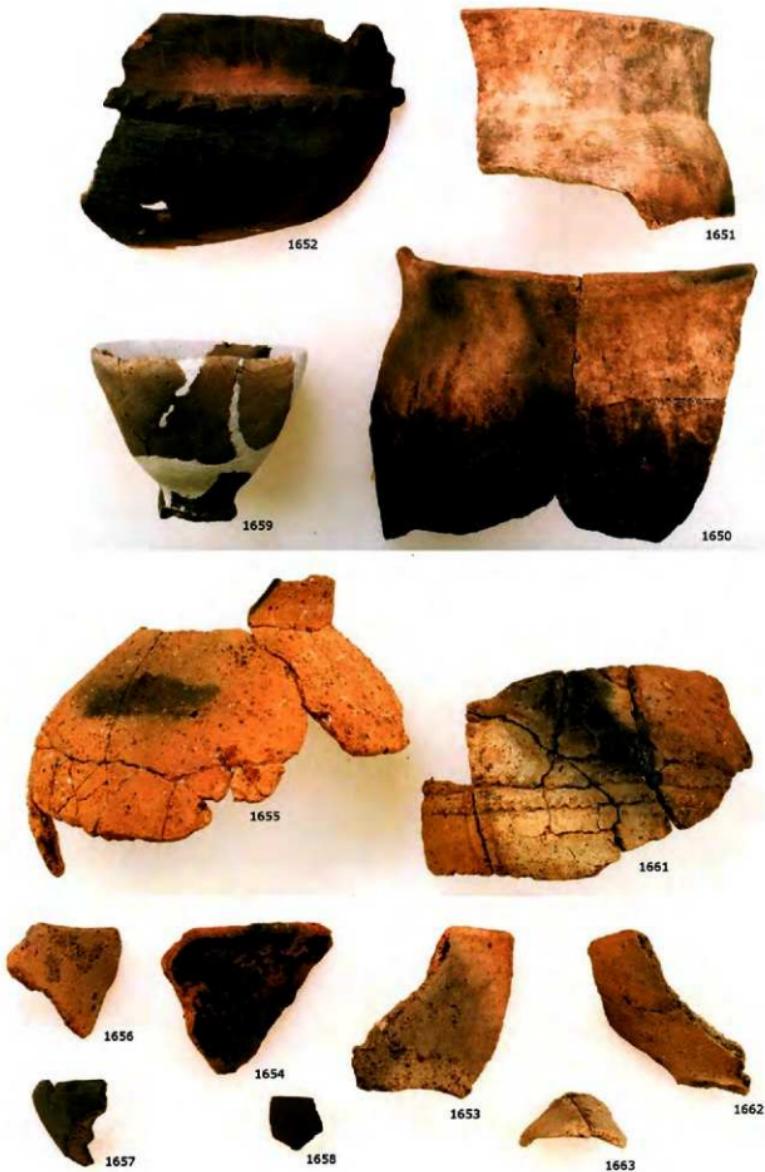


1646



1647

SK-16 出土 土器 (1), (2)

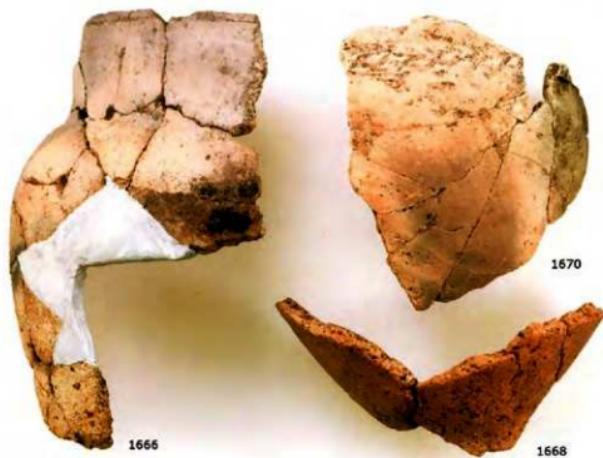


SK-18 出土土器 (1) ~ (3)

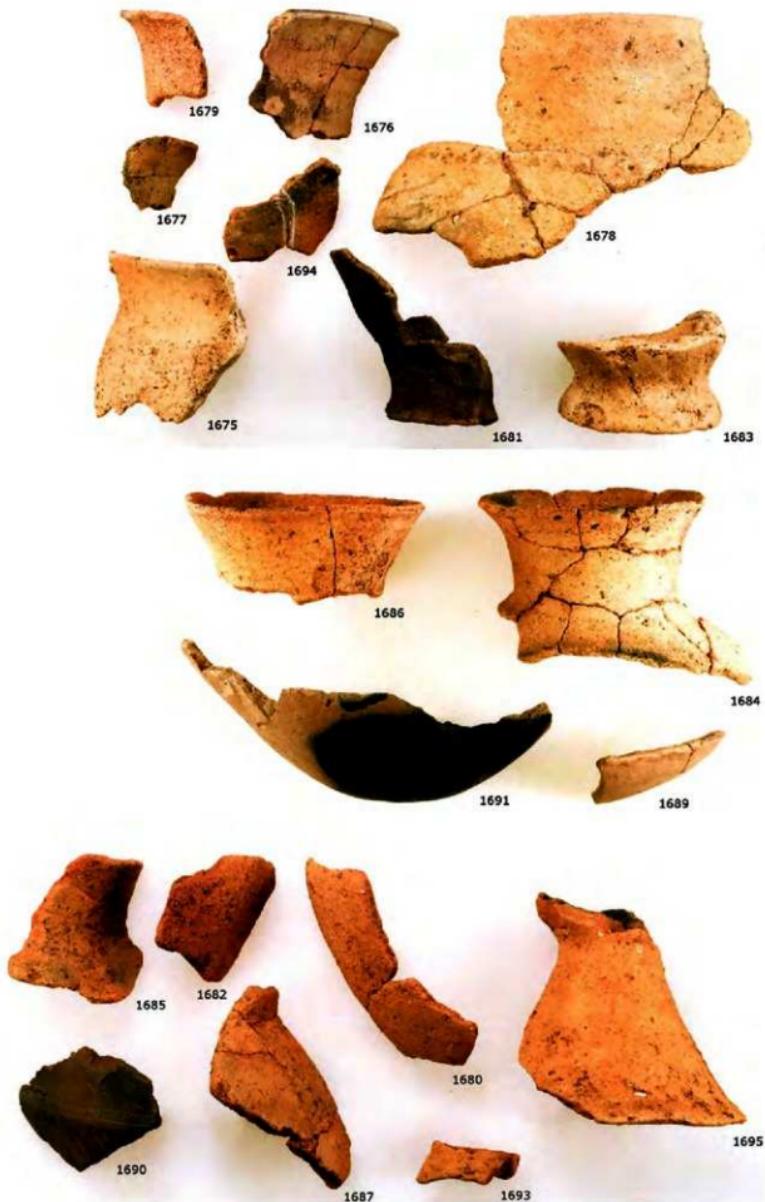
图版 96



SK-23 出土土器
(1)
(2)



SK-24 出土土器



SK-26 出土土器 (1) ~ (3)

図版 98



SK-26 出土土器 (4)



VI区IV a 層出土 土器

SA-02 北西外の Pit 〈7〉 出土 土器



III～IV区 排土

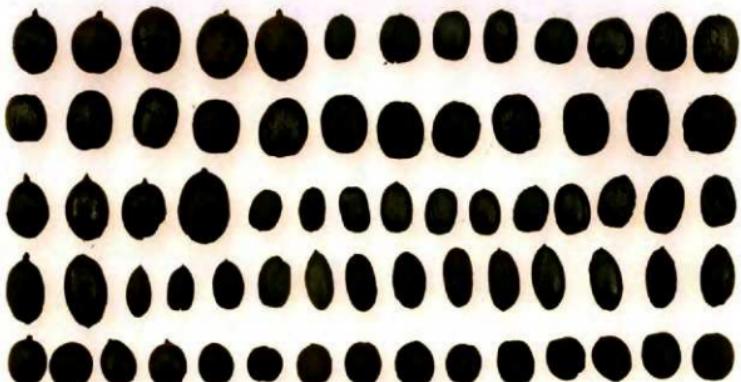
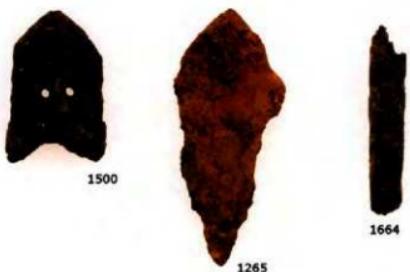
表採ほか輸入陶磁器
外面



内面



SK-04・10.
SK-18 出土鐵鎌



SA-10 出土 炭化堅果類サンプリング

上からアラカシ, イチイガシ, シラカシ, スダジイ, ツブラジイ

图版 100



II区VI层出土石器



IV~VI区 SA 出土 石簇



同石庵丁



IV区VI層出土 石器

1377 : SA-05



同 未製品・石核・剥片・原石

1238 : III層

図版 102



IV~VI区出土 石匙



同 刃器・剥片・石核など



IV~VI区出土 刀器

SA-07 出土
台石



SA-08 出土
台石



IV区 III~IV a 层出土
磨石



IV区 排土 研磨器

元 巢 塚
写 真 図 版



上：調査前の状況（南から） 下：同（東から）

図版 2



雑草木除去、表土掘下（南から）



北西隅 遺構面（西から）



北東隅 第9試掘溝と北辺部（東から）



同左 (北西から)



南辺中央 第 6 試掘溝と周辺 (北から)



北辺中央 第 1 試掘溝 (南東から)

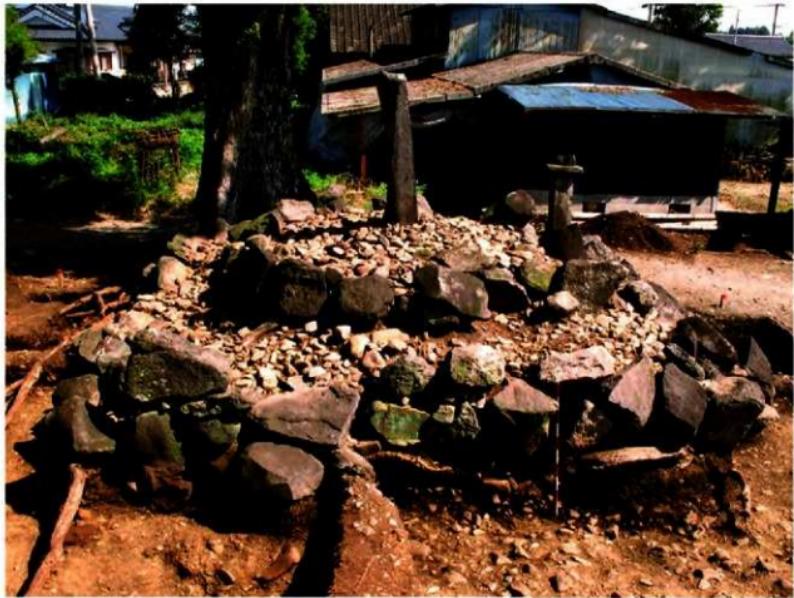


南東隅 表土除去、崩落壁出土状況 (南から)

図版 4



基壇 全景（東から）



同上（西から）



基壇および周溝の肩（東から）

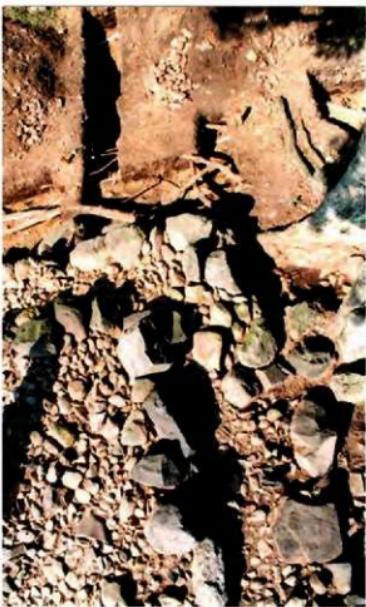


同上（北西から）

図版 6



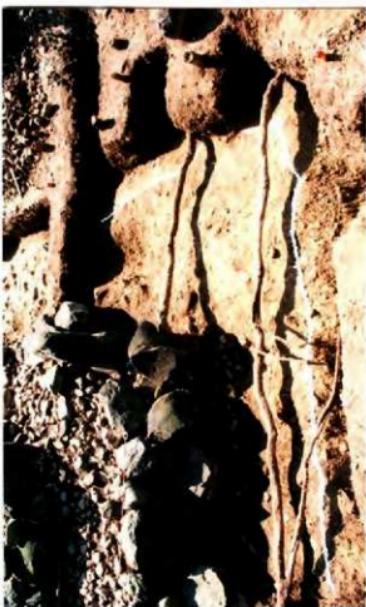
北西部 基壇と周溝（西から）



北東部 基壇と周溝（右が北）

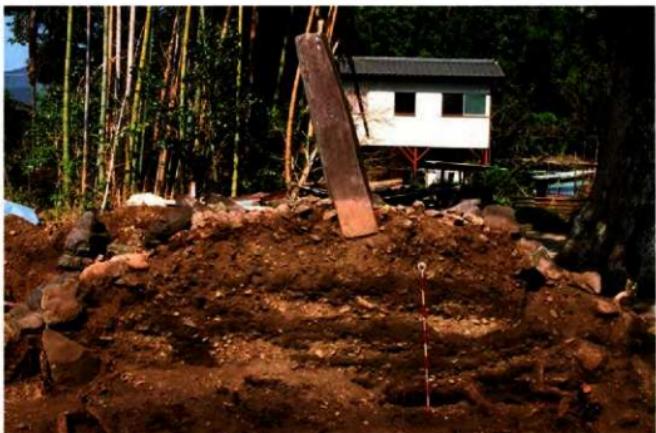


南西～南部 基壇と周溝（北東から）



北西部 基壇と周溝（北から）

基壇半截
(清掃途中)
(南から)



基壇半截 断面
(南から)



基壇中央部
埋納坑確認
のための試
掘(南から)

報 告 書 抄 錄

ふりがな	くわたいせき にほんすけいせき げんそうじ					
書名	桑田遺跡・二本杉遺跡・元巣塚					
副書名	上江地区体育館・美化センター建設・史跡整備事業に伴う発掘調査報告書					
卷次						
シリーズ名	えびの市埋蔵文化財調査報告書					
シリーズ番号	第56集					
編著者名	中野和浩、藤原宏志					
編集機関	えびの市教育委員会					
所在地	宮崎県えびの市大字栗下 1292					
発行年月日	平成31年2月1日					
所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		調査期間	調査面積	調査原因
		市 町村	遺跡 番号			
桑田遺跡	えびの市大字栗下字桑田	9	3076	1990.07.20 ～ 1990.09.04	2,500 m ²	上江地区 体育館建設
二本杉遺跡	えびの市大字坂元字二本杉		3033	1994.04.05～ 07.29 1995.07.12～ 08.19	7,100 m ²	えびの市美化 センター建設
元巣塚	えびの市大字池島字三反田		3074	1995.10.02 ～ 1995.10.25	74 m ²	史跡整備
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
桑田遺跡	生産 関係 ・ 集落	弥生早期	溝状遺構	刻目突縁土器 打製石斧	覆土からプラントオーネル検出	
		平安	掘立柱建物跡 池状遺構	土器、布痕土器 綠釉陶器		
二本杉遺跡	集落	縄文早期	集石遺構	土器 石器	集石遺構が環状に点在 石鐵と未製品が多量	
		弥生後期 ～ 古墳前期	竪穴建物	土器 石器 鉄鏃	環状土手の中央土坑を有するもの2軒	
元巣塚	石塔	江戸	区画溝	無し	尺単位の石積基壇 方形区画溝	

えびの市埋蔵文化財調査報告書 第56集

桑田遺跡・二本杉遺跡・元巣塚

上江地区体育館・美化センター建設・
史跡整備事業に伴う発掘調査報告書

平成31年 2月

編集・発行 えびの市教育委員会
えびの市大字栗下1292

印 刷 ソーゴーグラフィックス
入吉市下城本町1426-1

